図面リスト（意匠図）

図面番号	図面名
L-000	図面リスト
特-001	共通事項特記仕様書-1
特-002	共通事項特記仕様書-2
特-003	建築工事特記仕様書-1
特-004	建築工事特記仕様書-2
特-005	建築工事特記仕様書-3
特-006	建築工事特記仕様書-4
特-007	建築工事特記仕様書-5
特-008	工事区分表
A-001	建築計画概要書
A-002	案内図・全体配置図
A-003	配置図
A-004	現況図
A-005	敷地面積求積図
A-006	求積図・求積表
A-007	法規チェック図
A-008	法規チェック図（開口部）
A-009	外部仕上表・材料表
A-010	内部仕上表
A-011	仕上リスト-1
A-012	仕上リスト-2
A-013	ピット平面図
A-014	１階平面図
A-015	屋根伏図
A-016	立面図
A-017	断面図
A-018	断面詳細図-1
A-019	断面詳細図-2
A-020	断面詳細図-3
A-021	断面詳細図-4
A-022	断面詳細図-5
A-023	キャノピー詳細図
A-024	雑詳細図-1
A-025	雑詳細図-2
A-026	部分詳細図-1
A-027	部分詳細図-2
A-028	部分詳細図-3
A-029	屋根詳細図　-1　（参考図）
A-030	屋根詳細図　-2　（参考図）
A-031	販売棟平面詳細図
A-032	飲食棟平面詳細図
A-033	水廻り詳細図-1
A-034	水廻り詳細図-2
A-035	展開図-1
A-036	展開図-2
A-037	展開図-3
A-038	展開図-4
A-039	展開図-5
A-040	展開図-6
A-041	展開図-7
A-042	展開図-8
A-043	展開図-9
A-044	展開図-10

図面リスト（意匠図）

図面番号	図面名
A-045	販売棟天井伏図
A-046	飲食棟天井伏図
A-047	建具特記仕様書
A-048	建具キープラン
A-049	建具表-1
A-050	建具表-2
A-051	建具詳細図　-1　（参考図）
A-052	建具詳細図　-2　（参考図）
A-053	家具詳細図-1
A-054	家具詳細図-2
A-055	内部サインキープラン
A-056	内部サイン詳細図-1
A-057	外構計画図
A-058	仕上高計画図
A-059	雨水排水計画図
A-060	外構詳細図-1
A-061	外構詳細図-2
A-062	屋外サインキープラン
A-063	屋外サイン詳細図-1
A-064	屋外サイン詳細図-2
A-065	仮設計画図（参考図）
A-101	中間貯湯ポンプ室　平面図・天井伏図・面積求積図・建具表
A-102	中間貯湯ポンプ室　立面図・断面図
A-103	中間貯湯ポンプ室　撤去構造物平面図・断面図
A-104	中間貯湯ポンプ室　撤去構造物参考写真
A-201	喫煙所　案内図・配置図・求積図
A-202	喫煙所　仕上表・平面図・屋根伏図・天井伏図
A-203	喫煙所　立面図
A-204	喫煙所　断面図・部分詳細図

図面リスト（構造図）

図面番号	図面名
S-001	構造設計標準仕様
S-002	構造関係共通事項
S-003	構造関係共通事項（配筋標準図その１）
S-004	構造関係共通事項（配筋標準図その２）
S-005	構造関係共通事項（配筋標準図その３）
S-006	構造関係共通事項（配筋標準図その４）
S-007	木質工事特記仕様書
S-008	木造軸組接合部標準図（１）
S-009	木造軸組接合部標準図（２）
S-010	木造軸組接合部標準図（３）
S-011	木造軸組接合部標準図（３　Ａ）
S-012	木造軸組接合部標準図（３　Ｂ）
S-013	木造軸組接合部標準図（４）
S-014	木造軸組接合部標準図（５）
S-015	木造軸組接合部標準図１
S-016	木造軸組接合部標準図２
S-017	地盤調査位置図
S-018	柱伏図
S-019	基礎伏図
S-019A	土間スラブエベル図
S-020	基礎断面詳細図
S-020A	部分配筋詳細図
S-021	１F土台・柱伏図
S-022	M1F　梁・柱伏図
S-023	RF　梁・柱伏図
S-024	柱・筋交伏図
S-024A	天井下地受材伏図
S-024B	天井範囲図
S-025	M1F　垂木・柱伏図
S-026	RF　垂木伏図
S-027	軸組図１
S-028	軸組図２
S-029	軸組図３
S-030	軸組図４
S-031	軸組図５
S-032	軸組図６
S-033	軸組図７
S-034	軸組図８
S-035	部材リスト表
S-036	接合部詳細図（１）
S-037	接合部詳細図（２）
S-038	架構詳細図(BX3通り)
S-039	架構詳細図(BX3通り)
S-040	雁木広場　柱・梁伏図
S-041	雁木広場　軸組図
S-042	キャノピー　柱・梁伏図
S-043	雁木広場　詳細図
S-044	キャノピー　詳細図
S-101	構造特記仕様書（１）【付属棟】
S-102	構造特記仕様書（２）【付属棟】
S-103	鉄筋コンクリート構造配筋準図（１）【付属棟】
S-104	鉄筋コンクリート構造配筋準図（　２）【付属棟】
S-105	木質工事特記仕様書（１）【付属棟】

図面リスト（構造図）

図面番号	図面名
S-106	木質工事特記仕様書（　２）【付属棟】
S-107	木質工事特記仕様書（　３）【付属棟】
S-108	ポンプ室　伏図
S-109	ポンプ室　軸組図、壁量計算表
S-201	喫煙所　伏図
S-202	喫煙所　軸組図、壁量計算表

変更			発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 L-000	
						図面名称 図面リスト	縮尺 A1:S= A3:S=	意 電 構 機	

■ 建築設計概要

工事名称　道の駅朝日実施設計業務委託

■ 概要

建築主 住所	〒958-8501　新潟県村上市三之町1番1号	
氏名	村上市長 高橋 邦芳	電話 0254-53-2111
地名 地番	新潟県村上市猿沢1212番地外	
(住居表示)		
都市計画	都市計画区域(内　・　外)・市街化区域・市街化調整区域・指定なし	
用途地域	・第１種中高層住居専用・住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用(○)指定なし	
建蔽率	建蔽率:70%	
容積率	容積率:200%(前面道路幅12m未満の場合・　m×4/10　・　m×6/10)	
防火地域	・防火・準防火(○) 指定なし・法22条区域(内・外)	
その他区域	(○)景観計画区域	
前面道路	北側：(国道)幅員20.7m・接道長さ4.0m	南側：(市道)幅員　m・接道長さ　m
	東側：(市道)幅員　m・接道長さ　m	西側：(市道)幅員　m・接道長さ　m
緯度・経度・標高	北緯・東経・標高m	
敷地測量	測量年月日　年　月　日	測量者氏名
	敷地面積　69326.15㎡(　坪)	
	平均地盤面の高さ　KBMより　m	
	KBM の 高 さ　31.590m	
	敷地面積　減　S59年4月検査済証交付済み（事前協議済み）	
開発行為（都計法）	絶対高さ制限 (○)無　・有(　m)	
高さ制限	道路斜線　(○)無　・有(適用距離 20m、勾配 ×1.5)	
	隣地斜線　(○)無　・有(立上り　31m、勾配 ×2.5)	
	北側斜線　(○)無　・有	
日影規制	(○)無　・有(建築物高さ＞10m、平均地盤面からの高さ4m)	
	・日影規制　5m　時間　10m　時間	
その他設計条件	垂直積雪量:2.2m	
	多雪地域指定の有無 (○)有　・無	
	勾配面における積雪荷重並びに他の外力との組合せによる応力計算の扱い方は建築基準法施行令第3章第8節による。	
	設計用地下水位:SBL-　m	
	凍結深度 (○)指定なし・BL-　m（凍結深度以下まで基礎または砂利を設置する）	
	最大降雨量　:63.0mm/h (2004.7.17(気象庁HPより))	
	降雨強度　:96.5mm/h (下関(5年確率、降雨継続時間10分)(新潟県HPより))	
	雨水処理方法　・地下浸透による　・側溝（河川）放流	
	ハザードマップ(浸水深さ)　(○)指定なし	
	土砂災害警戒区域　(○)指定なし	

■ 計画概要

主要用途	建築基準法	08440:その他の物品販売業を営む店舗（道の駅地域振興施設）
	(特殊建築物)	
	消防法	販売棟：4項　飲食棟：3項　雁木広場・キャノピー・受水槽ポンプ室・温泉貯湯ポンプ室：15項
工事種別	新築	
構 造	木造	
耐火建築物の指定	その他	
階　数	1	
地　業	直接基礎	
最高の高さ	7.03m	
軒　高	6.60m	
排水処理方法	下水道放流	

	対　象　比		許　容　限　度
容積率(法第52条)		≦	200%
建蔽率(法第53条)		≦	70%

■ 面積表

	申　請　部　分	申請以外の部分	合　　計
敷地面積	㎡	㎡	㎡
建築面積	1811.11 m2	0.00 m2	1811.11 m2
延べ面積	1411.91 m2	0.00 m2	1411.91 m2
容積率対象外面積	101.65 m2	0.00 m2	101.65 m2
容積率対象面積	1310.26 m2	0.00 m2	1310.26 m2
算定根拠	求積図による	求積図による	求積図による

■ 法規チェックリスト

●建築基準法

項目		条項 等	適用 販	適用 飲	適用 雁	内容
特殊建築物		法2条1項2号	○	○		
耐火・準耐火建築物		法27条・令115条の3 法61条・法62条				法別表1(4)　3階以上の階を有するもの、または床面積300㎡以上→耐火建築物 2階以上の部分の床面積500㎡以上→準耐火建築物
法22条区域内の防火制限		法22～24条				区域内建築物の屋根：不燃材料で造るか、又はふく等のほか、大臣認定のもの
防火区画						
	面積区画	令112条-1～3項				耐火建築物で1500㎡以内ごとに区画
	高層区画	令112条-5～7項				平屋建て
	竪穴区画	令112条-9項				平屋建て
	異種用途区画	令112条-12～13項				
防火上主要な間仕切り		令114条3項	○	○		令115条の2 1項7号により緩和(各室、各通路の壁・天井の室内に面する部分を難燃材料)
内装制限		令128条の5 1項	○	○		法別表1(4)で床面積200㎡以上 →居室：高さ＞1.2mの壁・天井→難燃　通路、階段など：準不燃
		令128条の5 5項				窓その他開口部を有しない居室:準不燃材料
		令128条の5 6項	○	○		火気使用室：準不燃材料
		H12建告1436号	○	○		排煙設備免除
階段		令23条～27条				幅：1400mm以上　蹴上：180mm以下　踏面：260mm以上
	直通階段の設置	令120条				平屋建て
	２以上の直通階段	令121条1項～2項				平屋建て
	重複区間	令121条3項				平屋建て
廊下の幅		令117条　令119条	○	○		両側居室：有効幅≧1.6m　その他：有効幅≧1.2m
屋外への出入口		令125条	○	○		階段から屋外への出口までの歩行距離：50m 避難階の居室の各部分から屋外への出口までの歩行距離：100m
		令125条の2	○	○		屋外への出口:かぎを用いることなく開錠できるもの
客席から出口の戸		令118				客席からの出口の戸：外開き
敷地内通路		令128条	○	○		避難階の出口から道路に通じる幅員≧1.5m
非常用進入口		令126条の6				3階以上の建物
居室の採光						
	採光	令19条				児童福祉施設の居室：1/7以上の採光
	換気	法28条	○	○		居室面積の1/20以上の自然換気または機械換気
シックハウス		法28条の2	○	○		内装、24時間換気　天井裏等の制限
換気設備		法28条の3	○	○		特殊建築物の居室、火気使用室
排煙設備		令126条の2	○	○		法別表1(4)で床面積＞500㎡の建築物
窓その他の開口部を有しない居室		令111条		○		開口面積：床面積×1/20または直径1m以上の円が内接 かつ75cm×1.2m以上の開口部を有さない
		令116条の2		○		採光面積：床面積×1/20 または排煙面積：床面積×1/50（天井から下方80ｃｍ以内有効）を有さない
		令128条の3の2		○		50㎡以上の居室の排煙面積：床面積×1/50（天井から下方80ｃｍ以内有効）
						採光を必要としない用途上やむを得ない居室
非常用の照明		令126条の4	○	○		法別表1(4)で居室及び居室から地上に通ずる廊下等
避雷設備		令129条の14・15				高さ>20mの建築物の部分

●消防法

項目	条項 等	適用	販売棟 内容	適用	飲食棟 内容	適用	雁木広場 内容
用途区分	令別表第1		4項:その他の店舗		3項ロ:飲食店		15項:その他の事業所
収容人員・算定	規則1条の2						
消火器	令10条	○	延床面積≧150㎡	○	全部		延床面積≧300㎡
屋内消火栓設備	令11条		延床面積≧700㎡	○	延床面積≧700㎡		延床面積≧1000㎡
スプリンクラー設備	令12条		延床面積≧3000㎡(平屋を除く)		延床面積≧6000㎡(平屋を除く)		延床面積≧3000㎡(平屋を除く)
水噴霧消火設備	令13～14条		不要		不要		不要
泡消火設備	令15条		不要		不要		不要
不活性ガス消火設備	令16条		不要		不要		不要
ハロゲン化物消火設備	令17条		不要		不要		不要
粉末消火設備	令18条		不要		不要		不要
屋外消火栓設備	令19条		延床面積≧3000㎡(1～2階のみ)		延床面積≧3000㎡(1～2階のみ)		延床面積≧3000㎡(1～2階のみ)
動力消防ポンプ設備	令20条		屋内消火栓により免除		屋内消火栓により免除		延床面積≧1000㎡
自動火災報知設備	令21条	○	延床面積≧300㎡	○	延床面積≧300㎡		延床面積≧1000㎡
ガス漏れ火災警報設備	令21条の2		不要		不要		不要
漏電火災警報設備	令22条	○	延床面積≧300㎡(条件あり)	○	延床面積≧300㎡(条件あり)		延床面積≧1000㎡(条件あり)
消防機関へ通報する火災報知設備	令23条	○	延床面積≧500㎡		延床面積≧1000㎡		延床面積≧1000㎡
非常警報器具/設備	令24条	○	50＞M≧20/M≧50	○	不要/M≧50		不要/M≧50
避難器具	令25条 規則26条の		不要		不要		不要
誘導灯・誘導標識	令26条 規則28条の3	○	全部	○	全部		不要
消防用水	令27条		敷地面積≧20000㎡かつ延床面積≧5000㎡		敷地面積≧20000㎡かつ延床面積≧5000㎡		敷地面積≧20000㎡かつ延床面積≧5000㎡
排煙設備	令28条		不要		不要		不要
連結散水設備	令28条の2		不要		不要		不要
連結送水管	令29条		不要		不要		不要
非常用コンセント	令29条の2		不要		不要		不要
無線通信補助設備	令29条の3		不要		不要		不要
総合操作盤	規則12条1項8号等		延床面積≧50000㎡		延床面積≧50000㎡		延床面積≧50000㎡
パッケージ型消火設備	令29条の4		延床面積≧700㎡		延床面積≧700㎡		延床面積≧1000㎡

●その他関係法令

法令	条項 等	適用	内容
都市計画法	法34条の2	○	村上市が行う開発行為であり、開発行為の事務処理市町村が村上市であることから法34条の2に該当 →協議の成立を以って開発行為があったものとみなす(協議書の提出)
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律		○	非住宅部分の床面積が300㎡以上の新築・増改築→省エネ適合性判定
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	法14条		特別特定建築物で床面積＞2000㎡で建築物移動円滑化基準の適合義務
新潟県福祉のまちづくり条例		○	特定公共施設 物販販売業を営む店舗:床面積＞300㎡、飲食店:床面積＞300㎡→事前協議書の届出
新潟県建築基準条例	法10条	○	延べ面積＞1000㎡→6m以上接道(幅員≧6mの場合は4m以上接道)
	法14条1項		物販販売業を営む店舗:床面積＞3000㎡→2以上の道路に接道し、2以上の敷地内通路
	法14条2項		物販販売業を営む店舗:床面積＞1500㎡→敷地の1/7以上接道、又は2以上の敷地内通路
	法15条		物販販売業を営む店舗:床面積＞3000㎡→主要な出入口の幅の2倍以上、かつ奥行き2.5m以上の空地、歩廊
	令14条	○	多雪地域、垂直積雪量220cm
景観法・村上市景観条例		○	田園・農村区域で延べ面積≧100㎡の建築物の新築・増改築・移転は30日前までに届出
新潟県屋外広告物条例		○	第3号禁止地域、第9号許可地域
文化財保護法		○	遺跡内の開発行為は工事着手の60日前までに届出
水質汚濁防止法		○	飲食店に設置される厨房施設(総床面積が420㎡未満の事業所に係るものを除く)
土壌汚染対策法		○	3000㎡以上の土地の形質の変更(工事)を行う場合、着手30日前までに届出
騒音規制法			地域指定なし
振動規制法			地域指定なし
村上市公害防止条例		○	料理、割烹店は工事開始の90日前に届出

■ 面積表

階	申請建物-1	申請建物-2	申請建物-3	申請建物-4	申請建物-5	申請建物-6					
棟名	地域振興施設　販売棟	地域振興施設　飲食棟	地域振興施設　雁木広場	地域振興施設　キャノピー	地域振興施設　受水槽ポンプ室	温泉貯湯施設　ポンプ室					
用途	物販店舗（道の駅）	飲食店（道の駅）	開放通路（道の駅）	開放通路（道の駅）	機械室	機械室					
構造種別	木造	木造	木造	木造	ステンレス造	木造					
耐火種別	その他	その他	その他	その他	その他	その他					
1階床面積	696.39 m2	573.08 m2	119.54 m2	0.00 m2	8.00 m2	14.90 m2					
延床面積	696.39 m2	573.08 m2	119.54 m2	0.00 m2	8.00 m2	14.90 m2					
建築面積	838.14 m2	802.05 m2	125.10 m2	22.92 m2	8.00 m2	14.90 m2					
最高の高さ	7.03 m	7.03 m	5.280 m	3.550 m	2.940 m	3.610 m					
最高の軒高	6.60 m	6.60 m	5.100 m	3.150 m	2.940 m	3.480 m					

備考	発注者　新潟県　村上市	工事名称　道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号　A-001
		図面名称　設計概要書	縮尺　A1: S=　A3: S=
			㊞　電　構　機

○追加特記（部・課共通事項）

※現場代理人の常駐義務緩和に関する特記仕様書

①現場代理人の兼任

⊙ 認めない
・ 認める（ ・兼任工事の契約金額が１件あたり3,500万円未満であること(県発注工事全体で3件まで ただし,DX対応している場合は4件まで)
・金額上限なし(指定工事　　　　　　工事) ）

2 常駐を免除することができる期間

現場代理人の常駐を免除することができる期間は以下のとおり（ただし、現場代理人が本工事と本工事以外の工事を兼任している期間は、以下の期間であっても常駐を免除しない。）

常駐を免除する具体的な期間は、請負契約締結後、監督員との打合せにて工事打合簿に定める。

・ 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
・ 建設工事請負基準約款第21条第１項又は第２項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
・ 以下のものの工場製作等のみが行われている期間
・ 現場が完了(必要書類は全て提出済)した後、竣工検査までの間などの工事現場で作業が行われていない期間で,常駐を要しないと認めた期間

※「現場代理人の常駐義務の緩和に係る措置について」は下記の新潟県ホームページを参照。
（https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/dobokukanri/1356751775411.html）

※主任技術者又は監理技術者の専任に関する特記仕様書

1 専任を要しない期間

専任を要しない期間は、以下のとおりであり、具体的な期間はあらかじめ特記仕様書に明記する場合を除き、請負契約締結後、監督員との打ち合わせにて工事打合簿に定める。

1．現場施工に着手するまでの期間
現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間をいう。）
2．検査終了後の期間
工事完成後、検査が終了し、事務手続き、後片付け等の期間。
3．現場施工着手後の期間
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により工事を全面的に一時中止する期間や、その他、専任の必要がないと認められる期間。
4．工事カルテの登録変更
上記１、３で定める専任を要しない期間は､受注者の要請があった場合に定めるものとし､専任する期間の変更が生じた毎に登録変更の手続きを行うこと。

2 専任を要しない期間の指定

・ あらかじめ明記する場合は、以下の期間とする。

※特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置に関する特記仕様書

①特例監理技術者の配置

⊙ 認める
・ 認めない

②特例監理技術者の兼務

1．本工事において、建設業法第26条第３項ただし書きの規定の適用を受ける監理技術者（以下「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、以下の(1)から(8)の要件を全て満たすものとする。
(1) 特例監理技術者の職務を補佐する者（以下「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
(2) 監理技術者補佐は、当該工事に係る主任技術者の要件を満たす者のうち、一級施工管理技士補の資格を有する者又は当該工事に係る監理技術者の資格を有する者であること。
なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定項目は、特例監理技術者に求める技術検定項目と同じであること。
(3) 監理技術者補佐は、入札参加資格確認申請書の提出日以前に所属建設業者と３か月以上の雇用関係を有すること。
(4) 同一の特例監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に２件までとする。
ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一の工事とみなす。
(5) 特例監理技術者が兼務できる工事は、工事現場が本工事と同一の地域振興局管内の工事であること。
(6) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならないものであること。
(7) 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
(8) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

2．本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、前項(1)から(8)の事項について確認できる書類を提出すること。

3．本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ（CORINS)への登録を行うこと。

※設計変更及び工事一時中止に係る特記仕様書

設計変更及び工事一時中止については、建設工事請負基準約款第19条～第25条によるところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事設計変更ガイドライン」の準用、及び「工事一時中止に係るガイドライン」によることとする。

○追加特記（部・課共通事項）

※請負工事における電子納品に関する特記仕様書

1 電子納品

・実施する
⊙実施しない（ただし、受注者からの申出により実施することができる。）
新潟県CALS/EC整備行動計画（アクションプログラム）に基づく電子納品対象工事は、以下の各項により履行するものとする。
1 受注者は、契約期間中に監督員と協議を行う場合、新潟県CALSシステム（以下「CALSシステム」という。URL：http://www.niigata.pref.cals-ec.jp/）を利用して電子協議(注１)を行わなければならない。
2 受注者は、CALSシステムを利用して、監督員との協議に従い工事完成図書の一部について、電子納品(注２)を行わなければならない。
3 工事完成図書の提出方法および提出部数については、電子納品の場合はＣＤ-Ｒ１部（枚）、紙による納品の場合は正本１部を納品するものとする。
4 受注者は、CALSシステムを利用して電子協議および電子納品を行うため、インターネットが利用できる機器および電子納品のデータを作成するための機器を用意しなければならない。
5 監督員が受注者に口頭・電話・電子メール等で指示等を行った場合、後日CALSシステムにより監督員と受注者の両者が指示内容を確認するものとする。
6 受注者は、CALSシステムの利用料を、新潟県よりCALSシステム運営業務を受託している者に支払うこと。なお、CALSシステム利用料として、新潟県CALSシステム利用登録料を別途積上げ計上している。
7 CALSシステムの利用料を支払った時は、すみやかに監督員に支払の事実を報告し確認を受けること。また、支払いの事実を証明する書類（銀行振り込みの写し等）を工事完了時に提出すること。
8 上記以外の電子協議および電子納品に関する詳細な事項については、受発注者協議にて定めるものとする。

2 電子検査

電子納品した場合、電子納品物にて検査を行う書類については契約後の受発注者協議にて定めるものとする。
電子検査(注３)に係わる詳細な事項については、別途県が公表する(注４)「新潟県電子検査実施要領」による。
(注１)電子協議とは、指示・承諾・協議・提出・提示・報告・通知等を、電子化された書面及びその他資料（図書等）にて行うことをいう。
(注２)電子納品とは、工事完成図書等の最終成果を電子成果品として納品することをいう。ここでいう電子成果品とは、別途県が公表する(注４)新潟県策定の「新潟県電子納品実施要領」に基づいて作成された電子データを指す。
(注３)電子検査とは、「電子納品された最終成果物（写真、新潟県CALSシステムで交換された書類等）をパソコンで電子的に検査すること」をいう。
(注４)新潟県CALS/ECホームページにて公表する。
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/gijutsu/1197303328963.html

※県内調達に関する特記仕様書

1．受注者は、下請契約を締結する場合には、当該契約先として県内企業を優先的に採用するよう努めるものとする。また、受注者は、技能労働者の労働条件改善を図るため、労務単価の改善等に努めること。なお、県内企業とは県内に本社・本店を置く建設企業者をいう。
2．受注者は、本工事の施工に関する下請契約において、一次、二次以降問わず県外企業を採用する場合は､着手前にその下請契約先と採用理由を「調達報告書」に記入し、監督員に提出すること。また、県外企業を使用しない場合は「1．下請契約」を記入せずに空欄のままで提出すること。なお、変更があった場合には履行時に修正し提出すること（県外企業とは県内企業以外をいう）。
3．受注者は、本工事に使用する材料について、県内資材で確保できる場合はその優先使用に努めるものとする。
なお、県内資材とは以下に該当するものをいう。
（1）製造した企業の本社･本店の所在を問わず､県内の工場で製造されたもの。
（2）製造された場所を問わず､県内に本社･本店のある企業が製造したもの。
4．受注者は、県外資材の調達に当たっては、県内に本社・本店のある代理店からの優先調達に努めるものとする。
なお、県外資材とは県内資材以外をいう。
5．受注者は、本工事に使用する材料について、県外資材を使用した場合は、「工事材料使用承諾願」の提出時、その資材名と県内資材を使用しない理由を「調達報告書」に記入し、監督員に提出すること。また、県外資材を使用しない場合は「2．県外資材の調達」を記入せずに空欄のままで提出すること。なお、変更があった場合には履行時に修正し提出すること。
6．「調達報告書」は新潟県ホームページから最新のものをダウンロードし、電子データ(EXCEL形式)で提出すること。 なお、記入に当たってはホームページに掲載されている記入例を参照すること。
掲載場所
（https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/gijutsu/1201539661625.html）

※防振ゴム等の製造時検査に係る不正に関する特記仕様書

1 ゴム製品等の品質確認等

受注者は、東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料（以下、ゴム製品等とする。）を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)と資本面・人事面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督職員の確認を得るものとする。
なお必要な品質証明は、以下の試験及び検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。

試験名	計測項目
通常状態での試験（常態試験）	硬さ、比重、引張強度、伸び
熱老化試験	熱老化前後での変化率 （硬さ、比重、引張強度、伸び）
圧縮永久ひずみ試験	圧縮による残留歪み
製品検査	外観、寸法、性能

2 ゴム製品等の品質確認をした場合における契約不適合の取扱い

第三者による品質証明書類を提出し監督職員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に受注者の契約不適合責任が免責されるものではない。

○追加特記（部・課共通事項）

※地域保全型工事（建築一式工事、電気工事及び管工事）に係る特記仕様書

1 地域保全型工事の適用

・対象工事である
本工事は、　　　　　　　　の管内として扱う。
（　　　　　　　　）

※対象工事でない

2 地域保全型工事の実施

1 下請負する場合
(1) 工事の品質確保、安全性の確保、公正な契約締結の促進及び適切な労働条件の確保を図るため、下請けは二次までとする。
(2) 工事を落札した建設業者（以下「直接元請負人」という。）は、原則として、管内に本店又は支店を有する下請負人へ下請負すること。また、再下請負する場合も同様とする。ただし、これによりがたい場合は、発注者と協議の上、決定するものとする。
(3) 直接元請負人は、(4)及び(5)の条件の履行の確保を図るため、工事現場毎に、一次下請負人及び二次下請負人を指導する責任者（以下「下請負人指導責任者」という。）を配置し、下請負人指導責任者配置届（様式１）を工事着手届に併せて監督員へ提出すること。
ただし、下請負人指導責任者は現場代理人と兼ねることができる。
(4) 直接元請負人は、自社及び下請負人に対して、一括下請負の禁止、建設工事の現場における専任技術者の設置、適切な下請取引の確保等に係る建設業法の規定を遵守させること。また、「施工体制チェックリスト」（様式２）、「建設業法令遵守ガイドライン・チェックリスト」（様式３）により、建設業法令遵守状況を点検すること。
(5) 直接元請負人は、技能労働者の労働条件の改善を図るため、一次下請負人及び二次下請負人に対し、社会保険・労働保険・建退共等への加入について指導すること。また、賃金については、公共工事設計労務単価と比べて合理的理由なしに著しく下回ることのないよう指導すること。
(6) 直接元請負人は、下請負人に対して建設業退職金共済証紙又は退職金ポイントを適正に交付若しくは充当するとともに、工事請負契約締結後原則１か月以内（電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約締結後原則40日以内）に、発注機関へ「建設業退職金共済証紙購入状況報告書（地域保全型工事用)」（様式４－１及び様式４－２）又は「建設業退職金共済退職金ポイント購入状況報告書(地域保全型工事用)」（様式５－１及び様式５－２）を提出すること。
(7) 直接元請負人は、県の前金払い・中間前金払い・部分払い制度及び「地域建設業経営強化融資制度」などを積極的に利用することにより、下請負人の資金需要に対し、的確かつ迅速に対応し、請負代金等を巡る紛争が生じないように努めること。
(8) 直接元請負人は、下請契約を締結したときは、施工体制台帳及び施工体系図を作成し、その写しを発注機関へ提出すること。

2 下請負しない場合
工事請負契約締結後原則１か月以内（電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約締結後原則40日以内）に、発注機関へ「建設業退職金共済証紙購入状況報告書(地域保全型工事用)」（様式４－１）又は「建設業退職金共済退職金ポイント購入状況報告書(地域保全型工事用)」（様式５－１）を提出すること。

3 報告書の様式
各種報告書等は､新潟県ホームページから最新のものをダウンロードすること。
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/dobokukanri/1194797758071.html

※埋設配管・配線切断事故防止措置等に関する特記仕様書

1 対象作業
既存建物の躯体内の埋設配管・配線を切断する恐れのある作業
あと施工アンカー、カッター入れ、はつり、解体、コア抜き等
なお､地下の既設配管等の安全確保は改修工事標準仕様書(建築工事1.3.7(4)、電気設備工事1.3.5(d)、機械設備工事1.3.5(e))による。

2 事故防止措置等
① 事前調査
既存図面及び施設管理者からの聞き取りにより、埋設配管・配線の位置を事前に確認すること。
② 作業前調査
非破壊検査(電磁波レーダー法、電磁誘導法、Ｘ線法)により、埋設配管・配線の位置出しを行うこと。
③ 迂回措置
上記①～②によっても埋設配管・配線の位置が確認出来ない場合は、切り回し等の迂回措置を検討すること。
④ 被害防止措置
(ｱ)原則、工事範囲内の各種設備の供給は、既存ブレーカー、バルブ等で停止すること。
(ｲ)工具は、メタルセンサー付き、またはメタルセンサー付き電工ドラムに接続し使用すること。
(ｳ)重要機器の配管・配線を切断する危険がある場合は、使用配管・配線の迂回や発電機設置等による措置を行うこと。
⑤ その他
配管工事のコア抜きに代えて、既存スリーブ廻りを手ハツリするなど、現地の状況を確認した上でリスクを回避する工法があれば、採用を検討すること。

3 監督員の承諾
対象作業のある工種は工種別施工計画書に事故防止措置等を記載すること。
なお、事故防止措置等の費用は変更協議の対象とする。

4 事故発生時の報告
埋設配管・配線を誤って切断した場合は、直ちに作業を中止し、監督員に報告し、指示を受けること。

○追加特記（部・課共通事項）

※建設現場の「快適トイレ」設置の特記仕様書

1 建設現場の「快適トイレ」設置の適用

・ 本工事は、建設現場に設置する「快適トイレ」の試行案件である。
(1) 試行にあたっては『建設現場の「快適トイレ」設置の試行実施要領』に基づき行うものとする。
(2) 快適トイレの手配が困難である場合は、監督員と協議の上、本特記仕様書の対象外とすることができる。
・ 本工事は、建設現場に設置する「快適トイレ」(希望型)の試行案件である。
(1) 受注者は、施工計画書作成前に、快適トイレ設置希望の有無について、打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。
(2) 試行にあたっては『建設現場の「快適トイレ」設置の試行実施要領』に基づき行うものとする。
・ 本工事は、建設現場に設置する「快適トイレ」の試行案件でない。

※試行実施要領は新潟県ホームページから入手できる。
(https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/gijutsu/1356857978573.html)

※施工時期選択可能工事制度に係る特記仕様書

1 施工時期選択可能工事制度の適用

・ 本工事は、工事開始日を、発注者が指定する工事開始期限日の範囲内で受注者が任意に選択できる「施工時期選択可能工事制度」の対象工事である。
※ 対象工事でない

2 工事開始期限日

工事開始期限日は、令和　年　月　日（契約締結予定日から　日以内）

3 留意事項

（1） 落札者が工事開始日の選択を希望する場合は、落札通知の日から起算して７日以内に工事開始日選択承認申請書により、発注者の承認を受けなければならない。
（2） 契約締結日から工事開始日の前日までの間は、主任技術者又は監理技術者及び現場代理人の配置を要しない。
（3） コリンズの登録は、工事着手後に監督員の確認を受け、着手後、速やかに行うこと。
（4） 工事開始日の前日までの間は、工事の施工（現場事務所等の設置、工場製作等）を行ってはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備は可とする。
（5） 落札通知の日から起算して７日以内に契約を締結すること。
（6） 積算にあたっては、契約締結予定日を起算日とした工期日数分を工事期間としており、施工時期を選択することにより生じる経費（積雪寒冷地における冬期補正、除雪費等）については、受注者の負担とする。

4 その他

落札者が工事開始日の選択を希望し、発注者に承認された場合は、工事開始日から７日以内に工事に着手し、工事に着手したときは、速やかに「着手届」及び「工程表」を提出すること。

※制度の試行要領、様式等は新潟県ホームページから入手できる。
(https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/dobokukanri/1356909107317.html)

※週休２日促進工事の特記仕様書

①「週休２日促進工事」の適用

・ 本工事は、「週休2日促進工事（発注者指定方式）」の試行対象案件である。
受注者は、受注後速やかに『営繕工事における週休２日促進工事試行実施要領』に基づき、工事着手前に週休２日の取得計画が確認できる「現場閉所予定日」（分離発注工事の場合は「現場閉所（現場休息）の予定日」）を記載した「実施工程表」等を作成し監督員の確認を得た上で、週休２日に取組むものとする。
工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度「実施工程表」等を提出するものとする。

※ 本工事は、「週休2日促進工事（受注者希望方式）」の試行対象案件で、『営繕工事における週休２日促進工事試行実施要領』に規定する「４週８休以上」を前提に補正係数1.05により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、発注者は、週休２日の達成状況を確認し、４週８休に満たない場合、その達成状況に応じて労務費を補正し、請負代金額を変更する。
受注者は、受注後速やかに「週休２日促進工事」希望の有無について、打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。
協議により試行する場合は、『営繕工事における週休２日促進工事試行実施要領』に基づき行うものとする。

その他詳細は、試行実施要領（令和２年７月20日以降適用）を確認すること。

※試行実施要領は新潟県ホームページから入手できる。
(https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/gijutsu/1356857978573.html)

仕様書(共通事項)　（そのⅠ）　　新潟県 村上市

備考

発注者：新潟県　村上市

工事名称：道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事

図面番号：特-001

図面名称：共通特記仕様書-1

縮尺：A1: Non Scale　A3: Non Scale

㊐ 電
構 機

C.追加特記（部・課共通事項）

※排ガス対策型建設機械等に関する特記仕様書

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51号)」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領(最終改正 平成22年3月18日付け国総施第291号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)」もしくは「第３次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日付け国総施第215号)」に基づき指定された排ガス対策型建設機械を使用するものとする。

ただし、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ｶﾞｽ浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいは建設技術審査証明事業により評価された排出ｶﾞｽ浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機　　種	備　考
一般工事用建設機械 ・バックホウ　・トラクタショベル（車輪式）　・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式）　・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット類 （以下に示す基礎工事用機械のうち、ﾍﾞｰｽﾏｼﾝとは別に独立したﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動の油圧ﾕﾆｯﾄを搭載するもの 油圧ﾊﾝﾏｰ･ﾊﾟｲﾌﾟﾊﾝﾏｰ･油圧式鋼管圧入･引抜機、油圧式杭圧入引抜機、ｱｰｽｵｰｶﾞ、ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機、ﾘﾊﾞｰｽｴｷｽﾋｭｰｼｮﾝﾄﾞﾘﾙ ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ、地下連続壁施工機、全回転型ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機） ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン ※上記建設機械は、低騒音・低振動型とする。	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ(ｴﾝｼﾞﾝ出力7.50kW以上260kW以下)を搭載した建設機械に限る。

※労災補償に必要な法定外の保険契約

受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」（令和元年６月14日法律第35号）に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険（法定外の労災保険）へ加入すること。

受注者は、法定外の労災保険の契約を締結したときは、その証券等の写しを監督員に提出しなければならない。

仕様書(共通事項)　（そのⅡ）

新潟県 村上市

備考

発注者　新潟県　村上市

工事名称　道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事

図面番号　特-002

図面名称　共通特記仕様書-2

縮尺　A1: Non Scale　A3: Non Scale

㊞　電　構　機

道の駅「朝日」（地域振興施設） 建築工事設計図	村上市観光課 令和　　年　　月（全　　枚）

仕　様　書

Ⅰ　共通仕様

1.本共通仕様及び特記仕様に記載されてない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「標仕」という。）による。

2.標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
（1）「契約書」を「村上市財務規則(平成20年4月1日村上市規則第49号)別記(第172条関係)　村上市建設工事請負基準規約」（以下「約款」という。）に読み替える。
（2）「監督職員」を「監督員」に読み替える。
（3）「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3.次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
（1）１章　各章共通事項　1節　共通事項　1.1.2 用語の定義の(ア)、(セ)、(ナ)
（2）　〃　　1.4.2 材料の品質の（１）及び（２）
（3）　〃　　1.4.4材料の検査等の（１）
（4）　〃　　1.6.1工事検査の（２）及び（３）

4.次に掲げる標仕の規定は、適用しない。　5.単価適用日は７月20日以降適用のものとする。
1章　1.1.2　用語の定義の(ニ)　　6.共通仮設費率は21か月とする。
〃　1.6.2　技術検査

別　表（建築工事）

号	項　目	置き換え後の標仕の規定
	１章　各章共通事項 １節　共通事項	
(1)	1.1.2　用語の定義	(ア)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者を　いう。
		(セ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は　新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。
		(ナ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために　発注者又は検査職員が行う検査をいい、　工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査(ただし、②に係る検査を除く。)を含む。 ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等　(約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第49条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第51条)
(2)	1.4.2　材料の品質等	(１) 使用する材料は「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（契約時の最新版）」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間内であることを条件とするものではない。 ※木工事に使用する材料については村上市産材を使用すること。
		(２) 使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めのＪＩＳ又はＪＡＳの材料で、ＪＩＳ又は ＪＡＳのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(ｱ)から(ｳ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、 あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。)は、この限りでない。 (ｱ) 建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (ｲ) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ｳ) 特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4　材料の検査等	(１) 工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(ｱ)若しくは(ｲ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (ｱ) 工事完成検査時又は工事写真で、ＪＩＳ若しくはＪＡＳのマークを確認できる場合 (ｲ) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は、工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.6.1　工事検査	(２) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (３) (１)の通知又は(２)の請求に基づく検査並びに約款第49条及び第51条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

Ⅱ　特記仕様

1.項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
2.特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3.特記事項に記載の(　.　.　)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、(参考　・　)は標仕の「各部配筋　参考図」を表す。
4.製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 各章共通事項	① 工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ(CORINS)への登録	※請負工事費500万円以上の場合は登録する。　(1.1.4)
	② 既成工期	※無し　・有(工期　令和　年　月　日)　(1.2.1)
	③ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件　(1.2.2) ・地区の区分に応じた風速（Vo（m／sec））　⊙ ３０　・　３２ ・地表面粗度区分　・Ⅰ　⊙Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ ・多雪地域の指定　積雪区分　建告示第１４５５号　別表（ 30 ）
	④ 工事の記録等	契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課）」による。　(1.2.4)
	⑤ 電気保安技術者	※要(　　)　(1.3.3)
	⑥ 発生材の処理等	２４追加特記　７「発生材の処理等」による。　(1.3.8)
	⑦ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。　(1.5.2)
	⑧ 技能士	適用工事種別 ／ 技能検定の職種 鉄筋工事 ／ ⊙鉄筋施工(鉄筋組立て作業) コンクリート工事 ／ ⊙型枠施工 鉄骨工事 ／ ・とび ﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ工事 ／ ・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工 防水工事 ／ ・防水施工（・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・塗膜防水工事作業 ⊙合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業　⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業） 石工事 ／ ・石材施工（石張り作業） タイル工事 ／ ⊙タイル張り 木工事 ／ ⊙建築大工 屋根及びとい工事 ／ ⊙建築板金（内外装板金作業） 金属工事 ／ ⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） 左官工事 ／ ⊙左官 建具工事 ／ ⊙サッシ施工　⊙ガラス施工　⊙自動ドア施工 カーテンウォール工事 ／ ・カーテンウォール施工(ＰＣ)　⊙サッシ施工　◯ ガラス施工 塗装工事 ／ ⊙塗装（建築塗装作業） 内装工事 ／ ⊙内装仕上げ施工（⊙ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ系床仕上げ工事作業　・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業）　⊙表装（壁装作業） 植栽工事 ／ ⊙造園 ※これにより難い場合は監督員と協議する。
	９ 見本施工	※実施する(　　)　(1.5.5)
	⑩ 化学物質の濃度測定	２４追加特記　８「化学物質の濃度測定」による。　(1.5.9)
	⑪ 完成図等	次のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は監督員の指示による。 提出部数等　⊙A1　2部　⊙A3　3部　⊙ＣＡＤデータ） ⊙案内図及び配置図　⊙平面図　⊙立面図　⊙断面図　(1.7.1～1.7.3) ⊙上表　⊙建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ⊙その他監督員が指示した図面
	⑫ 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	⑬ 工事完成写真	工事完了後整理のうえ監督員に提出する。　提出部数　2　部 工事完成写真は、着手前の敷地全景(敷地の位置は朱線で記入)、外部全景４面、内部主要各室、屋外施設その他監督員が必要と認め指示した個所等とする。
	⑭ 特別完成写真	写真専門業者の撮影したカラー写真　2　部提出する。(ネガ又は電子データ共) 大きさ　⊗キャビネ　・半紙　⊙電子データ（２００dpi/inch）
	⑮ 工事施工状況写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック（平成30年度版）」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 提出部数　2　部 印刷物若しくは電子データ(DVD等のメディア)で提出する。
	⑯ 設備工事との取合い	２４追加特記　６「工事区分表」による。
2 仮設工事	① 監督員事務所等	・監督員事務所　・10　・20　・35　・65　・　㎡程度を設ける。　(2.3.1) ⊙仮設事務所の中に監督員用空間を 10　㎡程度確保する。 ⊙監督員が使用できる備品として、下記のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ⊙保護帽　6　ケ　・雨具　着　・長靴　足　・安全帯　組
	② 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	③ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	④ 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。
	⑤ 足場	「手すり先行工法に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」に基づく足場の設置に当たっては、同ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝの別紙１「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	・Ａ種 ※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土　(3.2.3)(表3.2.1)
	② 建設発生土の処理	・構内指示の場所（・敷き均し　・堆積）　(3.2.5) ⊙構外搬出適切処理(指定場所：　　) ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする
4 地業工事	1 試験	・試験杭　(4.2.1～4.2.5) 位置、本数及びず法　※図示　・監督員の指示による ・杭の載荷試験　・鉛直載荷試験　・水平載荷試験 試験位置　※図示　載荷荷重　N/mm²
		・地盤の載荷試験　※平板載荷試験　・ 試験位置　※図示　載荷荷重　N/mm²
	2 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	種類　(4.3.1)(4.3.3) ・遠心力高強度プレストレストコンクリートくい（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリートくい（ＳＣ杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリートくい（ＰＲＣ杭）
4 地業工事	2 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	

	種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度(N/mm)²	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　(4.3.3)
施工法　(4.3.4～4.3.5)
・特定埋込み杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの)
・セメントミルク工法　支持地盤への掘削深さ　・1.5m程度　・
支持地盤への根入れ深さ　・１m以上　・
水平方向の位置ずれ精度　・100mm以下　・　mm以下
杭の継手　※アーク溶接（　　）　・無溶接継手（　　）　(4.3.6)
杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.8)

3 場所打ちコンクリート杭地業
コンクリートの種別及び設計基準強度　(4.5.4)(表4.5.1)
（　　）種かつ（　　）Ｎ/mm2　以上
スランプ　（　　）
セメントの種類　※高炉セメントＢ種　・　(4.5.4)
帯筋　※参考2.2④丸形(ロ)　・図示　(4.5.4)
鉄筋の最小かぶり厚さ　・　mm　・図示
鉄筋かごの補強　・図示
組み立てた鉄筋の節ごとの継ぎ手　※重ね継手　・重ね継手の長さ　図示による
掘削工法　・アースドリル工法(※安定液使用　・無水掘削)　(4.5.5)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張　※行う　・行わない)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法（鋼管の材料　・　）(4.5.6)
・拡底杭工法　(※安定液使用　・　)
孔壁測定　・行う　・　行わない　(4.5.5～4.5.6)

④ 砂利地業　※再生クラッシャラン　・　切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.2)
⑤ 床下防湿層　施工箇所　※建物内の土間ｽﾗﾌﾞ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下（ﾋﾟｯﾄ下を除く）　(4.6.5)
・図示による

5 鉄筋工事
① 鉄筋の種別　(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
⊙ＳＤ３４５	D19	異形鉄筋
⊙ＳＤ２９５Ａ	D10,D13,D16	異形鉄筋
・		

② 鉄筋の継手及び定着　呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　(5.3.4)
継手位置　※各部配筋参考図による　・図示
機械式定着工法の適用　・適用箇所（・　　・図示　）
・種類（　　）
③ 鉄筋の最少かぶり厚さ　最小かぶり厚さは目地底から算定する　(5.3.5)
④ 帯筋　※H形(□は除く)　・　(参考2.2)
5 最上階柱頭補強　※行う　・　行わない　(参考2.1)
6 壁開口部の補強　一般壁　※A形　・B形　・図示　(参考4.4)
耐震壁　※図示
⑦ 梁貫通孔の補強形式　※H形　・MH形　・M形　(参考7.1)
・既製品(建築基準法による指定又は認定を受けたもの)
⑧ 圧接完了後の抜取試験　※超音波探傷試験　・引張試験　(5.4.9)
9 機械式継手　適用箇所　※図示　・
10 溶接継手　適用箇所　※図示　・

6 コンクリート工事
① 普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度

設計基準強度 Fc(N/mm)²	施　工　箇　所	スランプ
⊙21	・建物躯体	・18
※24	・	・
⊙18	・捨コンクリート・土間コンクリート	・12・15

※構造体ｺﾝｸﾘｰﾄ：発注強度=設計基準強度(Ｆｃ)+構造体強度補正値(Ｓ)
※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.2.1)(表6.2.1)
② ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの類別
③ セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は高炉セメントのＡ種　(6.3.1)(6.3.2)(表6.3.1)
・高炉セメントＢ種（　　）
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱		
	7d	352 J/g以下
	28d	402 J/g以下

④ 骨材の品質　アルカリシリカ反応性による区分　(6.3.1)(6.5.4)
・Ａ
※Ｂ(※コンクリート中のアルカリ総量Ｒｔ=3.0kg/m³ 以下)
⑤ 混和材料の種別　※混和剤　・混和材　(6.3.1)
⑥ 無筋コンクリート　※下記のコンクリートは無筋コンクリートとして扱う。　(6.14.1)
⊙配管埋設用コンクリート　・防水層保護コンクリート　・捨コンクリート
・側溝類コンクリート　・裏込めコンクリート　・
⑦ 型枠材料　外部に面するコンクリート打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む。）の打増し厚さ　※20mm　・図示　(6.8.1)
ひび割れ誘発目地　※図示　・監督員の指示による
⑧ ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体表面の処理　外装ﾀｲﾙ後張り面の躯体表面の処理　(6.8.3)(11.3.5)(15.3.4)
ＭＣＲ工法又は（15.3.4）(4)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を 1.2.2「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督員の承諾を受ける。
適用範囲は１１章タイル工事　3コンクリート素地面の処理による。
コンクリートの増打ち厚さ　※２０mm　・
⑨ コンクリート打放し仕上げ　厚さは合板の厚さとする。　(表6.2.4)

種　別	コーン穴の仕上げ面	厚さ	施 工 箇 所
⊙A種	・面うち　⊙ 面と同一	※12mm　・ 15mm	外構目隠し塀
・B種	・面うち　・ 面と同一	※12mm　・ 15mm	
・C種	・	・12mm	

⑩ 壁中コンクリート　・適用する　※適用しない　(6.11.1)

7 鉄骨工事
1 鉄骨製作工場　・監督員の承諾する製作工場　(7.1.3)
・建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた㈳日本鉄骨評価センター又は（株）全国鉄骨評価機構の「鉄骨政策工場の性能評価基準」に定める「　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
2 施工管理技術者　※適用する　・適用しない　(7.1.3)(7.1.4)
3 鋼材の材質　(7.2.1)(表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等	
			※JIS規格による
			※JIS規格による

4 高力ボルト　※1次形高力ﾎﾞﾙﾄ　・ＪＩＳ形高力ﾎﾞﾙﾄ　・溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ　(7.2.2)
・その他建築基準法に基づき認定を受けたもの（　　）
5 工作図　高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　(7.3.2)
※建築工事監理指針による　・図示
6 開先形状　※鉄骨工事技術指針による　・図示　(7.6.4)
7 スカラップ　※図示による　・監督員の指示による　(7.6.7)
8 溶接部の試験　ＡＯＱＬ　※4．０%　・2．５%　(7.6.12)
検査水準　※第６水準　・図示　(7.6.12)(表7.6.2)

試験の種別	試験箇所	試験方法	
・超音波探傷試験(UT)			※標仕7.6.12(ｲ)による
・放射線試験(RT)			
・マクロ試験			

9 デッキプレートの溶接　・焼抜き栓溶接　・アークスポット溶接　(7.7.8)
・隅肉溶接　・
10 耐火被覆　(7.9.2～7.9.7)

種　別		所要性能及び適用構造区分
・耐火材吹付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・湿式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り		

11 アンカーボルトの保持及び埋込み工法　※構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(形状、寸法は図示による。)　(7.10.3)
・建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(・Ａ種　※Ｂ種)　(表7.10.1)
12 柱底均しモルタル　※Ａ種　・Ｂ種　(表7.10.2)
13 錆止め塗料塗り　※Ａ種　・Ｂ種　(表18.3.1)

8 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事
1 補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造　ﾌﾞﾛｯｸの種類等　(8.2.2)(8.2.3)(8.2.5)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所
・				・無　・有	

モルタルの調合（容積比）　・セメント（　　）：砂（　　）
各部の配筋　※図示　・監督員の指示による
2 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁及び塀　ﾌﾞﾛｯｸの種類等　(8.3.2)(8.3.3)(8.3.4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所
・空洞ﾌﾞﾛｯｸC (16)				・無　・有	
・型枠ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ20				・無　・有	
・				・無　・有	

塀の厚さ　・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　※図示　・
各部の配筋　※図示　・監督員の指示による
3 ＡＬＣパネル　(8.4.2～8.4.5)(表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)

種　類	単位荷重(N/m²)	厚さ(mm)	取付け工法種別等
・外壁パネル	・1180　・1960	・100	・A種　・B種
※平パネル		・120	
・意匠パネル		・	
・間仕切パネル		・80　・100	・C種　・D種　・E種
※平パネル		・	
・屋根パネル	・980	・100	※標仕8.4.5による
・床パネル	・2350　・3530	・100　・150	耐火性能・有り(・1時間　・2時間)

間仕切壁パネル構法　耐震性能（　　）
4 押出成形ｾﾒﾝﾄ板（ＥＣＰ）　(8.5.2～8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)

施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法	耐火性能
・外壁ﾊﾟﾈﾙ	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ			・A種	※有り(　)
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ			・B種	・無し
	・ﾀｲﾙﾊﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ				
・間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ			・B種	※無し
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ			・C種	・有り(　)
	・ﾀｲﾙﾊﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ				

9 防水工事
1 アスファルト防水　(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)～(表9.2.9)

種　別	施　工　箇　所
・ＡＩ－１	
・ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	

アスファルト　※３種　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※ 25　・　(9.2.2)
材質　屋根保護防水断熱工法　※JIS A 9521押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種b(ｽｷﾝ層付)
材質　露出防水断熱工法　※JIS A 9521発泡ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材若しくは、JIS A 9521硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号
乾式保護材の材料　(9.2.2)

種　類		寸法(mm)：厚さ×幅	適　用
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板（窯業系ﾊﾟﾈﾙ）	※Ⅰ類	※１５　×	※無石綿に限る
	・Ⅱ類	・　×	
・金属複合板		※１２　×	

仕様書(そのⅠ) Ver.050401	新潟県 村上市

備考

発注者	工事名称	図面番号
新潟県　村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	特-003
	図面名称：建築工事特記仕様書-1	縮尺：A1: Non Scale　A3: Non Scale

㊞	電	
構	機	

9 防水工事

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3)

種 別	厚 さ	施 工 箇 所
・		
・		

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2)

種 別	厚 さ	施 工 箇 所	仕上塗料塗り	使用分類
・			・ シルバー	・非歩行
・			・ カラー	・軽歩行

接着工法の場合 (9.4.3)
脱気装置 種類 ※製造所の仕様 ・
設置数量 ※製造所の仕様 ・ ㎡当たり１箇所

ＰＣコンクリート部材下地 (9.4.4)
目地処理(接着工法) ※図示
入隅部の増張り(S-F1、SI-F1工法の場合) ・行わない ・行う(幅 mm程度)

4 塗膜防水

(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施 工 箇 所	備 考
・Ｘ－１		仕上塗料塗り ・シルバー ・カラー
・Ｘ－２		

種別 Ｘ－１の脱気装置
・設ける 種類 ※製造所の仕様 ・
設置数量 ※製造所の仕様 ・ ㎡当たり１箇所

⑤シーリング

下表以外は標仕表9.7.1による。 (9.7.2)(表9.7.1)

施 工 箇 所	シーリング材の種類(記号)

接着性試験 (9.7.5)
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験(施工部位)
ただし試験成績書を監督員に提出し、承諾を得た場合は試験を省略できる

⑥防水の保証等

※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする。

工 法 種 別	施 工 箇 所	保 証 期 間
・ 工法		１０年間
・ 工法		１０年間

※保証書の提出部数 正本 部・副本 部

10 石工事

1 天然石張り

石の種類・表面仕上げ (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種類	等級	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	仕上げの種類
・床石		※２等	※正方形に近い矩形			

2 テラゾ張り

種石の種類 ※大理石 ・ (10.2.1)
表面仕上げ ※本磨き ・ (表10.2.2)

3 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理 ・ 行う (10.6.2)
屋内のワックス掛け ・ 行う (10.1.5)

11 タイル工事

①セラミックタイル

タイルの種類 (11.2.2)

施工場所・用 途	形状寸法 (mm)	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役 物 あり	役 物 なし	色 標準	色 特注	備 考
観光案内	295x47x9	・	⊙	・	⊙	・	⊙	⊙	・	
cafeスペース	295x47x9	・	⊙	・	⊙	・	⊙	⊙	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う（※外装タイル ・ ）

②壁タイル張り工法

内装タイル ・改良積上げ張り (11.2.7)(表11.2.3)
外装タイル ・密着張り・改良積上げ張り・改良圧着張り
ユニットタイル（内装タイル以外） ・マスク張り・モザイクタイル張り
下地モルタル塗り ※標仕15.3.5
タイルの試験張り ※行わない ・行う（※外装タイル ・ ）

3 コンクリート素地面の処理

・ＭＣＲ工法 ・目荒らし工法 (11.2.7)
施工範囲 ※ 図示

12 木工事

①表面仕上げ

(12.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2)

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	⊙Ａ種	
	・ Ｂ種	
	・ Ｃ種	
手加工	⊙Ｈ－Ａ種	
	・ Ｈ－Ｂ種	
	・ Ｈ－Ｃ種	

②製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)(表12.2.1)(表12.2.2)

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
			※ 2級 ・				
			※ 2級 ・				
			※ 2級 ・				

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
見え掛り面			※ 上小節 ・				
見え掛り面以外			※ 小節以上 ・				

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	材面の品質
			※ 1等 ・	※ 10%以下 ・		
			※ 1等 ・	※ 10%以下 ・		
			※ 1等 ・	※ 10%以下 ・		

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率
			( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	
			( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	
			( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	

③造作用集成材

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ (12.2.1)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	品名	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
					※ 1等・ 2等
					※ 1等・ 2等
					※ 1等・ 2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の等級
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：			
		化粧薄板： 芯材：			
		化粧薄板： 芯材：			

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・

④造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ (12.2.1)
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用
			・ 有り （・ 天然木加工 ・ 塗装加工） ・ 無し（等級： ）	・適用する ・適用しない
			・ 有り （・ 天然木加工 ・ 塗装加工） ・ 無し（等級： ）	・適用する ・適用しない

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用
		・ 有り （・天然木化粧加工・塗装加工） ・ 無し（ ）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
		・ 有り （・天然木化粧加工・塗装加工） ・ 無し（ ）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

⑤直交集成板

・直交集成板（ＣＬＴ） (12.2.1)

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)

⑥合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名
		※5.5 ・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	
		※5.5 ・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	保存処理	防虫処理の適用	強度等級
		※12 ・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・指定する ( ) ・指定しない
		※12 ・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・指定する ( ) ・指定しない
		※12 ・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・指定する ( ) ・指定しない

12 木工事 ⑥合板等

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類 ・特類	・適用する ・適用しない
				・1類 ・特類	・適用する ・適用しない
				・1類 ・特類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理
		・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
		・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
		・1類 ・2類		・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品目	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない
			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない
			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・構造用パネル

施工箇所	品名	等級	厚さ(mm)
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級	
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級	

・ミディアムデンシティーファイバーボード（ＭＤＦ）

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

⑦接着剤

ホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・ (12.2.2)(12.2.3)

⑧防腐・防蟻処理

・ 防腐、防蟻処理を省略できるが樹種による製材 (12.3.1)(12.3.2)
適用部位：( )
・ 薬剤の加圧注入

適用部材	保存処理性能区分
	・ Ｋ２ ・ Ｋ３ ・ Ｋ４
	・ Ｋ２ ・ Ｋ３ ・ Ｋ４
	・ Ｋ２ ・ Ｋ３ ・ Ｋ４

・ 薬剤の接着材への混入
適用部位（ ）
・ 防虫処理
適用部位（ ）

13 屋根及びとい工事

①長尺金属板葺

(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)
完全嵌合式立平葺	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板	※0.4
	⊙ﾌｯ素樹脂塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板	⊙0.45
立平葺	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板	※0.4

②折板葺

(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形 式	※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形
形状(mm)	山高(88）山ﾋﾟｯﾁ( ) 板厚 ※ 0.6 ⊙ 0.8
耐力による区分	・１種 ・２種 ・３種 ・４種 ・５種
材 料 （規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板 ・
軒先面戸板	※有り ⊙無し
断熱材	※有り（種別 厚 mm） ⊙ 無し
耐火性能	※30分耐火 ⊙ 無し

③とい

材 種 ※配管用鋼管 ・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (13.5.2)(表13.5.1)
⊙アルミニウムフッ素焼付塗装（バンドレス）
鋼管製といの防露 ※ 標仕表13.5.4による
掃除口 ・有り ⊙無し

14 金属工事

①あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※ 適用する。 (14.1.3)

②ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種 類	施 工 箇 所
⊗ＨＬ程度	特記無き箇所
・Ｎo２Ｂ程度	
・鏡面仕上げ	
⊙アクリル焼付	図示の箇所

③アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種 別	色合い	施 工 箇 所
・BB－１種	無着色	
⊙BB－２種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ ⊙ﾌﾞﾗｯｸ	サッシ
・		

④鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理法	種 別	施 工 箇 所
溶融亜鉛めっき	⊙Ａ種(板厚6.0mm以上)	屋外鉄部
	⊙Ｂ種(板厚3.2mm以上)	屋外鉄部
	⊙Ｃ種(板厚1.6mm以上)	屋外鉄部
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

⑤軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法 (14.4.3)(表14.4.2)
※下記以外は、標仕14.4.3及び表14.4.2による

下地材の間隔 (mm) 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 中央部	周辺部	野 縁	施 工 箇 所

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を、標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。
ふところが３ｍを超える場合の補強 ※図示 ・ (14.4.4)

6 金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

形 状	製法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	色合い
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・押出し ・ﾛｰﾙ	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・			・BB-1種	無着色
・ﾊﾟﾈﾙ形	※ﾌﾟﾚｽ ・				・BB-2種 ・	・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ

伸縮調整継手 ※設けない ・設ける（施工箇所は図示） (14.6.3)

⑦ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木

オープン形式アルミニウム製笠木の種類 (14.7.2～3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種 類	呼称肉厚(mm)	表面処理及び色合い		固定間隔・方法
⊙250形	1.6以上	・BA-1種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系	建築基準法に基づき指定する条件により定める
・300形	1.8以上	⊙BA-2種	・ﾌﾞﾗｯｸ	
・350形	2.0以上	・	⊙ｽﾃﾝｶﾗｰ	
・				

コーナー部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

15 左官工事

①床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.4.2による (表6.2.5)(15.4.1)(15.4.2)

施 工 箇 所	平たんさ (mm)	備 考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(ﾊﾟﾈﾙ構法)範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(溝構法)範囲	3mにつき 7以下	

②仕上塗材仕上げ

(15.6.2)(表15.6.1)

種 類	呼 び 名	仕上げの形状等
⊙薄付け仕上塗材	⊙外装薄塗材Ｅ	※砂壁状 ・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ ・ ・ ・ ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ※凹凸状 耐候性 ※３種 ・２種 ・１種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 外観 ※つやあり ・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ 防水形は増塗を行う。

防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。 (15.6.2)

3 しっくい塗り

※施工箇所

室名	部位

※左官業者
新潟県左官業協同組合（平成26年12月31日に解散した新潟県左官同業会を含む。以下、同様。）の組合員が、新潟県左官業協同組合主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。
※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法
「既調合しっくい塗り標準仕様書」（新潟県土木部都市局営繕課）による。

16 建具工事

1 見本の製作等

・見本の製作 （建具番号 ） (16.1.4)
・特殊な建具の仮組等（建具番号 ）

2 防犯建物部品

※適用する（適用部品及び適用位置は図示による） (16.1.6)

③ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

外部に面する建具の性能等級等(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地及び鉄骨下地) (16.2.2)(表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０	
※Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	・	

外部に面する建具の性能等級(木下地) (16.2.2)(表16.2.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ｄ種	Ｓ－２	Ａ－３	Ｗ－３		
⊙Ｅ種	Ｓ－３	Ａ－４	Ｗ－４	図示	各所

表面処理 (16.2.4)(表14.2.1)

施工箇所	種 別	色 合 い 等
外部建具	※BB-１種 ⊙BB-２種 ・	・無着色 ⊙標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系 ⊙ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ） ・
内部建具	・BC-１種 ・ ⊙BC-２種	・無着色 ⊙標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系 ⊙ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

4 樹脂製建具

外部に面する樹脂製建具の性能等級(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地及び鉄骨下地)(16.3.2)(表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４		
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５		
・Ｃ種	Ｓ－６				

外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地) (16.3.2)(表16.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ｄ種	Ｓ－２	Ａ－４	Ｗ－３		
・Ｅ種	Ｓ－３				

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級 (16.3.2)(表16.3.2)

性能等級	施工箇所
・Ｔ－１	適用箇所は建具表による
・Ｔ－２	

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級 (16.3.2)(表16.3.3)

断熱性の等級	熱貫流率 (W/（㎡･K)	施工箇所
・Ｈ－４	2.9以下	適用箇所は建具表による
・Ｈ－５	2.3以下	
・Ｈ－６	1.9以下	
・Ｈ－７	1.5以下	
・Ｈ－８	1.1以下	

仕様書(そのⅡ) Ver.050401 新潟県 村上市

備考	
発注者	新潟県 村上市
工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事
図面番号	特-004
図面名称	建築工事特記仕様書-2
縮尺	A1: Non Scale A3: Non Scale
㊞	電
構	機

16 建具工事

4 樹脂製建具

ガラス　※複層ガラス　・単板ガラス　・三重ガラス　(16.3.3)
表面色　標準色（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）　(16.3.4)
水切り　※図示　(16.3.5)

⑤網戸
防虫網　(16.2.3)
網の種別　※合成樹脂製　・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS316)製
形　式　・外部可動式　・固定式　○図示

⑥鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）
簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.4.2)(表16.4.1)
※適用する(適用箇所は建具表による)　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　(16.4.2)(表16.2.1)
○Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効間口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合）
※下表以外は表16.4.2による　(16.4.4)(表16.4.2)

区分		使用箇所	厚さ(mm)
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

（上表によるほか、建具製作所の仕様による性能など資料を提出し、監督員の承諾を受ける。）
・図示

⑦鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）
簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.5.2)
○適用する（適用箇所は建具表による）

⑧ｽﾃﾝﾚｽ製建具
簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.4.2)(表16.4.3)
・適用する（適用箇所は建具表による）
外部に面する建具の耐風圧性　(16.6.2)(表16.2.1)
○Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　(16.6.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　(16.6.5)

⑨木製建具
かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）　(16.7.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度　・鳥の子　(表16.7.3)
ふすまの縁の仕上げ　・塗り縁　・生地縁　(表16.7.10)

⑩建具用金物
マスターキー　※製作する（３本）　・製作しない　(16.8.4)
鍵札数量　○錠前１組に２枚とする　・錠前１組に　枚とする
かぎ箱　市販品　形式　○３０組用　・６０組用　・１２０組用
(16.9.2)(16.9.3)(表16.9.1～4)

⑪自動ﾄﾞｱ開閉装置

引き戸用駆動装置の種類	引き戸用検出装置の種類		防　錆
・SSLD-1	・光線（反射）ｾﾝｻｰ	・電波ｾﾝｻｰ	・適用する
・SSLD-2	・熱線ｾﾝｻｰ	・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ	・適用しない
・DSLD-1	・音波ｾﾝｻｰ	・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ	
・DSLD-2	・光電ｾﾝｻｰ	・多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ	

凍結防止措置　※ 行わない　・ 行う（　　）　(16.9.3)
※適用する（適用建具及び適用位置は図示による）　(16.10.1)

⑫自閉式上吊り引戸装置

⑬重量シャッター
シャッターの種類　(16.11.2)
○1管理用シャッター　・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター　・防炎シャッター
管理用シャッター及び外壁防火シャッターの耐風圧強度（　1000　）N/㎡
(16.11.2)
開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.11.2)(表16.11.1)
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(16.11.2)

14 軽量シャッター
開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　(16.12.2)
外部に面するシャッターの耐風圧強度（　　）N/㎡　(16.12.2)
スラット　(16.12.3)(16.12.4)(表16.12.2)

材　質	めっき付着量	厚さ(mm)	形　状
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯	※Z06又はF06 ・	・ 0.5 ・ 0.6	※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯	※AZ90 ・	・ 0.8 ・ 1.0	

ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等　※鋼板製　・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304(厚さ1.5mm)　(表16.12.2)
ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　厚さ（mm）　・0.4　・0.8　・　(表16.12.2)
(16.13.2)(16.13.3)

15 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾅｶﾙ形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)

耐風圧性能による区分　・５０　・７５　・１００　・１２５　(16.13.2)

⑯ガラス
下記以外は、建具表による　(16.14.2)
・合わせガラス
特性による種類　・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
○強化ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類
○フロート強化ｶﾞﾗｽ	・Ⅰ類
・型板ｶﾞﾗｽ	○Ⅲ類（曲面はⅠ類）

○複層ガラス

種　類	断熱性、日射遮へい性による区分
○断熱複層ｶﾞﾗｽ	・Ｔ１　・Ｔ２　・Ｔ３　○Ｔ４　・Ｔ５　・Ｔ６
・日射熱遮へい複層ｶﾞﾗｽ	・Ｇ　・Ｓ

・熱線吸収板ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類	色　調
・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ	・１種	・ｸﾞﾚｰ　・ｸﾞﾘｰﾝ
・熱線吸収網入り磨き板ｶﾞﾗｽ	・２種	・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ｸﾞﾘｰﾝ

・熱線反射ガラス

種　類	材料板ｶﾞﾗｽの種類	日射遮へい性	耐久性
※熱線反射ｶﾞﾗｽ ・高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ	・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収板ｶﾞﾗｽ ・強化ｶﾞﾗｽ ・倍強度ｶﾞﾗｽ	・１種 ・２種 ・３種	・Ａ類 ・Ｂ類

・倍強度ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類の名称	色　調
※フロート倍強度ｶﾞﾗｽ	
・熱線吸収倍強度ｶﾞﾗｽ	・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾙｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・

16 建具工事

⑰ガラス留め材　(16.14.2)(表9.7.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材　※ｶﾞｽｹｯﾄ（FIX部はｼｰﾘﾝｸﾞ材）
鋼製及び軽量鋼製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材
ステンレス製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材

18 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み　(16.14.5)

寸法(mm)		表面形状		性能等	
呼び寸法	厚さ	色　調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア ・		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製 ・	・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による ・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　・
シーリング材
下記以外は標仕表9.7.1による　(16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)

被着体の組合せ	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分

⑲ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　95%以上
・			

品質　JIS A 5759による

18 塗装工事

①素地ごしらえ
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の継ぎ目処理工法の場合　(18.2.7)(表18.2.7)
種別　※Ａ種　・Ｂ種（施工箇所：　　）

②錆止め塗料塗り
２回目の錆止め塗料塗り　(18.3.3)
・鉄骨等の製作工場　○工事現場

③耐候性塗料塗り
鉄工面耐候性塗料塗りの上塗り塗料　(18.7.2)
○1級　・２級　・３級
亜鉛メッキ鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料　(18.7.3)
○1級　・２級　・３級
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面耐候性塗料塗りの種別　(18.7.4)
○Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

④塗装業者　※日本塗装工業会の会員　・監督員の承諾する業者

19 内装工事

①ビニル床シート　(19.2.2)

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＦＳ・ＴＳ	※無地　・○ﾏﾙ柄	※2.0
・発泡層のあるもの	・ＨＳ・ＫＳ	※柄物　・無地	
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所　　）　(19.2.3)
(19.2.2)

②ビニル床タイル

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	備　考
※ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＫＴ	※2.0	
・単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＴＴ	・	
・複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＴ	・	
・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＡ	・	
・薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＢ	・	

③誘導用、注意喚起用床材
視覚障害者用床ﾀｲﾙ　(19.2.2)

適用箇所	種　類	寸　法(mm)	形　状
屋　内	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系	※300×300　・	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ
	・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300　・	JIS T 9251
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	による
屋　外	○ｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300×60　・300×300×30	色彩は黄色を
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	原則とする

④ビニル幅木
厚さ(mm)　※1.5　・　・　(19.2.2)
高さ(mm)　※60　・75　・100

5 帯電防止床ﾀｲﾙ　(19.2.2)

種　類	厚さ(mm)	性　能
・ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※2.0　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ｴﾎﾟｼｴｱﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※4.0又は4.5	1.0×10^{9} Ω以下、又は、
・	・	漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
・	・	1.0×10^{10} Ω未満

⑥カーペット敷き
・織じゅうたん　(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)

種別	織り方	ﾊﾟｲﾙ形状	帯電性	色・柄等
・Ａ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	人体帯電圧	※単一色(無地)
・Ｂ種	・ﾀﾞﾌﾞﾙｴｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ	・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※3kV以下	・柄物(標準品)
・Ｃ種	・ｱﾍｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・	

・タフテッドカーペット　(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長(mm)	工　法	帯電性
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※5.0～7.0　・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	人体帯電圧 ※3kV以下 ・
・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※4.0～6.0　・		
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※4.0		
・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・		

○タイルカーペット　(19.3.3)

種　別	ﾊﾟｲﾙ形状	電気抵抗値(Ω)	寸　法	層　厚	施工箇所
※第一種	※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※適用しない	※500角	※6.5mm	・
・	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	○10 Ω以下	・	・	・

(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.4～表19.4.8)

7 合成樹脂塗り床

種　別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上　・防滑仕上　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ工法（※平滑　・防滑）
	・厚膜流し展べ工法（※平滑　・防滑）
	・樹脂モルタル工法（※平滑　・防滑）
	・薄膜型塗床工法

19 内装工事

8 床用塗料塗り
材　質　ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗料　（※標準色　・　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5Kg/㎡以上とする。

⑨防塵用塗料塗り
材　質　水性ｱｸﾘﾙ系塗料　（※標準色　・　）
仕上種別　ｺｰﾃｨﾝｸﾞ(ﾛｰﾗｰ刷毛塗り)
塗布量　主剤2回りとし、総塗布量は0.25Kg/㎡以上とする。

10 フローリング張り　(19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

品　名	樹　種	種　別	工　法	現場塗装仕上げ
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	※なら ・		・根太張り工法 ・直張り工法 ・接着工法 ・	・行う ・行わない
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	※なら ・			・行う ・行わない
・天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種		・行う ・行わない

⑪畳敷き
畳の種別　(19.6.2)(表19.6.1)
・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種(・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　※KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N)

⑫せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ張り　(19.7.2)(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ(mm)・規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25
○けい酸カルシウム板	０.８ＦＫ	・　　ﾀｲﾌﾟ２(無石綿)
○ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	ＤＲ	○2ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ　◎9.0　○12.0　・　) ・四角凸ﾀｲﾌﾟ(※12.0　・15.0)　((個)不燃)
○せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｒ	○9.5 (準不燃)　○12.5 (不燃)
○不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－ＮＣ	9.5(不燃)　○化粧無(下地張り用) ・化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾅ模様)
○ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｓ	○9.5 (準不燃)　○12.5 (準不燃)
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｆ	・12.5 (不燃)　・15.0 (不燃)
○ﾊﾟﾙﾌﾟｼｽﾄ木毛セメント板		○16

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音ｼｰﾙ材　(19.7.2)(表9.7.1)
※適用する（・アクリル系　・ポリウレタン系　・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
・せっこうボードの目地処理　(19.7.2)(表19.7.5)

目地処理の工法	せっこうﾎﾞｰﾄﾞのｴｯｼﾞの種類	施　工　箇　所
○継目処理工法	・ﾃｰﾊﾟｰｴｯｼﾞ　○ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ	
○突付け工法	○ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ　○スクエアエッジ	
○目透し工法		

⑬吸音材　(19.7.1)

種　類	記　号	厚さ(mm)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音材料	ＲＷ－Ｂ	※25　・
※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音材料	ＧＷ－Ｂ	※25　○　50
・		・

⑭壁紙張り　(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備　考
	紙製	織物	ビニル	化学繊維	無機質		
ビニルクロス系	・	・	○	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　(19.8.3)(表18.2.4)(表18.2.5)(表18.2.7)
ﾓﾙﾀﾙ､ｺﾝｸﾘｰﾄ面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

⑮断熱材打込み工法
断熱材　(6.8.2)(19.9.2)

断熱材の種類				厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	・１号　・２号　・３号　・４号			・ ・
・押出法 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	・１種b	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ		・
	・２種b	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ		・
	・３種a	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ		・
	・３種b	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ		
	スキン層	・あり　・なし		
○硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材	○1種	○1号　・２号　・３号		○35
	・２種	・１号	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ	・
		・２号	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ　・Ｆ	・
		・３号		
		・４号		
	・３種	・１号	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ	
		・２号	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ	
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材	・１種	・１号	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ	・
		・２号	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ	・
		・３号	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ	・
	・２種	・１号Ａ　・２号Ａ　・３号Ａ		
	・３種	・１号Ａ		
・断熱材兼用型枠	建設技術評価規定（昭和53年　建設省告示第976号）に基づき建設大臣が評価した工法			・

⑯断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・Ａ種１　○Ａ種１Ｈ　(19.9.3)
断熱材の吹付け厚さ　・ 35 mm

20 ユニット及びその他工事

①基本要求品質　(20.1.2)
特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

②耐震スリット

方　向	表面仕上げ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型)ｽﾘｯﾄ	・耐火型	・有り ・無し

	目地材	目地寸法(mm)
内壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かりのみ）	※20×10
外壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（内外とも）	※20×10

20 ユニット及びその他工事

③ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ　(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能 注(1)	表面仕上げ材 注(2)
事務室	○ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	○150 ※50未満	○1.0G ・0.6G	・3,000N ○5,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ○ｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	・ ※50未満	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

注(1)：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注(2)：表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。
ｽﾛｰﾌﾟ及びﾎﾞｰﾀﾞｰ
※製造所の標準仕様（ただし、構成材は標仕20.2.2(2)(イ)による）　・図示
ｺﾝｾﾝﾄ等の取付け対応
仕様　※製造所の標準仕様（ｺﾝｾﾝﾄ本体は別途設備工事）
ｺﾝｾﾝﾄの箇所数　※10～15㎡に1箇所程度
配線用取出しﾊﾟﾈﾙ
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※20～30%
配線取り出し開口　※40mm×80mm程度の開口
空調用吹き出しﾊﾟﾈﾙ
※無し　・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

4 可動間仕切　(20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ	遮音性(JIS による記号)
※ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・	※鋼板 (※0.6　・0.8) ・	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付け ・ｱｸﾘﾙ樹脂焼付け ・	・有り

不燃材料の認定　・有り

5 移動間仕切　(20.2.4)

遮音性能区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般ﾀｲﾌﾟ	・	※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式　・部分電動式
・遮音ﾀｲﾌﾟ　(注1)	・	※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式　・部分電動式

注：表面仕上げの壁紙張りの品質は１９章内装工事　１５壁紙張りによる。
遮音性能　※36dB/500Hz以上　・36dB/500Hz未満
パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様　・

⑥トイレブース
表面仕上げ材　○ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板（標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き）　(20.2.5)
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板（標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き）
脚部(ｽﾃﾝﾚｽ製)　※幅木ﾀｲﾌﾟ　・支柱ﾀｲﾌﾟ
ﾄﾞｱｴｯｼﾞ　※曲面形　・ﾌﾗｯﾄ形　○製造所の仕様

⑦手すり及びタラップ　(20.2.6)(20.2.12)(表14.2.2)

種　類	材料の種別	表面処理	
・手すり	※ｽﾃﾝﾚｽsus304	※ＨＬ程度　・鏡面程度　・	
	・鉄	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種　・ 内部　※Ｅ種　・	
○ﾀﾗｯﾌﾟ	※ｽﾃﾝﾚｽsus304	※研磨なし　・	
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種　・	

⑧階段滑止め
材　種　※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ　・黄銅　(20.2.7)
形　状　※ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾄ入り　・ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾄなし
両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ　※有り（ｽﾃﾝﾚｽ製　※ﾋﾞﾆﾙ製）　・無し
幅(mm)　・30　・35　・40　・
取付け方法　※接着工法　・　埋込み工法

⑨階段手すり

種　別	施工箇所
※集成材ｸﾘｱﾗｯｶｰ仕上げ(市販品) 径　・38mm　・45mm　・60mm	
・ビニル製手すり(幅 約40mm)	

⑩黒板及びホワイトボード　(20.2.9)

種　類	区　分	種　類	備　考
・黒板	※焼付け ・	※鋼製 ・ほうろう	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	・	・	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分

⑪ブラインド　(20.2.14)

形　式	種　類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄの幅(mm)
※横形	※ｷﾞｱ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・樹脂製 ・木製	※25 ・35 ・100
・縦形	・1本操作ｺｰﾄﾞ ※2本操作ｺｰﾄﾞ	・焼付け塗装仕上げのｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・特殊防炎加工のｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100

⑫ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
※市販品（ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　押出し型材）

使用区分	溝幅×深さ(mm)
・横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※90×150　・120×150　・
・縦形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※120×80　・150×80　・
・ｶｰﾃﾝ（又はﾚｰｽ共）	※150×80　・180×80　・
・ｶｰﾃﾝ＋横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※180×150　・

色彩　・Ｂ－１　・Ｂ－２（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
○図示

13 ロールスクリーン　(20.2.15)

操作方法	幅及び高さ	材　種	品質等
・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式 ・ｺｰﾄﾞ式(ﾁｪｰﾝ式) ・電動式	・ ・ ・	・ｶﾞﾗｽ繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	

巻取りﾊﾟｲﾌﾟ、ｳｪｲﾄﾊﾞｰ、操作ｺｰﾄﾞ、操作ﾁｪｰﾝの材料
※製造所の仕様　・

14 カーテン及びカーテンレール　(20.2.16)

取付箇所	形　式		開閉操作方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工品
・ ・	・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ	・ ・

暗幕用ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

仕様書(そのⅢ)　Ver.050401

新潟県　村上市

備考

発注者	工事名称	図面番号
新潟県　村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	特-005
	図面名称：建築工事特記仕様書-3	縮尺：A1: Non Scale　A3: Non Scale

建	電
構	機

20 ユニット及びその他工事

カーテンレール (20.2.16)

強さによる区分	材料	仕上げ	形状
※10-90	※アルミニウム製	※アルマイト	※角形
・	・ステンレス製	・	・

(15) ピクチャーレール

レール　材質　アルミニウム製(シルバー)
形式　先付け天井埋込型(見切縁兼用)
ランナー　材質　本体：真鍮製　フック：ステンレス製(可動式)
耐荷重　25kg程度／個
個数　２個／レール１ｍ

(16) 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法（mm）
⊙額縁タイプ	下記以外全て	※450×450
⊙目地タイプ	※図示 ・天井仕上げ材がDRの範囲	・600×600

(17) 床下点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法（mm）
※アルミ製	※アルミ　・ステンレス　・黄銅	下記以外全て	※600×600
・ステンレス製			・

18 積雪表示板

※塩化ビニル製（白）、ステンレスナット(10mm)４本詰め、文字入れ共
取付け場所（・図示　・監督員の指示による　）
寸法　１８０×１６０×５

設計積雪量
下記の積雪量を超えるときは
雪下ろしが必要です
設計積雪量　○．○m
設計者　株式会社○○設計事務所
施工者　○○建設株式会社
竣工年月日　令和○○年○○月○○日
160mm
180mm

(19) 表示

室名札 (20.2.11)

材質	寸法(mm)	突出型	面付型	文字形式	受金具
※塩化ビニール製	※260×80×5	ヶ所	ヶ所	※文字書込み	※ステンレス(SUS304)
⊙アクリル樹脂製	⊙図示	図示	図示	・文字彫込み	・
⊙県産杉板材	⊙図示	図示	図示	⊙印刷	

20 くつふきマット

市販品
材質　・塩化ビニル製(コイル状　ステンレス製受枠)
・ビニル製(ステンレス製受枠)
・硬質アルミニウム製（受枠とも）
・ステンレス製（受枠とも）

(21) 流し台ユニット

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

種類	寸法（L=mm）	適用内容	規格・品質等
⊙流し台	※図示	トラップ付き	・優良住宅部品
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード　※有り	(セクショナルキッチンⅠ型)
⊙つり戸棚	※図示		・市販品
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製　※1段式	※市販品

22 屋内掲示板　枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※特殊発砲ビニール張り

(23) 洗面カウンター　材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）・人工大理石（品質　※図示）
奥行き(mm)　・約450　・約600

24 敷地境界石標　・かこう岩（文字記号等入り）
※コンクリートブロック製の市販品程度

21 排水工事

(1) 排水管

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種　・２種）	B形（ゴム接合）
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	※ＶＰ　・ＶＵ ・ＲＳ－ＶＵ	
・		

(2) 排水桝及びふた

側塊の形状及び寸法　・図示　・

鋳鉄製マンホールふた (21.2.1)

種類		適用荷重
・水封形	・中ふた付密閉形(テーパー・パッキン式)	・T-2　・
・簡易気密形(パッキン式)	・密閉型（ボルト・パッキン式）	・T-6　・
・密閉形(テーパー・パッキン式)		・T-20　・

グレーチングふた (21.2.1)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	⊙溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形
⊙ステンレス製	・	⊙桝ふた用	⊙T-2	⊙普通目	※平形
	ボルト固定	・かさ上げ用	・T-6		
	※無し	⊙U字溝用	・T-14	⊙細目	・凹凸形
	⊙図示		・T-20		
			・		

(3) 埋戻し土　※Ｂ種　・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.1)

(4) 暗きょ、縁石及び側溝　コンクリート縁石及び側溝 (21.3.1)

名称	形状	寸法
⊙縁石	・	・
・Ｌ型側溝	・	・
・Ｕ型側溝	・	・
・Ｕ型側溝ふた	・	・

砂利地業の厚さ　※100mm　・　mm (21.3.2)

22 舗装工事

(1) 盛土に用いる材料　・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3)(表3.2.1)

2 凍上抑制層の材料　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・切り込み砂利　・ (22.2.3)
※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1)
砂の粒度試験　・行う　⊙行わない

3 路床安定処理　種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・高炉セメントB種　・生石灰(・特号　・１号)　・消石灰(・特号　・１号)
添加量　kg／m3(目標CBR　・3以上　・5以上　・　)

4 路床の試験　支持力比（CBR）試験　・行う（※乱した土　・乱さない土）・行わない (22.2.5)
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない

(5) 路盤材料　路盤の厚さ　⊙図示 (22.3.2)
路盤材料
※再生クラッシャラン(RC－40)　・アスファルト再生クラッシャラン(ARC－40) (22.3.3)(表22.3.1)
・クラッシャラン(C－40)　・クラッシャラン鉄鋼スラグ(CS－40)
・粒度調整砕石

6 路盤の締固め度試験　※行う (22.3.5)

(7) アスファルト舗装
再生アスファルトの種類　⊙60～80　・80～100 (22.4.2)
加熱アスファルト混合物等（表層）の種類 (22.4.4)
・密粒度アスファルト混合物(13)　・細粒度アスファルト混合物(13)
※密粒度アスファルト混合物(13F)
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　※行わない (22.4.6)

(8) コンクリート舗装
コンクリートの種類　※普通コンクリート　・ (22.5.3)(表22.5.1)

部位	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	厚さ (mm)
・車路及び駐車場	※24	※8	砂利の場合　・25　・40 砕石の場合　・20　・25	・150 ・200
⊙歩行者用通路	※18	※8	・砂利の場合　25 ・砕石の場合　20	・70

早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.2)

9 カラー舗装 (22.6.2)(表22.6.1)

区分	舗装の種類	着色部の下部	部位	厚さ(mm)
※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物		・車道 ・歩道	・ ・
・常温系	・ニート工法 ・塗布工法	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		

加熱系混合物に添加する材料 (22.6.3)
・着色骨材（　）・自然石（　）
配合 (22.6.4)
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　・
ニート工法及び塗布工法の配合等　・
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.6.6)

10 透水性アスファルト舗装
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.7.6)
厚さ試験　・行わない　※行う (22.7.6)

(11) ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※普通平板(N)　・保水性平板（M）	※300角	※60	※砂
・透水性平板(P)	・	・	・モルタル

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等
※普通ブロック（N）	・3.0N/mm2	車道部　※80	※標準タイプ
・透水性ブロック（P）	・5.0N/mm2	・	・表面化粧タイプ
・保水性ブロック（M）	・	歩道部　※60	誘導、注意喚起用
		・	は黄色とする

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	厚さ(mm)	施工方法	基層
※小舗石（かこう岩）	※60～100(図示)	※うろこ張り	※コンクリート版（厚70mm）
・	・	・	・アスファルト混合物（厚50mm）

12 区画線

路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	塗料状態	幅(mm)	厚さ(mm)	適用
JIS K 5665	・１種(ペイント式)	常温	液状	※150 ・		※白 ・黄
	・２種(ペイント式)	加熱				
	※３種１号(溶融式)	溶融	粉体状		※1.0	

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。

23 植栽工事

(1) 土壌の試験　・水素イオン濃度指数（pH）、電気伝導度（EC）・行う　※行わない (23.1.3)

(2) 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲
※行う　・行わない	※20　・	※Ｂ種　・	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・12以上	※100　・	※Ａ種	※葉張りの範囲
・7以上～12未満	※80　・	・Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・3以上～7未満	※60　・	・Ｃ種	・図示
・3未満	※50　・	・Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
植栽基盤の排水設備　・設ける　⊙設けない (23.2.2)

(3) 植込み用土　※現場発生土の良質土　⊙客土（・黒土　⊙真砂土　・　） (23.2.3)

4 土壌改良材　※使用する（使用量　）　・使用しない (23.2.3)(23.2.4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

(5) 支柱材　※加圧式防腐処理丸太　・竹 (23.3.2)

(6) 幹巻き用材料　※幹巻き用テープ　・わら又はこも (23.3.2)

7 芝張り　種類　※こうらい芝　・野芝 (23.4.2)
工法　平地　※目地張り　・べた張り (23.4.3)
法面　・目地張り　※べた張り

(8) 枯補償及び枯損処理　期間　※引渡しの日から１年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)
・　年間　・　年　月　日迄

9 屋上緑化システム　土壌層　※改良土　・人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3)
・厚さ　mm
排水層　・軽量骨材（厚さ　mm）　・板状成形品 (23.5.3)
・透水排水管

※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日付け 建設省告示第1458号）による風圧力に対応した固定工法を標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

24 追加特記

(1) 公共事業労務費調査への協力　※協力する

(2) 工事監理方式　共同監理　・有り　⊙無し

(3) 適用基準等　・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修）
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）

(4) 総合図　※作成する

(5) 工事成績評定　※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

(6) 工事区分表　※特-008　工事区分表による
注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目		建	電	空	衛	昇	備考
躯体関係							
1.RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○					
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○	
2.S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリーブ・補強	○					
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○	○	○	
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○	○	
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○		
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの		○	○	○		
	機器取付け用アンカー・架台		○	○	○		
	屋内受水タンク用の基礎	○					
仕上げ関係							
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボードの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を要しないボードの切り込み		○	○	○		
	開口部の墨出し		○	○	○		

(6) 工事区分表　※特-008　工事区分表による
注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目		建	電	空	衛	昇	備考
電気関係							
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○		
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）							
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○	△	△	△		小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△		小規模は要協議
流し台、ガス台		○					
便所手洗いカウンター		○					衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台					○		
ガス漏れ警報器					○		
24H換気扇	機器納入				○		取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入				○		取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備

(7) 発生材の処理等

1 再生資材の利用
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2 建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

(3) 建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

受入工事名／施設名称	
工事場所／施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

(4) 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	
処理施設名称	
施設所在地	
連絡先	
備考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

(5) 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第１８条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

(6) 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

(7) 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

(8) 化学物質の濃度測定

1)測定時期
⊙測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。
・測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時と工事完了時に、それぞれ行う。
※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、６）の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質
※ホルムアルデヒド　（指定値0.08ppm以下）
※トルエン　（指定値0.07ppm以下）
※キシレン　（指定値0.05ppm以下）
※エチルベンゼン　（指定値0.88ppm以下）
※スチレン　（指定値0.05ppm以下）
・パラジクロロベンゼン　（指定値0.04ppm以下）

3)測定室
⊙売場（2箇所）　・事務室（1箇所）　・倉庫-1（1箇所）
⊙食堂（2箇所）　・cafeスペース（1箇所）　・厨房（1箇所）　・休憩室（1箇所）○

4)測定方法
測定機器
※パッシブ型採取機器
・監督員の承諾する機器
測定要領
※測定前の措置
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、３０分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。
※測定は次のイ～ハによる。
イ　上記測定前の措置の状態のままで測定する。
ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう１０時３０分から１８時３０分までの時間帯で測定する。
ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。
※その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

5)測定結果の分析
※測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6)測定結果が指針値を超えた場合の措置
※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度４）、５）により、測定を行う。

7)報告書の提出
※測定結果の報告書を監督員に提出する。

(9) 中間技術検査
・本工事は、中間技術検査を１回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。
⊙低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を１回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

仕様書(そのⅣ)　Ver.050401　新潟県 村上市

備考	
発注者	新潟県　村上市
工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事
図面番号	特-006
図面名称	建築工事特記仕様書-4
縮尺	A1: Non Scale A3: Non Scale
	-
意	電
構	機

契約後ＶＥ工事の指定

本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事とする。
契約後ＶＥ方式に関する事項は、「土木部契約後ＶＥ方式試行要領」及び下記の特記仕様書による。
なお、本工事については、建設工事請負基準約款（以下「約款」という。）に以下の条項を追加する。

○建設工事請負基準約款
（設計図書の変更に係る乙の提案）
第２０条の２　発注者が指定した工事について、受注者は、この契約締結後、設計図書に定める工事目的物機能、性能等を低下させることなく、請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、発注者に提案することができる。
２　発注者は、前項の規定に基づく受注者の提案を受けた場合において、提案の全部又は一部が適正であると認められるときは設計図書を変更し、これを受注者に通知しなければならない。
３　発注者は、前項の規定により設計図書を変更した場合において、必要があると認められるときは、請負代金を変更しなければならない。

契約後のＶＥ工事の特記仕様書

1　定義
「ＶＥ提案」とは、約款第２０条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。
2　ＶＥ提案の意義及び範囲
(1) 受注者がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として、工事目的物の変更を伴わないものとする。
(2) 以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含めないものとする。
① 工期の延長等施工条件の変更を伴う提案
② 条件変更が確認された後の提案
③ 入札時に入札参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料又は施工方法等の変更の提案
3　ＶＥ提案書の提出
(1) 受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書（様式１～４）に記載し、発注者に提出しなければならない。
① 設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由
② ＶＥ提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
③ ＶＥ提案が採用された場合の請負代金額の概算低減額及び算出根拠
④ 発注者が別途発注する関連工事との関係
⑤ 工業所有権を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項
⑥ その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項
(2) 発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的な資料、図面その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
(3) 受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。
(4) ＶＥ提案に関する費用は、受注者の負担とする。
4　ＶＥ提案の審査
ＶＥ提案の審査にあたっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。
5　ＶＥ提案の採否等
(1) 発注者はＶＥ提案の採否について、ＶＥ提案の受領後１４日以内に受注者に通知（様式５）しなければならない。ただし、その期間内に通知できないやむをえない理由があるときには、あらかじめ受注者の同意を得た上で、この期間を延長することができるものとする。
(2) 提出されたＶＥ提案が適正と認められなかった場合の前項の通知は、採用しない理由を付して行うものとする。
(3) 発注者は、ＶＥ提案による設計図書の変更を行う場合は、約款第２０条の２の規定に基づくものとする。
(4) 発注者は、ＶＥ提案による設計図書の変更を行う場合は、約款第２５条の規定により、請負代金額の変更を行うものとする。
(5) 前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。
(6) ＶＥ提案を採用した後、約款第１９条の条件変更が生じた場合において、発注者がＶＥ提案に対する変更を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
(7) 発注者は、約款第１９条の条件変更が生じた場合には、約款第２５条第１項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。ＶＥ提案を採用した後、約款第１９条の条件変更が生じた場合の前記(5)のＶＥ管理費については、変更しないものとする。
ただし、双方の責に帰することができない事由（不可抗力や予測することが不可能な事由等）により、工事の続行が不可能、又は著しく工事低減額が減少した場合においては、双方協議して定めるものとする。

6　ＶＥ提案の保護
ＶＥ提案については、その後の工事において、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りでない。
7　責任の所在
発注者がＶＥ提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

（Ａ４　縦）
様式１

年　月　日

Ｖ　Ｅ　提　案　書

村上市長　　○○　○○様

受注者
住　所
氏　名　　印

建設工事請負基準約款第２０条の２に基づきＶＥ提案書を提出いたします。

工　事　名： 契約締結日：	連絡者　氏名 TEL FAX

ＶＥ提案の概要

（注）　記入欄が不足する場合は、様式１に準じて記入して下さい。
概算低減額は、提案を審査する上で参考とするものです。

番　号	項　目　内　容	概算低減額（千円）
概　算　低　減　額　合　計		

ＶＥ提案の詳細

（１）　設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比等
（２）　ＶＥ提案による概算低減額の算出根拠
（３）　その他詳細資料及び図面

（Ａ４　縦）
様式２

番号		項目内容	

（１）　設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比

【現状】……略図等	【改善案】……略図等

（２）　提案理由

（３）　ＶＥ提案の実施方法（材料仕様、施工要領等を記入）

（４）　品質保証の証明（品質保証書の添付等）

（５）　その他

（Ａ４　縦）
様式４

番号		項目内容	

（１）　関連工事との関係

（２）　工業所有権を含むＶＥ提案である場合、その取扱に関する事項

（３）　ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項

（Ａ４　縦）
様式５

第　　号
令和　年　月　日

ＶＥ提案採否通知書

受注者
住　所
氏　名　　様

村上市長　　○○　○○

特記仕様書「　　ＶＥ提案について」に基づき、令和　　年　　月　　日付け
で提出されましたＶＥ提案の審査結果は、下記のとおりです。

工事　番号 ：　　ＶＥ提案項目数：
工　事　名 ：　　採 用 項 目 数：
契約締結日 ：令和　　年　　月　　日　　不採用　項目数：

ＶＥ提案に対する「採否」及びその理由

番号	項目内容	採否区分	適否の理由	特記事項
		採・否		
		採・否		
		採・否		

（注）　採否に関する問い合わせ先
村上市観光課観光交流室

（Ａ４　横）
様式３

番　号		項目内容	

ＶＥ提案による概算低減額及び算出根拠

【現状】					単位：千円	【改善案】					単位：千円
名称及び品質・寸法	数	量　単位	単　価	金　額		名称及び品質・寸法	数	量　単位	単　価	金　額	

仕様書（そのＶ）
Ver. 050401
新潟県 村上市

備考	発注者 新潟県　村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 特-007
		図面名称 建築工事特記仕様書-5	縮尺 A1: Non Scale A3: Non Scale

㊞　電　構　機

付属・付帯工事

○を採用する

項目		建築	電気	機械	別途	備考	項目		建築	電気	機械	別途	備考
付属物品	什器	○	○	○	○		空調換気設備	熱源	○	○	○	○	
	可動家具	○	○	○	○			給油設備	○	○	○	○	
	固定家具	○	○	○	○			冷房	○	○	○	○	
	黒板・掲示板	○	○	○	○			暖房	○	○	○	○	
	カウンター	○	○	○	○			換気	○	○	○	○	
	流し・吊戸棚	○	○	○	○			排煙	○	○	○	○	
	カーテンレール	○	○	○	○			自動制御	○	○	○	○	
	ブラインド	○	○	○	○			ダクト設備	○	○	○	○	
	暗幕	○	○	○	○				○	○	○	○	
	カーペット	○	○	○	○				○	○	○	○	
	マット類	○	○	○	○		給排水衛生・ガス設備	給水	○	○	○	○	
	郵便受	○	○	○	○			排水通気	○	○	○	○	
	旗竿金物	○	○	○	○			給湯	○	○	○	○	
	社名板・館名板	○	○	○	○			飲料用冷水	○	○	○	○	
	各種表示板	○	○	○	○			消火設備	○	○	○	○	
	室名板	○	○	○	○			衛生器具	○	○	○	○	
	書文字	○	○	○	○			ガス	○	○	○	○	
	定礎板（石）	○	○	○	○			厨房器具	○	○	○	○	
	看板類	○	○	○	○			給水処理装置	○	○	○	○	
	可動間仕切	○	○	○	○			排水処理装置	○	○	○	○	
	映写スクリーン	○	○	○	○			浄化槽	○	○	○	○	
		○	○	○	○			ゴミ処理設備	○	○	○	○	
		○	○	○	○			受水槽	○	○	○	○	
		○	○	○	○			焼却装置	○	○	○	○	
		○	○	○	○				○	○	○	○	
特殊設備	金属扉・書庫扉	○	○	○	○				○	○	○	○	
	ユニットバス	○	○	○	○		電気設備	受変電	○	○	○	○	
	搬送機	○	○	○	○			自家発電	○	○	○	○	
	舞台装置	○	○	○	○			蓄電池	○	○	○	○	
	機械駐車設備	○	○	○	○			特殊電源	○	○	○	○	
	窓拭ゴンドラ設備	○	○	○	○			動力	○	○	○	○	
	避難器具	○	○	○	○			電灯コンセント	○	○	○	○	
		○	○	○	○			照明器具	○	○	○	○	
		○	○	○	○			非常照明	○	○	○	○	
外構	各種基礎	○	○	○	○			誘導灯	○	○	○	○	
	照明設備	○	○	○	○			電話機器	○	○	○	○	
	放送設備	○	○	○	○			電話配管	○	○	○	○	
	舗装	○	○	○	○			放送	○	○	○	○	
	路面駐車場	○	○	○	○			電気時計	○	○	○	○	
	門・塀	○	○	○	○			表示設備	○	○	○	○	
	擁壁	○	○	○	○			インターホン	○	○	○	○	
	盛土	○	○	○	○			TV共聴	○	○	○	○	
	屋外排水	○	○	○	○			ITV設備	○	○	○	○	
	植樹造園	○	○	○	○			防災・火災報知機	○	○	○	○	
	パーゴラ	○	○	○	○			避雷針	○	○	○	○	
	池・噴水	○	○	○	○			屋外電気	○	○	○	○	
	旗竿	○	○	○	○			OA	○	○	○	○	
	案内看板	○	○	○	○			LANシステム	○	○	○	○	
	ストリートファニチャ	○	○	○	○			CPU設備	○	○	○	○	
		○	○	○	○			自動車管制	○	○	○	○	
付属建築物	物置	○	○	○	○			気送管	○	○	○	○	
	設備機械室	○	○	○	○			映写	○	○	○	○	
	各種水槽	○	○	○	○			音響	○	○	○	○	
	駐車場上屋	○	○	○	○			警備保障	○	○	○	○	
	立体駐車場	○	○	○	○				○	○	○	○	
	立体駐車場基礎	○	○	○	○				○	○	○	○	
	駐輪場	○	○	○	○				○	○	○	○	
		○	○	○	○				○	○	○	○	
敷地造成	敷地造成	○	○	○	○		昇降機設備	エレベーター	○	○	○	○	
	擁壁	○	○	○	○			非常用エレベーター	○	○	○	○	
	排水	○	○	○	○			エスカレーター	○	○	○	○	
	道路	○	○	○	○			小荷物専用昇降機	○	○	○	○	
	遊水池	○	○	○	○				○	○	○	○	
		○	○	○	○				○	○	○	○	
		○	○	○	○				○	○	○	○	
障害物撤去	既設建物	○	○	○	○		保障	日影	○	○	○	○	
	基礎	○	○	○	○			電波障害	○	○	○	○	
	埋設物	○	○	○	○			風害	○	○	○	○	
	工作物	○	○	○	○				○	○	○	○	
	樹木	○	○	○	○				○	○	○	○	
	舗装	○	○	○	○				○	○	○	○	
		○	○	○	○		その他	広告塔	○	○	○	○	
		○	○	○	○			通信施設塔	○	○	○	○	
移設工事	既設建物	○	○	○	○			消火器	○	○	○	○	
	工作物	○	○	○	○			機械基礎	○	○	○	○	
	樹木	○	○	○	○			ガス漏れ警報	○	○	○	○	
		○	○	○	○			誘導標識	○	○	○	○	
		○	○	○	○				○	○	○	○	
		○	○	○	○				○	○	○	○	
		○	○	○	○				○	○	○	○	

工事区分表

○を採用する

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
躯体関係							
1．ＲＣ造(梁･壁･床の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○			
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○			
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○			
	貫通孔・開口部の補強	○	○	○			
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○			防火区画、防煙区画
2．Ｓ、ＳＲＣ造のはり貫通孔	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強	○					
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○			防火区画、防煙区画
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○			防火区画、防煙区画
3．設備機器の基礎	建築設計図に記入あるもの	○					
	屋内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○			
	屋外・屋上の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○			
	機器取り付け用アンカー・架台	○	○	○			
4.昇降機関連	昇降路の躯体	○					
	昇降路内ピット防水・集水桝・点検用タラップ	○					
	各階出入口穴あけ・同補強	○					
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修						
	出入口扉、三方枠・幕板用補強鉄骨	○					
	出入口扉・三方枠・幕板						
	昇降路がＲＣ造及びＳＲＣ造の時、中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鋼製部材一式						
	昇降路がＳ造の時の中間ビームブラケット受けピース	○					
	昇降路内フック取付け	○					
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口	○					
	制御盤（EV機械室内または昇降路内等）から外部インターホンまでの配管・配線工事						
	点検用コンセント		○				
	制御盤（EV機械室内または昇降路内等）までの動力・照明用電源、アース・照明用電源、アース、防災信号、の配管・配線工事		○				
5．その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○					
	湧水・汚水ピット・ＲＣ造各種水槽（通孔・通気哄）			○			
	同上用防水・マンホール・タラップ等			○			
	避雷設備・同接地工事		○				
	ＡＬＣ板の壁開口・補強	○					
	厨房排水溝	○					
	厨房グリース阻集器			○			
	オイルサービスタンクの防油堤			○			
仕上げ関係							
1．軽鉄天井・壁下地	ボードの切り込み	○	○	○			
	補強を要する下地の補強	○	○	○			
	開口部の墨出し		○	○			

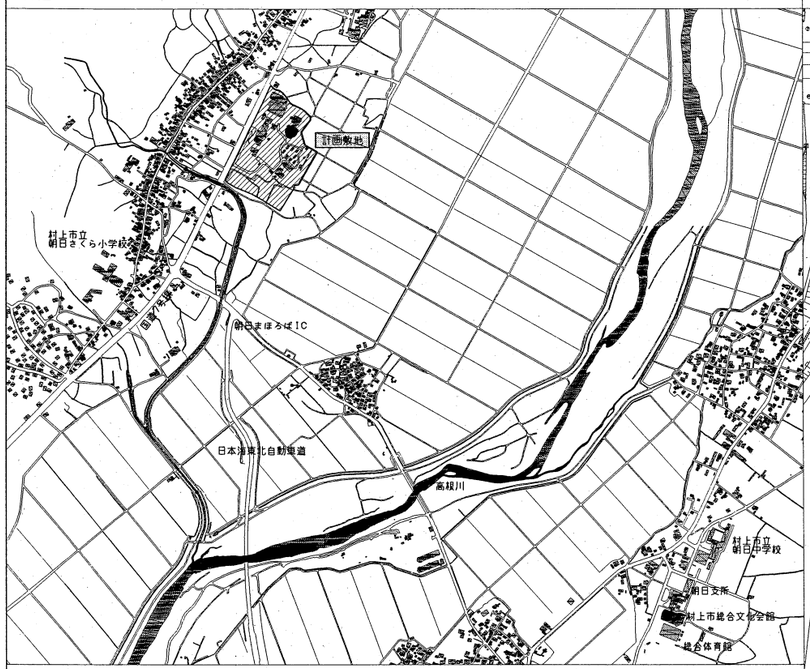
項目		建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
2．可動間仕切り	切り込み及び補強	○					
	位置ボックス	○					
3．つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○			
4．外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					
	小屋裏換気用ベントキャップ	○					
	屋上配管、換気用ハト小屋	○					
5．湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台(二次製品)	○					
	フード（標準詳細図のもの）	○		○			その他はM
6．浴室まわり	ユニットバス、シャワーユニット	○		○			
	既製浴槽（ふたを含む）	○		○			
	浴室及び便所の床排水金物			○			
7．便所まわり	洗面カウンター			○			洗面器はM
	鏡（450×600mm）	○					規格外はA
	ユニット形衛生器具			○			
	手すり･握り棒・同補強	○					
	ライニング	○					
8．事務室まわり	ファンコイルカバー	○					
	家具組み込みの洗面器			○			切り込みはA
9．フリ-アクセスフロア	コンセント		○				
	床パネルの切り込み加工	○					
10．その他	２重ピット及びトレンチのマンホールふた	○					
	機器搬入用フック　ビーム	○					
	チェンブロック		○	○			
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○					
	点検口（天井・床下・壁ＰＳ用等）	○					
	排煙口等の天井仕上材の取付け	○					
	自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ	○					
	消火器ＢＯＸ設置工事	○					
	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○				
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチセンサーへの配管・配線工事	○					
	ドアガラリ及びアンダーカット	○					
	ルーフドレン金物及び立樋工事	○					
	造り付流し台工事	○					
	造り付流し台排水金物	○		○			
	地盤調査及び試験の結果により、地業・基礎の変更に伴う費用					○	
屋外排水設備・外構							
1．雨水	屋外雨水排水設備	○					
	桝及び桝ふた	○					

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
2．雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
	桝及び桝ふた			○			
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○					
3．植栽	植栽及び客土	○					
4．ユニット形浄化槽	ピット形の躯体及び砂充てん	○					
	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等			○			
5．屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充てん	○					タンク本体はＥ又はM
	上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等		○				自家発用はＥ
6．その他	駐車場ガソリントラップ（コンクリート造）	○					
	厨房用グリーストラップ	○		○			
電気配線配管							
	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）		○				２次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				１次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線		○				
	機器と付属操作スイッチの渡り配管配線			○			
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		○				
	小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線			○			
	注油口内アース端子よりのアース用配管配線		○	○			自家発用はＥ
	各種水槽電極工事		○	○			
共通							
	工事用電力・上下水道・ガス引込工事	○	○	○			
	工事用電力・上下水道･ガス料金（引込負担金・基本料金を含む）	○	○	○			使用工事別
	本設電力引込工事		○				引込負担金は別途
	本設上水引込工事			○			引込負担金は別途
	本設下水引込工事	○		○			関連工事別 引込負担金は別途
	本設ガス引込工事			○			引込負担金は別途
	本設受電後引渡しまでの電力基本料金	○	○	○			試運転用も含む
	本設後引渡しまでの上水基本料金	○	○	○			試運転用も含む
	本設後引渡しまでの下水基本料金	○	○	○			試運転用も含む
	本設後引渡しまでのガス基本料金	○	○	○			試運転用も含む
	本設後引渡しまでの電力･上下水道･ガス使用料金	○	○	○			関連工事別 試運転用も含む
	電話本設引込工事		○				引込負担金は別途
	工事上の各種申請届出費用	○	○	○			関連工事別
	既存上下水道・ガス管の撤去・同手続			○			
	足場・さん橋類	○	○	○			電気・機械は使用可能

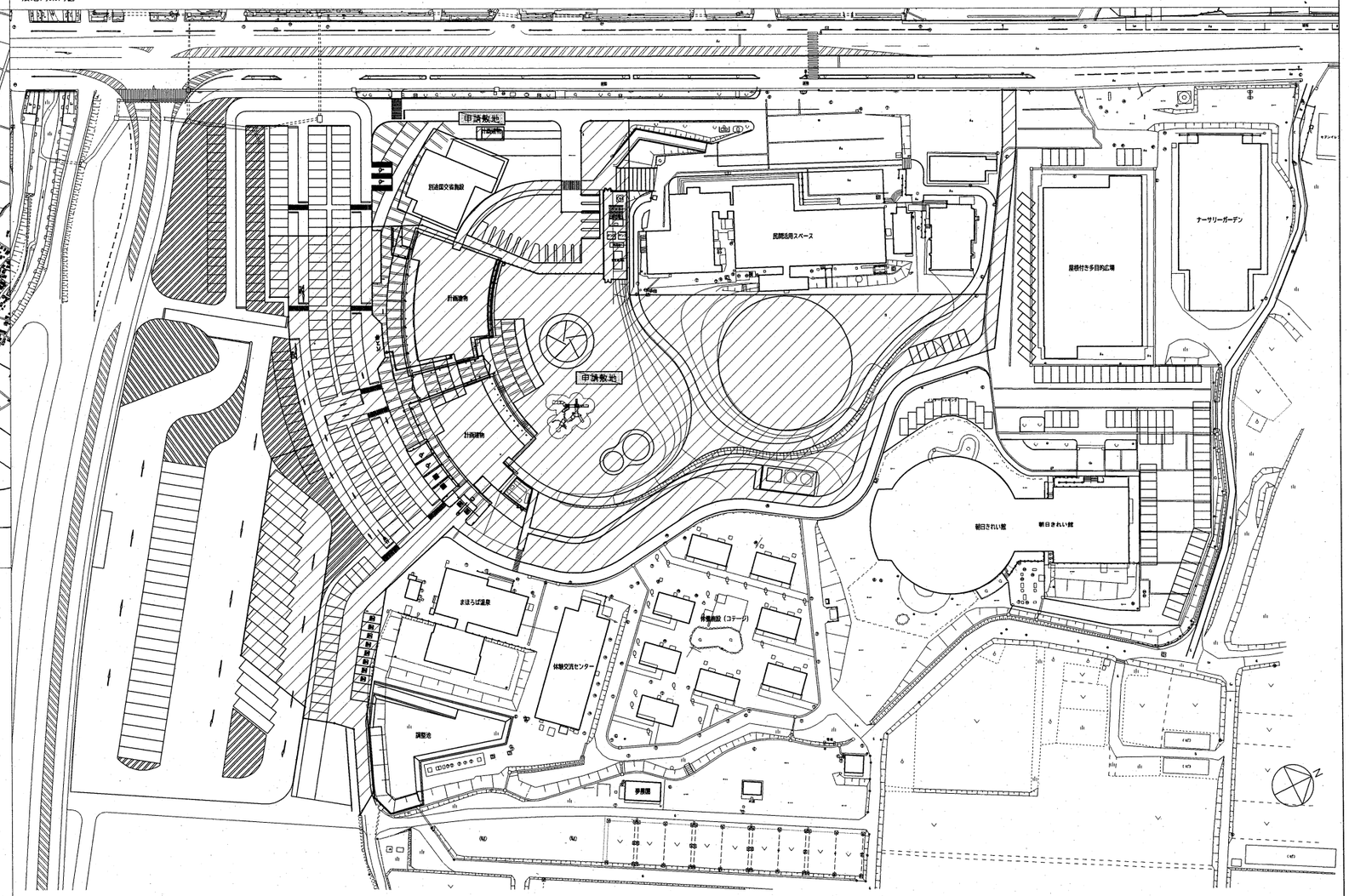
備考

発注者	新潟県　村上市
工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事
図面番号	特-008
図面名称	工事区分表
縮尺	A1: Non Scale A3: Non Scale
㊞	電
構	機

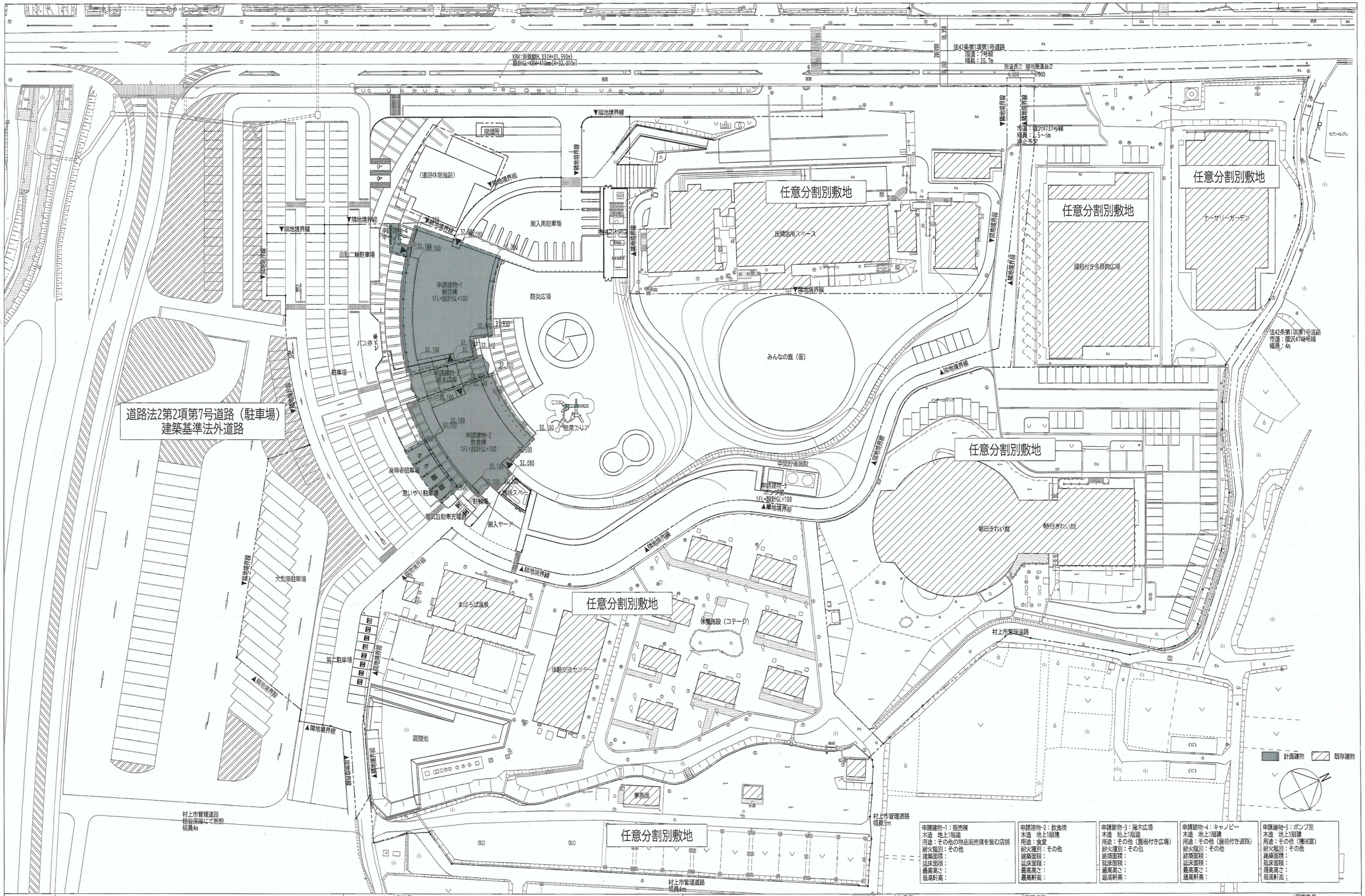
案内図 1/10000



敷地内案内図 1/750



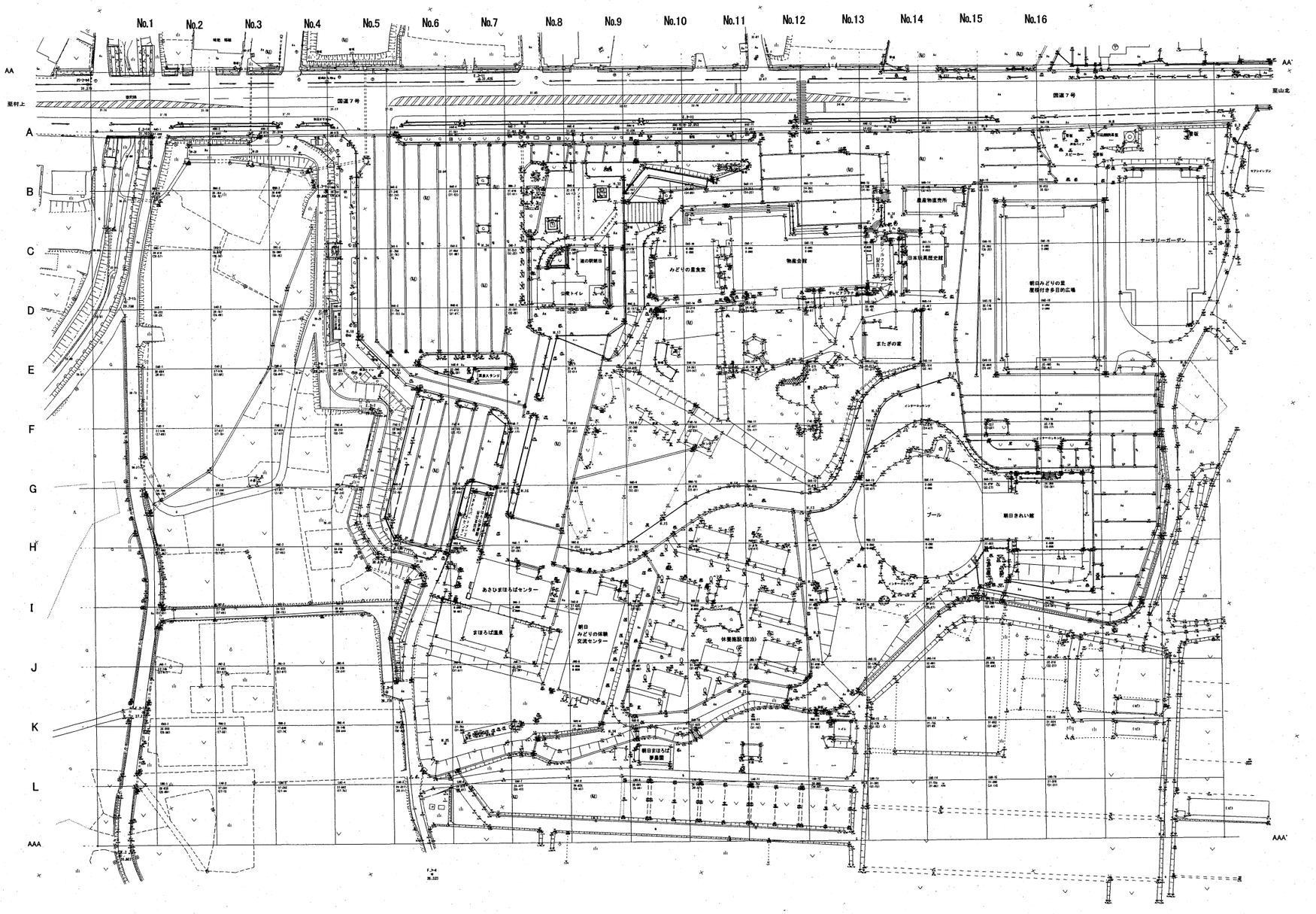
備考		発注者 新潟県　村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-002
			図面名称 案内図	縮尺 A1：S=図示 A3：S=図示/2	意 電 構 機



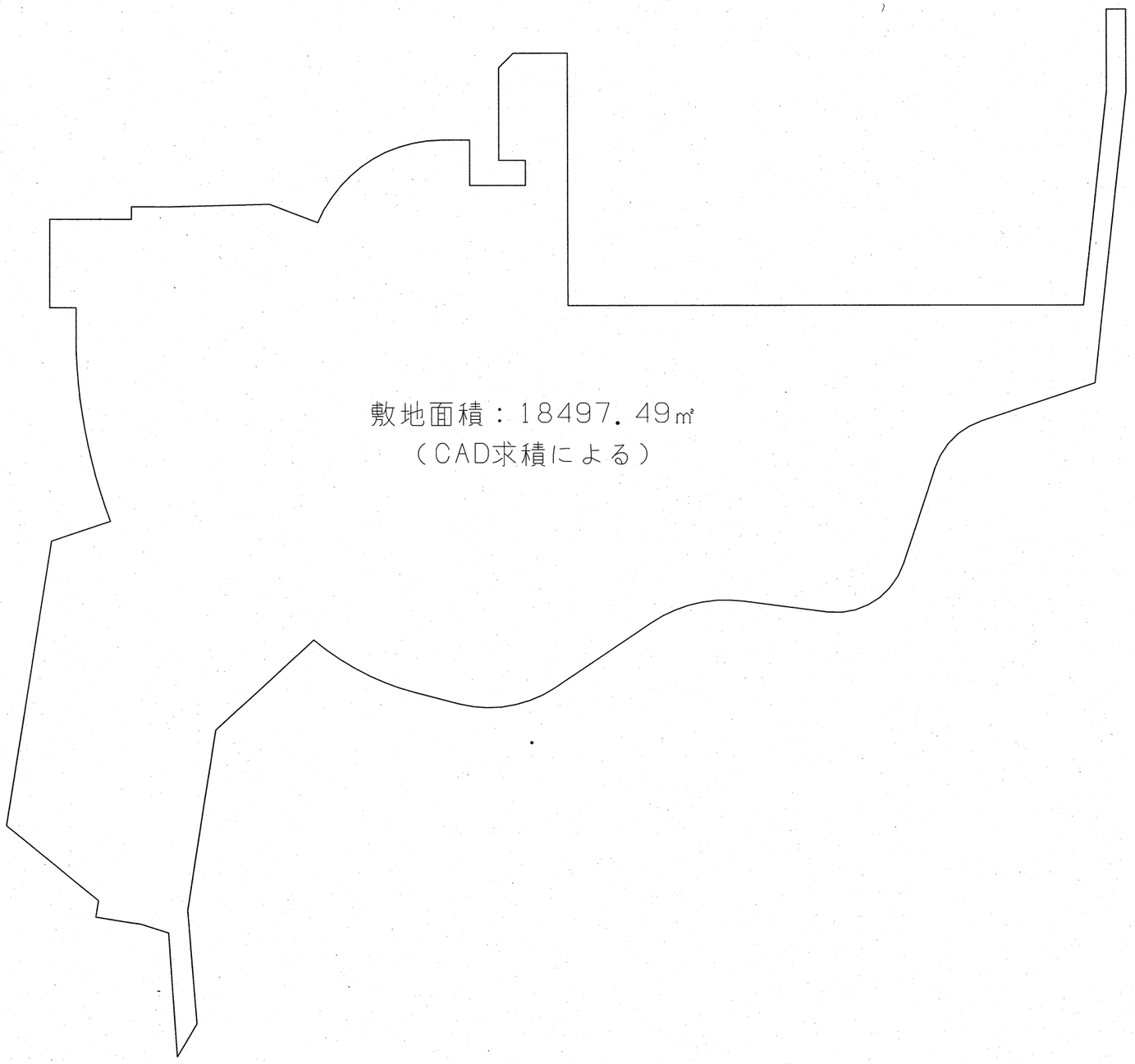
申請建物-1：販売棟	申請建物-2：飲食棟	申請建物-3：植木広場	申請建物-4：キャノピー	申請建物-5：ポンプ室
木造　地上1階建	木造　地上1階建	木造　地上1階建	木造　地上1階建	木造　地上1階建
用途：その他の物品販売業を営む店舗	用途：食堂	用途：その他（屋根付き広場）	用途：その他（屋根付き通路）	用途：その他（機械室）
耐火種別：その他	耐火種別：その他	耐火種別：その他	耐火種別：その他	耐火種別：その他
建築面積：	建築面積：	建築面積：	建築面積：	建築面積：
延床面積：	延床面積：	延床面積：	延床面積：	延床面積：
最高高さ：	最高高さ：	最高高さ：	最高高さ：	最高高さ：
最高軒高：	最高軒高：	最高軒高：	最高軒高：	最高軒高：

備考	発注者	設計番号	年月日	工事名称	図面番号
	新潟県　村上市			道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-003
			サブ事務所	図面名称：配置図	縮尺：A1：S=1/ 500　A3：S=1/1000
					衛 電 構 機

道の駅「朝日」 平面図

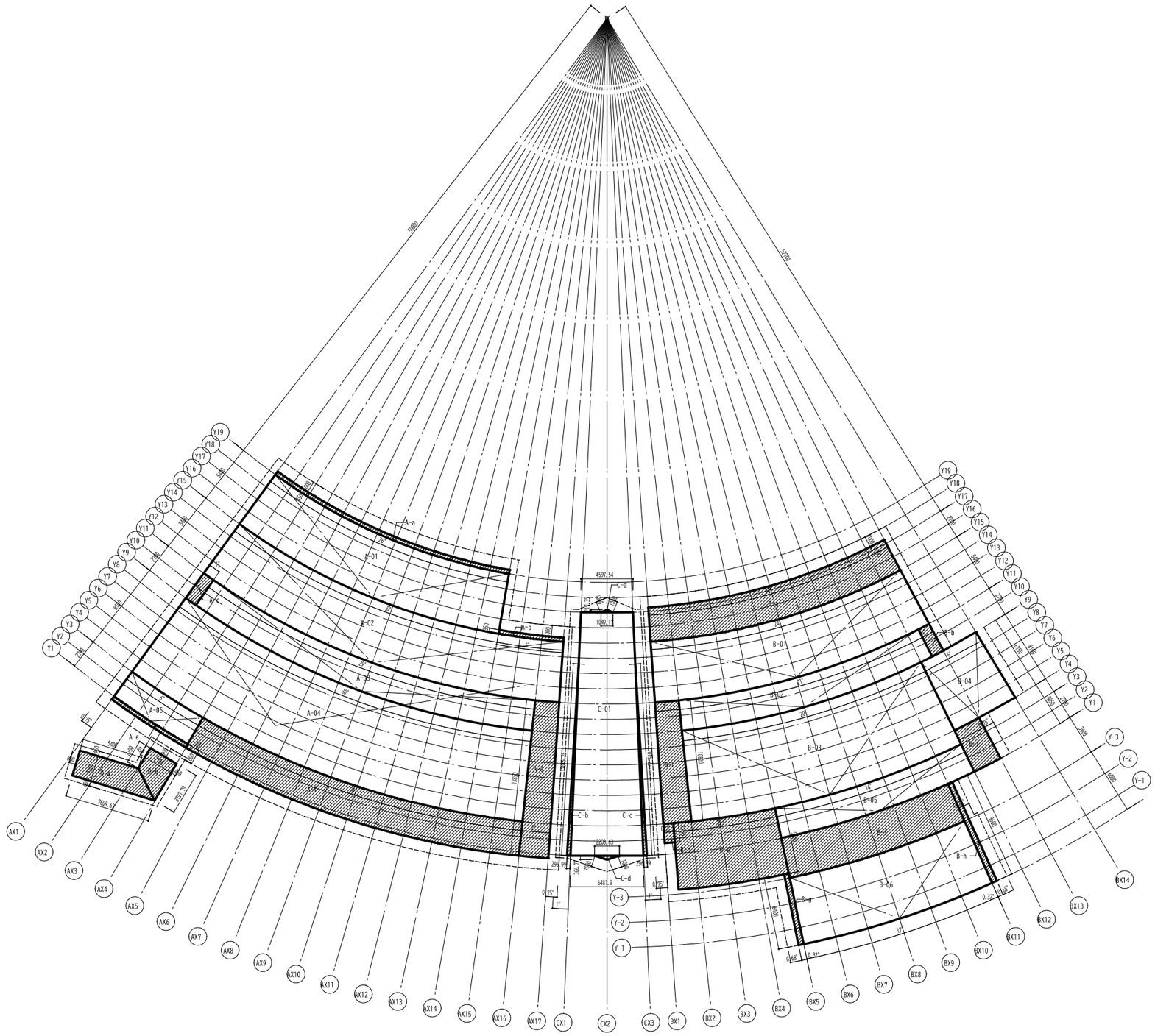


備考			発注者		工事名称		図面番号
			新潟県　村上市		道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		A-004
					図面名称	縮尺	㊞ 電
					現況図	A1：S=1/ 750 A3：S=1/1500	構 機



備考			発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-005
					図面名称 敷地面積求積図	縮尺 A1：S=1/ 500 A3：S=1/1000

営	電	
構	機	



■床面積算定表(販売棟)

エリア	番号	根拠式(m)	計
A	01	[3.1415 x 55.4000 x 55.4000 x 26/360] - [3.1415 x 50.0000 x 50.0000x 26/360]	129.134499 m2
A	02	[3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 32/360] - [3.1415 x 55.4000 x 55.4000x 32/360]	175.220304 m2
A	03	[3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 29/360] - [3.1415 x 60.8000 x 60.8000x 29/360]	84.931238 m2
A	04	[3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 30/360] - [3.1415 x 63.5000 x 63.5000x 30/360]	286.481239 m2
A	05	[3.1415 x 74.3000 x 74.3000 x 6/360] - [3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 6/360]	20.625518 m2
			696.392798 m2

■建築面積算定表(販売棟)

エリア	番号	根拠式(m)	計
A	01	[3.1415 x 55.4000 x 55.4000 x 26/360] - [3.1415 x 50.0000 x 50.0000 x 26/360]	129.134499 m2
A	02	[3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 32/360] - [3.1415 x 55.4000 x 55.4000 x 32/360]	175.220304 m2
A	03	[3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 29/360] - [3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 29/360]	84.931238 m2
A	04	[3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 30/360] - [3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 30/360]	286.481239 m2
A	05	[3.1415 x 74.3000 x 74.3000 x 6/360] - [3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 6/360]	20.625518 m2
A	a	[3.1415 x 50.0000 x 50.0000 x 26/360] - [3.1415 x 49.6500 x 49.6500 x 26/360]	7.913220 m2
A	b	[3.1415 x 55.4000 x 55.4000 x 6/360] - [3.1415 x 55.0500 x 55.0500 x 6/360]	2.024042 m2
A	c	[3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 1/360] - [3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 1/360]	2.928663 m2
A	d	[3.1415 x 74.6500 x 74.6500 x 2/360] - [3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 2/360]	32.741106 m2
A	e	[3.1415 x 74.6500 x 74.6500 x 6/360] - [3.1415 x 74.3000 x 74.3000 x 6/360]	2.729571 m2
A	f	[3.1415 x 74.6500 x 74.6500 x 24/360] - [3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 24/360]	93.420356 m2
			838.149752 m2

■床面積算定表(飲食棟)

エリア	番号	根拠式(m)	計
B	01	[3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 24/360] - [3.1415 x 55.4000 x 55.4000 x 24/360]	131.415228 m2
B	02	[3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 21/360] - [3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 21/360]	61.501931 m2
B	03	[3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 20/360] - [3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 20/360]	190.987493 m2
B	04	[3.1415 x 70.2500 x 70.2500 x 5/360] - [3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 5/360]	39.391465 m2
B	05	[3.1415 x 74.3000 x 74.3000 x 14/360] - [3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 14/360]	48.126209 m2
B	06	[3.1415 x 83.9000 x 83.9000 x 12/360] - [3.1415 x 77.9000 x 77.9000 x 12/360]	101.658940 m2
			573.081265 m2

■建築面積算定表(飲食棟)

エリア	番号	根拠式(m)	計
B	01	[3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 24/360] - [3.1415 x 55.4000 x 55.4000 x 24/360]	131.415228 m2
B	02	[3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 21/360] - [3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 21/360]	61.501931 m2
B	03	[3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 20/360] - [3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 20/360]	190.987493 m2
B	04	[3.1415 x 70.2500 x 70.2500 x 5/360] - [3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 5/360]	39.391465 m2
B	05	[3.1415 x 74.3000 x 74.3000 x 14/360] - [3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 14/360]	48.126209 m2
B	06	[3.1415 x 83.9000 x 83.9000 x 12/360] - [3.1415 x 77.9000 x 77.9000 x 12/360]	101.658940 m2
B	a	[3.1415 x 55.4000 x 55.4000 x 24/360] - [3.1415 x 52.3500 x 52.3500 x 24/360]	68.827647 m2
B	b	[3.1415 x 63.5000 x 63.5000 x 1/360] - [3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 1/360]	2.928663 m2
B	c	[3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 2/360] - [3.1415 x 60.8000 x 60.8000 x 2/360]	24.956076 m2
B	d	[3.1415 x 73.3000 x 73.3000 x 0.7/360] - [3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 0.7/360]	1.504700 m2
B	e	[3.1415 x 77.5000 x 77.5000 x 7.3/360] - [3.1415 x 71.6000 x 71.6000 x 7.3/360]	56.038574 m2
B	f	[3.1415 x 77.9000 x 77.9000 x 12/360] - [3.1415 x 74.3000 x 74.3000 x 12/360]	57.376356 m2
B	g	[3.1415 x 83.9000 x 83.9000 x 0.32/360] - [3.1415 x 77.5000 x 77.5000 x0.32/360]	2.884483 m2
B	h	[3.1415 x 83.9000 x 83.9000 x 0.32/360] - [3.1415 x 74.3000 x 74.3000 x0.32/360]	4.240941 m2
B	i	[3.1415 x 74.3000 x 74.3000 x 2/360] - [3.1415 x 70.2500 x 70.2500 x 2/360]	10.217336 m2
			802.056043 m2

■床面積算定表(羅木広場)

エリア	番号	根拠式(m)	計
C	01	(6.4818 + 4.5975) x 21.5794 / 2	119.542323 m2
			119.542323 m2

■建築面積算定表(羅木広場)

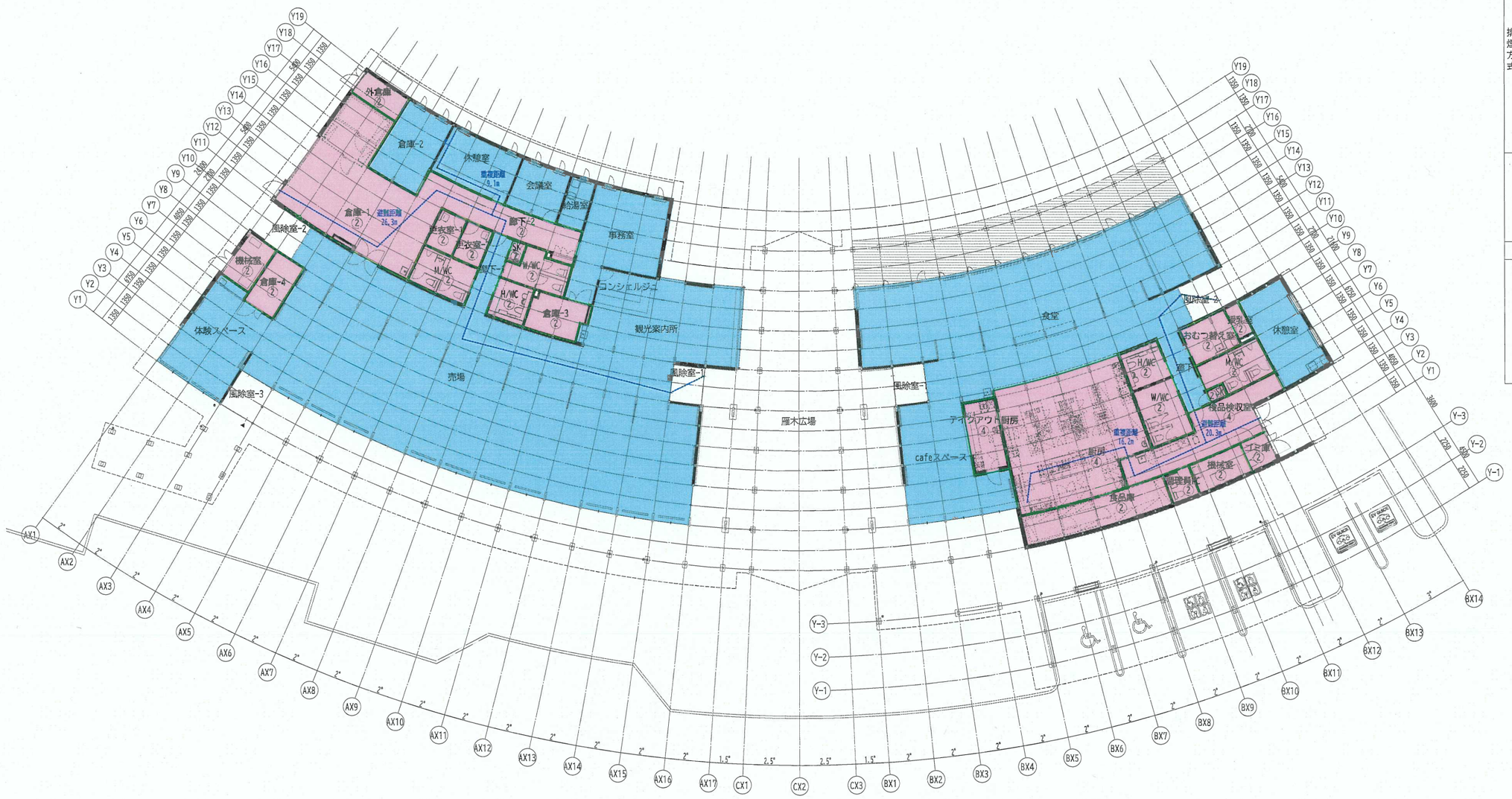
エリア	番号	根拠式(m)	計
C	01	(6.4818 + 4.5975) x 21.5794 / 2	119.542323 m2
C	a	1.0491 x 0.2173 /2	0.113985 m2
C	b	17.0152 x 0.2966 / 2	2.523354 m2
C	c	17.0152 x 0.2966 / 2	2.523354 m2
C	d	2.2036 x 0.3667 / 2	0.404030 m2
			125.107046 m2

■建築面積算定表(キャノピー)

エリア	番号	根拠式(m)	計
D	a	(5.4000 + 7.6096) x 2.3000 / 2	14.961040 m2
D	b	(3.7977 + 2.1000) x 2.7000 / 2	7.961895 m2
			22.922935 m2

変更			発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-006
						図面名称 求積図・求積表	縮尺 A1:S= 1 : 200 A3:S= 1 :400

衛	電	
構	機	



凡例

区画		防火区画 （兼防煙区画）
		防火上主要な間仕切 （令114）（兼防煙区画）
		防煙（排煙）区画（間仕切壁）
		防煙（排煙）区画（垂壁）H500又はH300（常閉不燃扉）
排煙		自然排煙
		機械排煙
		告示による
排煙方式	免除	告示 第1436号 第四号 ロ
		告示 第1436号 第四号 ハ
		告示 第1436号 第四号 ニ （一）
		告示 第1436号 第四号 ニ （二）
		告示 第1436号 第四号 ニ （三）
		告示 第1436号 第四号 ニ （四）
		告示 第1436号 第四号 ホ
		排煙口
その他		延焼のおそれのある部分
		避難経路の歩行距離
		非常用進入口
		非常用進入口にかわる窓

特記事項

■排煙オペレーターの設置位置について
・FL+800≦設置位置≦FL+1500　とする
■防煙区画の仕様(仕上げ)
・ビニルクロス(不燃)
・メラミン不燃化粧板
・ケイカル板の上 塗装
・GWボード
※仕様の認定番号は材料表参照

変更		発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-007	
				図面名称 法規チェック図	縮尺 A1:S=図面表記による A3:S=	営 電 構 機

■ 居室の採光の検討(令116条の2)・・・床面積×1/20

A=採光補正係数

階	部屋名	床面積（㎡）	必要面積（㎡）	有効面積（㎡）	判定	建具番号	計算式（W(m)×H(m)×個数×A=有効面積(㎡)）									法35条	法35条の3
販売棟	観光案内所	55.464656	2.773233	13.437035	OK	AWW-A02(FIX)	5.255	×	2.557	×	1	×	1.00	=	13.437035		
	コンシェルジュ																
	売場	321.500325	16.075016	81.890000	OK	AWW-A01(FIX)	2.155	×	3.800	×	10	×	1.00	=	81.890000		
	体験スペース	34.830072	1.741504	26.078843	OK	AWW-A01(FIX)	10.199	×	2.557	×	1	×	1.00	=	26.078843		
	事務室	35.148673	1.757434	4.680000	OK	AW-A02	0.600	×	1.300	×	2	×	3.00	=	4.680000		
	会議室	12.457880	0.622894	1.560000	OK	AW-A02	0.600	×	1.300	×	2	×	1.00	=	1.560000		
	休憩室	18.686820	0.934341	1.560000	OK	AW-A02	0.600	×	1.300	×	2	×	1.00	=	1.560000		
飲食棟	食堂	182.203466	9.110173	31.527232	OK	AWW-B01(FIX)	1.672	×	2.357	×	8	×	1.00	=	31.527232		
	cafeスペース	44.818210	2.240911	18.857875	OK	AWW-B02(FIX)	7.375	×	2.557	×	1	×	1.00	=	18.857875		
	厨房	77.570311	3.878516	0.000000	NG			×		×		×		=			告示第249号
	テイクアウト厨房	11.477078	0.573854	0.000000	NG			×		×		×		=			告示第249号
	検品検収室	28.407963	1.420398	0.000000	NG	SD-B01	1.350	×	2.000								令第111条第1項第2号(避難上有効な開口)
	休憩室	23.634879	1.181744	3.107000	OK	AW-B02	1.195	×	1.300	×	2	×	1.00	=	3.107000		

■採光補正係数　A＝(d/h×α)－β　(建物から隣地境界等までの距離×10(用途地域外)/窓中心から建物上部までの距離)-1.0

※採光有効面積が十分取れている箇所については、採光補正係数を考慮しないものとする。

■ 居室の換気の検討(法28条)・・・床面積×1/20

階	部屋名	床面積（㎡）	必要面積（㎡）	有効面積（㎡）	判定	建具番号	計算式（W(m)×H(m)×個数=有効面積(㎡)）									令20条の2
販売棟	観光案内所	44.767848	2.238392	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	コンシェルジュ	10.696808	0.534840	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	売場	321.500325	16.075016	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	体験スペース	34.830072	1.741504	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	事務室	35.148673	1.757434	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	会議室	12.457880	0.622894	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	休憩室	18.686820	0.934341	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
飲食棟	食堂	182.203466	9.110173	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	cafeスペース	44.818210	2.240911	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	厨房	77.570311	3.878516	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	テイクアウト厨房	11.477078	0.573854	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	検品検収室	28.407963	1.420398	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備
	休憩室	23.634879	1.181744	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	機械換気設備

■ 消防法の無窓階検討(消防法施行令10条)・・・床面積×1/30 かつ 大2以上

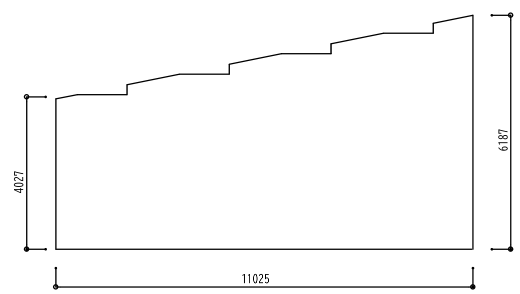
階	床面積（㎡）	必要面積（㎡）	有効面積（㎡）	判定	建具番号		計算式（W(m)×H(m)×個数=有効面積(㎡)）						
販売棟	784.790000	39.239500	81.890000	OK	AWW-A01(FIX)	大	2.155	×	3.800	×	10	=	81.890000
飲食棟	548.740000	27.437000	31.527232	OK	AWW-B01(FIX)	大	1.672	×	2.357	×	8	=	31.527232

■ 建築物の排煙の検討(令116条の2)・・・床面積×1/50　天井面から80cmの部分　※ハッチングは居室

階	部屋名	床面積（㎡）	必要面積（㎡）	有効面積（㎡）	判定	建具番号	計算式（W(m)×H(m)×個数×開放角度=有効面積(㎡)）									令126条の2
販売棟	売場	420.008505	8.400170	8.535000	OK	AW-A01	0.820	×	0.600	×	16	×	1	=	7.872000	
	観光案内所					AWW-A01(引違い)	1.105	×	0.300	×	2	×	1	=	0.663000	
	コンシェルジュ							×		×		×		=		
	体験スペース							×		×		×		=		
	廊下-1							×		×		×		=		
	風除室-1	5.857327	0.117147	0.000000	NG			×		×		×		=		但し書き
	風除室-2	5.857327	0.117147	0.000000	NG			×		×		×		=		但し書き
	風除室-3	6.875173	0.137503	0.000000	NG			×		×		×		=		但し書き
	事務室	35.148673	0.702973	0.760000	OK	AW-A03	0.800	×	0.475	×	2	×	1	=	0.760000	
	会議室	12.457880	0.249158	0.760000	OK	AW-A03	0.800	×	0.475	×	2	×	1	=	0.760000	
	休憩室	18.686820	0.373736	0.760000	OK	AW-A03	0.800	×	0.475	×	2	×	1	=	0.760000	
	給湯室	6.228940	0.124579	0.380000	OK	AW-A03	0.800	×	0.475	×	1	×	1	=	0.380000	
	更衣室-1	5.348404	0.106968	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	更衣室-2	5.348404	0.106968	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	廊下-2	91.327725	1.826555	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	倉庫-1							×		×		×		=		
	倉庫-2	19.866846	0.397337	0.760000	OK	AW-A03	0.800	×	0.475	×	2	×	1	=	0.760000	
	倉庫-3	10.497420	0.209948	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	倉庫-4	9.263105	0.185262	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	外倉庫	6.396094	0.127922	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	機械室	7.854666	0.157093	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	M/WC	11.205731	0.224115	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	W/WC	9.690219	0.193804	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	H/WC	7.003582	0.140072	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
	SK	1.469960	0.029399	0.000000	NG			×		×		×		=		告示1436号第4号ニ(2)
飲食棟	食堂	240.060000	4.801200	5.904000	OK	AW-B01	0.820	×	0.600	×	12	×	1	=	5.904000	
	cafeスペース							×		×		×		=		
	廊下							×		×		×		=		
	風除室-1	5.857327	0.117147	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	但し書き
	風除室-2	5.857327	0.117147	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	但し書き
	厨房	77.570311	1.551406	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(4)
	テイクアウト厨房	11.477078	0.229542	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(4)
	検品検収室	28.407963	0.568159	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(4)
	食品庫	21.477388	0.429548	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	ゴミ庫	4.027010	0.080540	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	休憩室	23.634879	0.472698	0.567625	OK	AW-B02	1.195	×	0.475	×	2	×	0.5	=	0.567625	
	おむつ替え室	9.167682	0.183354	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	授乳室	3.055894	0.061118	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	機械室	8.054021	0.161080	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	M/WC	11.657321	0.233146	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	W/WC	12.055997	0.241120	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	H/WC	7.639735	0.152795	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	調理員WC	4.027010	0.080540	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)
	SK	1.075178	0.021504	0.000000	NG			×		×		×		=	0.000000	告示1436号第4号ニ(2)

■平均天井高さ算定表(告示第1436号第三号)

階	部屋名	計算式（断面積(㎡)÷室幅(m))=平均天井高さ(m)）		
販売棟	売場	55.367	÷　11.025	=　5.021913379
	部屋名	計算式（床面積(㎡)÷平均天井高さ(m))=気積(?)）		
	売場	321.500	×　5.022	=　1614.546783
	観光案内所	44.768	×　2.500	=　111.919620
	コンシェルジュ	10.697	×　2.500	=　26.742020
	体験スペース	34.830	×　2.500	=　87.075180
	廊下-1	8.213	×　2.500	=　20.533630
			全体気積(?)	=　1840.283603
	計算式（全体気積(?)÷全体床面積(㎡)=全体平均天井高さ(m)）			
		1840.284	÷　420.009	=　4.381538901
			全体平均天井高さ(m)/2=	2.190769450



売場断面求積図

備考			発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-008
				-	図面名称 法規チェック図(開口部)	縮尺 A1: S= A3: S=	意 電 構 機

材料表

製品名に「指定」表記なき場合は同等品、又は同等品以上とする。

名称(符号)	材質・規格・寸法など	認定番号	製造元	製品名
■床 仕上				
FS(A)	ノーワックスビニル床シート t=2.0		東リ	マチュアNW
FS(B)	防汚・消臭ビニル床シート t=2.0		東リ	消臭NSトワレNW
FS(C)	防滑性ビニル床シート t=2.0		東リ	NS アクアトレッド
KT	コンポジションビニル床タイル t=2.0		東リ	フェイソールプルス
TCP	ループパイルタイルカーペット t=6.5		東リ	GA100SA
コンクリート磨き	ポリッシュコンクリート #1500 削り厚3mm(中骨材層) 表面硬化剤、トップコート共			
防塵塗装	水性アクリル系塗料			
■床 下地				
F3	ウッドコアスチールタイプ (5000N)		センクシア	WSA500N
■壁 仕上				
ビニルクロス	不燃クロス	NM-0079	サンゲツ	faith
メラミン不燃化粧板	t=3	NM-9300	アイカ	セラール
新潟県産杉羽目板	新潟県産杉12x60 WP(難燃処理)	RM-0036		
■壁 下地				
GB-S	t=12.5 9.5	QM-0898	吉野石膏	タイガー防水ボード
■天井 仕上				
DR	下貼用 t=9	NM-8599	吉野石膏	ソーラトン平板
DR 塗装品	下貼用暗色塗装品 t=9	NM-8599	吉野石膏	ソーラトン平板アラーシステム
DR(直)	直貼用 t=12	NM-8599	吉野石膏	ソーラトンライト・ワイド
GB-D	t=9.5	QM-9824	吉野石膏	ジプトーン
ポリッシュ木毛セメント板	ポリッシュボード t=16	QM-9020	竹村工業	ポリッシュボード M (木毛セメント板タイプ)
新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A)	新潟県産杉 12 ×60 (難燃処理)			
■天井 下地				
GB-NC		NM-0441	吉野石膏	不燃タイガーボード
■幅木				
SUS 幅木	H100 ステンレス製		創建	ステンレス複合幅木
VB	H=60		東リ	ソフト幅木
WB	新潟県産クリ t=16 WP(A)			
■共通 仕上				
GW ボード	t=50 ガラスクロス(ブラック)額縁貼り 32kg/m2	NM-8610	パラマウント硝子工業	GC ボード
WP(A)	浸透タイプ木材保護塗料			
WP(B)	半造膜タイプ木材保護塗料			
WP(C)	フッ素樹脂配合造膜タイプ木材保護塗料			
ケイカル板	繊維強化セメント板 t=6,8			
磁器質タイル	AII 無釉せっ器質 50 六丁平 目地巾3mm		国代耐火工業所	スライスボーダー 300PC-AM
■共通 下地				
GB-R	t=12.5 9.5	NM-8619,NM-0441	吉野石膏	タイガーボード ,不燃タイガーボード

名称(符号)	材質・規格・寸法など	認定番号	製造元	製品名
■断熱				
断熱材(A)	高性能グラスウール GWHG24-35			
断熱材(B)	フェノールフォーム断熱材 1種2号 C Ⅱ			
断熱材(C)	硬質ウレタンフォーム断熱材 1 種1号			
■防水				
スチール防水	カラーガルバリウム鋼板接着高耐候塩ビシート熱溶着工法		元旦ビューティ	元旦スチール防水樋
■その他				
キッチン	加熱器無・吊戸棚共		LIXIL	ティオ
消火器	全埋込タイプ		ユニオン	UFB-1W-3022
消火器スタンド	プライウッド		ユニオン	UFB-3W-3005
ロールブラインド	ワンタッチチェーン式		タチカワブラインド	ラルクシールド
ブラインド	スラット25mmワンタッチチェーン式		タチカワブラインド	パーフェクトシルキーチェーン
床点検口	アルミ密閉タイプ 仕上充填 600 角			
トイレブース	ハイパネル高圧メラミン化粧板		三和シャッター	セレブ ― スTA40D
天井点検口	アルミ目地タイプ 450 角			
■外部				
ガラス繊維複合板	ガラス繊維補強セメントボード		吉野石膏	デラクリートセメントボードシステム
弾性吹付塗材鏝押え	高耐候内外装薄塗塗材 E 吹付+鏝押え		アイカ	ジョリパットインフィニティ (JQ -500)
アルミ木複合サッシ	アルミ木複合（新潟県産杉材） 外部化粧木共		ニュースト	
水蒸気式高温熱処理木材(新潟県産杉)	t=12 W=90		越井木材	スーパーサーモウッド
再生木	中空再生木 30x145 コイン落下防止目地共		ハンディテクノ	ハンディウッド
竪樋				
軒樋				
笠木	アルミ既製品			
フッ素ガルバリウム鋼板	t=0.45 完全嵌合式立平葺 ハゼ高50		元旦ビューティ	ラジアールーフ

共通事項

- 本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。各一覧表・材料表に記載の符号等は、本表以外の設計図に適用する。
- 仕上材は特記なき限り下地・仕上共不燃材とする。
- コンクリート打放し (A) の増打ちは、特記なき限り内外共 t=20 とする。
- コンクリート打放し (A) 面に極度な色ムラ、ジャンカ、コールドジョイント等が発生しないよう施工すること。これらが発生した場合は、施工者の責任で壁面化粧仕上塗材にて補修を行う（キクスイ SA工法以上）
- ビニル床シートは全て溶接工法とし、接着剤はエポキシ系とする。（水廻り等のみ）
- 床材（フローリング・ビニル床シート）は竣工引き渡し時に樹脂ワックスを施す。（ノンワックス材の場合は除く）
- コンクリートとコンクリートブロックまたは ALC パネル及び軽鉄下地との壁取り合い部には化粧目地を設ける。目地材は※塩ビ製 ・ 、目地幅は※ 10mm ・ mmとする。
- 天井下地は軽量鉄骨下地とする。
- 床仕上がビニルタイル、ビニルシートや塗床等の場合の下地は、セメント系セルフレベリング材とする。
- 外部鉄部は溶融亜鉛メッキを施すこと。特記なき限り塗装については外部 DP（1級）、内部 SOP とする。
- アスファルト外断熱防水、シート防水（外断熱）の断熱材の厚さは t=60 とする。
- 特記なき限り発泡ウレタンは t=50 とする。
- を超える軽量鉄骨壁は補強材 ⊟00x100x3.2@2000 及び横つなぎ材 ☐-100x100x3.2@5000 を設ける。スタッドは 100 型とし監督員の承諾を得ること。
- 5m を超える部分は RC下がり壁とする。
- 5ｍかさ上げコンクリートは t=100 以下は溶接金網 6φ 100x100 とし、 t=100 以上は D10 メッシュ筋とする。 100x100
- 特記なき限り巾木高さは 60とする。
- 特記なき限り竪木はナラ材とする。木部塗装仕様は染色 UCとする。
- 石膏ボード、岩綿吸音板、ケイカル板、化粧ケイカル板天井の下張りは GB-NC （不燃）とする。
- ケイ酸カルシウム板は t=6 及び t=8 とする。 t=9.5
- 床仕上の異なる場所は床見切り SUS を見込むこと。
- ビニル床シート立上げ巾木の上部は FB-6 Zバー（アルミ既製品）押えとする。
- フロア、フリーアクセスフロアパネルは配線取出開口付とする。 OA

内装材料ついて

- 法 28条 2 居室における化学物質の発散に対する衛生上の措 仕上材、接着剤、塗材、家具、カウンター他全て規制対象外又は F☆☆☆☆の物を使用する。
- 第天井裏等に 置種、第 2種のホルムアルデヒド発散建築材料を使用しないこと。(F☆☆☆以上とする)
- 内装材については、下表の国土交通大臣認定材料を使用す
- ビニル壁紙仕様で内装制限にて不燃要求がある場合は、不燃下地（金属を除く）の上、不燃認定のあるビニル壁紙を使用すること。

外部仕上表

区分・部位	仕様
■ 屋根	
屋根-1	フェノールフォーム断熱材1種2号 C Ⅱ t=30+ 野地板 t=24+ フェノールフォーム断熱材1種2号 C Ⅱ t=90+ + 屋根下地合板 t=12+ 改質アスファルト防水 t=1.0+ フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.45
屋根 -2	野地板 t=24+ 改質アスファルト防水 t=1.0+ フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.45
屋根 -3	野地板 t=24+ 垂木 45 ×105@455+ 屋根下地合板 t=12+12+ スチール防水(カラーガルバリウム鋼板 t=0.4+ 高耐久塩ビシート防水 t=2.0)
■ ルーフドレイン	
RD	鋳鉄製ねじ込み式
■ 外壁	
外壁-1	高性能グラスウール GWHG24-35 t=120+構造用面材 t=9+フェノールフォーム断熱材1種2号C Ⅱ t=35+透湿防水シート+下地調整胴縁 t=15 内外+横胴縁 t=15+ ガラス繊維複合板 t=12.5+弾性吹付塗材鏝押え
外壁 -2	RC 下地+EPSボード t=60+ 弾性吹付塗材鏝押さえ
外壁 -3	高性能グラスウールGWHG24-35 t=120+構造用面材 t=9+透湿防水シート+下地調整胴縁 t=15内外+横胴縁t=15+ 水蒸気式高温熱処理木材(新潟県産杉) t=12 w=85 WP(B)
外壁 -4	高性能グラスウール GWHG24-35 t=120+ 構造用面材 t=9+ フェノールフォーム断熱材1種2号 C Ⅱ t=35+ 透湿防水シート+下地調整胴縁 t=15 内外+横胴縁 t=15+ 耐水合板ｔ=12+フッ素ガルバリウム鋼板
外壁 -5	構造材の上透湿防水シート+通気胴縁 t=15+ 水蒸気式高温熱処理木材(新潟県産杉) t=12 w=90 WP(B)
■ 建具	
フロントサッシ	新潟県産杉材木製サッシ(WP) Low-E複層ガラス
自動ドア	SUS
住宅用アルミ樹脂複合サッシ	住宅用アルミ樹脂複合サッシ Low-E 複層ガラス
ビル用アルミサッシ	ビル用アルミサッシ(電解着色) Low-E 複層ガラス
鋼製建具	鋼製建具 フッ素樹脂焼付塗装
重量シャッター	鋼製重量シャッター(電動) フッ素樹脂焼付塗装

区分・部位	仕様
■ 笠木・見切	
通気層 t=15	フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.6 加工
■ 樋	
軒樋-1	スチール防水(カラーガルバリウム鋼板 t=0.4+ 高耐久塩ビシート防水 t=1.2)
竪樋-1	アルミ既製品 バンドレス φ120 フッ素樹脂焼付塗装
■ 軒天	
軒天-1	木毛セメント板t=6
軒天-2	木ルーバー 新潟県産杉 t=12 W60WP(B)
軒天-3	羽目板張 新潟県産杉 t=12 W90 WP(B)
軒天-4	羽目板張 新潟県産杉 t=12 W90(不燃処理）WP(B)
■ 独立柱	
柱-1	構造材の上WP(C)
柱-2	RC(A) の上クリア塗装

凡例

■塗料

記号	名称
SOP	合成樹脂調合ペイント
DP-F	耐候性塗料(フッ素樹脂エナメル)
DP-AS	耐候性塗料(アクリルシリコン樹脂エナメル)
DP-U	耐候性塗料(ポリウレタン樹脂エナメル)
EP-1	合成樹脂エマルションペイント(外部用)
EP-2	合成樹脂エマルションペイント(内部用)
EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗装
CL	クリアラッカー
OS	オイルステイン
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料
UC	ウレタン樹脂ワニス
WP	木材保護塗料
LE	ラッカーエナメル

■材料・仕上・他

記号	名称	記号	名称
S	鋼(スチール)	PL	プレート
SUS	ステンレス	CHPL	チェッカープレート
AL	アルミニウム	DPL	デッキプレート
BU	黄銅	FB	フラットバー
TB	テラゾーブロック	HL	ヘアライン
GB	せっこうボード	BF	鏡面仕上
FK	けい酸カルシウム板	J&P	ジェット・ポリッシュ仕上
RC	鉄筋コンクリート	PHL	バイブレーション
CB	コンクリートブロック		
PCa	プレキャストコンクリート		
ALC	軽量気泡コンクリート		
ECP	押出成形セメント板		
LGS	軽量鉄骨		
W	木		

■塗料

記号	名称
A-1 種	無着色陽極酸化皮膜
A-2 種	着色陽極酸化皮膜
B-1 種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜
B-2 種	着色陽極酸化塗装複合皮膜
C-1 種	無着色陽極酸化皮膜
C-2 種	着色陽極酸化皮膜
D 種	化成皮膜の上に塗装

■排煙

記号	排煙方式
自然	自然排煙
機械	機械排煙
告示	告示による
―	適用なし

■内装制限

記号	内装制限
不(下)	不燃材(下地共)
不	不燃材
準(下)	準不燃材 (下地共)
準	準不燃材
難	難燃材
煙	不燃材(下地共)

■内装の根拠 （令：建築基準法施行令 ）

記号	内装の根拠	記号	内装の根拠
1	告示 第1436号 第四号 二 (一)	b4	令 第112条 第4 項
2	告示 第1436号 第四号 二 (二)	b6	令 第112条 第6 項
3	告示 第1436号 第四号 二 (三)	b7	令 第112条 第7 項
4	告示 第1436号 第四号 二 (四)	b9	令 第112条 第9 項
ホ	告示 第1436号 第四号 ホ	c	令 第120条 第2 項
a1	令 第128条の5 第1 項	d	令 第123条 第1項 2号
a2	令 第128条の5 第2 項	e	令 第123条 第3項 3号
a3	令 第128条の5 第3 項	f	令 第128条の3 第1項 3号
a4	令 第128条の5 第4 項	g	令 第129条 第1 項
a5	令 第128条の5 第5 項	h	令 第129条の2 第 1 項
a6	令 第128条の5 第6 項	i	令 第129条の13の3 第3項

変更	発注者	工事名称	図面番号
	新潟県 村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-009
		図面名称：外部仕上表・材料表	縮尺 A1:S= A3:S=
			㊜ 電 / 構 機

販売棟

室名	内装制限 記号	内装制限 根拠	SL	FL	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 H	腰壁 仕上	腰壁 H	壁 下地	壁 仕上	廻り縁	天井 下地	天井 仕上	CH	備考
売場	難	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- -	新潟県産杉羽目板 WP(A) -	--	C3 - -	ポリッシュ木毛セメント板 - -		RB 、SUS 点字 鋲
観光案内所	難	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB 磁器質タイル	60 60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) 磁器質タイル	--	C2a - -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	PR 、消火器 BOX
コンシェルジュ	難	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	ポリッシュ木毛セメント板 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) メラミン不燃化粧板	--	C2a - -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	PR
体験スペース	難	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) -	--	C2a - -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	PR 、RB 、消火器 BOX
風除室-1	準	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) -	--	C2a - -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	SUS 点字 鋲
風除室 -2	準	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) -	--	C2a - -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	
風除室 -3	準	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) -	--	C2a - -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	
事務室	難	a1	-150	0	F3 - -	TCP - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス - -	--	C1 - -	DR(直) - -	2500	BB
会議室	難	a1	-10	0	F1 - -	TCP - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス - -	--	C1 - -	DR(直) - -	2500	BB
休憩室	難	a1	-10	0	F1 - -	TCP - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス - -	--	C1 - -	DR(直) - -	2500	BB
給湯室	難		-10	0	F1 - -	FS(A) - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス メラミン不燃化粧板	--	C1 - -	DR(直) - -	2500	BB
更衣室-1	煙	2	-10	0	F1 - -	FS(A) - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス - -	--	C1 - -	GB-D - -	2500	姿見
更衣室 -2	煙	2	-10	0	F1 - -	FS(A) - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス - -	--	C1 - -	GB-D - -	2500	姿見
廊下-1	準	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	メラミン不燃化粧板 - -	--	C2a - -	DR - -	2500	
廊下 -2	準	2,a1	-10	0	F2 - -	KT - -	VB -	60	- -		- - -	ケイカル板 EP -	--	C1 - -	GB-D - -	2500	消火器 BOX
倉庫-1	煙	2,a1	-10	0	F2 - -	KT - -	VB -	60	- -		- - -	ケイカル板 EP -	--	C1 - -	DR(直) - -	2500	
倉庫 -2	難		-10	0	F1 - -	KT - -	VB -	60	- -		- - -	ケイカル板 EP -	--	C1 - -	GB-D - -	2500	BB
倉庫 -3	煙	2	-10	0	F1 - -	KT - -	VB -	60	- -		- - -	ケイカル板 EP -	--	C1 - -	GB-D - -	2500	
倉庫 -4	煙	2	-10	0	F1 - -	KT - -	VB -	60	- -		- - -	ケイカル板 EP -	--	C1 - -	GB-D - -	2500	
外倉庫	煙	2	-10	0	F1 - -	防塵塗装 - -	VB -	60	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	ケイカル板 EP-G -	2500	
機械室	煙	2	-10	0	F1 - -	防塵塗装 - -	VB -	60	- -		- - -	GW ボード - -	--	C2b - -	GW ボード - -	2500	
M/WC	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	メラミン不燃化粧板 - -	--	C2b - -	DR - -	2500	ライニング、トイレブース、小便器用手摺
W/WC	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	メラミン不燃化粧板 - -	--	C2b - -	DR - -	2500	ライニング、トイレブース
H/WC	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	メラミン不燃化粧板 - -	--	C2b - -	DR - -	2500	
SK	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	GB-D - -	2500	ライニング
PS-1	難		-10	0	F1 - -	防塵塗装 - -	- -		- -		- - -	GB-R - -	--	C1 - -	- - -	2500	
PS-2	難		-10	0	F1 - -	防塵塗装 - -	- -		- -		- - -	GB-R - -	--	C1 - -	- - -	2500	

飲食棟

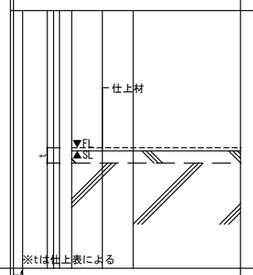
室名	内装制限 記号	内装制限 根拠	SL	FL	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 H	腰壁 仕上	腰壁 H	壁 下地	壁 仕上	廻り縁	天井 下地	天井 仕上	CH	備考
食堂	難	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) -	--	C2a - -	新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) - ポリッシュ木毛セメント板		PR 、RB
cafe スペース	難	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB 磁器質タイル	60 60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) 磁器質タイル	--	C2a C3 -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	PR 、消火器 BOX
風除室-1	準	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) -	--	C2a - -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	
風除室 -2	準	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	新潟県産杉羽目板 WP(A) -	--	C2a - -	DR 塗装品 新潟県産杉ルーバー（難燃処理品） WP(A) -	2500	
厨房	不(下)	4,a1, a5,a6	-10	0	F2 - -	FS(C) - -	床材立上 -	100	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	ケイカル板 EP-G -	2500	
テイクアウト厨房	不(下)	4,a1, a5,a6	-10	0	F2 - -	FS(C) - -	床材立上 -	100	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	ケイカル板 EP-G -	2500	
検品検収室	不(下)	4,a1, a5	-10	0	F2 - -	FS(C) - -	床材立上 -	100	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	ケイカル板 EP-G -	2500	消火器 BOX
食品庫	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(C) - -	床材立上 -	100	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	ケイカル板 EP-G -	2500	
ゴミ庫	煙	2	-10	0	F1 - -	防塵塗装 - -	VB -	60	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	ケイカル板 EP-G -	2500	
休憩室	難	a1	-10	0	F1 - -	TCP - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス メラミン不燃化粧板 -	--	C1 - -	DR(直) - -	2500	BB
おむつ替え室	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(A) - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス メラミン不燃化粧板 -	--	C2b - -	DR - -	2500	キッチン
授乳室	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(A) - -	VB -	60	- -		- - -	ビニルクロス - -	--	C2b - -	DR - -	2500	
廊下	準	a1	-30	0	F1 - -	コンクリート磨き - -	WB -	60	- -		- - -	メラミン不燃化粧板 - -	--	C2a - -	DR - -	2500	消火器 BOX
機械室	煙	2	-10	0	F1 - -	GW ボード - -	VB -	60	- -		- - -	GW ボード - -	--	C2b - -	GW ボード - -	2500	
M/WC	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	メラミン不燃化粧板 - -	--	C2b - -	DR - -	2500	ライニング、トイレブース、小便器用手摺
W/WC	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	メラミン不燃化粧板 - -	--	C2b - -	DR - -	2500	ライニング、トイレブース
H/WC	煙	2	-10	0	F2 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	メラミン不燃化粧板 - -	--	C2b - -	DR - -	2500	
調理員 WC	煙	2	-10	0	F1 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	DR(直) - -	2500	ライニング
SK	煙	2	-10	0	F1 - -	FS(B) - -	SUS 幅 木 -	100	- -		- - -	ケイカル板 EP-G -	--	C1 - -	GB-D - -	2500	ライニング
PS	難		-10	0	F1 - -	防塵塗装 - -	- -		- -		- - -	GB-R - -	--	C1 - -	- - -	2500	

変更			発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-010
					図面名称 内部仕上表	縮尺 A1:S= A3:S=
						㊞ 電 構 機

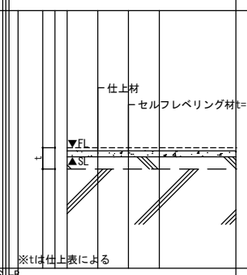
床

下地仕様

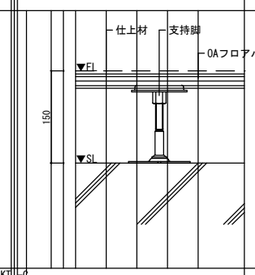
F1 RC下地



F2 セルフレベリング下地

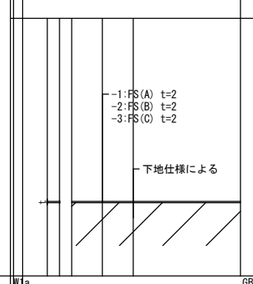


F3 OAフロア下地

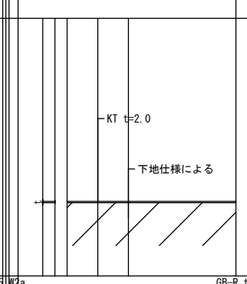


仕上仕様

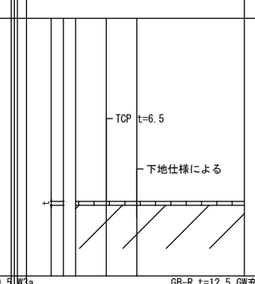
-A FS



-B KT

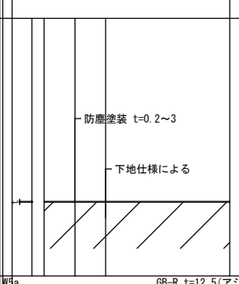


-C TCP



-D コンクリート磨き

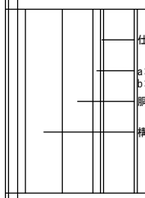
-E 防塵塗装



壁

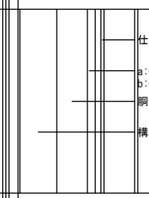
下地仕様

W1a GB-R t=12.5
W1b GB-S t=12.5



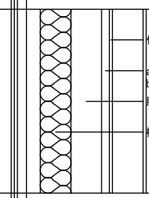
※各図面に(t)の表記のある場合は厚さtの胴縁を見込む

W2a GB-R t=12.5+9.5
W2b GB-S t=12.5+9.5



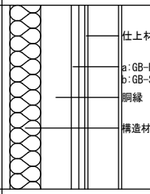
※各図面に(t)の表記のある場合は厚さtの胴縁を見込む
※不燃要求請室はGB-R12.5を上張とする

W3a GB-R t=12.5 GW充填（遮音）
W3b GB-S t=12.5 GW充填（遮音）



※各図面に(t)の表記のある場合は厚さtの胴縁を見込む
※不燃要求請室はGB-R12.5を上張とする

W4a GB-R t=12.5+9.5 GW充填（遮音）
W4b GB-S t=12.5+9.5 GW充填（遮音）

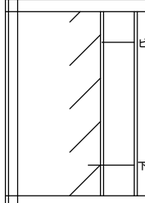


※各図面に(t)の表記のある場合は厚さtの胴縁を見込む
※不燃要求請室はGB-R12.5を上張とする

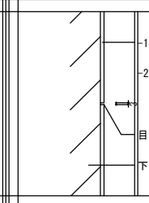
W5a GB-R t=12.5(アジャスター)
W5b GB-S t=12.5(アジャスター)

仕上仕様

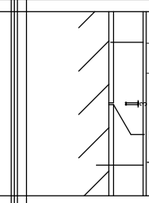
-A ビニルクロス



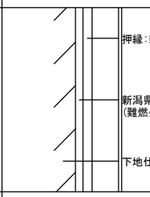
-B 化粧板



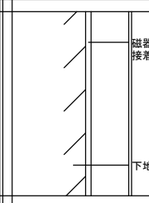
-C ケイカル板塗装



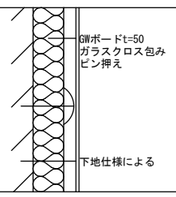
-D 羽目板



-E タイル



-F GWボード



凡例・特記事項

■各図面への表記方法

床	F1 － A － 1 下地仕様 仕上材 仕上種別
壁	P1(新)－ A － 1 下地仕様 仕上材 仕上種別
天井	C1 － A － 1 下地仕様 仕上材 仕上種別

■各図面の表示内容

図面名	表示部位	表示内容
矩計図	床・壁・天井	下地仕様-仕上材-仕上種別
平面詳細図	床	下地仕様-仕上材-仕上種別
	壁	下地仕様
天井伏図	天井	下地仕様-仕上材-仕上種別
展開図	壁・幅木	仕上材-仕上種別

■平面詳細図への壁下地記号の記載方法

乾壁・地下外壁下地の場合
外壁又は外壁下地に直接仕上を施す場合
外壁又は外壁取付下地
W00

間仕切壁の場合
石膏ボード間仕切壁等
壁下地が1種類の場合の表記
(P:間仕切)
(W:壁)
P00

ボード壁の上にケイカル貼等、仕様が2種類以上にまたがる場合の表記
(P:間仕切)
(W:壁)
P00-W00
又は
P00-W00
(W:壁)
(P:間仕切)
(W:壁)
P00-W00

備考

発注者
新潟県　村上市

工事名称
道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事

図面番号
A-011

図面名称
仕上リスト-1

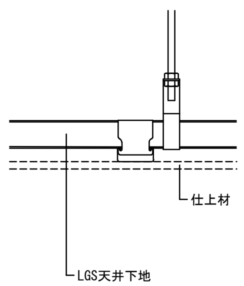
縮尺
A1: S=
A3: S=

監	電	
構	機	

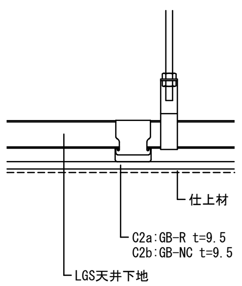
天井

下地仕様

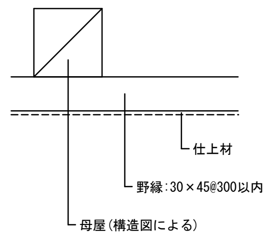
C1 LGS下地(直貼用)



C2a GB-R t=9.5
C2b GB-NC t=9.5(不燃)

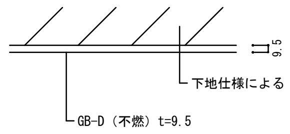


C3 木下地

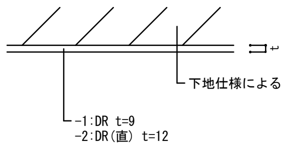


仕上仕様

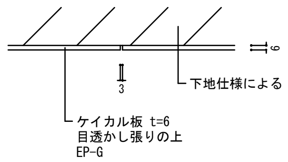
-A GB-D t=9.5(不燃)



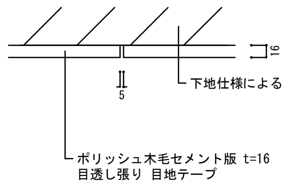
-B-1 DR t=9
-B-2 DR(直) t=12



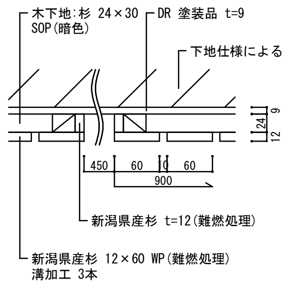
-C ケイカル板塗装



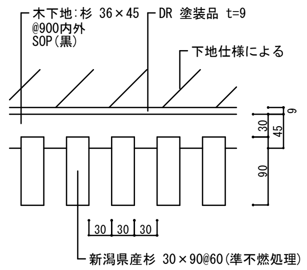
-D 木毛セメント板



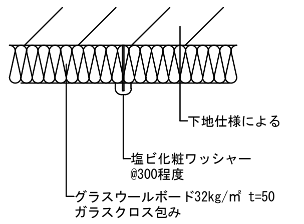
-E-1 新潟県産杉スノコルーバー



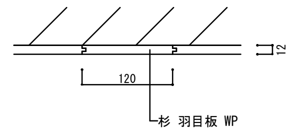
-E-2 新潟県産杉ルーバー



-F GWボード

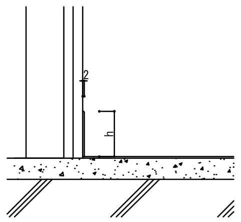


-G 新潟県産杉羽目板



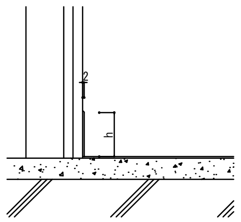
幅木

B1 VB



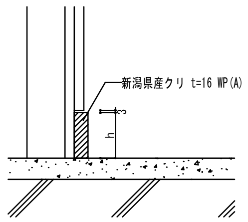
※h寸法は仕上表による

B2 SUS



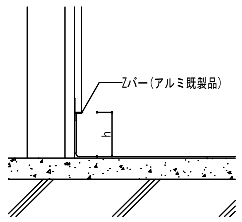
※h寸法は仕上表による

B3 WB



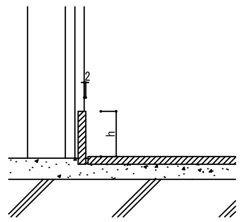
※h寸法は仕上表による

B4 長尺塩ビシート立上



※h寸法は仕上表による

B5 磁器質タイル



※h寸法は仕上表による

凡例・特記事項

■各図面への表記方法

床	F1	A	1	
	下地仕様	仕上材	仕上種別	
壁	P1(W1)	A	1	
	下地仕様	仕上材	仕上種別	
天井	C1	A	1	
	下地仕様	仕上材	仕上種別	

■各図面の表示内容

図面名	表示部位	表示内容
矩計図	床・壁・天井	下地仕様-仕上材-仕上種別
平面詳細図	床	下地仕様-仕上材-仕上種別
	壁	下地仕様
天井伏図	天井	下地仕様-仕上材-仕上種別
展開図	壁・幅木	仕上材-仕上種別

■平面詳細図への壁下地記号の記載方法

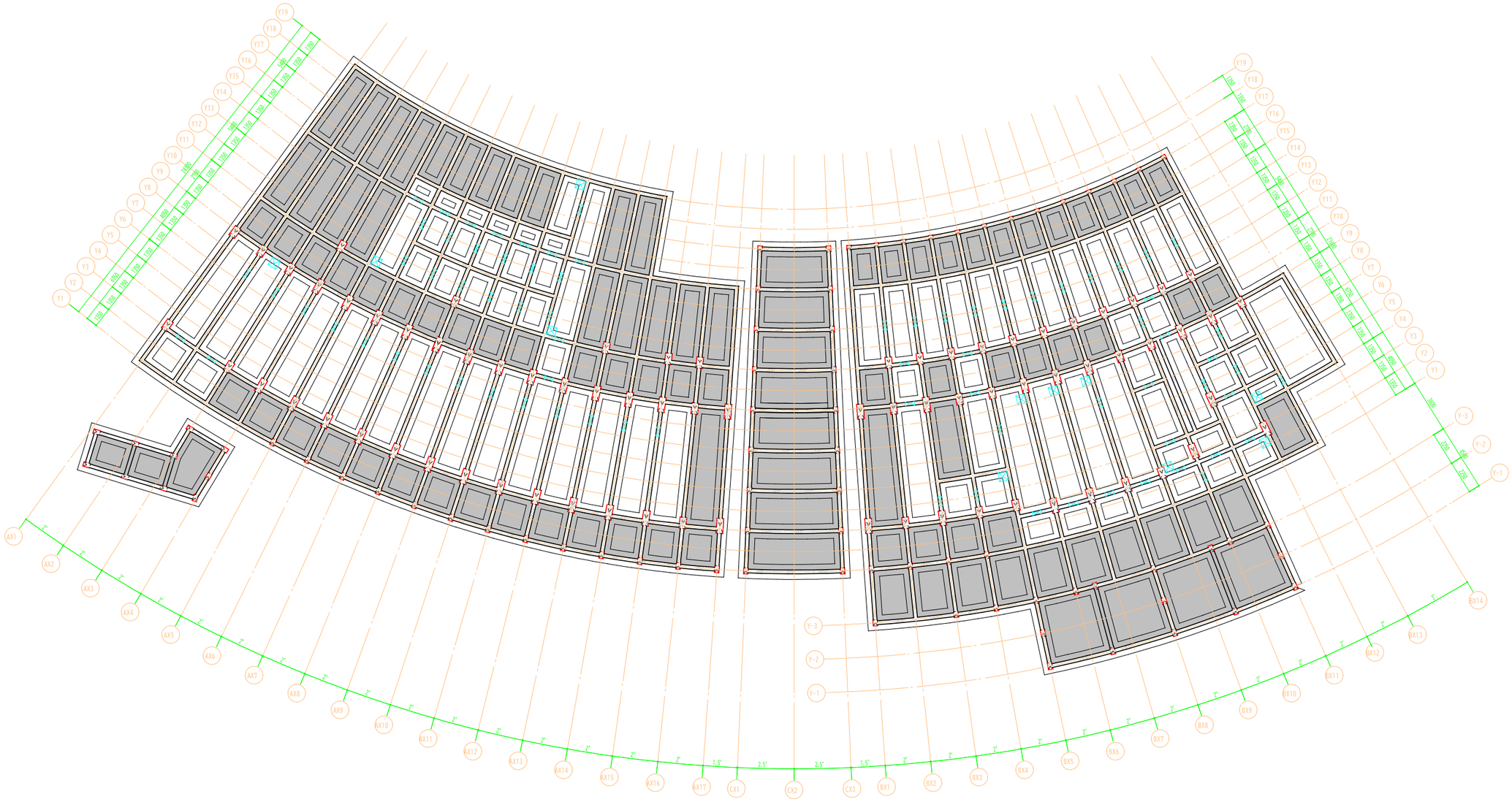
外壁・地下外壁下地の場合
外壁又は外壁下地に直接仕上を施す場合
外壁又は外壁取付下地
W00

間仕切壁の場合
石膏ボード間仕切壁等
壁下地が1種類の場合の表記
(P:間仕切)
P00

ボード壁の上にケイカル貼等、仕様が2種類以上にまたがる場合の表記
(P:間仕切)
(W:壁)
P00-W00
又は
P00-W00
(W:壁)
(P:間仕切)
(W:壁)
P00-W00

備考		発注者 新潟県 村上市	工事名称 道の駅「朝日」(地域振興施設)建築工事	図面番号 A-012
			図面名称 仕上リスト-2	縮尺 A1: S= A3: S=

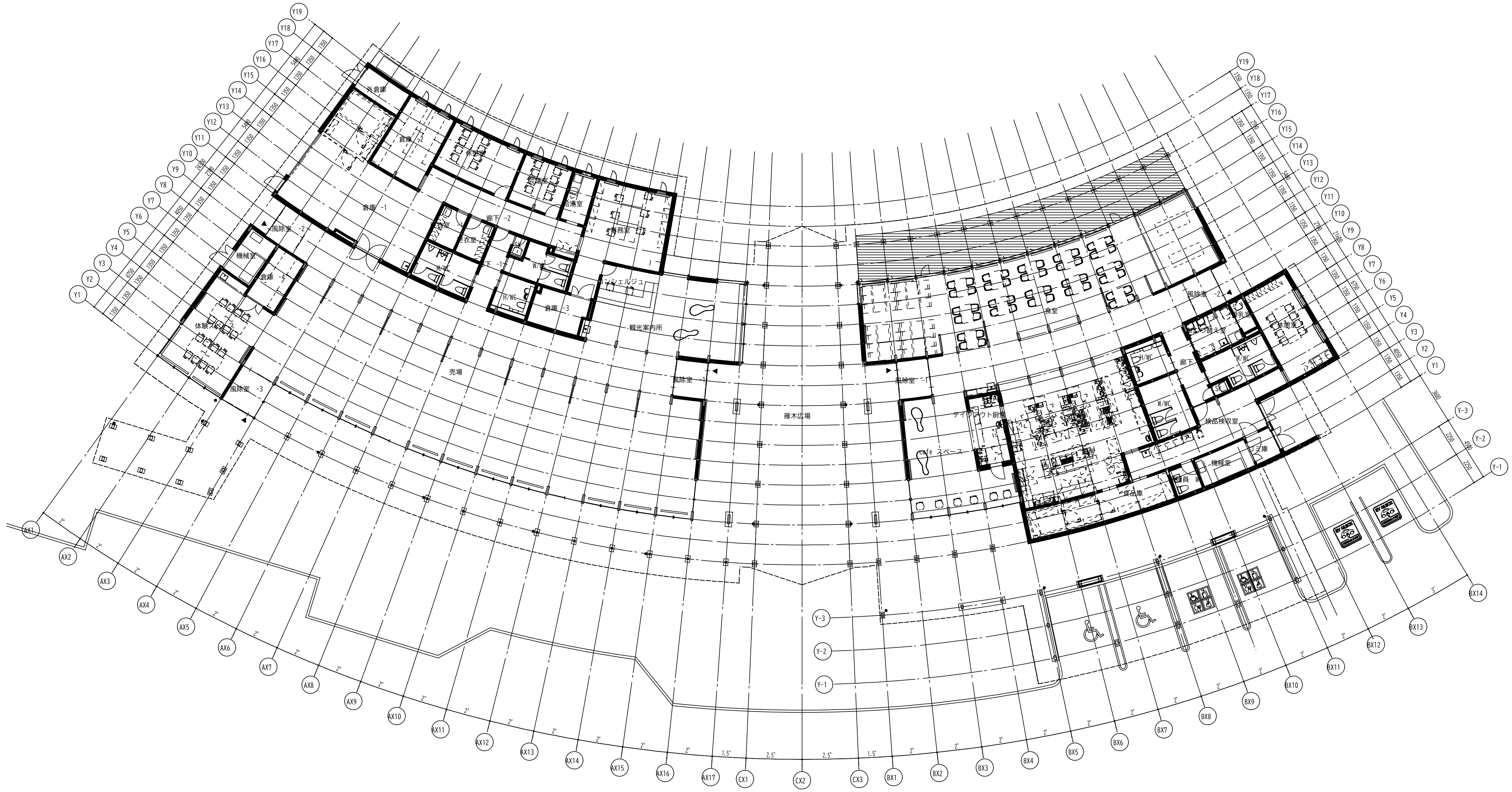
㊞意 電 構 機



凡例・特記事項				
	ピット範囲		人通口　Φ	
	（特記なき限り　GL-1650）		通気管　600　Φ　連通管　Φ半割　共	
	埋戻し範囲		スリーブ VP50 機械設備工事　VR150	
			※補強は建築工事	
			上部床点検口　角	
			SUS タラップ　W450　段　共	

N

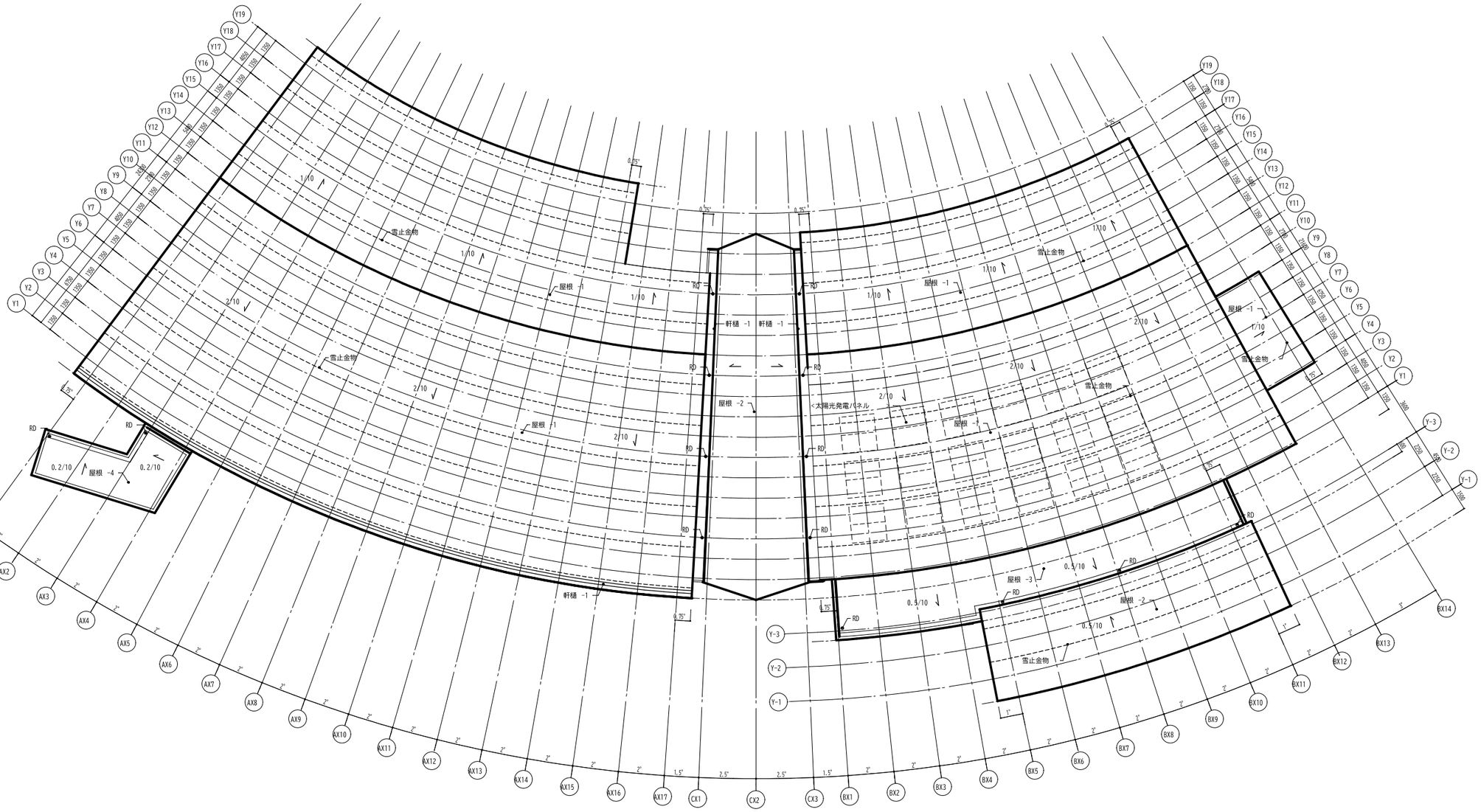
変更	5		発注者				工事名称		図面番号
			新潟県　村上市				道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		A-013
							図面名称	縮尺	急　電
							ピット平面図	A1:S= 1：150 A3:S= 1：300	構　機



凡例・特記事項			
北 西 展開方向 東 南	展開図展開方向	▲	主要な出入口
		⊠	床点検口 角
		⊕	竪樋 600

変更	発注者	新潟県 村上市

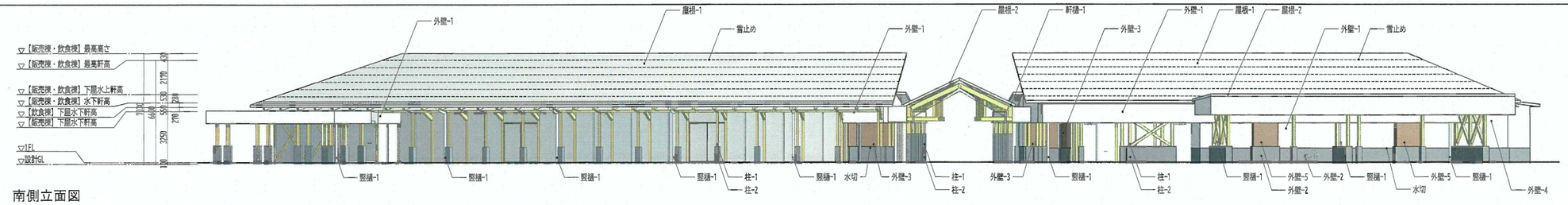
工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事
図面名称	1階平面図
縮尺	A1:S= 1：150 A3:S= 1：300
図面番号	A-014
意 電 構 機	



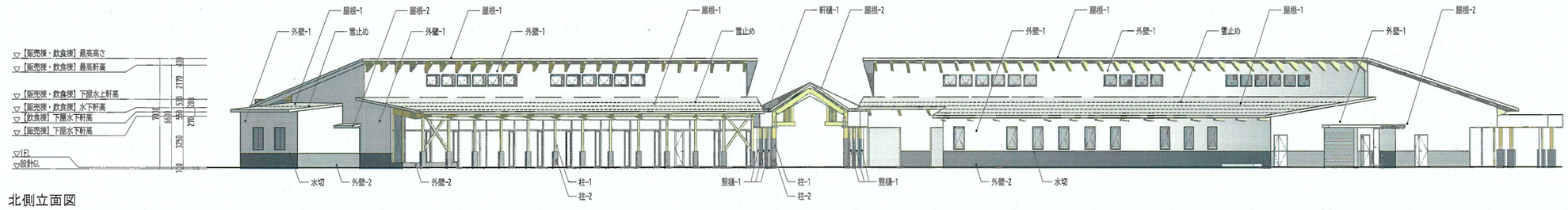
凡例・特記事項						
	屋根 -1	フッ素ガルバリウム鋼板 立平葺き	笠木 -1	アルミ押出型材	RD	鉄製ねじ込み式ルーフドレイン
	屋根 -2	フッ素ガルバリウム鋼板 立平葺き	軒樋 -1	スチール防水		
	屋根 -3	塩ビシート防水	竪樋 -1	アルミ既製品バンドレス		

N

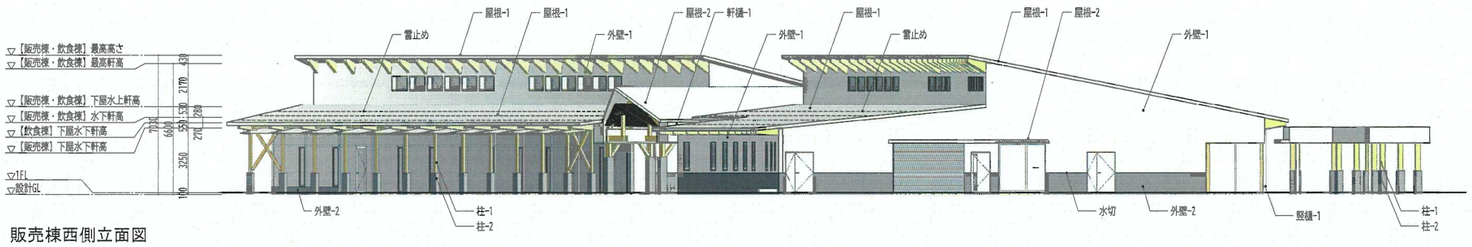
変更			発注者				工事名称		図面番号
			新潟県　村上市				道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		A-015
							図面名称	縮尺	衍 電 構 機
							屋根伏図	A1:S= 1 :150 A3:S= 1 :300	



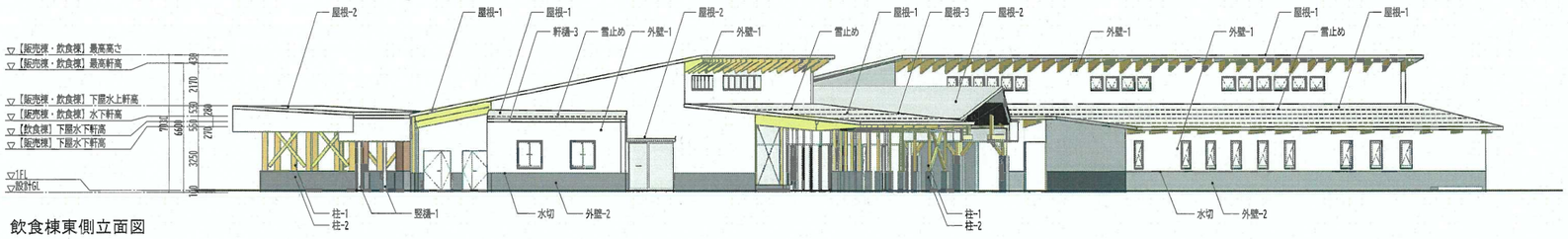
南側立面図



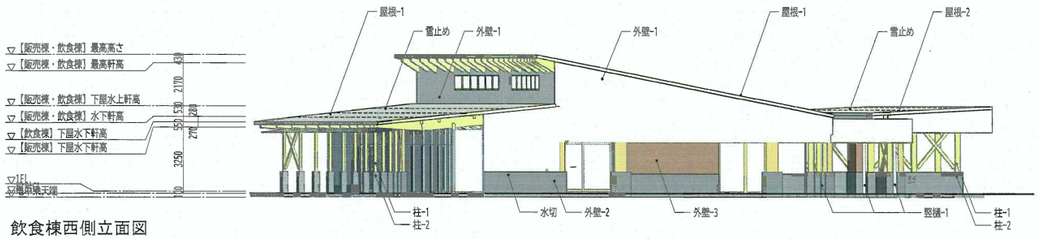
北側立面図



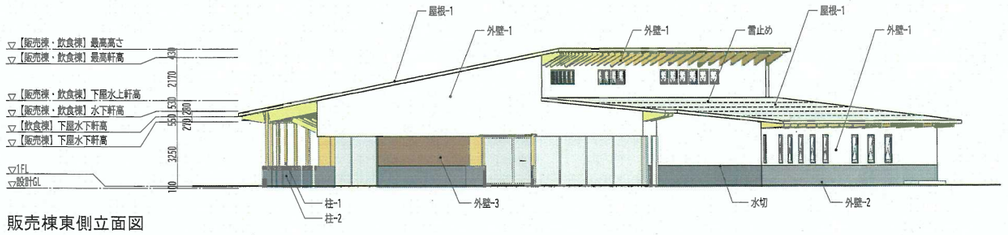
販売棟西側立面図



飲食棟東側立面図



飲食棟西側立面図

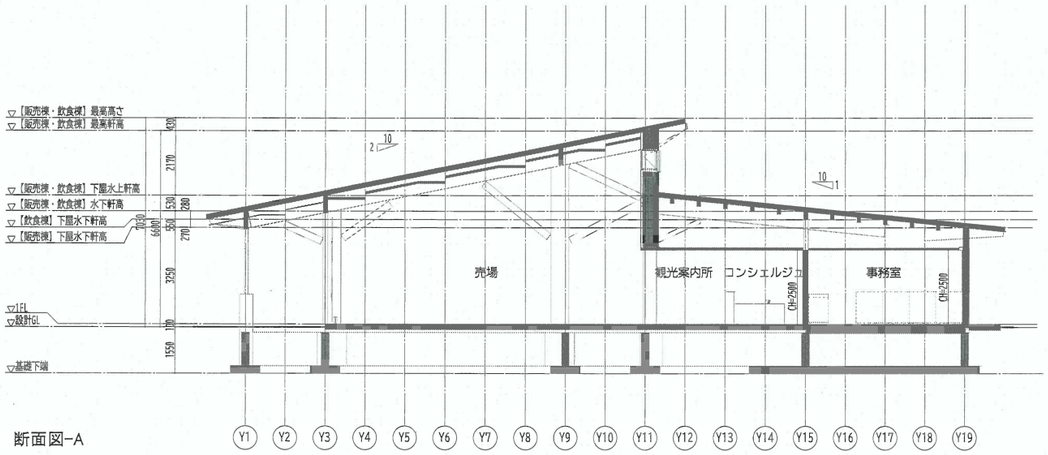


販売棟東側立面図

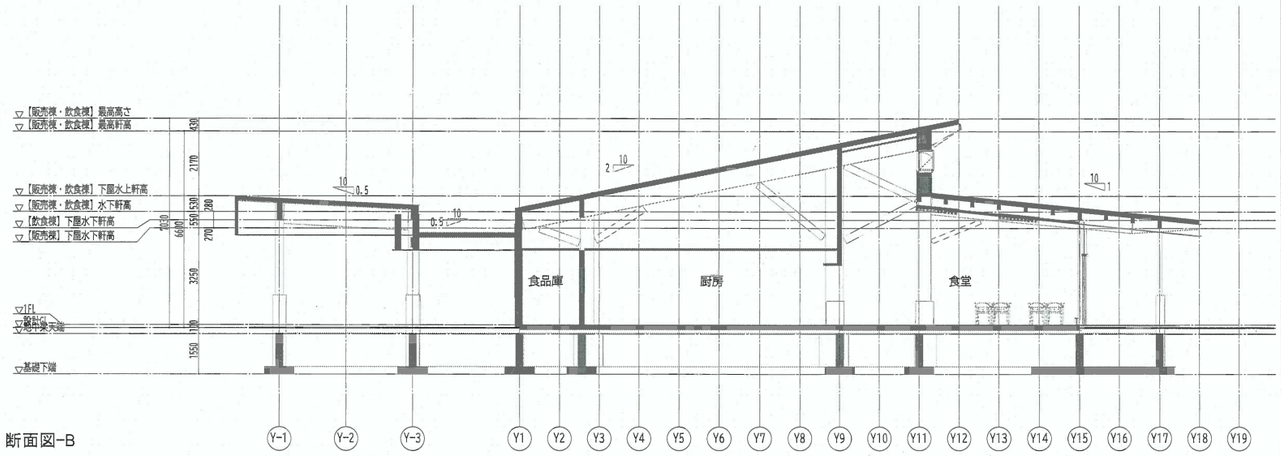
凡例・特記事項

屋根-1	フッ素ガルバリウム鋼板 立平葺き	笠木-1	アルミ押出型材	軒天-1	木毛セメント板	外壁-1	弾性吹付塗材	柱-1	フッ素系木材保護塗料
屋根-2	フッ素ガルバリウム鋼板 立平葺き	軒樋-1	スチール防水	軒天-2	新潟県産杉ルーバー	外壁-2	トップコート	柱-2	クリア塗装
屋根-3	塩ビシート防水	竪樋-1	アルミ既製品バンドレス	軒天-3	新潟県産杉羽目板	外壁-3	水蒸気式高温熱処理木材		

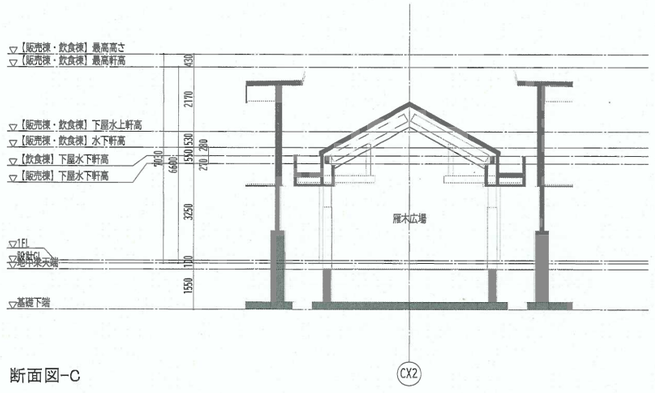
変更		発注者 新潟県　村上市	設計番号	年月日	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-016
			審査	チーフ事務所 / サブ事務所 -	図面名称 立面図	縮尺 A1:S=1 : 150 A3:S=1 : 300	電 / 構 / 機



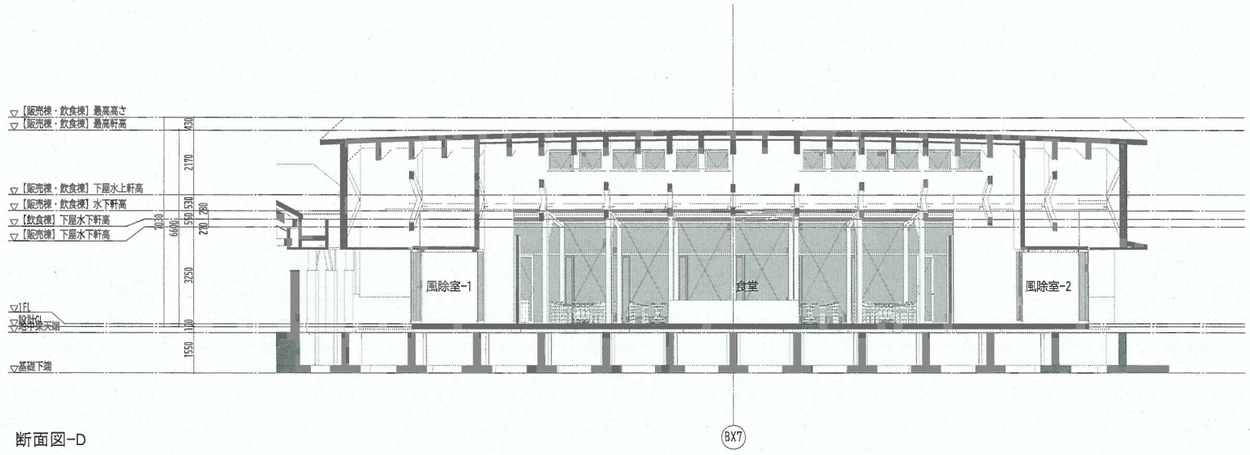
断面図-A



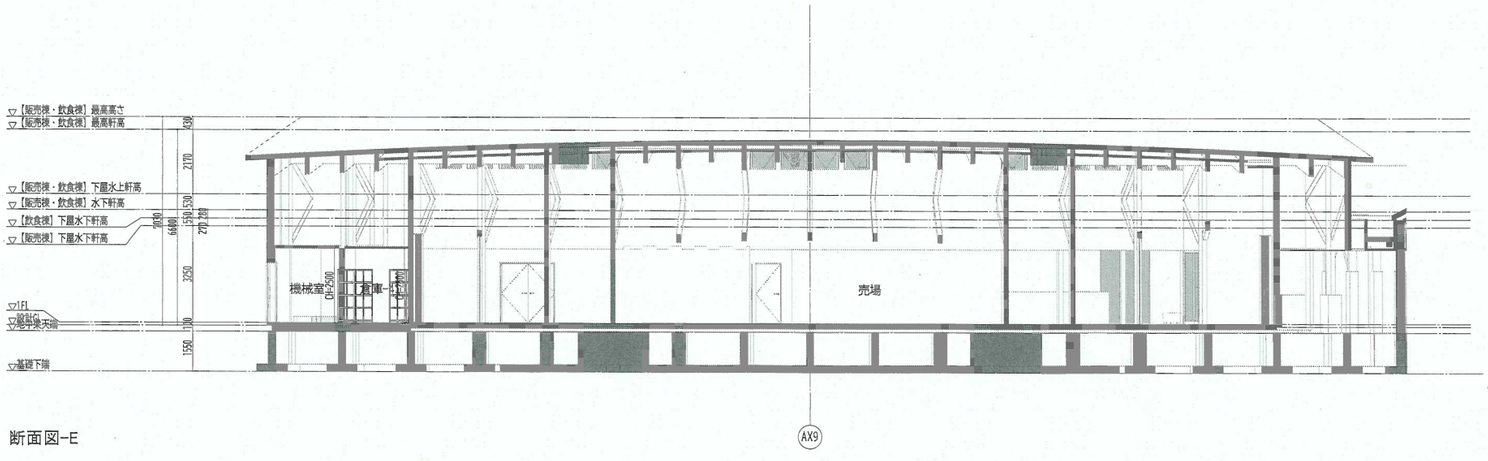
断面図-B



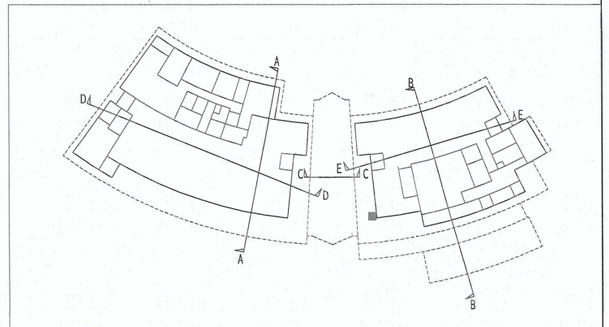
断面図-C



断面図-D

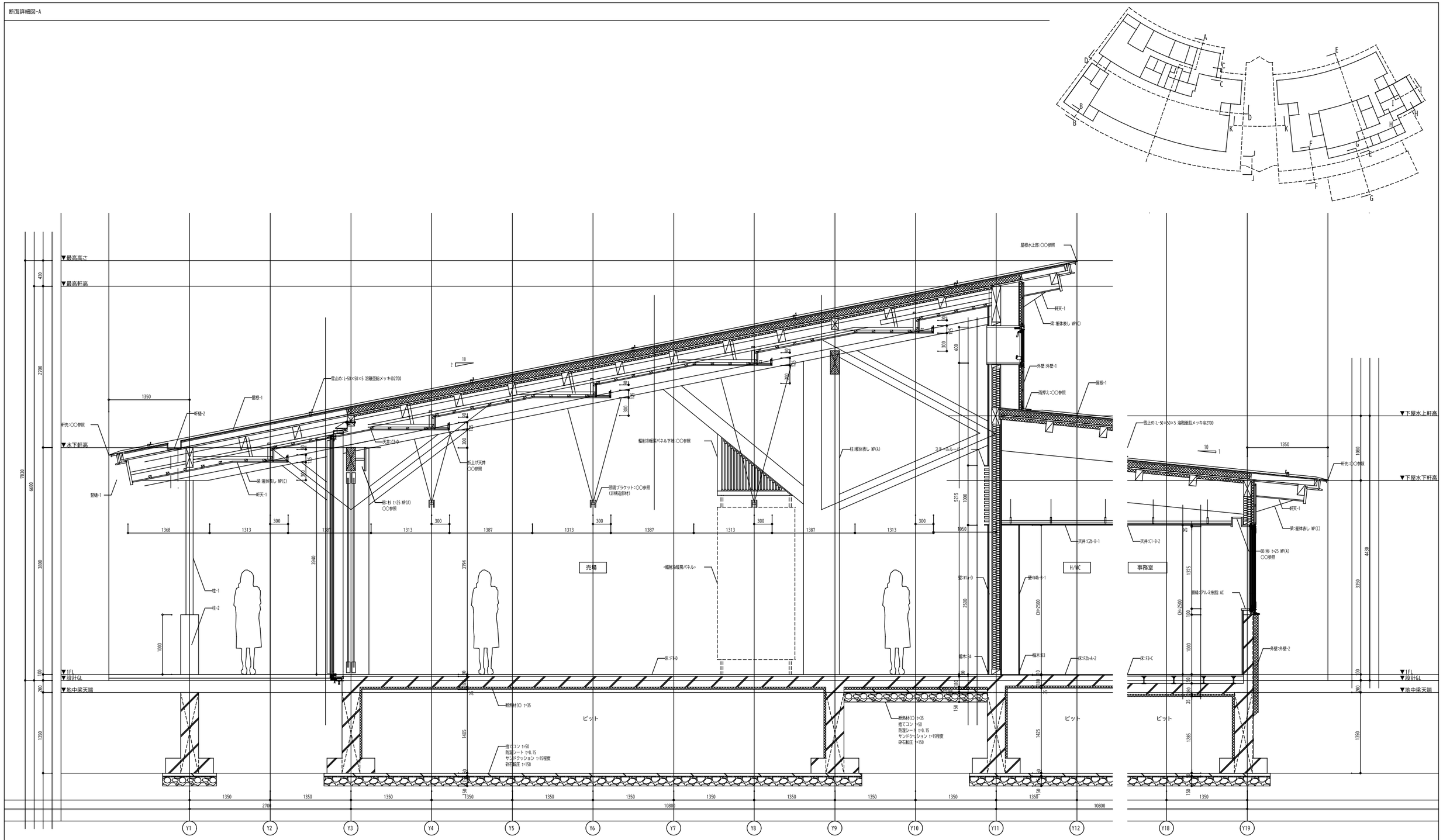


断面図-E



変更		発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-017
				図面名称 断面図	縮尺 A1:S= 1 : 100 A3:S= 1 : 200
					意 電 構 機

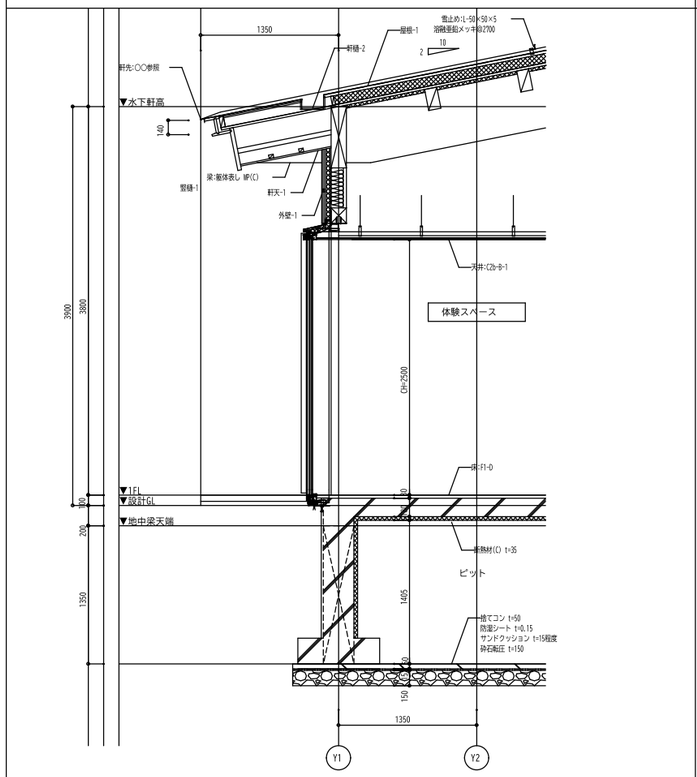
断面詳細図-A



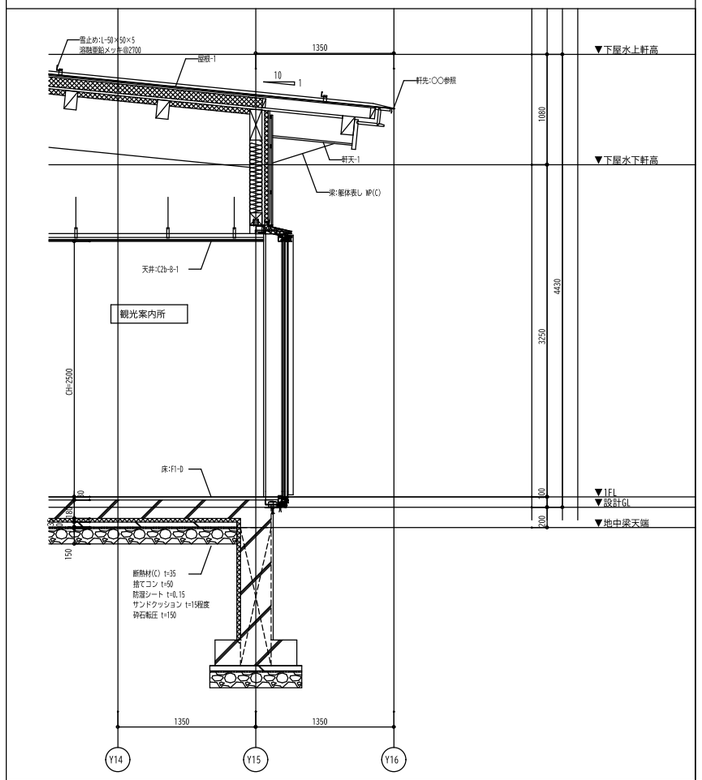
備考	発注者	工事名称	図面番号
	新潟県　村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-018
		図面名称: 断面詳細図-1	縮尺: A1: S=1/30　A3: S=1/60

㊞	電	
構	機	

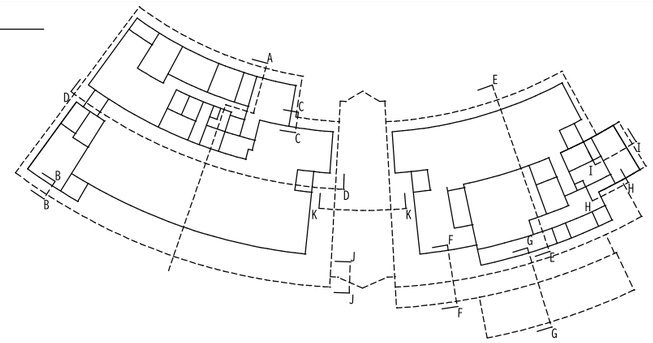
断面詳細図-B

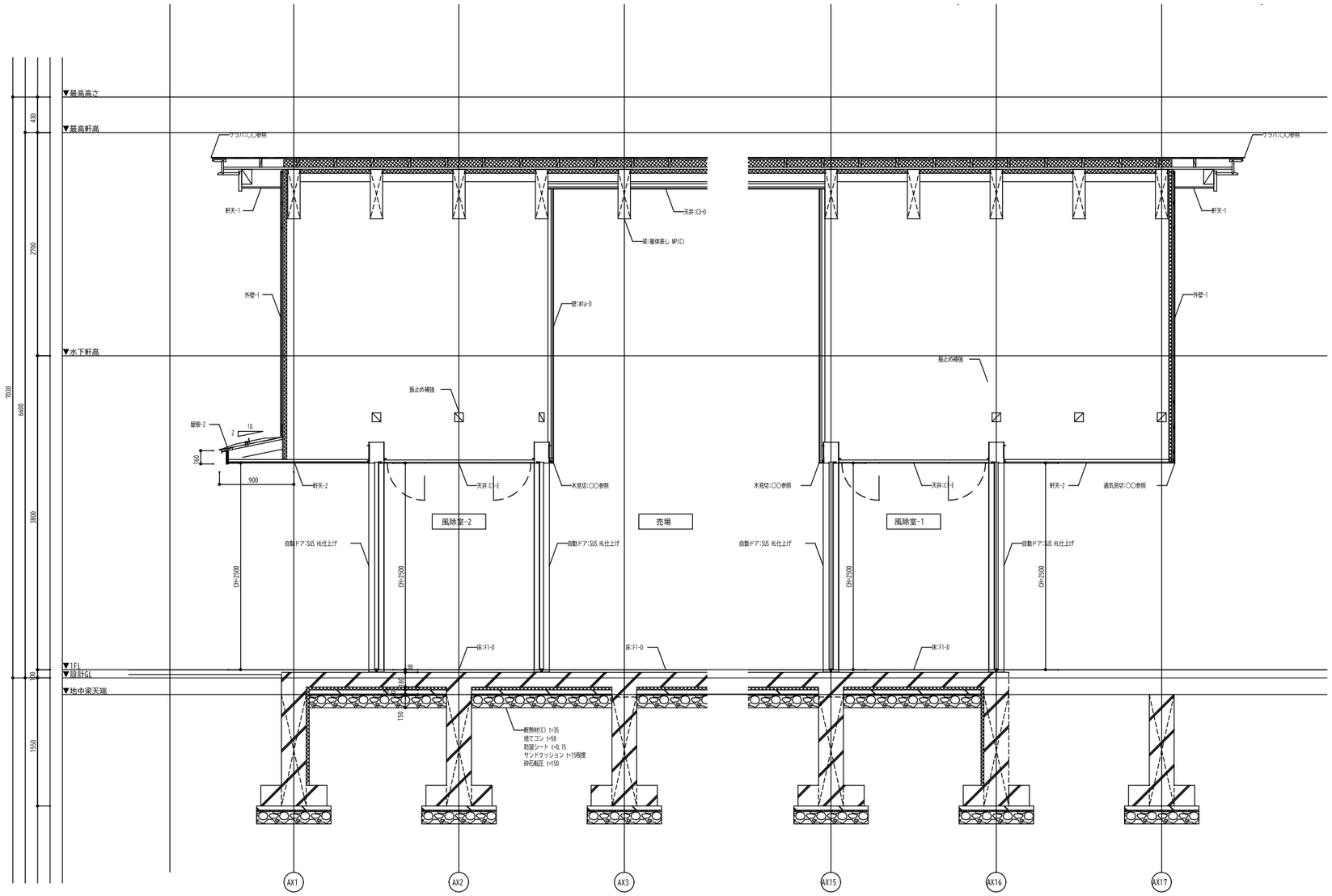


断面詳細図-C



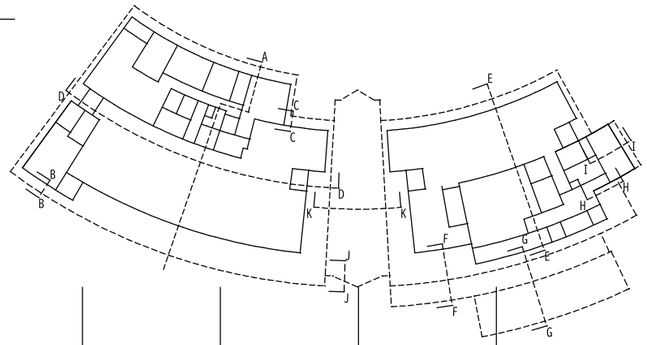
断面詳細図-D

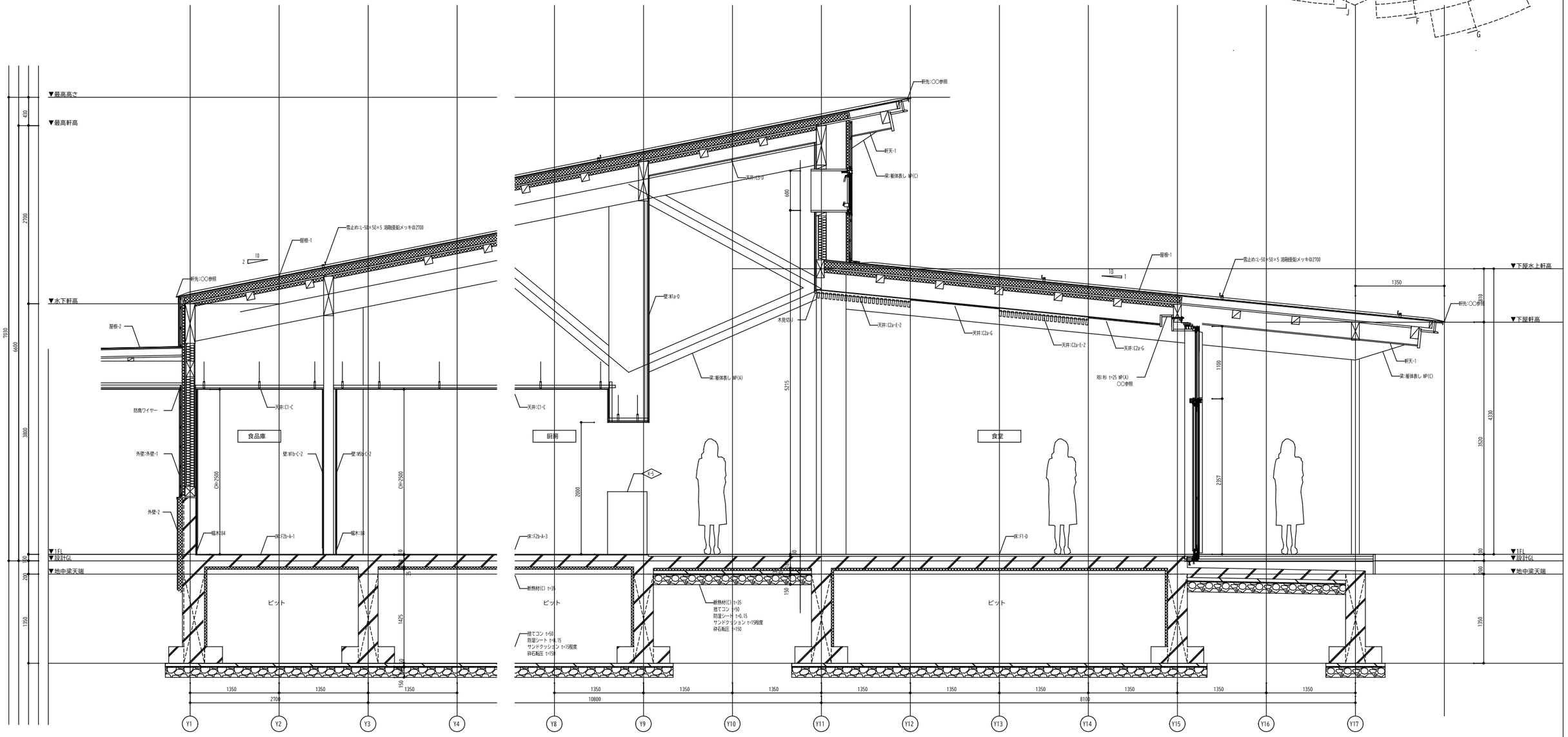




備考	発注者	工事名称	図面番号
	新潟県　村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-019
		図面名称: 断面詳細図-2	縮尺: A1: S=1/30　A3: S=1/60
			㊞ 電 構 機

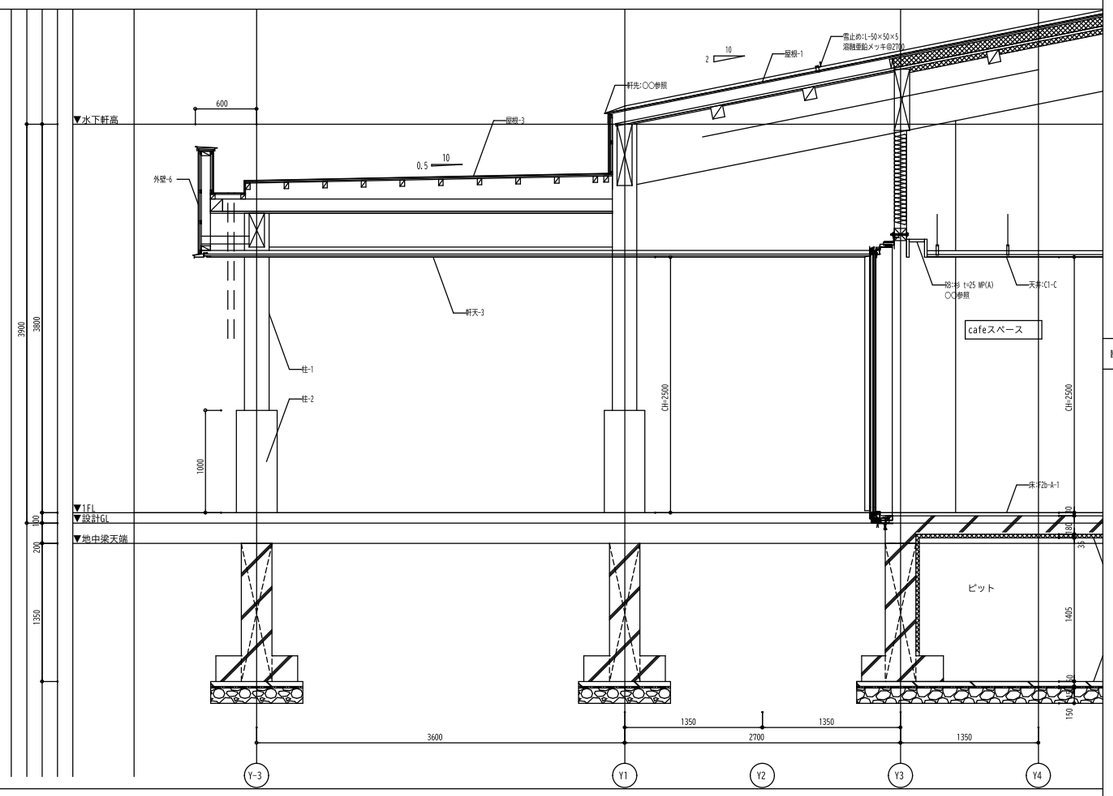
断面詳細図-E

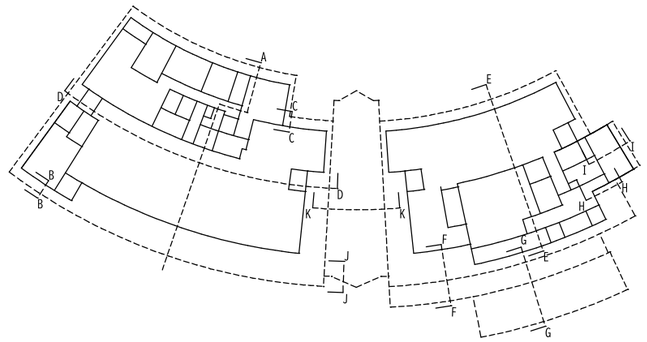




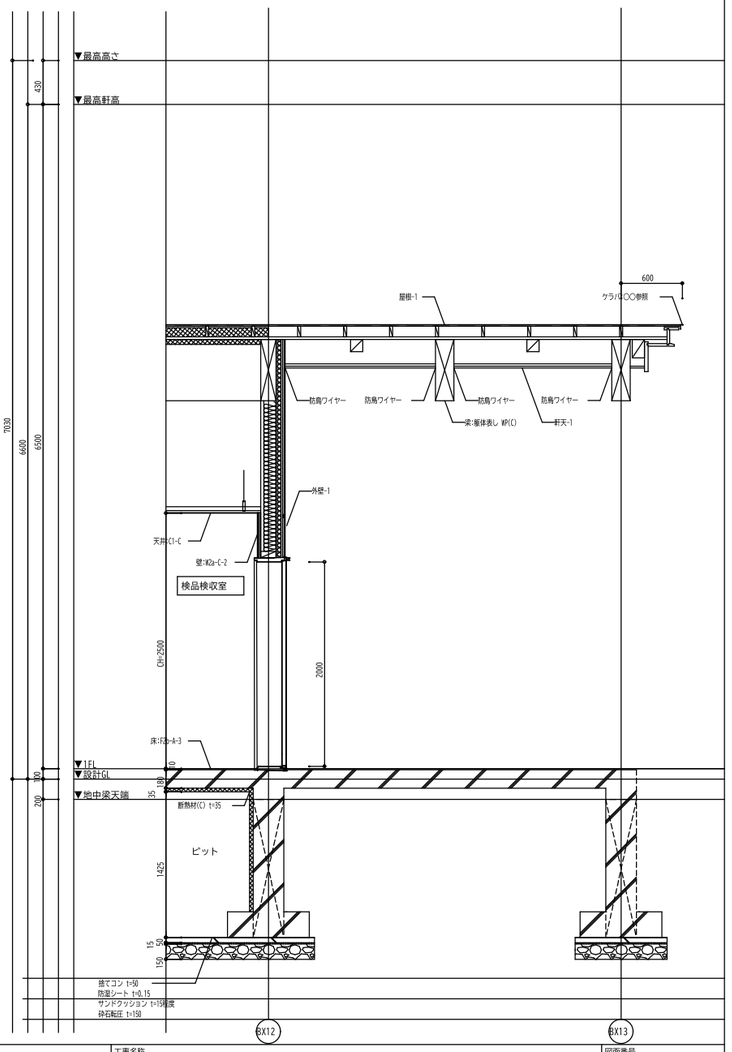
備考	発注者	工事名称	図面番号
	新潟県　村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-020
		図面名称：断面詳細図-3	縮尺：A1: S=1/30　A3: S=1/60
			㊞ 電 構 機

断面詳細図-F

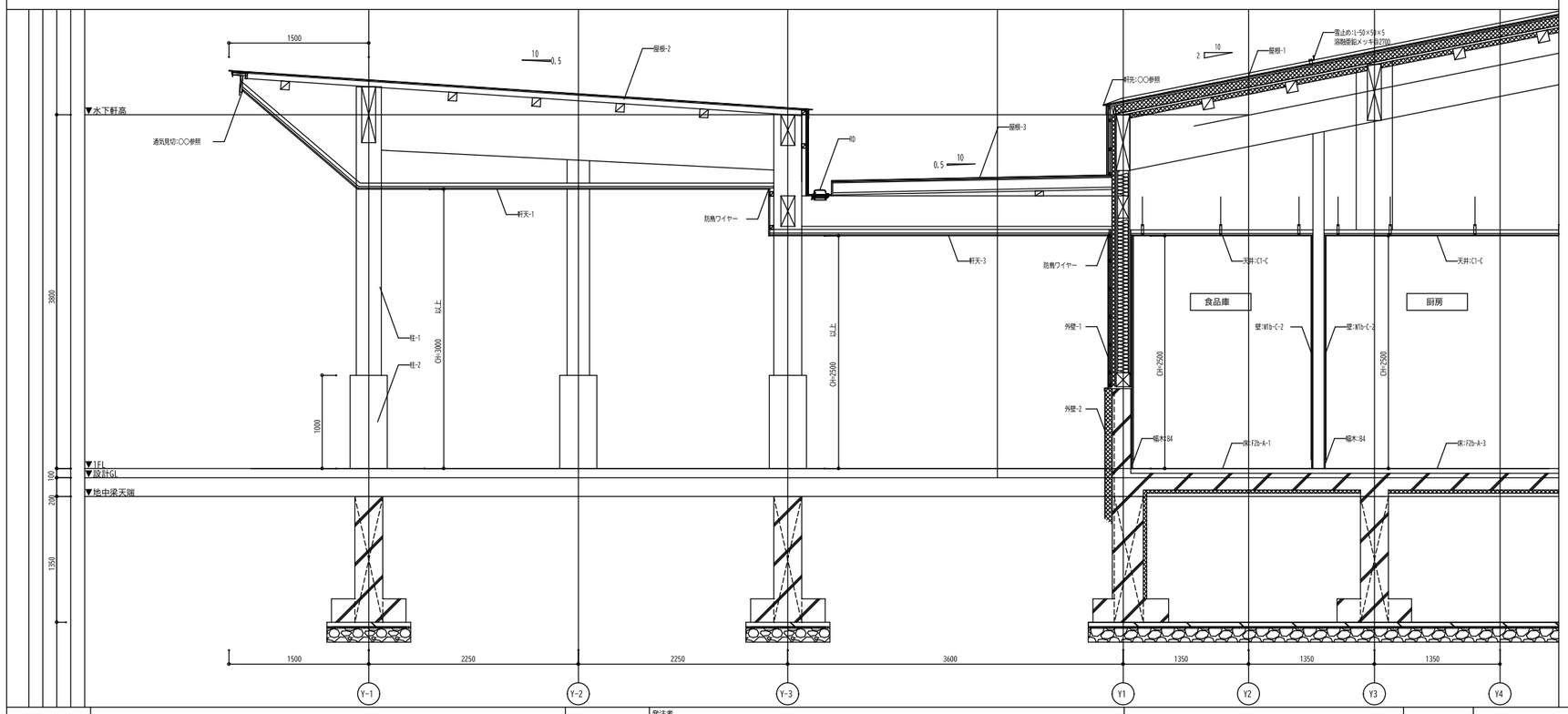




断面詳細図-H

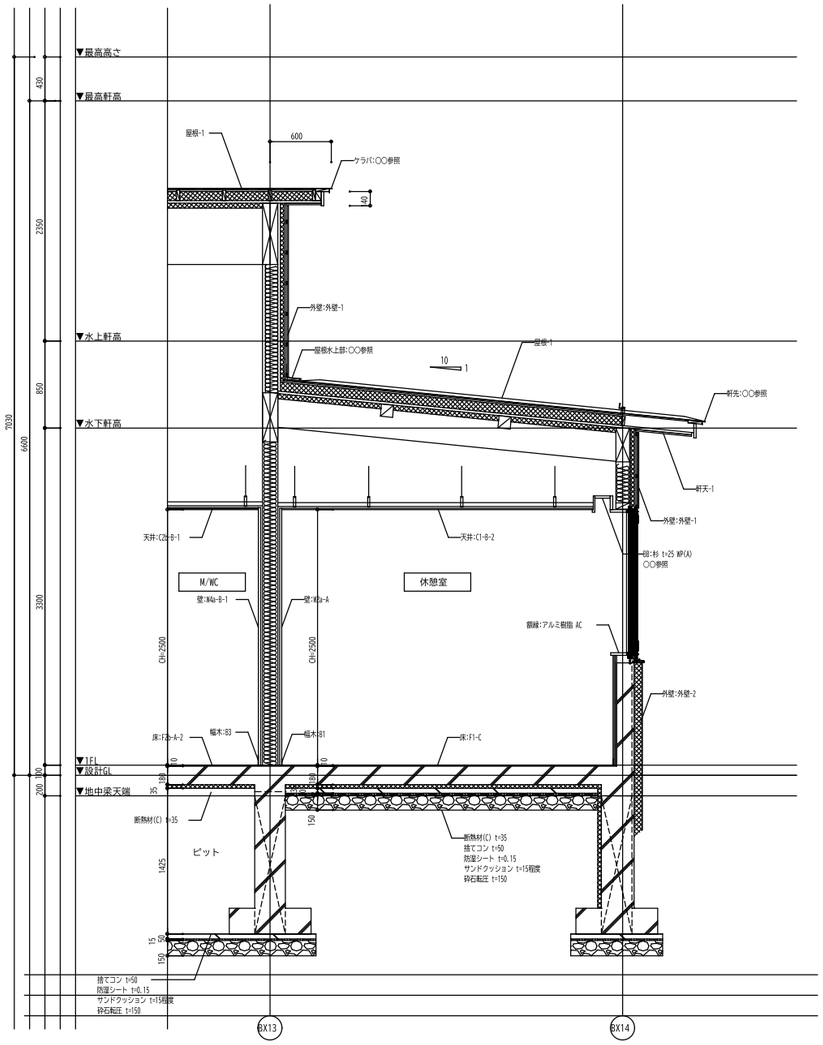


断面詳細図-G

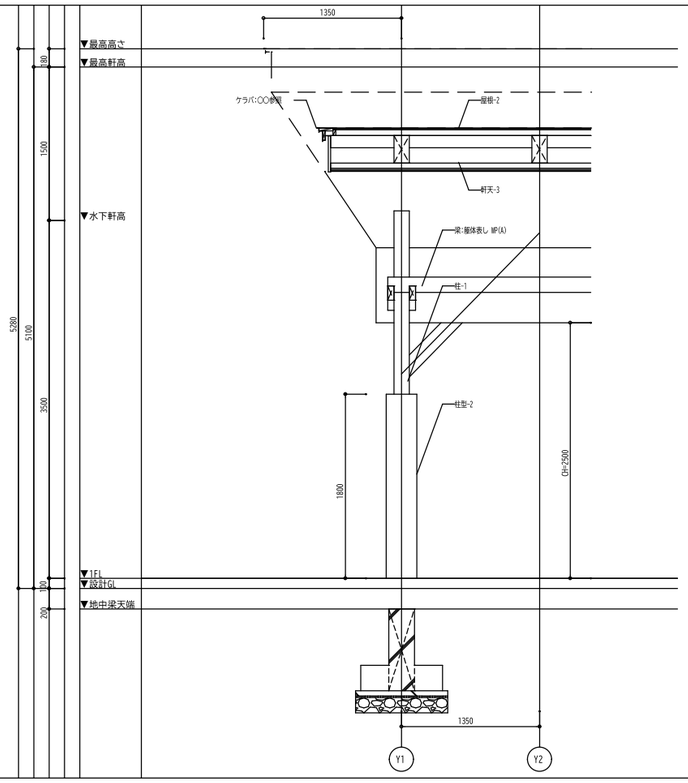


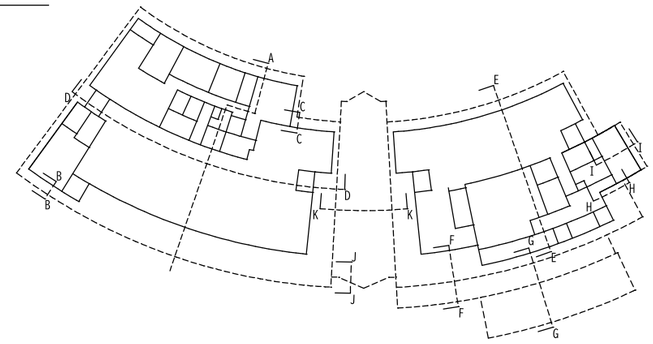
備考	発注者 新潟県　村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-021			
		図面名称 断面詳細図-4	縮尺 A1: S=1/30 A3: S=1/60	意	電		
				構	機		

断面詳細図-I

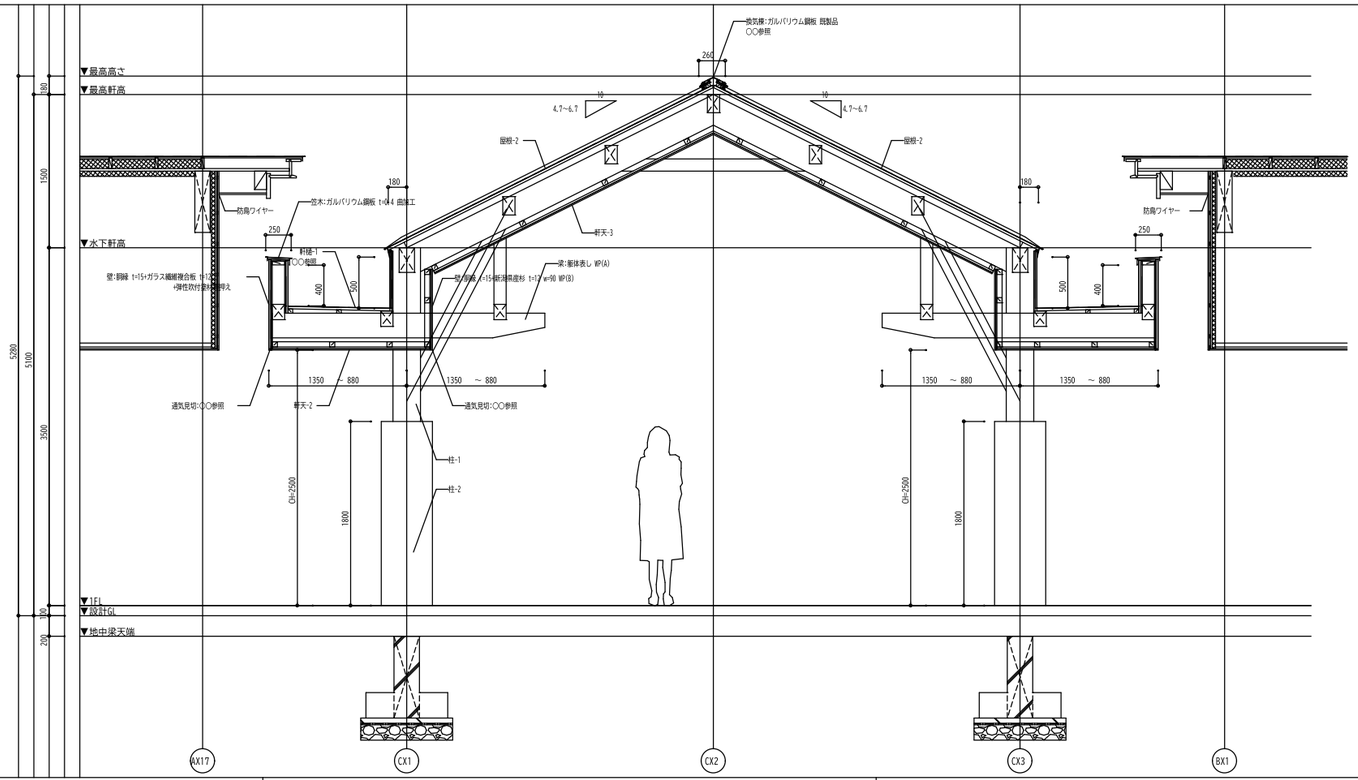


断面詳細図-J

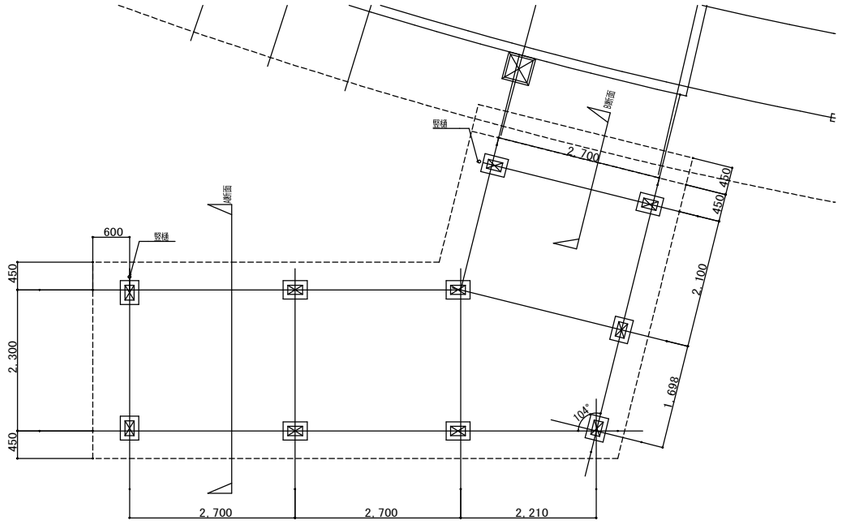




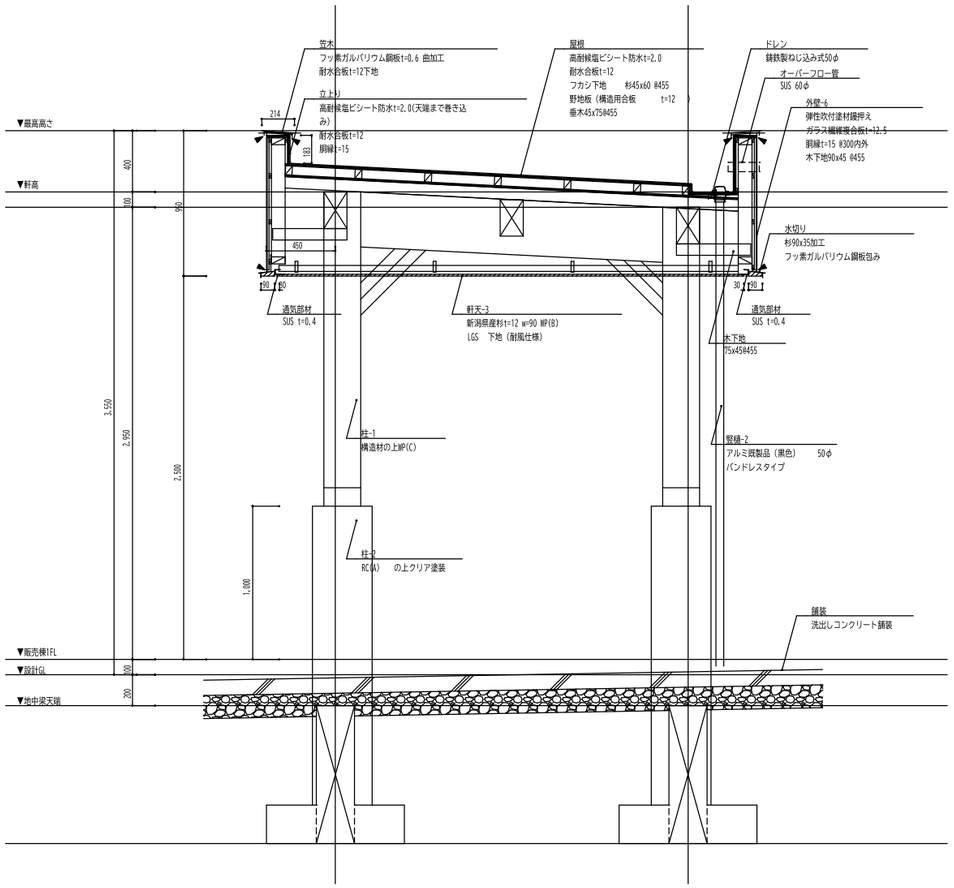
断面詳細図-K



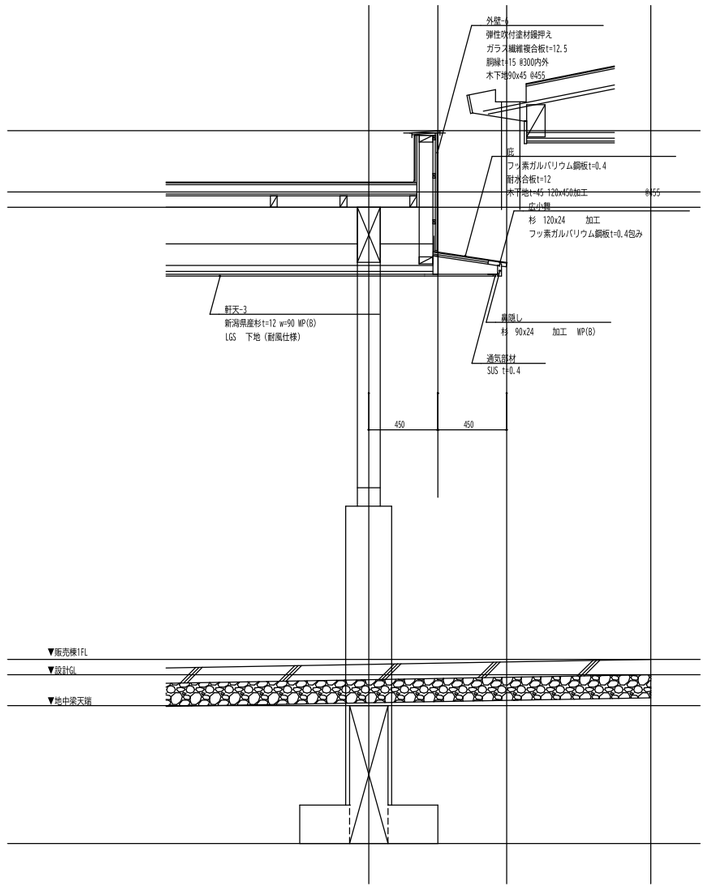
備考			発注者		工事名称	図面番号
			新潟県　村上市		道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-022
					図面名称 / 縮尺	意 / 電
					断面詳細図-5 / A1: S=1/30 A3: S=1/60	構 / 機



平面図
A1 S=1/ 50
A3 S=1/100



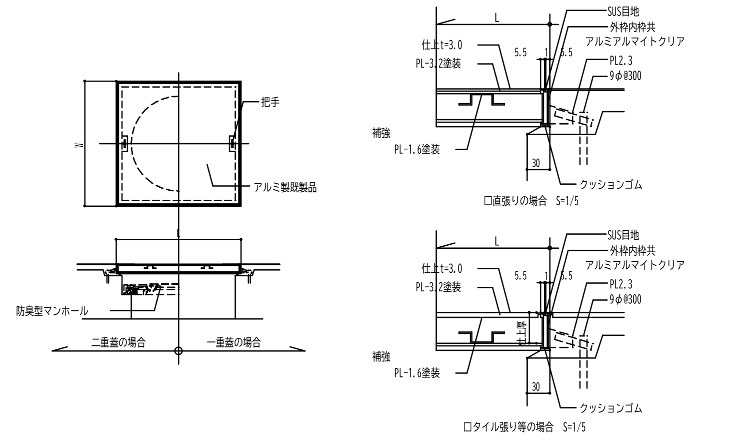
A断面
A1 S=1/20
A3 S=1/40



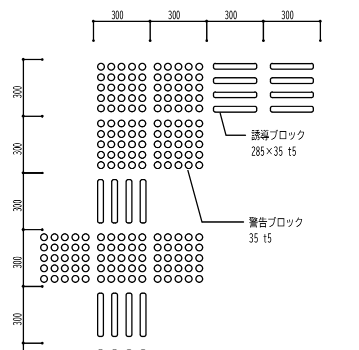
B断面
A1 S=1/20
A3 S=1/40

備考			発注者 新潟県　村上市				工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-023	
							図面名称 キャノピー詳細図	縮尺 A1：図示 A3：図示	恵 電 構 機	

D-Z01 床点検口（アルミ製化粧蓋） A1:S=1/20 A3:S=1/40



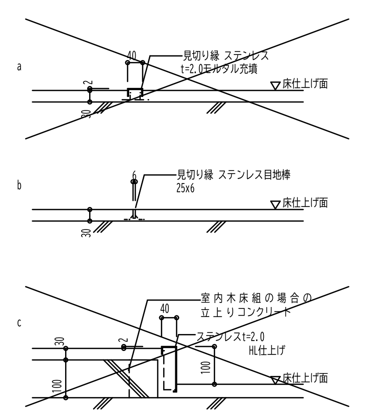
D-Z02 誘導用点字鋲 注意喚起用点字鋲 A1:S=1/20 A3:S=1/40



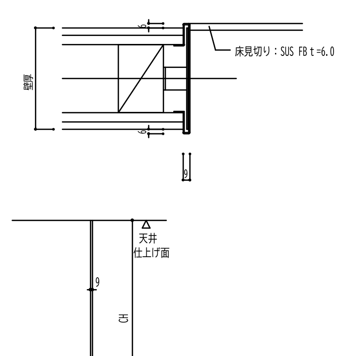
仕様 ◎印を適用する。
- ○ 真鍮
- ○ ステンレス
- ◎ ステンレス黄色マーク入り
- ○ 樹脂製

D-Z03 床見切り A1:S=1/10 A3:S=1/20

※ 床仕上げが異なる場合に見切り縁を設ける。

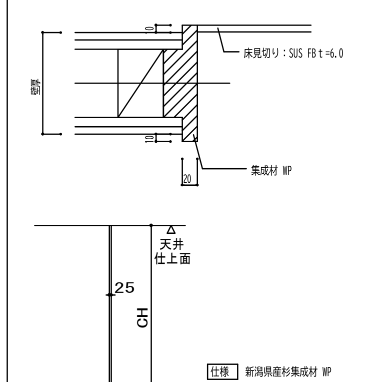


D-Z04 壁見切縁（鋼製） A1:S=1/ 5 A3:S=1/10



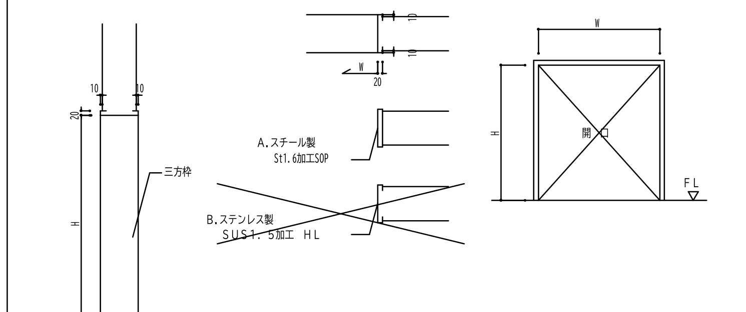
仕様 材質は◎印を適用する
- ◎ 鋼板製t=1.6 SOP
- ○ ステンレス製t=1.5加工PHL

D-Z05 壁見切縁（木製） A1:S=1/ 5 A3:S=1/10



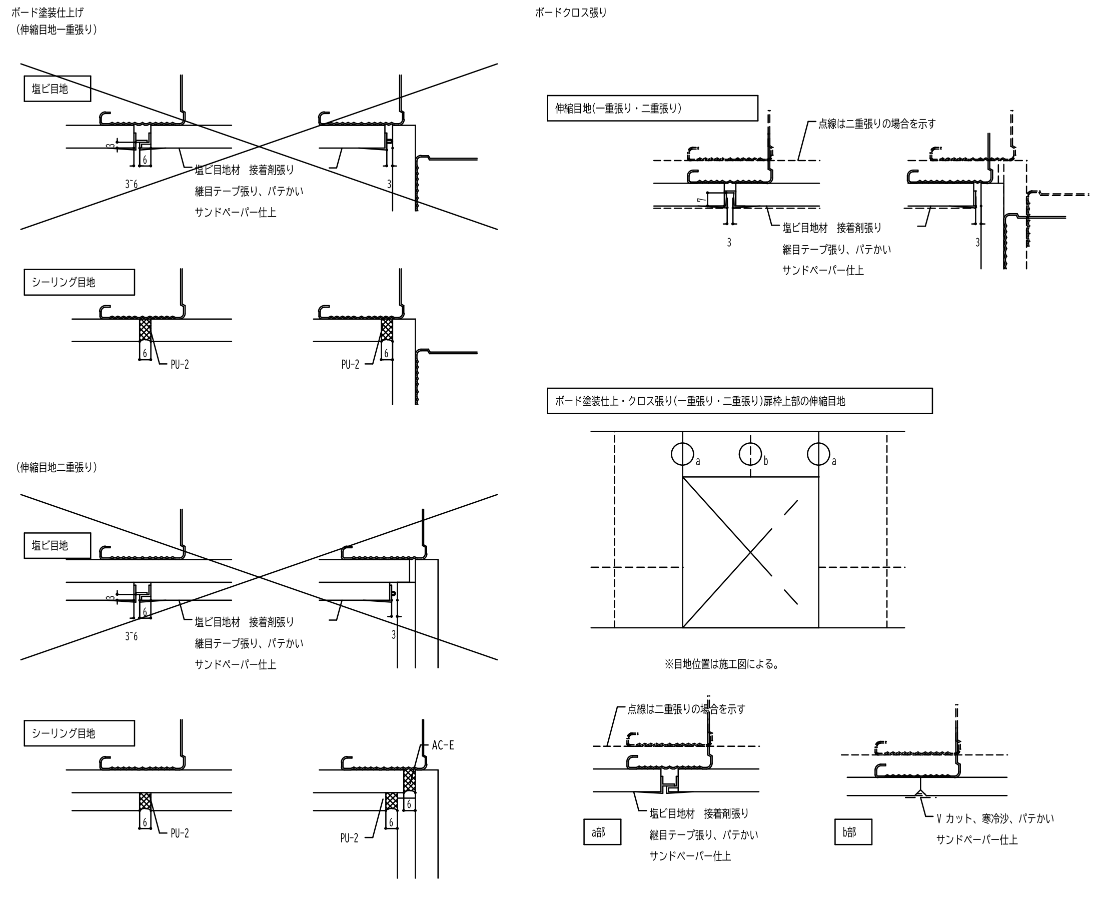
仕様 新潟県産杉集成材 WP

D-Z06 三方枠 A1:S=1/10 A3:S=1/20

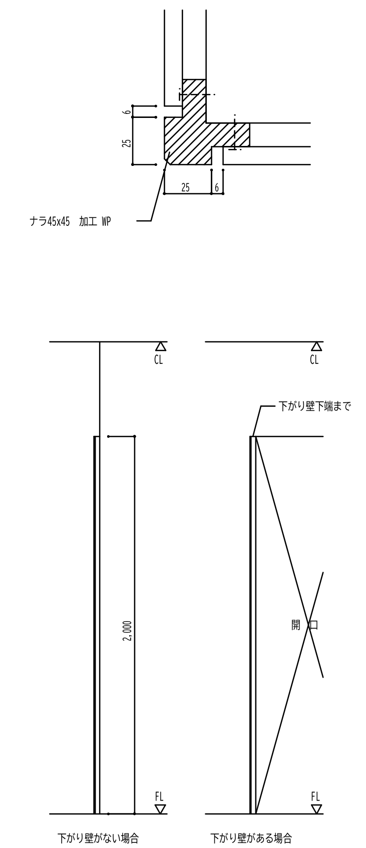


- ・一般出入口は特記以外 H＝2,000
- ・サイズはメーカー寸法により調整
- ・仕上材は図面による。図示なき場合はスチール製とする。
- ・軽鉄壁の場合は開口補強入（C−60×30×10×2.3）

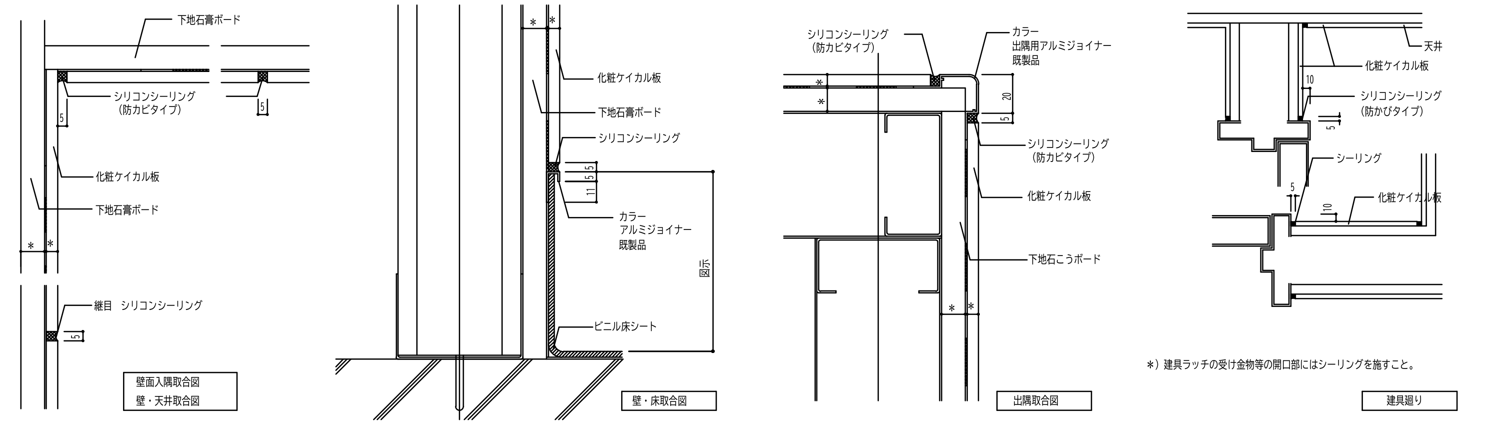
D-Z07 間仕切壁 塗装又はクロス貼りの目地処理 A1:S=1/2 A3:S=1/4



D-Z08 コーナーガード A1:S=1/2 A3:S=1/4

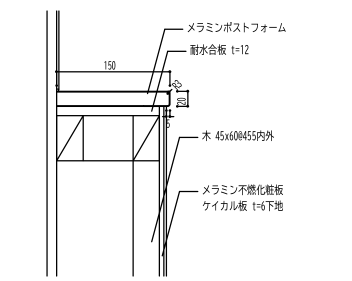


D-Z09 化粧ケイカル板 A1:S=1/2 A3:S=1/4

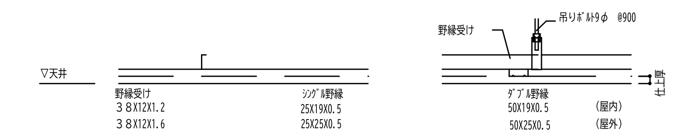


*）建具ラッチの受け金物等の開口部にはシーリングを施すこと。

D-Z10 ライニング A1:S=1/ 5 A3:S=1/10



D-Z11 LGS天井下地 Non Scale

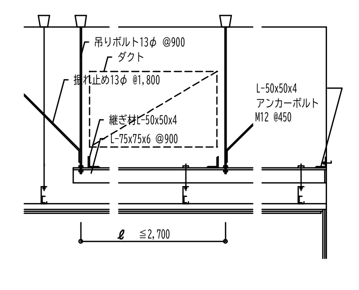


野 縁 間 隔		
上張りの種類		野縁間隔
ﾎﾞｰﾄﾞ類で下地張りのある場合		360内外
下地張りの ない場合	標準 (ﾎﾞｰﾄﾞ寸法900X1800程度)	300内外
	特殊 (ﾎﾞｰﾄﾞ寸法450X900程度)	450内外
金属成型板		450内外

※吊ボルトがH=1500を超える場合は
公共建築工事標準仕様書：14.4.4工法
による斜め補強・水平補強を行う事

D-Z12 天井下地補強要領 Non Scale

*設備工事



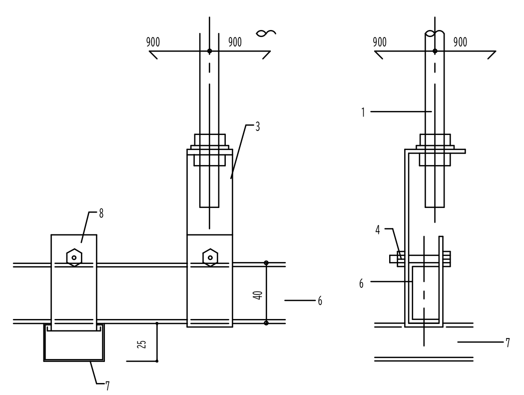
仕様
1. 下地補強場所はダクト等の巾が広い箇所
範囲は天井伏図による
2. 補強金物は電気亜鉛めっき13μ以上とする

D-Z13 LGS天井下地 屋外耐風仕様 A1:S=1/ 5 A3:S=1/10

	吊りボルト 12 ø	野縁（バー）受 溶融亜鉛めっき鋼板 1.6以上	ダブルバー (W) 溶融亜鉛めっき鋼板 0.7以上	シングルバー (S) またはダブルバー 溶融亜鉛めっき鋼板 0.7以上	仕 上 材
捨 張 り 用	@ 900 以下	@ 900 以下	1方向のみ @1,800	@ 300	外部用ロックウール化粧吸音板
ボード類直張り用 目地割 900x900			X,Y方向共 @900	@ 300	繊維強化セメント板など 目地工法の場合はシール
ボード類直張り用 目地割 900x1,800			X方向@1,800 Y方向 @900	@ 300	
金属成型板類 直張り用			1方向のみ @300	@ 300	金属成型板（小幅板）など
金属成型板類 直張り用 吹付下地用			X,Y方向共 目地当り	@ 300 @ 225＊	金属成型板、ジョイントボード張りなど

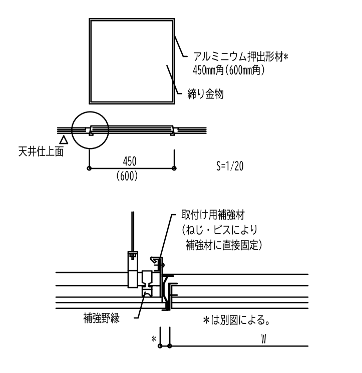
（＊ひる石吹付の場合を示す）

注
1。 部材は耐風圧型とする。耐風圧強度±2000Pa以上とし、ブレース、圧縮材にて補強すること。
2。 ピッチ寸法は全て以内とする。
3。 ダクト等で吊ボルト@900以上とする場合は、ダクト下に吊りボルト受けの補強材を入れること。
4。 天井面は水平加速度1Gに耐える様に壁際及び天井面の補強を施すこと。
5。 金属製天井材の締結には、ステンレス製タップビス（@200以内）を使用すること。
6。 異種金属と接する部分には、ジンクロメートさび止めペイントを塗布すること。



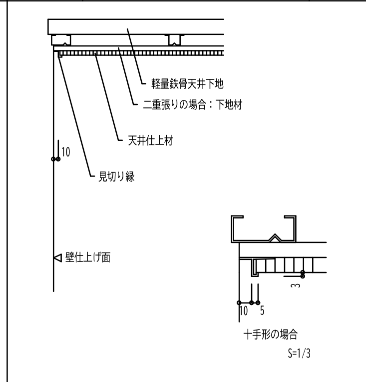
1．吊ボルト
2. インサート金物
3. 特殊ハンガー
4. 六角ボルト
6. 野縁受け
7. 野縁
8. クリップ(ボルト固定式)
※ ボルトナットによる固定部は スプリングワッシャーなどの 戻り止め処理を講ずる。

D-Z14 天井点検口 A1:S=1/10 A3:S=1/20



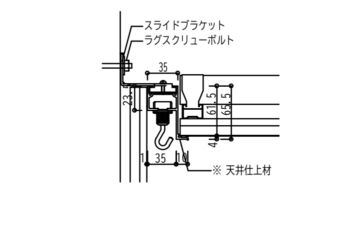
仕様 ＊◎印を適用する。
- ◎ 陽極酸化被膜B-1　○ 450角：＿＿＿ 個
- ○ A-BE　○ 600角：＿＿＿ 個

D-Z15 見切縁 A1:S=1/10 A3:S=1/20



仕様 見切り縁は ◎印を適用する。
- ◎塩化ビニル
- ○アルミニウム

D-Z16 ピクチャレール A1:S=1/ 5 A3:S=1/10

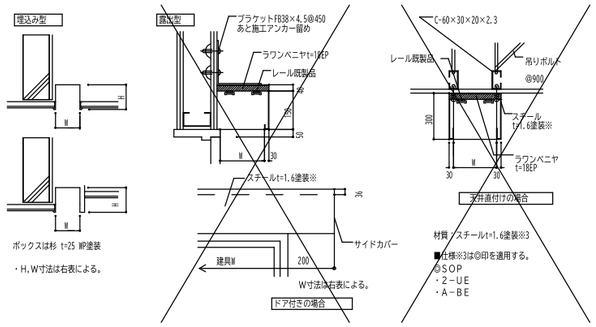


※レール M−1Sレール
※フック セフティNハンガー（荷重50kg）4本/M
※ハンガー MSフリーランナー（荷重50kg）4本/M
※タキヤ㈱：コレダーライン同等品

備考	発注者 新潟県 村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-024
		図面名称 雑詳細図-1	縮尺 A1: S=1/20 A3: S=1/40
			意 電 / 構 機

D-Z17 カーテン、ブラインド、ロールブラインドボックス

A1:S=1/20
A3:S=1/40

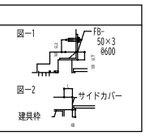


材質 スチールt=1.6塗装※3

■仕様※3は◎印を適用する。
◎SOP
・2－UE
・A－BE

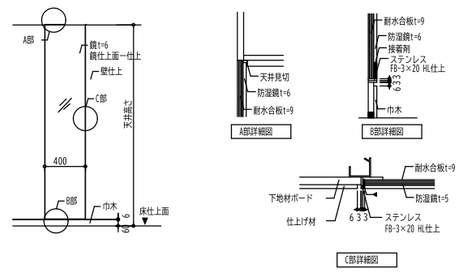
※1 別図による。
※2 特記なき限り下記の寸法に従う。カーテン・ブラインド・ロールブラインドは本工事とする。

		W	H		備　考
A	カーテンボックス	150	150		1) Lはカーテンボックスの長さが6,000m程度で開閉は引分けの場合のカーテンのたたみ込み寸法を表す。 2) 梁などにより取付け方法が50mm以下となる場合は図－1による。 3) 鋼製またはアルミニウム製カーテンボックスにサイドカバーを設ける場合は図－2による。
B	ブラインドボックス	150	150		
C	ロールブラインドボックス	150	150		



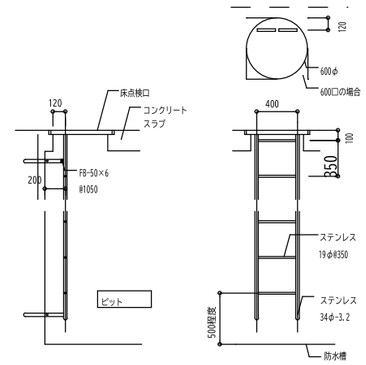
D-Z18 姿見

A1:S=1/ 5
A3:S=1/10



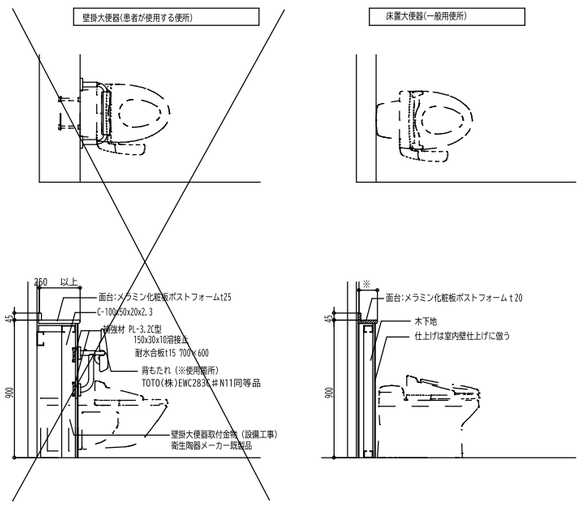
D-Z19 ビットタラップ

A1:S=1/30
A3:S=1/60



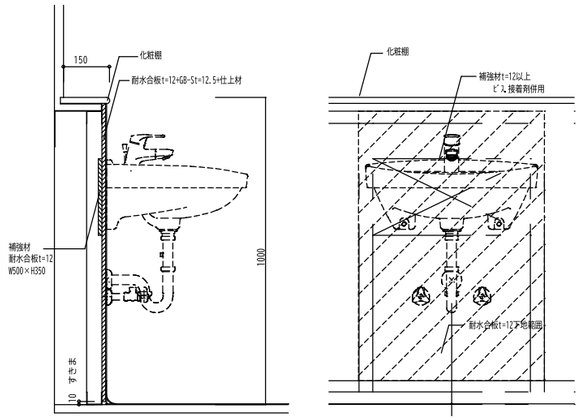
D-Z20 大便器ライニング

A1:S=1/20
A3:S=1/40



D-Z21 便所・その他手洗い器廻り

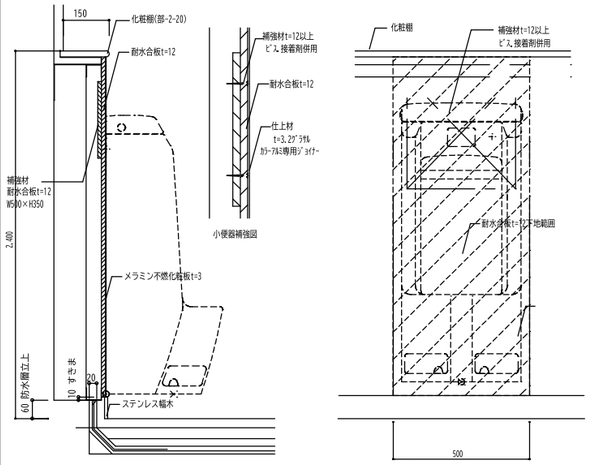
A1:S=1/10
A3:S=1/20



※仕上材は仕上表による。
※補強材は厚さ、大きさ、取付位置共手洗器の種類に
あわせて補強する

D-Z22 便所・小便器廻り

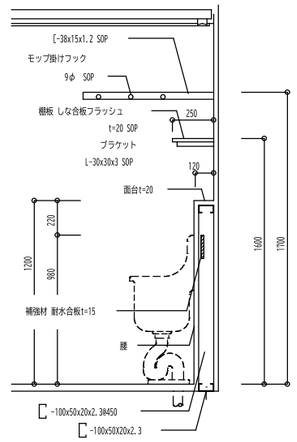
A1:S=1/10
A3:S=1/20



※仕上材は仕上表による。
※補強材は厚さ、大きさ、取付位置共手洗器の種類に
あわせて補強する

D-Z23 SK

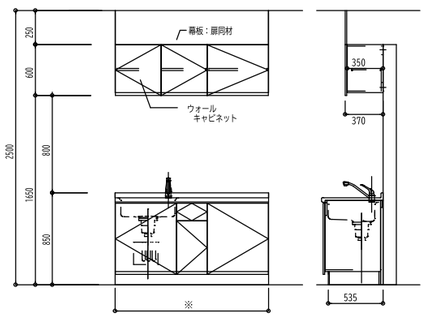
A1:S=1/20
A3:S=1/40

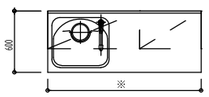


仕様	
面台	◎ 印を適用する。 ◎ メラミン樹脂系化粧板ポストフォーム加工 ○ ステンレスt=1.0 HL仕上げ

D-Z24 流し台（コンパクトキッチン）

A1:S=1/30
A3:S=1/60





凡例 KK105, KK12

添字15はL=1,500を示す。
添字12はL=1,200を示す。

※長さ 添字(×100mm)特記なき限りW1200とする。

・Wは平面詳細図による。

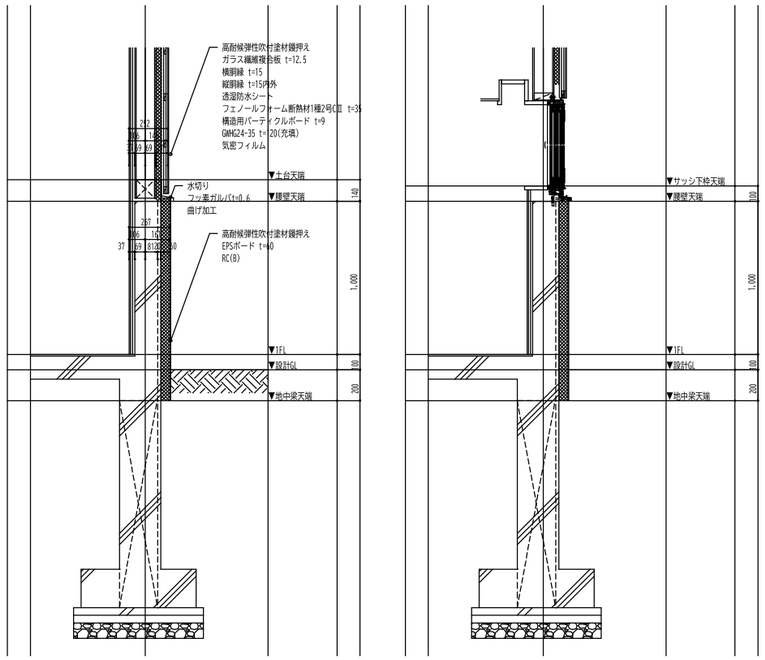
※L：全長を表す(リスト)

※加熱機器なし
例LIXIL サンウェーブ サンファーニ<ティオ・プラス>
同等品

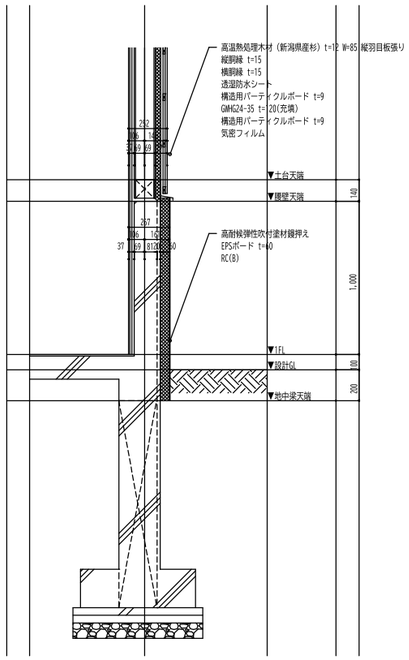
備考	発注者	工事名称	図面番号
	新潟県　村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-025
		図面名称：雑詳細図-2	縮尺：A1: S=1/20　A3: S=1/40

㊞	電	
構	機	

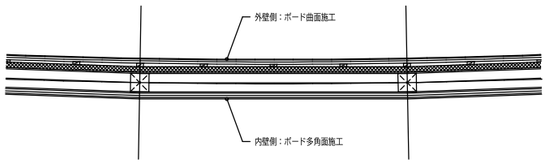
D-E01	外壁共通詳細図	A1:S=1/20 A3:S=1/40



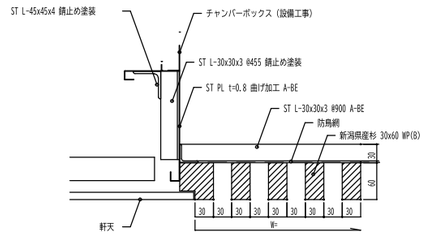
外壁-1・外壁-2

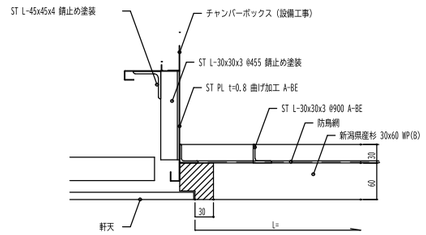


外壁-3・外壁-2



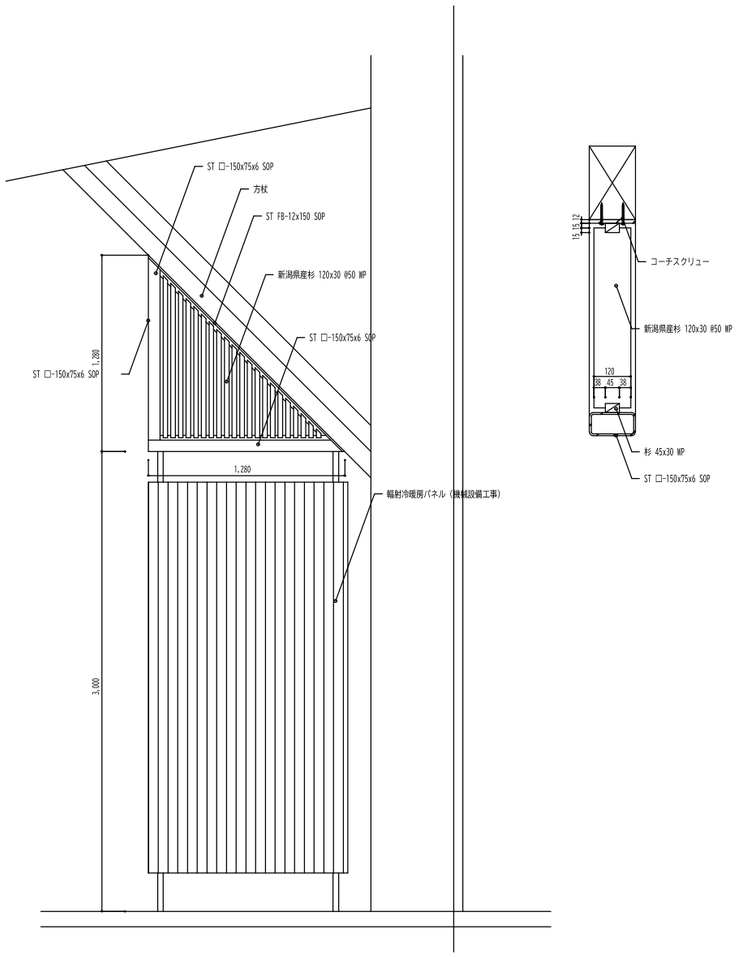
D-E02	軒天給気ガラリ詳細図	A1:S=1/ 5 A3:S=1/10



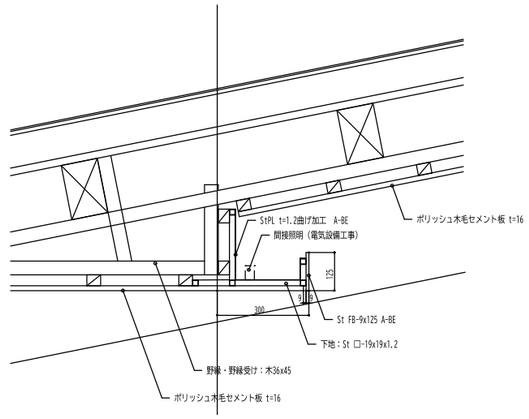


備考			発注者 新潟県　村上市				工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-026		
							図面名称 部分詳細図-1	縮尺 A1: S=1/20 A3: S=1/40	㊞	電	
									構	機	

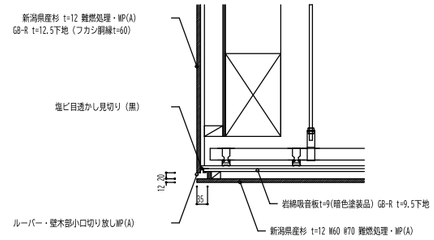
D-I01	輻射冷暖房パネル下地詳細図	A1:S=1/20 A3:S=1/40



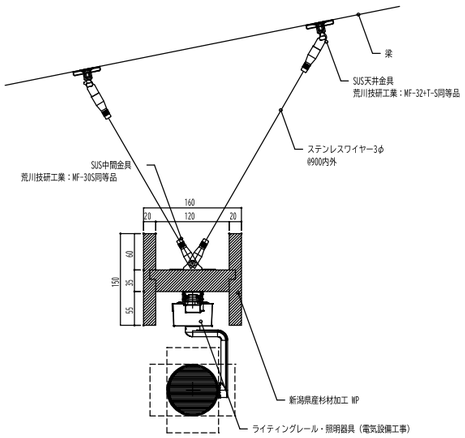
D-I02	販売棟天井詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20



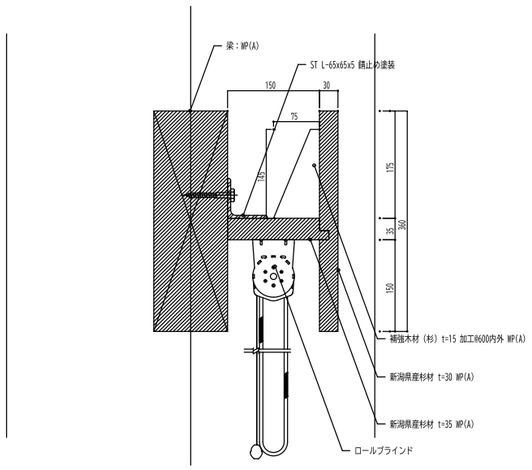
D-I03	販売棟ルーバー天井・壁納まり詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20



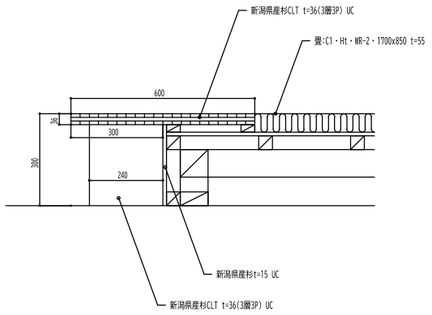
D-I03	販売棟ライティングレールボックス詳細図	A1:S=1/ 5 A3:S=1/10



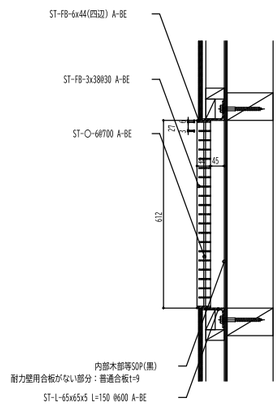
D-I04	販売棟売場ロールブラインドボックス詳細図	A1:S=1/ 5 A3:S=1/10

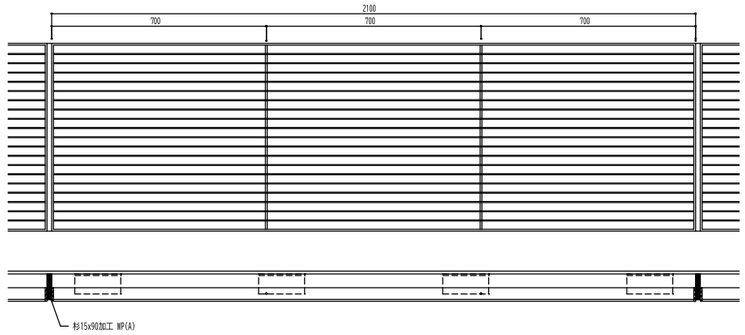


D-I05	飲食棟小上がり上がり框詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20



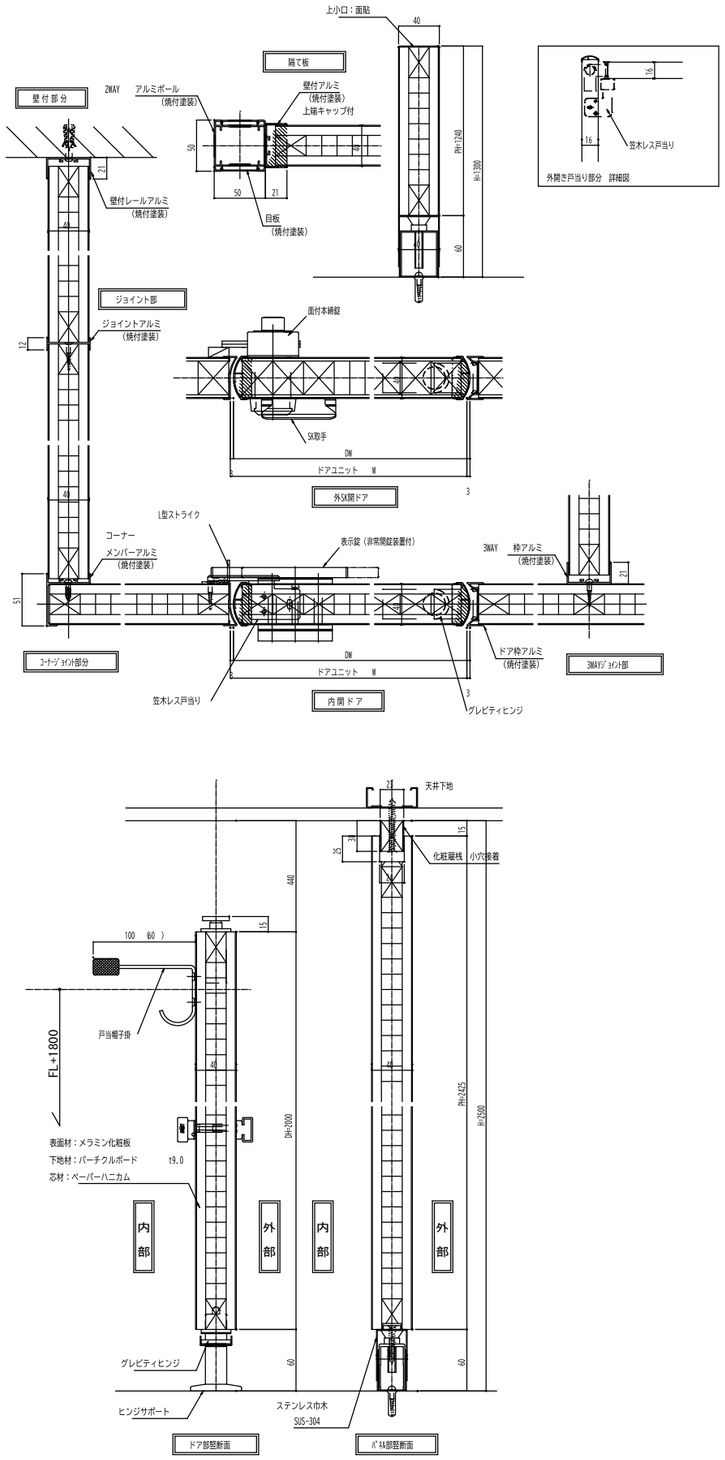
D-I06	販売棟スチールルーバー詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20





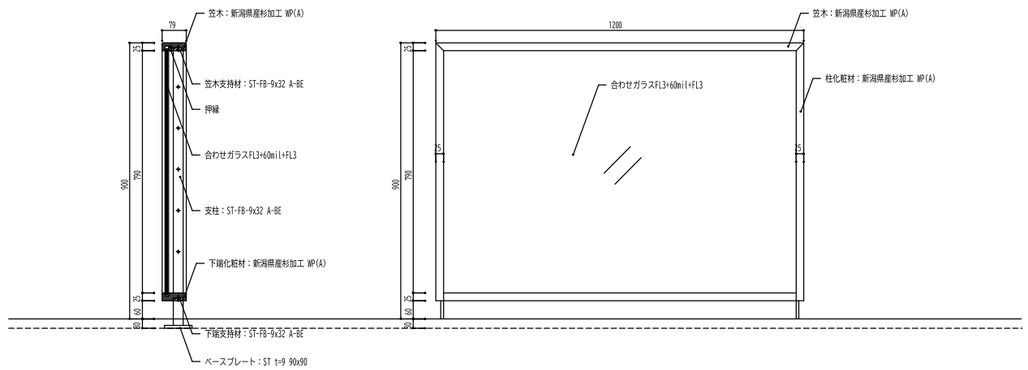
備考			発注者		工事名称	図面番号
			新潟県　村上市		道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-027
					図面名称：部分詳細図-2	縮尺：A1: S=1/20 A3: S=1/40
					意 / 構	電 / 機

D-U01	トイレブース詳細図	A1:S=1/3 A3:S=1/6



アルミ材は焼付塗装仕上とする

D-U02	自動ドア防護柵詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20

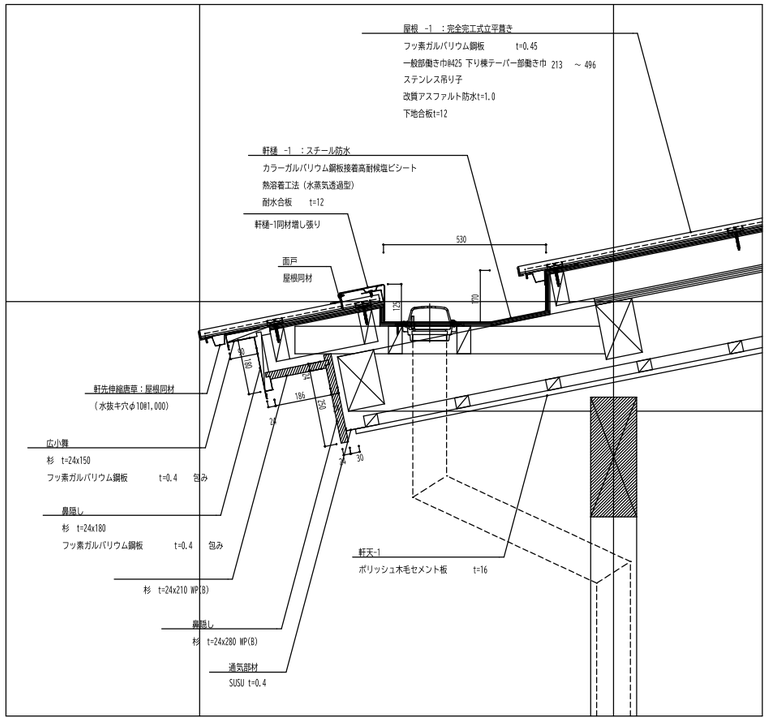


備考	発注者 新潟県　村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-028
		図面名称 部分詳細図-3	縮尺 A1: S=1/20 A3: S=1/40

建	電	
構	機	

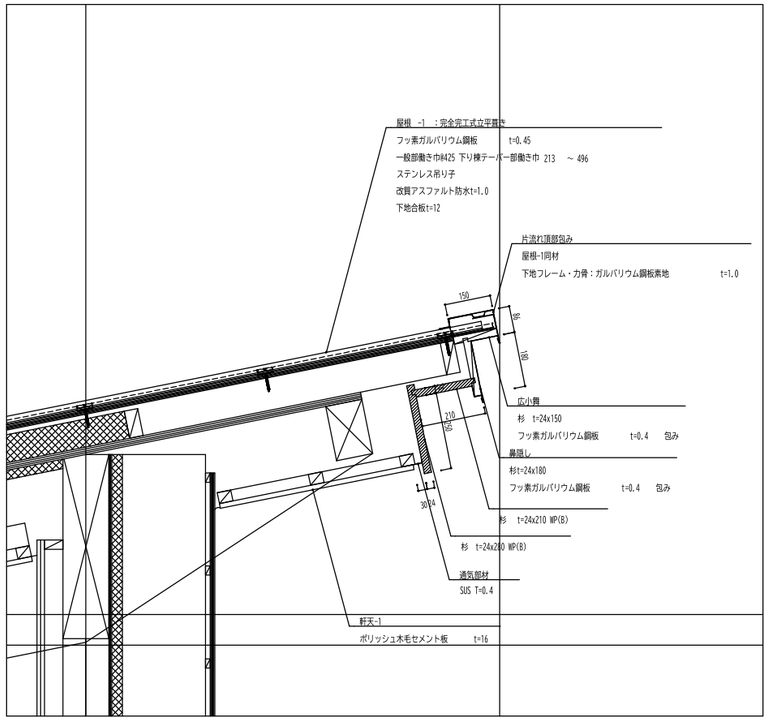
D-R01 軒先詳細図（樋あり）

A1:S=1/10
A3:S=1/20



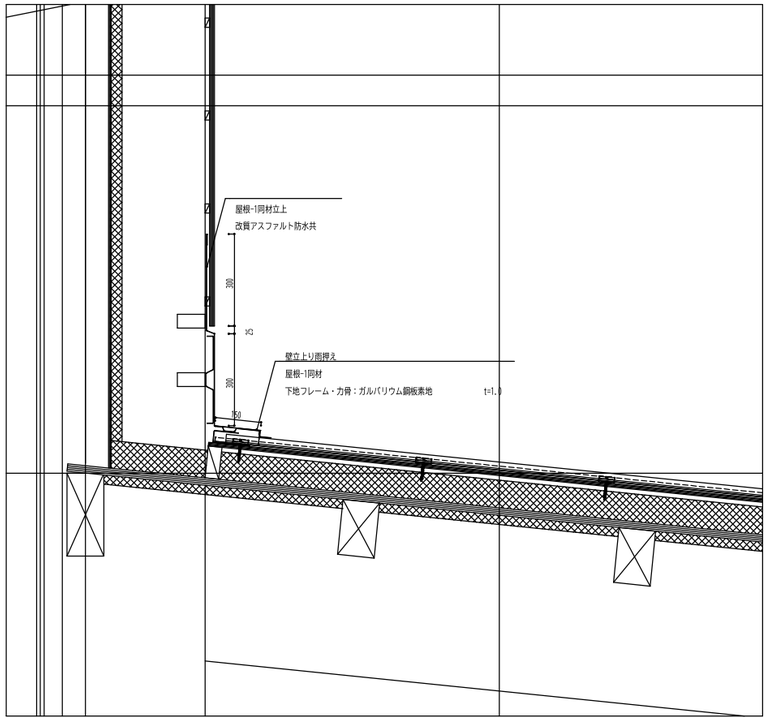
D-R02 片流れ頂部詳細図

A1:S=1/10
A3:S=1/20



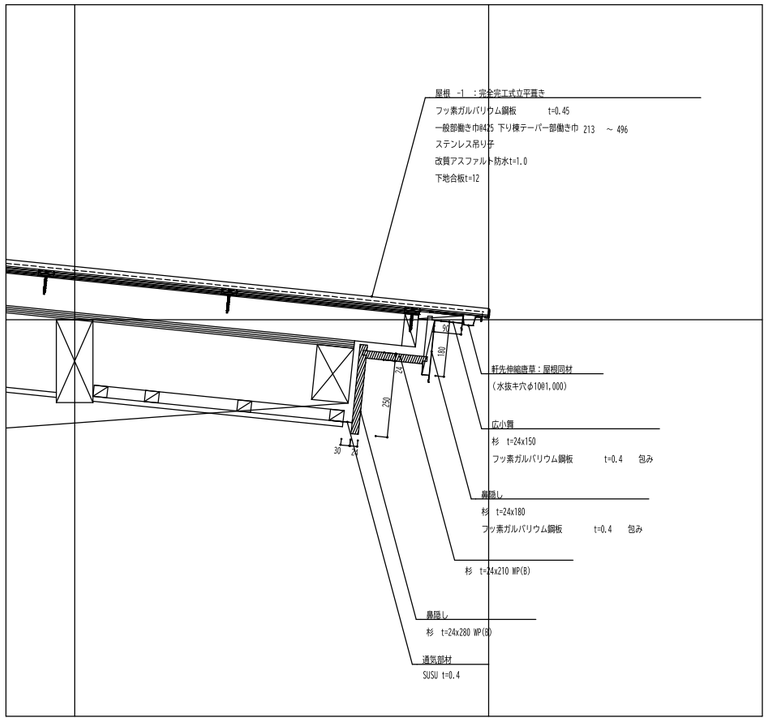
D-R03 雨押え詳細図

A1:S=1/10
A3:S=1/20



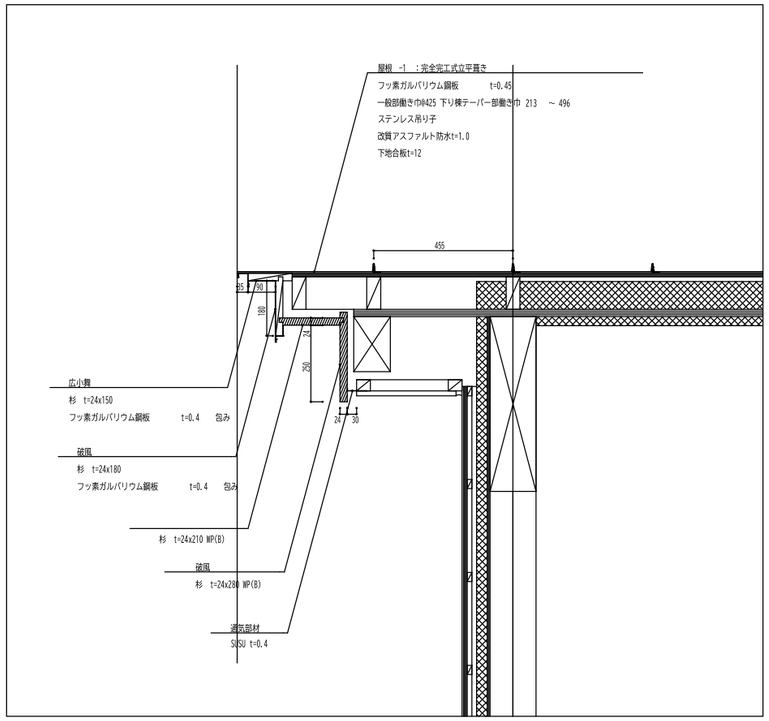
D-R04 軒先詳細図（樋なし）

A1:S=1/10
A3:S=1/20



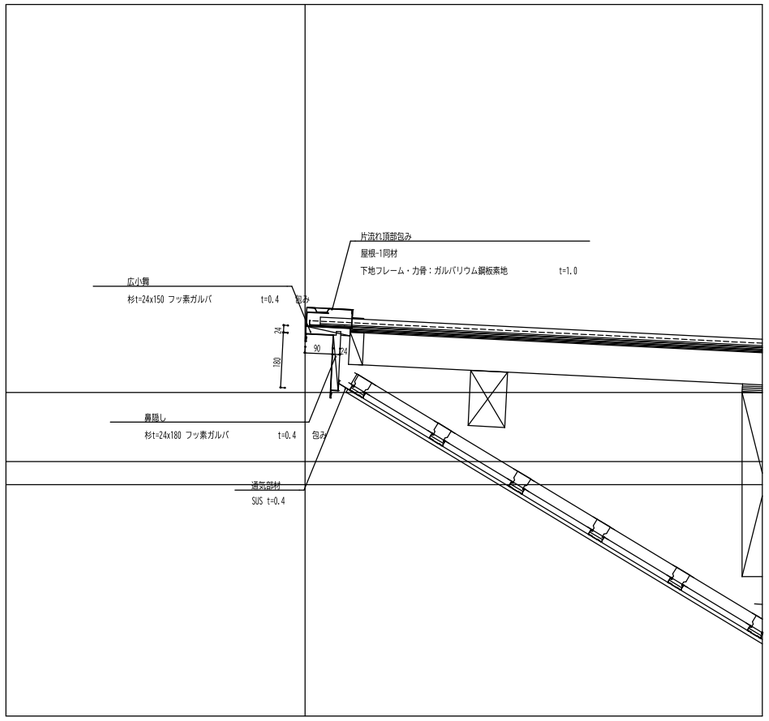
D-R05 ケラバ詳細図

A1:S=1/10
A3:S=1/20

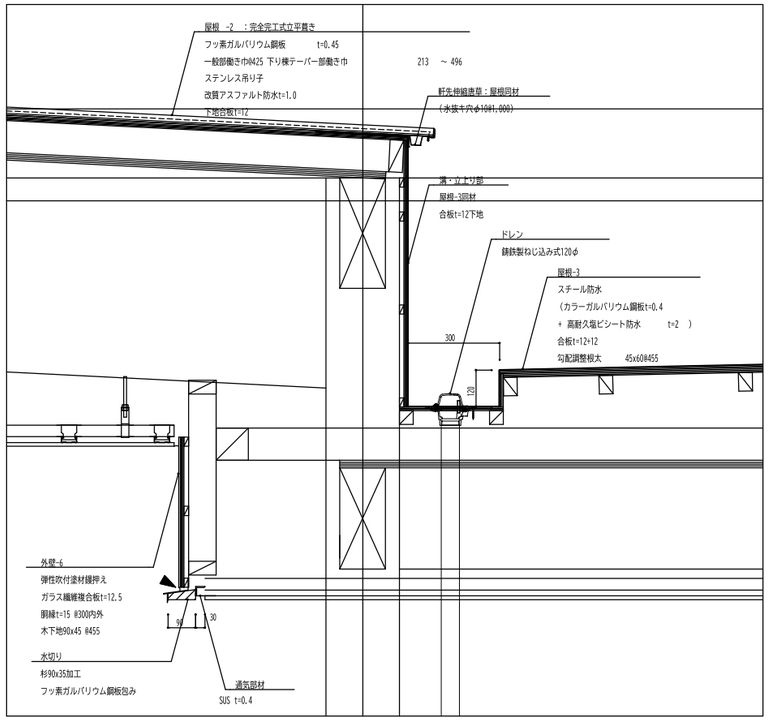


備考		発注者 新潟県　村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事
			図面名称 屋根詳細図-1（参考図）
			縮尺 A1: S=1/20 A3: S=1/40
			図面番号 A-029
			㊞ 電 構 機

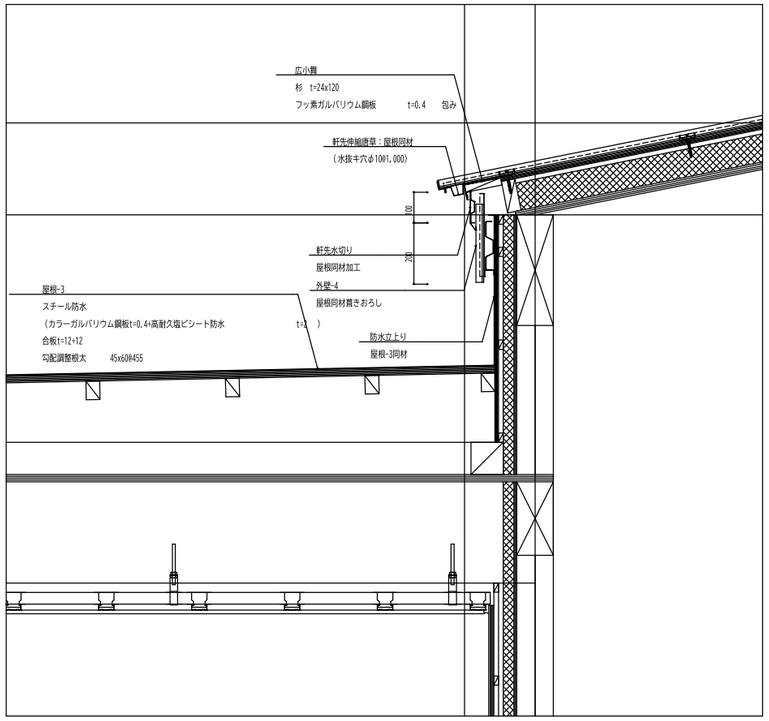
D-R06	身障者駐車場軒先詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20



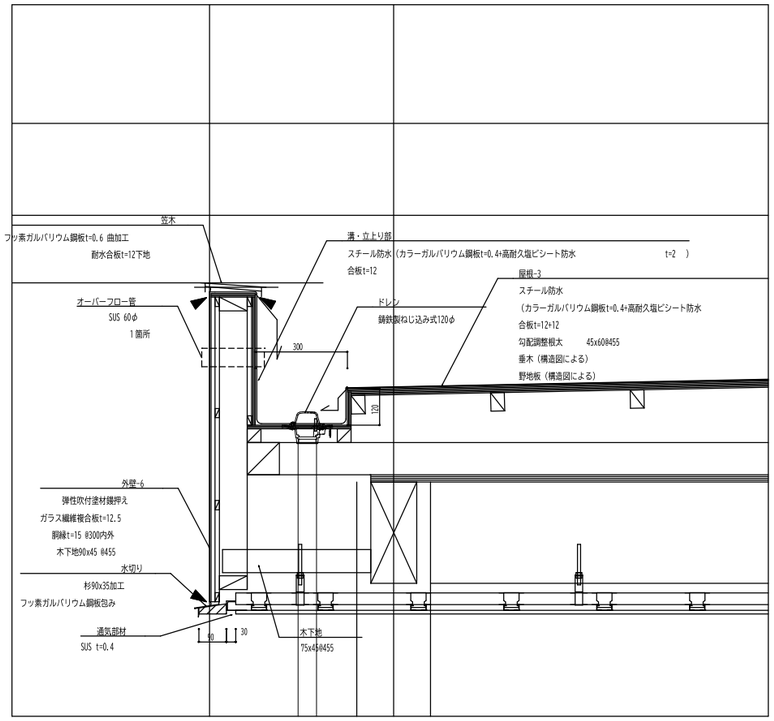
D-R07	身障者駐車場水下詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20



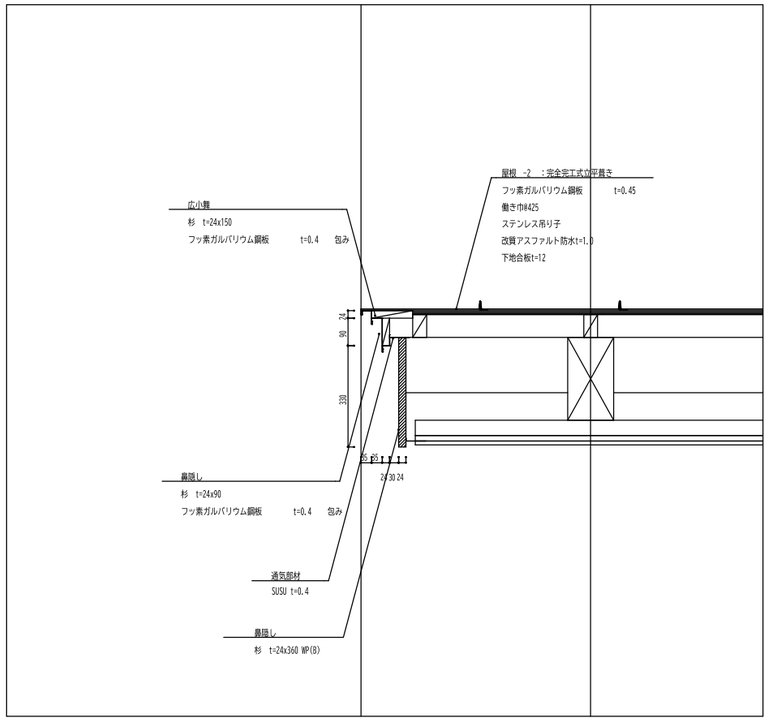
D-R08	販売棟南側水下詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20



D-R09	販売棟歩廊パラペット詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20



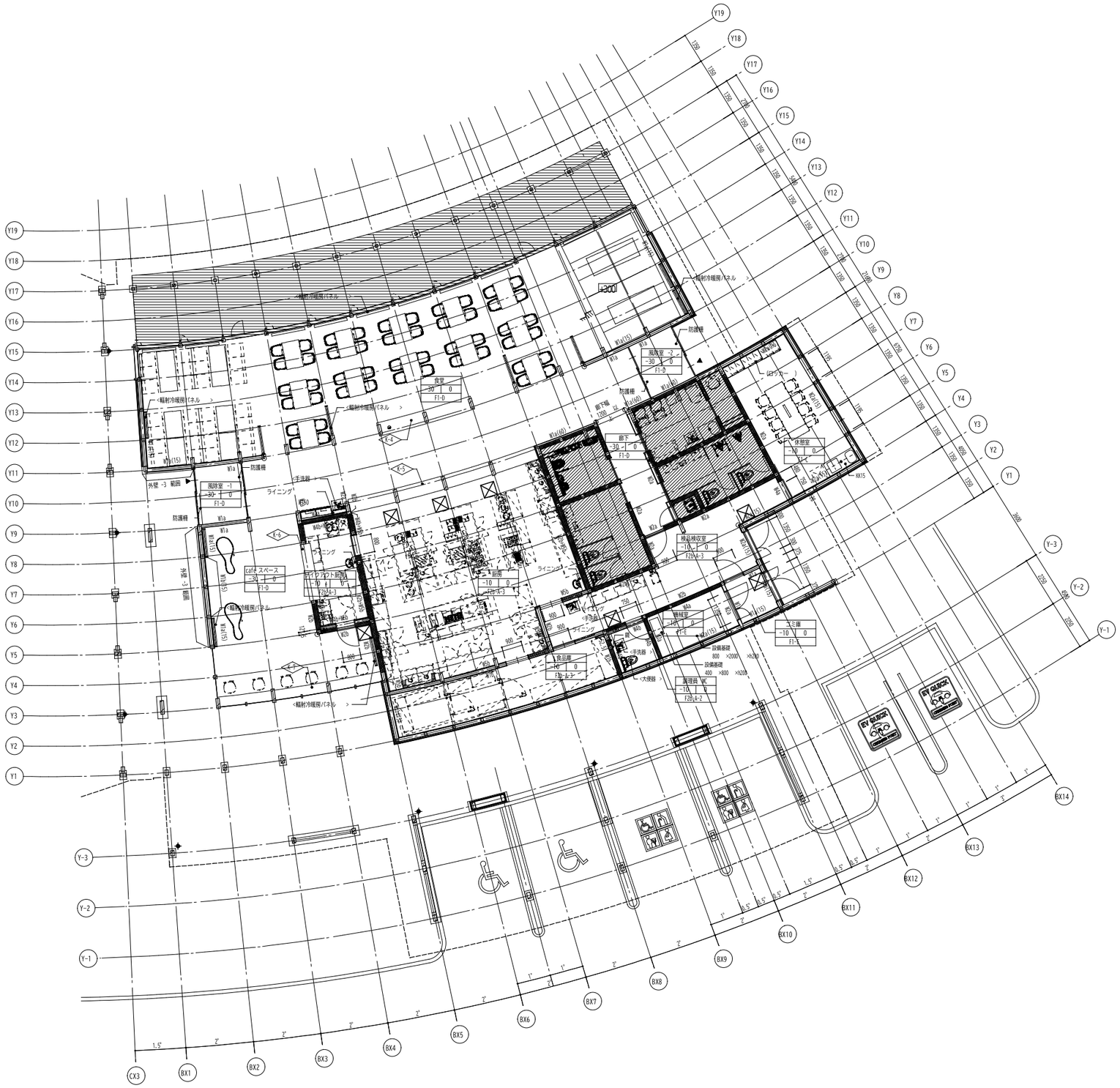
D-R10	雁木広場ケラバ詳細図	A1:S=1/10 A3:S=1/20



備考		発注者	新潟県　村上市			工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号	A-030
						図面名称	屋根詳細図-2（参考図）	縮尺	A1: S=1/20 A3: S=1/40
								意 / 構	電 / 機

凡例・特記事項									
室名	室名	A / D 展開方向 B / C	展開図展開方向	( )	電気設備工事又は機械設備工事区分	▲	主要な出入口	⊖	コーナーガード
SL FL	スラブ高さ / 床高さ			( )	別途工事又は備品	☒	床下点検口 角		
床下地 -仕上	床仕様記号			E-00	家具番号	◒	消火器スタンド 600（消火器は機械設備工事 ）		
壁下地 (壁)	壁下地記号			±000	床仕上高 （特記なき限り ±0 とする ）	◒	消火器 BOX（ 消火器は機械設備工事 ）		
	水廻り詳細図参照	D-00 E-00	詳細図案内記号			▨	パッケージ型消火栓		
						⊕	竪樋		

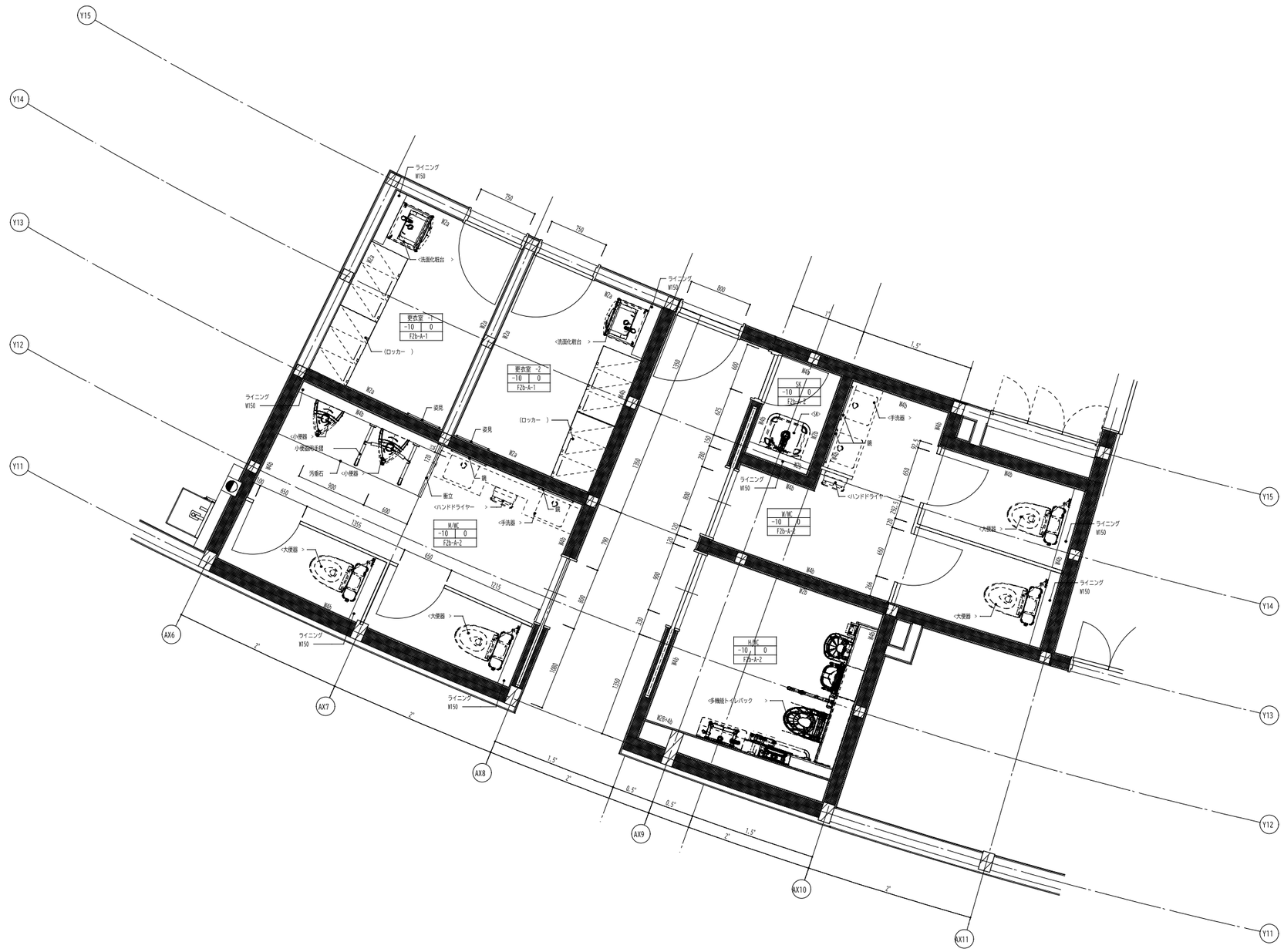
変更		発注者		工事名称	図面番号	
		新潟県 村上市		道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-031	
			-	図面名称 販売棟平面詳細図	縮尺 A1:S= 1:100 A3:S= 1:200	㊞ 電 構 機



凡例・特記事項								
室名	室名	展開方向	〈　〉	電気設備工事又は機械設備工事区分	▲	主要な出入口	⊖	コーナーガード
SL FL	スラブ高さ　/床高さ		（　）	別途工事又は備品	⊠	床下点検口　　角		
床下地 -仕上	床仕様記号		E-8	家具番号	◒	消火器スタンド 600（消火器は機械設備工事　）		
壁下地	壁下地記号		±0.000	床仕上高　（特記なき限り　±0 とする　）	◒	消火器　BOX（消火器は機械設備工事　）		
（壁）		詳細図案内記号	D-08 / E-08		▨	パッケージ型消火栓		
▨	水廻り詳細図参照				⊕	竪樋		

展開方向：A 上、B 右、C 下、D 左

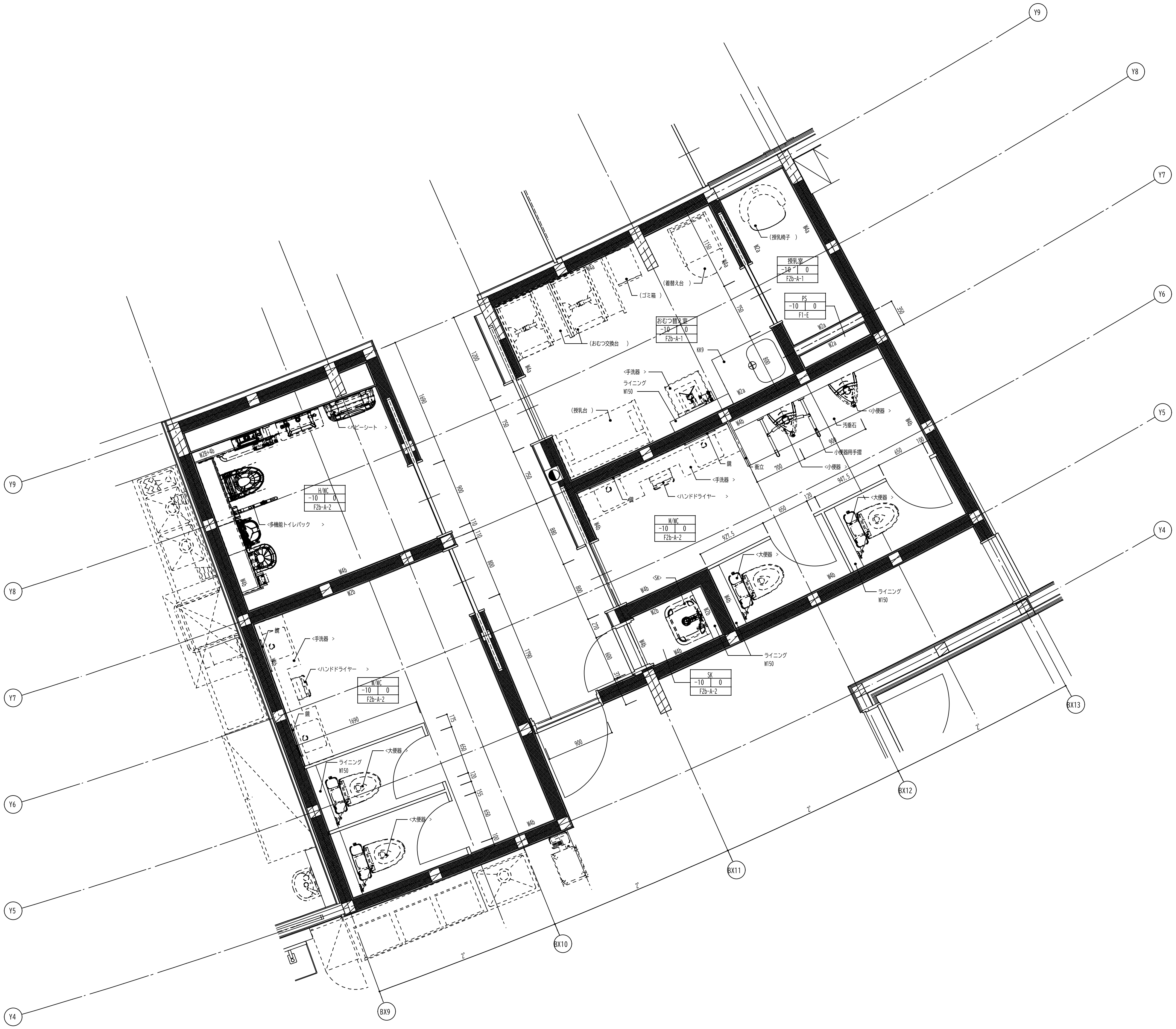
変更			発注者				工事名称	図面番号
			新潟県　村上市				道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-032
							図面名称：飲食棟平面詳細図	縮尺：A1:S= 1 : / A3:S= 100 : 200
								㊞ 構 / 電 機



凡例・特記事項

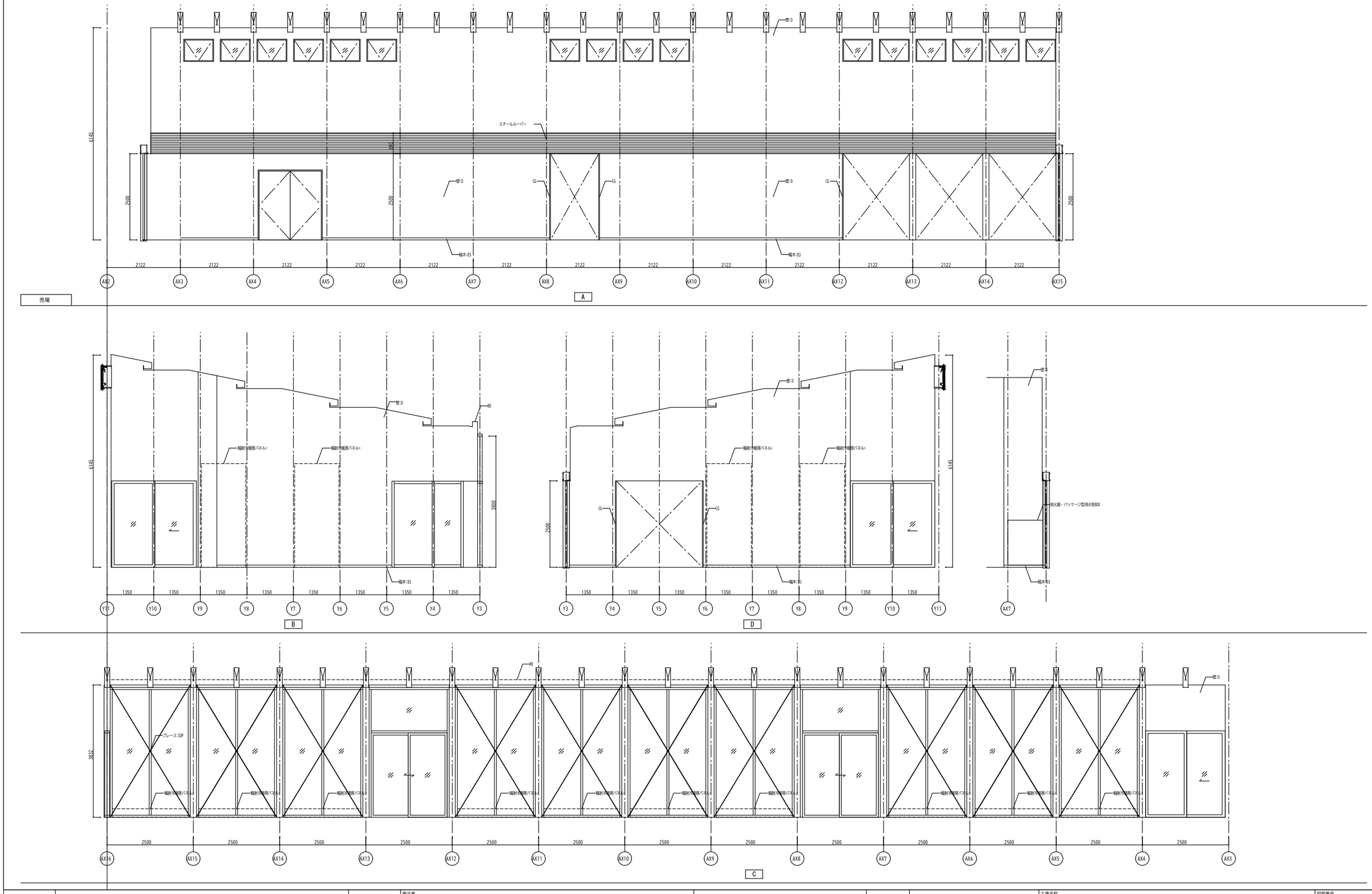
室名	室名	北 展開方向 西 東 南	展開図展開方向	( )	電気設備工事又は機械設備工事区分	主要な出入口	コーナーガード
SL FL スラブ高さ 床高さ				( )	別途工事又は備品	床下点検口 角	
床下地 -仕上 床仕様記号				K-0	家具番号	消火器 (機械設備工事)	
壁下地 (壁)	壁下地記号			±0.000	床仕上高 (特記なき限り ±0 とする)	消火器 BOX(消火器は機械設備工事)	
		D-00 1-00	詳細図案内記号			パッケージ型消火栓	
						竪樋	

変更		発注者 新潟県 村上市		工事名称 道の駅「朝日」(地域振興施設)建築工事	図面番号 A-033	
				図面名称 水廻り詳細図 -1	縮尺 A1:S= 1 : 30 A3:S= 1 : 60	設 電 構 機



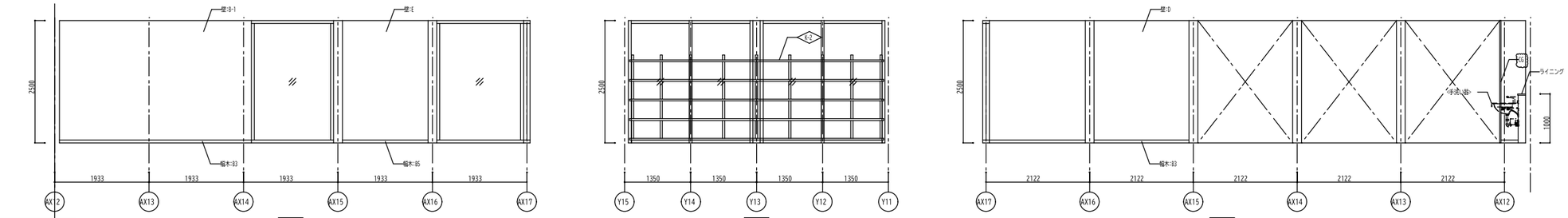
凡例・特記事項									
室名	室名	北	展開図展開方向	〈 〉	電気設備工事又は機械設備工事区分	▲	主要な出入口		コーナーガード
SL FL	スラブ高さ /床高さ	西 展開方向 東		( )	別途工事又は備品		床下点検口 角		
床下地 -仕上	床仕様記号			K-*	家具番号		消火器 （機械設備工事 ）		
壁下地	壁下地記号	南		±***	床仕上高 （特記なき限り ±0とする ）		消火器 BOX(消火器は機械設備工事)		
（壁）		D-** A-**	詳細図案内記号				パッケージ型消火栓		
							竪樋		

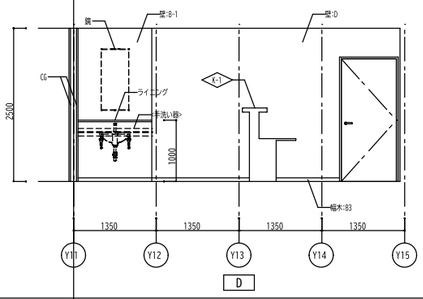
変更	
発注者	新潟県 村上市
工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事
図面番号	A-034
図面名称	水廻り詳細図 -2
縮尺	A1:S= 1 : 30 A3:S= 1 : 60
意	電
構	機



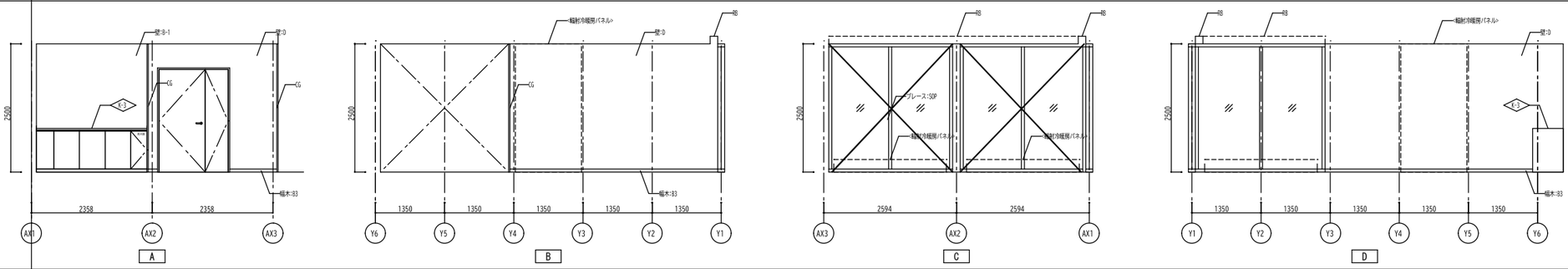
備考		発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-035	
				図面名称 展開図-1	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	㊞ 電 構 機	

観光案内所・コンシェルジュ

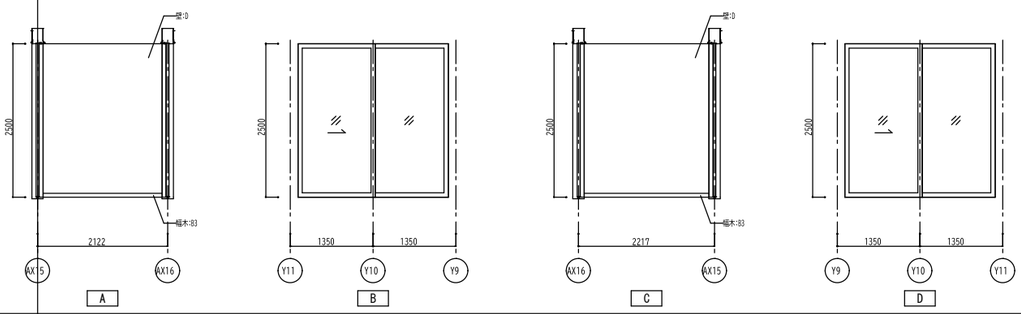




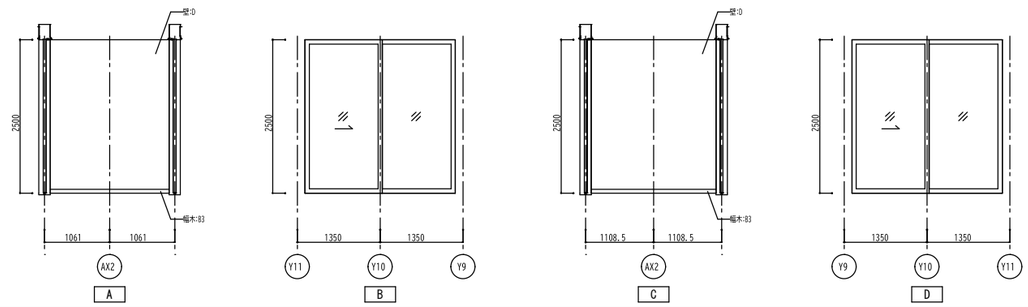
体験スペース



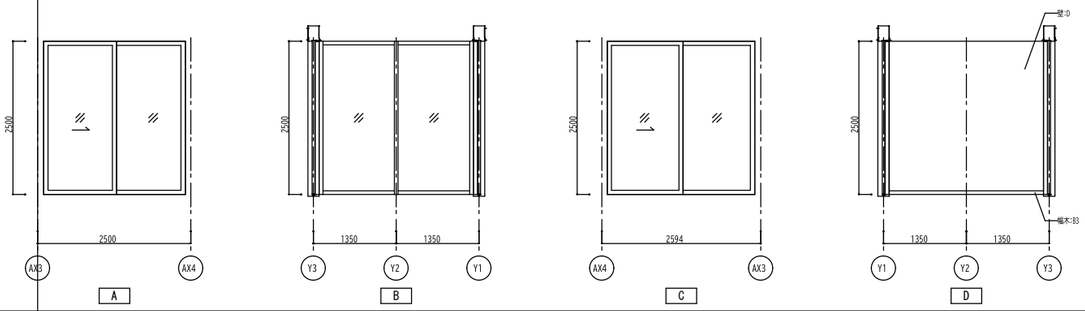
風除室-1



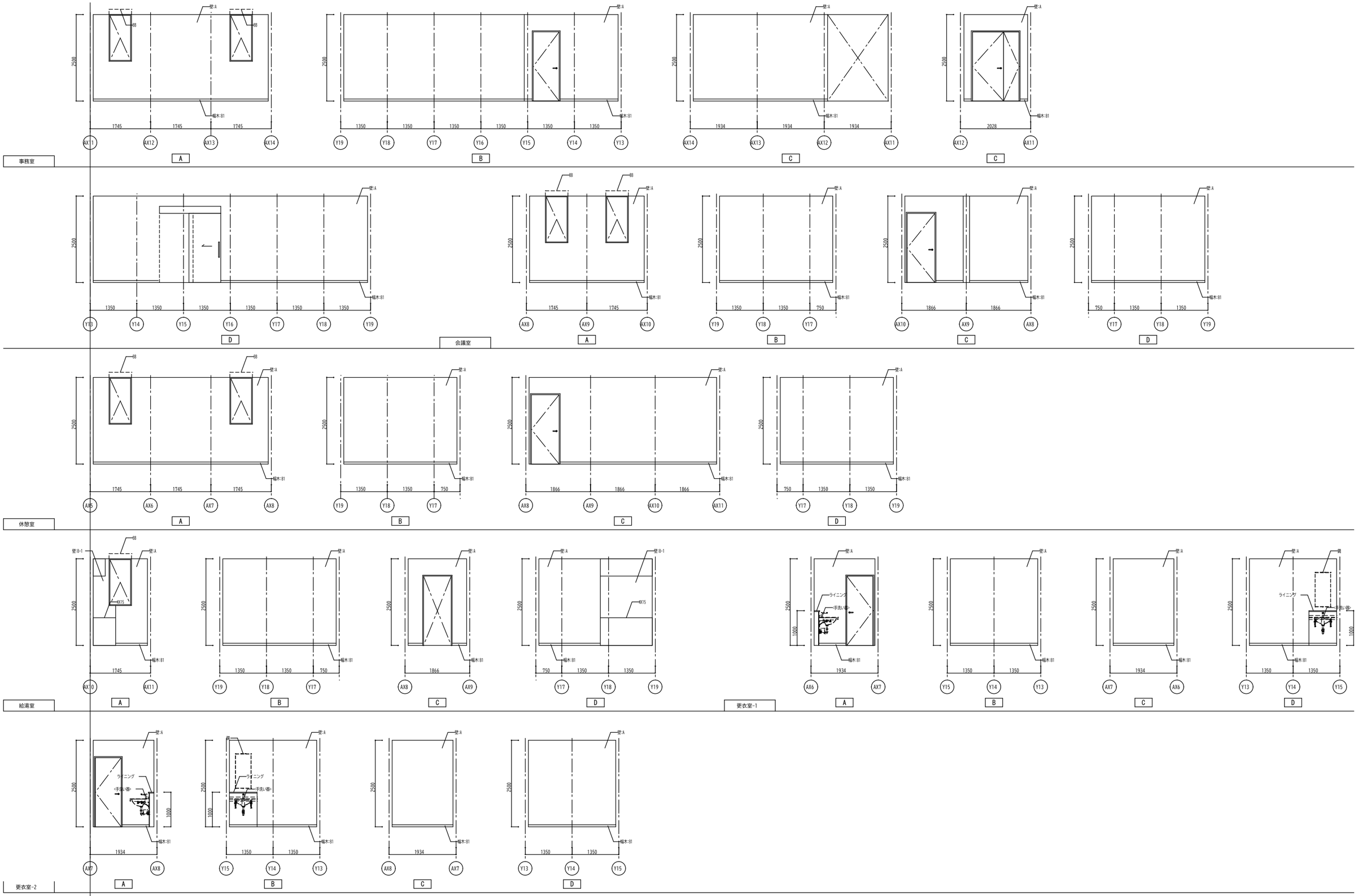
風除室-2



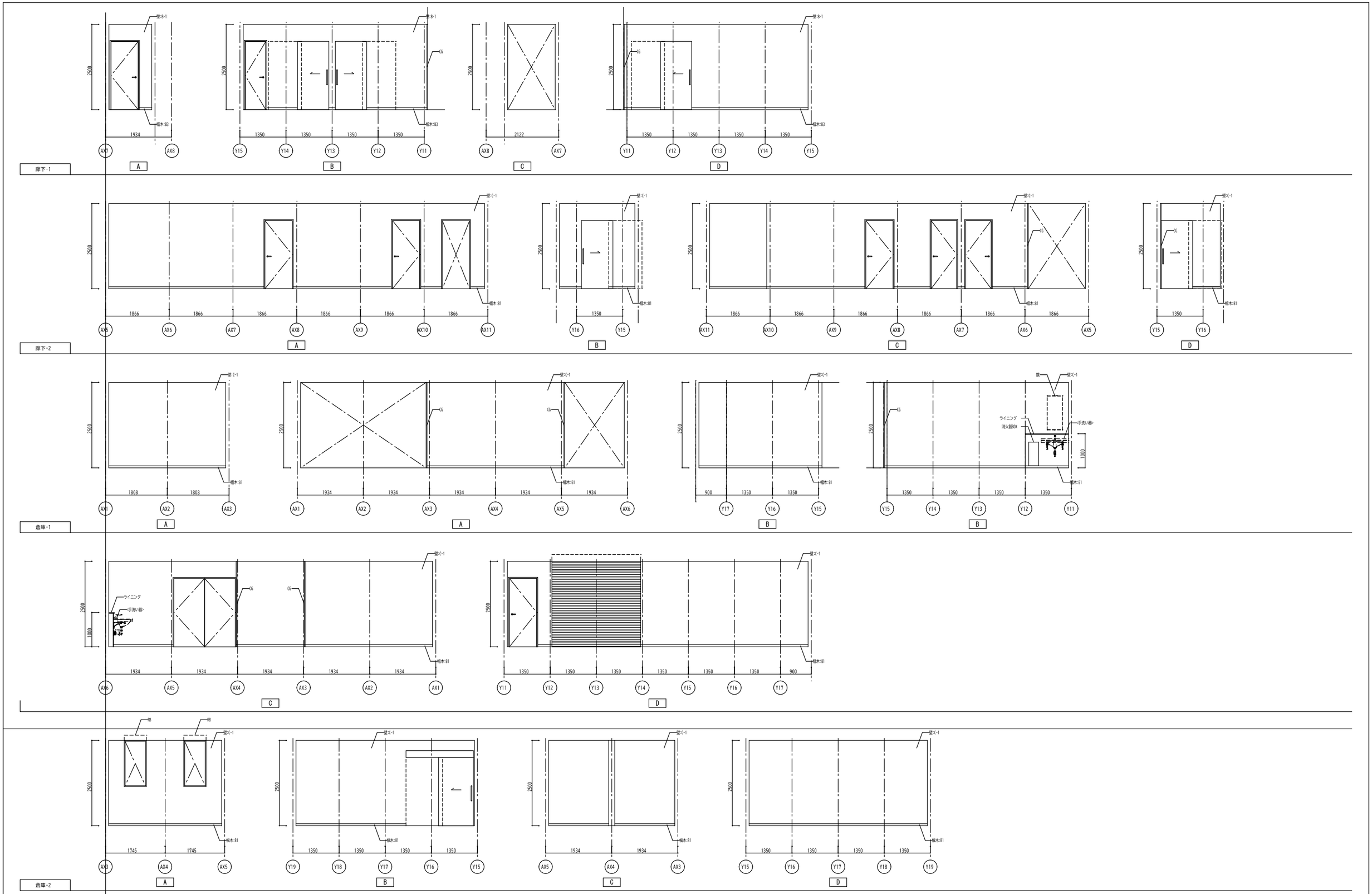
風除室-3



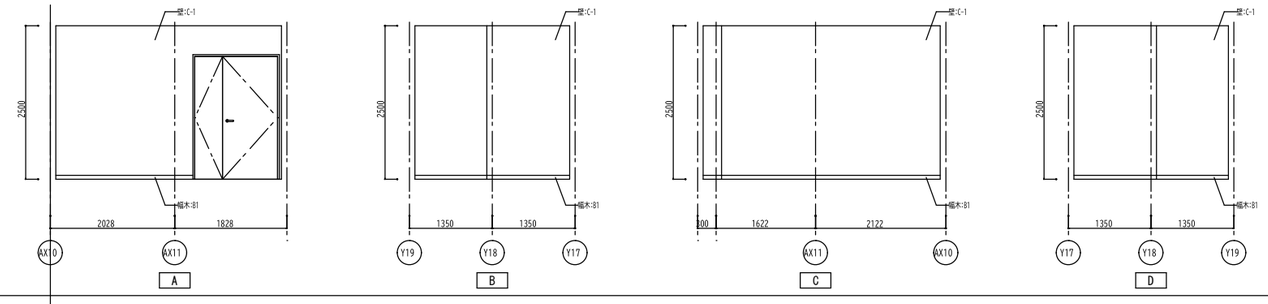
備考		発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-036
					図面名称 展開図-2	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	建 電 構 機



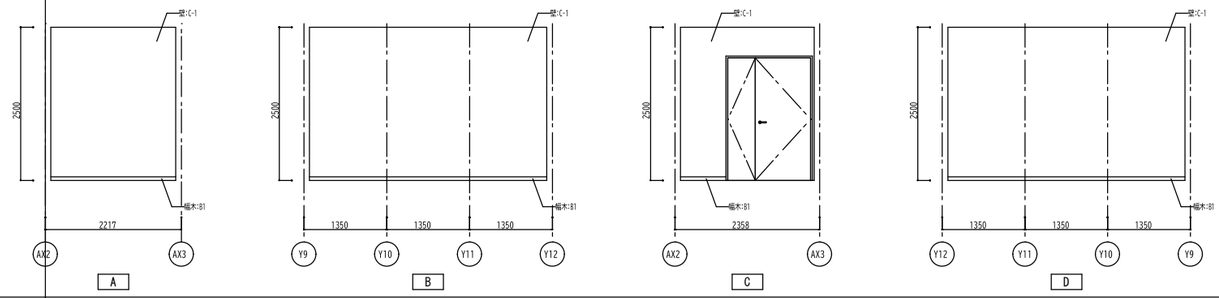
備考		発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-037
					図面名称 展開図-3	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	建 電 構 機



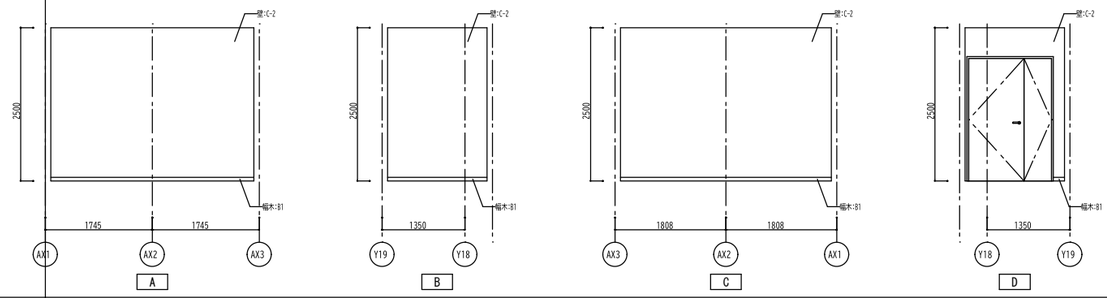
備考	発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-038		
			図面名称 展開図-4	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	建	電	
					構	機	



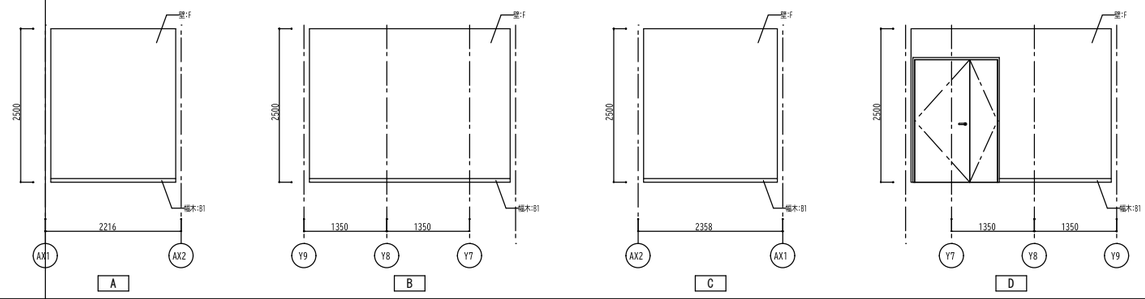
倉庫-3



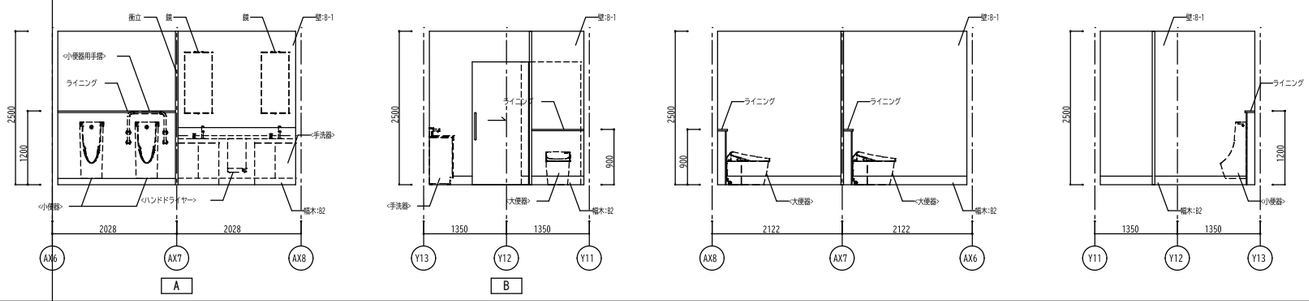
倉庫-4



外倉庫

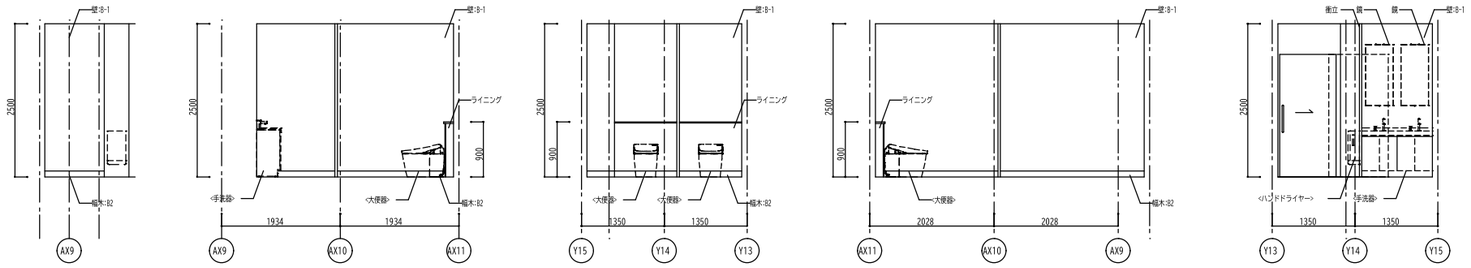


機械室

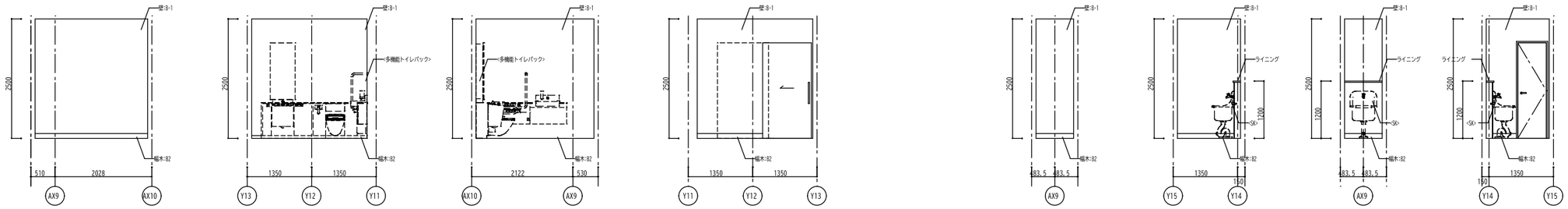


M/WC

備考		発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-039	
				図面名称 展開図-5	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	建 / 構	電 / 機

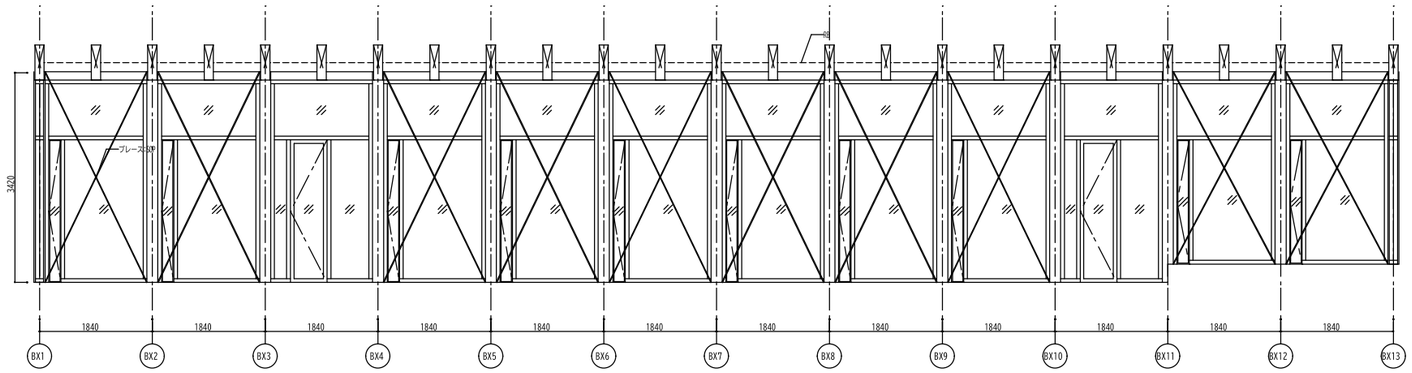


W/WC

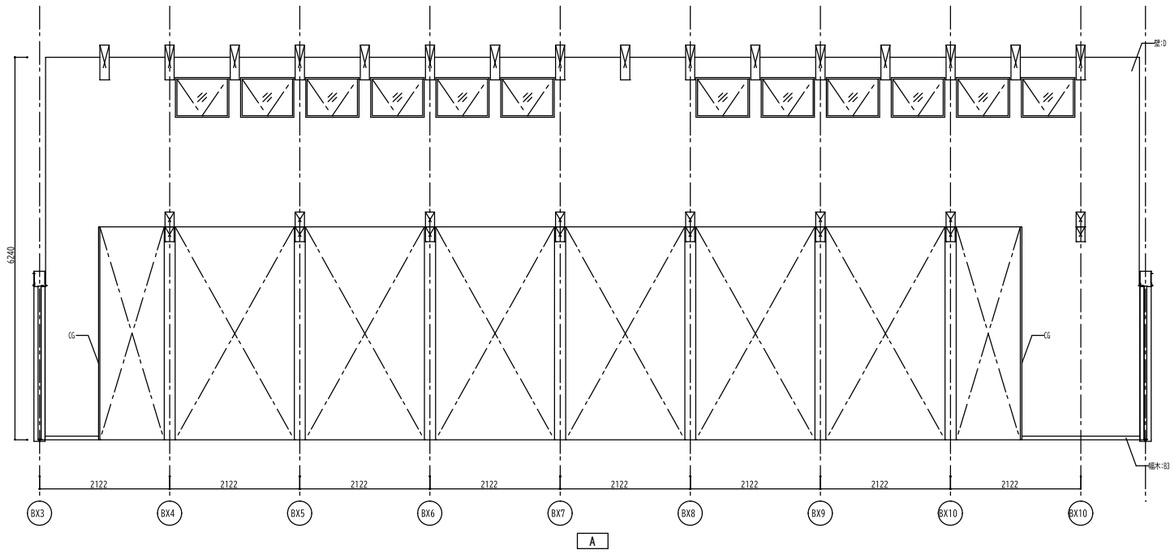


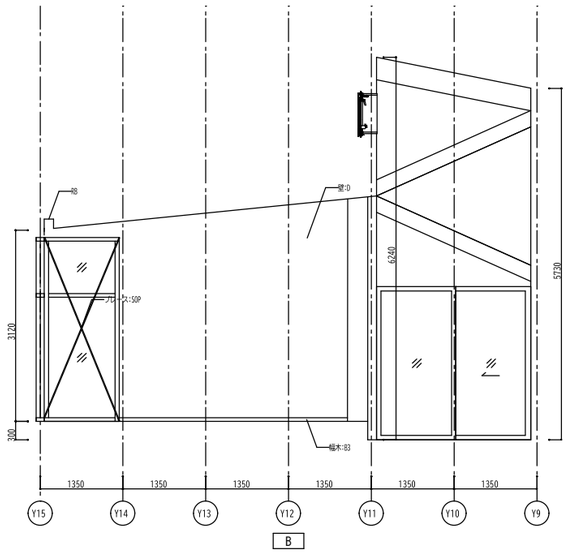
H/WC

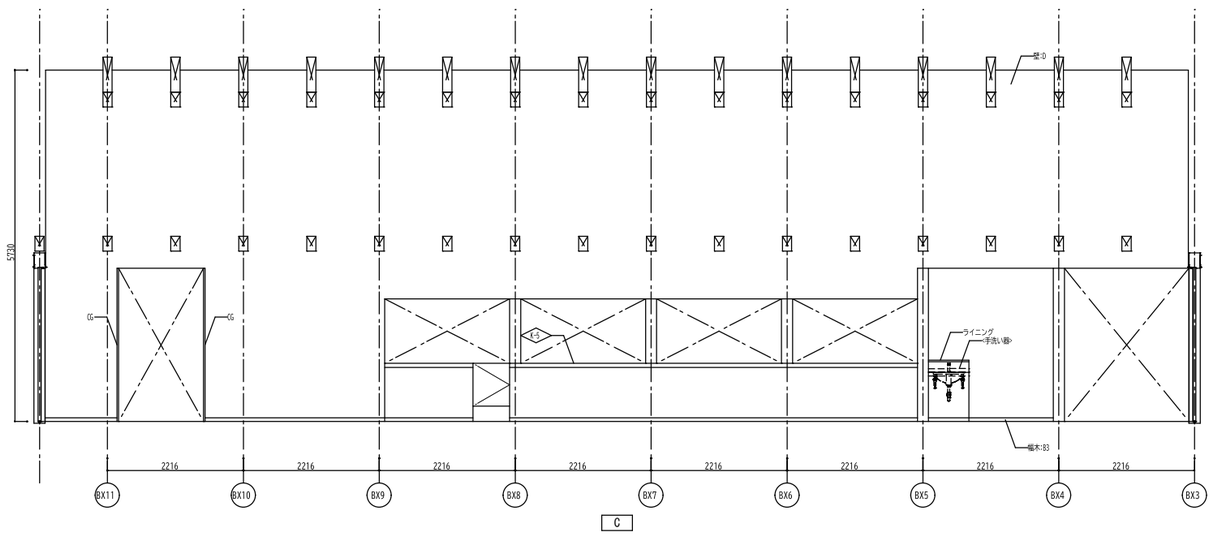
備考			発注者 新潟県　村上市					工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-040		
								図面名称 展開図-6	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	㊞ 構	電 機	

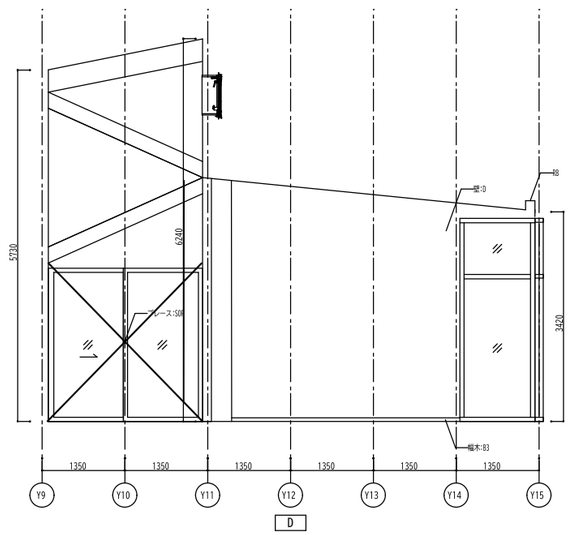


食堂

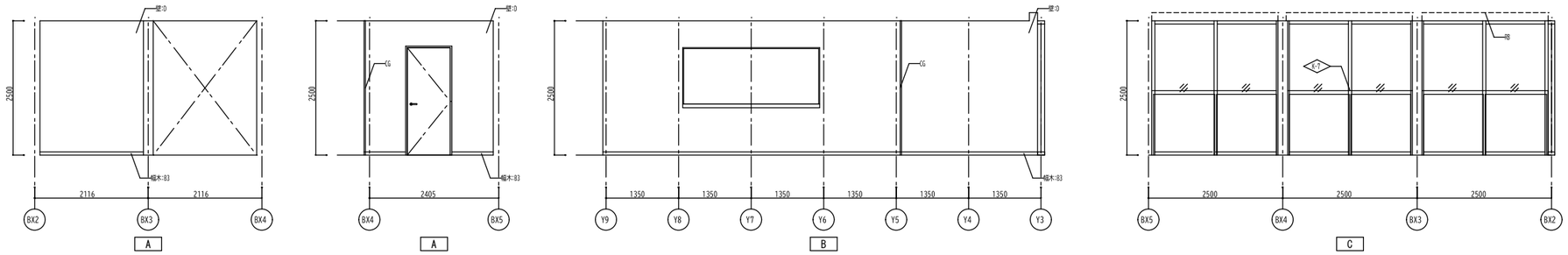




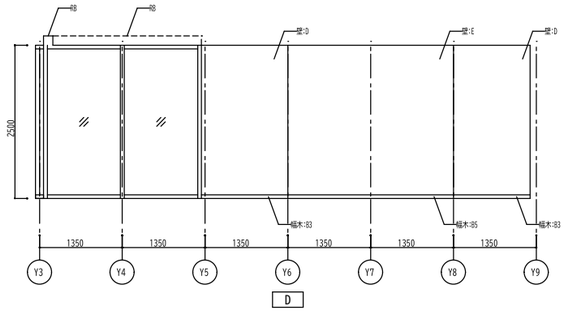


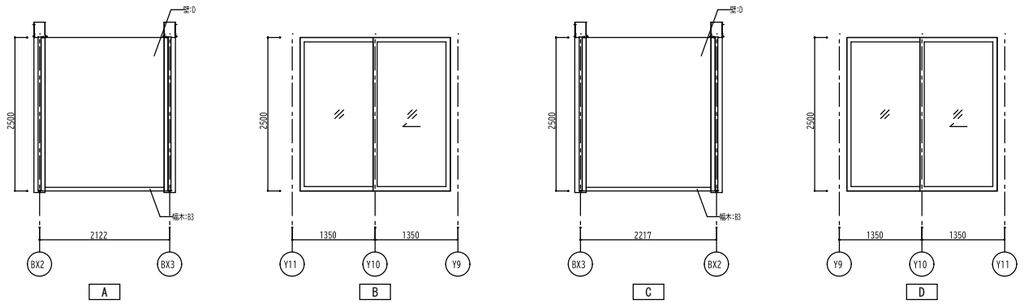


備考			発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-041	
						図面名称 展開図-7	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	既 / 構	電 / 機

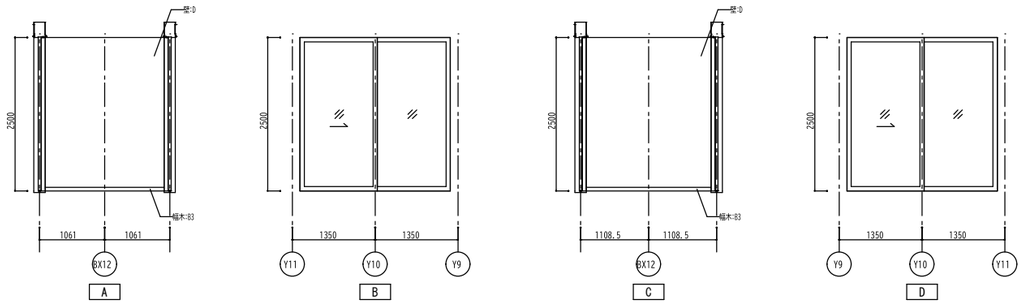


cafeスペース

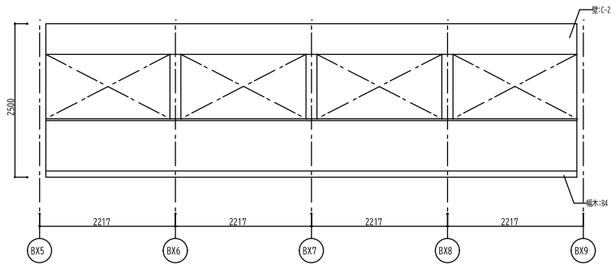


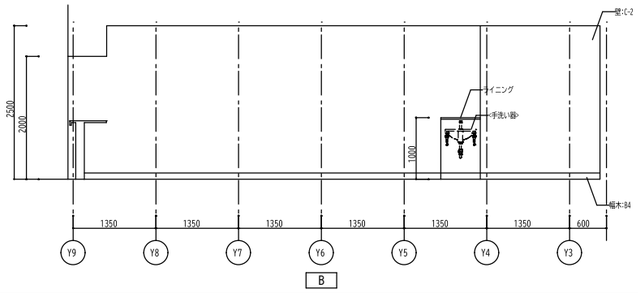


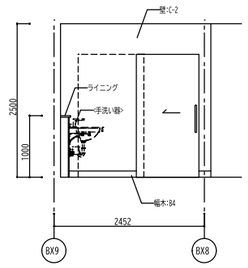
風除室-1

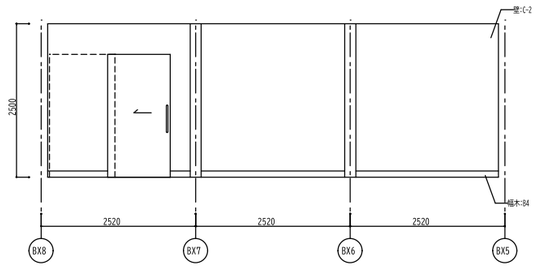


風除室-2

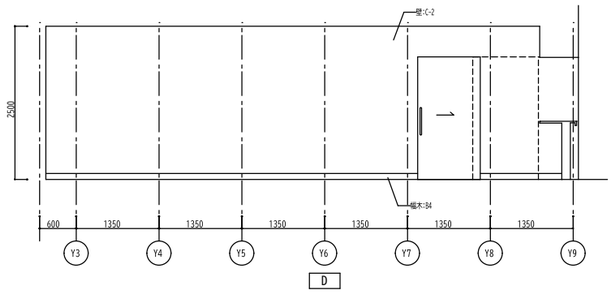


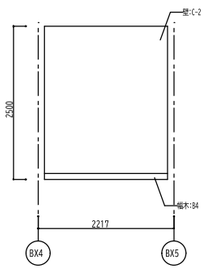


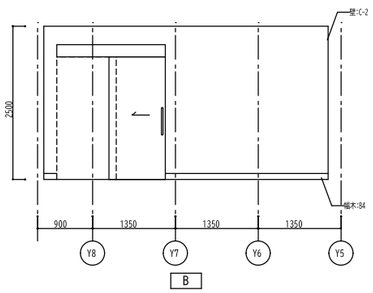


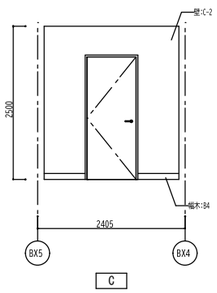


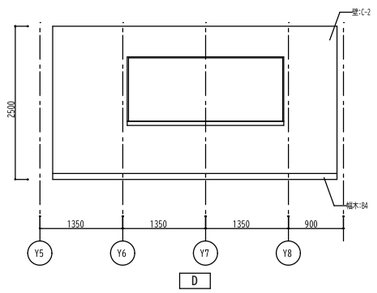
厨房





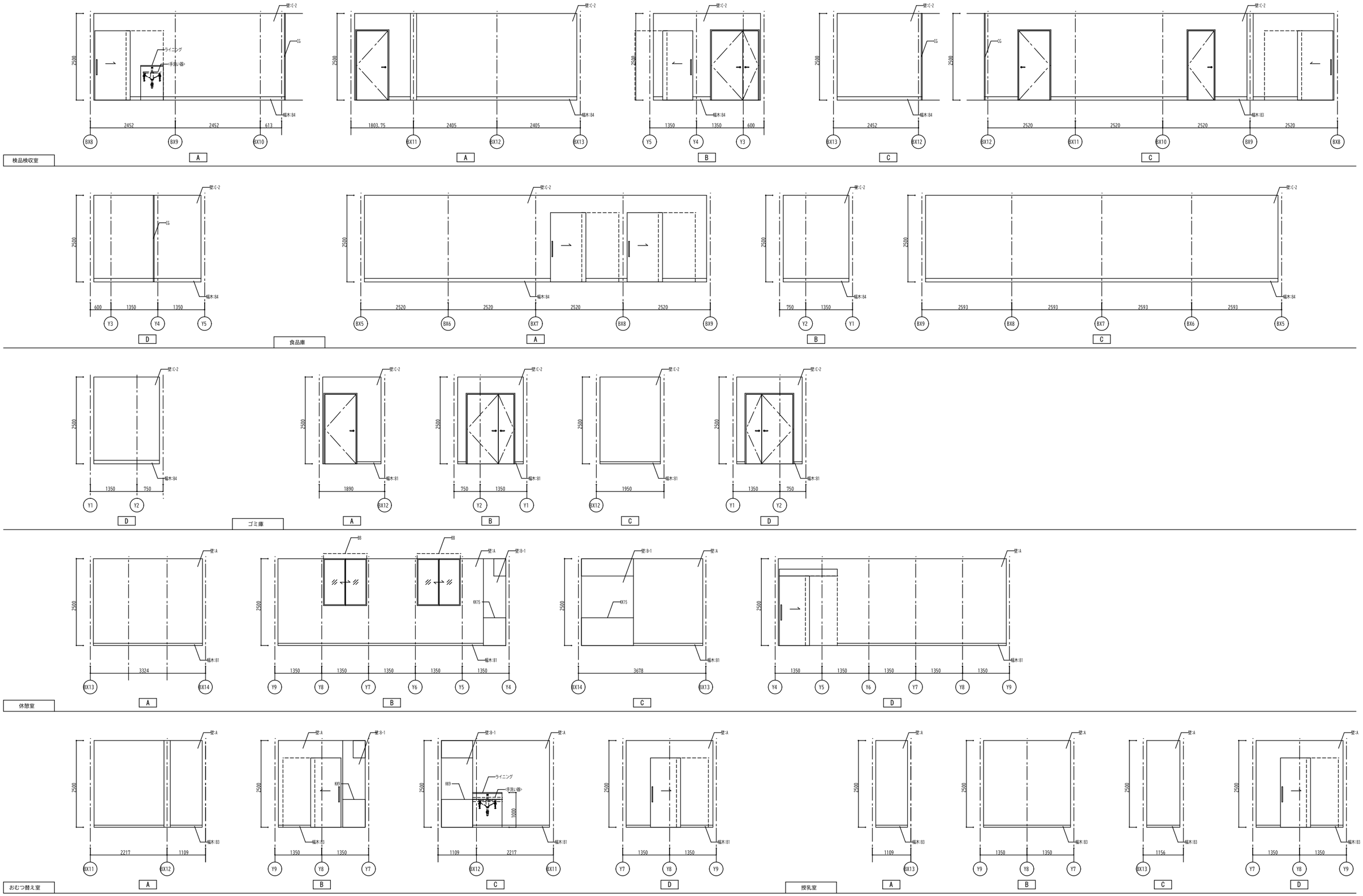






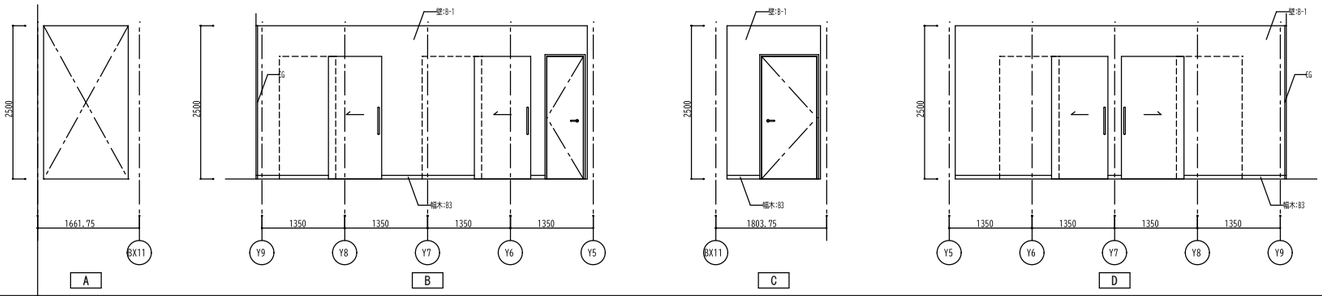
テイクアウト厨房

備考		発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-042	
					図面名称 展開図-8	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	電	構 / 機

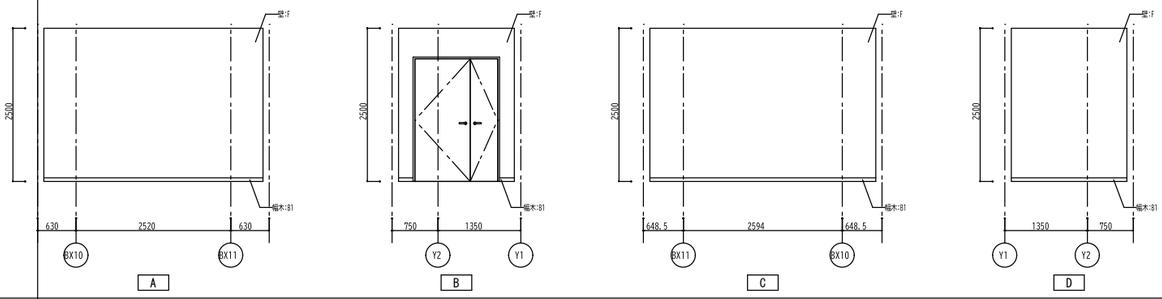


備考		発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-043	
				図面名称 展開図-9	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	建 / 電 / 構 / 機	

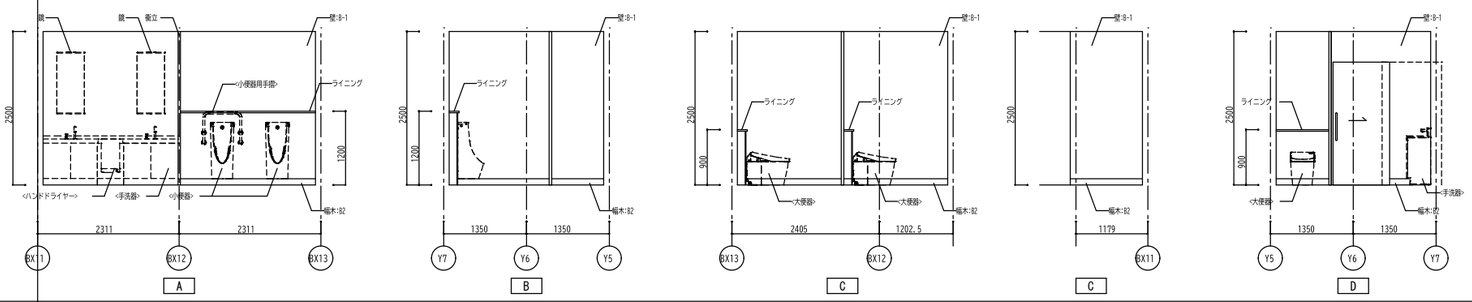
廊下



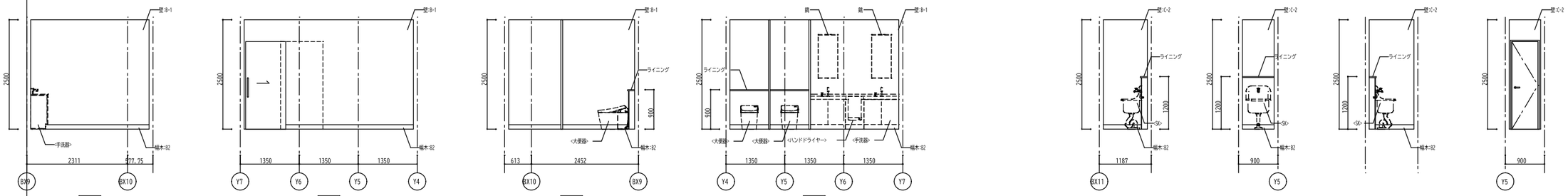
機械室



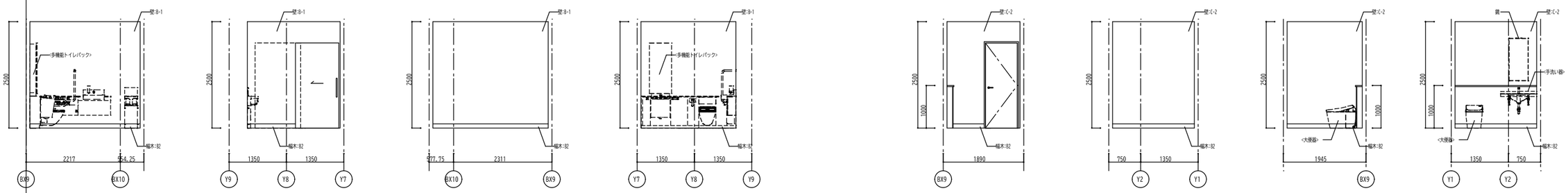
M/WC



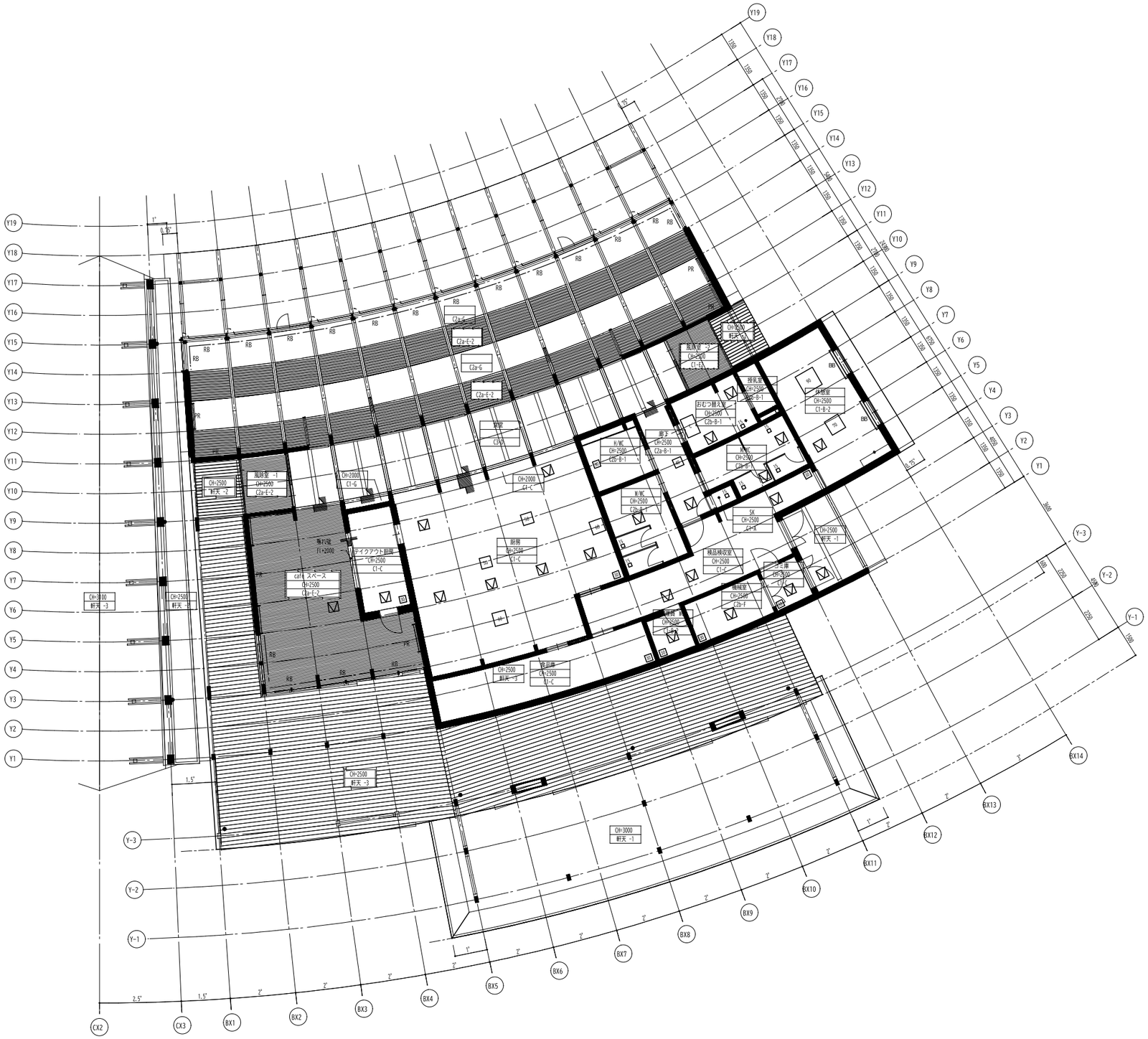
W/WC



H/WC



備考		発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-044	
				図面名称 展開図-10	縮尺 A1: S=1/50 A3: S=1/100	電 / 構	電 / 機



凡例・特記事項	
室名	下地、仕上詳細については
天井高さ	仕上リスト参照のこと。
下地 -仕上	

下地記号		
C1	LGS 下地（直貼用 ）	
C2a	GB-R t=9.5	
C2b	GB-NC t=9.5(不燃)	
C3	木下地	

仕上記号			
A	GB-D t=9.5(不燃)	E-2	木ルーバー
B-1	DR t=9	F	GW ボード
B-2	DR(直) t=12	G	羽目板
C	ケイカル板塗装		
D	木毛セメント板		
E-1	木スノコルーバー		

軒天仕上記号		
軒天 -1	木毛セメント板 t=6	
軒天 -2	木ルーバー t=12 W=60	
軒天 -3	羽目板 t=12 W90	
軒天 -3	羽目板 t=12 W90(不燃処理)	

その他記号			
BB	ブラインドボックス		
	杉 t=25 WP		
PR	ピクチャレール		
RB	ロールブラインド		

△	天井点検口 目地タイプ		
	特記なき限り 450 角 22 カ所		

15	開口	50	開口	90	開口	c	開口
	150 ×150 8カ所		500 ×500 2カ所		900 ×900 1カ所		900 ×700 1カ所
30	開口	60	開口	a	開口	55	開口
	300 ×300 8カ所		600 ×600 2カ所		100 ×1200 0カ所		550 Φ 0カ所
40	開口	70	開口	b	開口		
	400 ×400 1カ所		700 ×700 1カ所		600 ×300 0カ所		

変更		発注者	新潟県 村上市	〒	
工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号	A-046		
図面名称	飲食棟天井伏図	縮尺	A1:S= 1：100 A3:S= 1：200	建	電
				構	機

凡例・特記事項

室名
天井高さ
下地 −仕上

下地、仕上詳細については仕上リスト参照のこと。

下地記号

C1	LGS 下地（直貼用 ）
C2a	GB-R t=9.5
C2b	GB-NC t=9.5(不燃)
C3	木下地

仕上記号

A	GB-D t=9.5(不燃)	E-2	木ルーバー
B-1	DR t=9	F	GW ボード
B-2	DR(直) t=12	G	羽目板
C	ケイカル板塗装		
D	木毛セメント板		
E-1	木スノコルーバー		

軒天仕上記号

軒天 -1	木毛セメント板 t=6
軒天 -2	木ルーバー t=12 W=60
軒天 -3	羽目板 t=12 t=12
軒天 -3	羽目板 W90 W90(不燃処理)

その他記号

BB	ブラインドボックス 杉 t=25 WP	△	天井点検口 目地タイプ 特記なき限り 450 角 19 カ所
PR	ピクチャレール		
RB	ロールブラインド		

15	開口 150 ×150 11 カ所	50	開口 500 ×500 0カ所	90	開口 900 ×900 5カ所	c	開口 900 ×700 0カ所
30	開口 300 ×300 11 カ所	60	開口 600 ×600 1カ所	a	開口 100 ×1200 10 カ所	55	開口 550 Φ 4カ所
40	開口 400 ×400 3カ所	70	開口 700 ×700 4カ所	b	開口 600 ×300 2カ所		

変更	
発注者	新潟県 村上市
工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事
図面名称	販売棟天井伏図
縮尺	A1:S= 1:100 A3:S= 1:200
図面番号	A-045

意	電
構	機

-

建 具 特 記 事 項

1．各項目の※、及び ◯ の適用は、特記仕様書と同じとする。
2．（○−○○−○）内の数字は、建築工事標準詳細図（平成　　28年版）の詳細番号を示す。
3．略号は、下表による。

建具の種類と略号

略号	種　類	略号	種　類	略号	種　類
WD	木製戸	SSD	ステンレス製戸	ACW	アルミ製カーテンウォール
WM	木製窓	SSHD	ステンレス製吊戸	AP	アルミ製パーティション
WG	木製ガラリ	SSW	ステンレス製窓戸	TD	強化ガラス戸
WP	木製スクリーン	SSG	ステンレス製ガラリ	TW	強化ガラス窓
WF	木製三方（一、二、四方）枠	SSP	ステンレス製パーテーション	TL	トップライト
FU	ふすま	NSD	鉛入り鋼製戸	TS	耐火スクリーン
S	障子	NSHD	鉛入り鋼製吊戸		（特定防火設備認定品　　）
SD	鋼製戸	NSW	鉛入り鋼製窓	TB	トイレブース
LD	鋼製軽量戸	SS	重量シャッター	SM	防煙垂壁
LHD	鋼製軽量吊戸（自閉式）	LS	軽量シャッター	MSH	可動式防煙垂壁
SW	鋼製窓	FSS	防火重量シャッター	SLW	可動間仕切
SG	鋼製ガラリ	OHD	オーバーヘッドドア		（スライディングウォール　　）
SCW	鋼製カーテンウォール	AD	アルミ戸	GW	サスペンションガラス窓
SP	鋼製パーテーション	AW	アルミ製窓		
F	木製三方（一、二、四方）枠	AG	アルミ製窓ガラリ		

ガラスの種類と略号

略号	種　類	略号	種　類	略号	種　類
FL	フロートガラス	L	合わせガラス	AWC	熱線吸収入磨き板ガラス　（防火設備　）
F	型板ガラス	B	防音合わせガラス	AWL	熱線吸収嵌入磨き板ガラス
A	熱線吸収フロートガラス	D	複層ガラス　（A：空気層　）	X	鉛入りガラス
R	熱線反射ガラス	GB	ガラスブロック	PB	ポリカーボネート系合成樹脂板
AR	熱線吸収反射ガラス	PWC	網入透明ガラス　（防火設備　）	LE	Low-E ガラス
HR	高性能熱線反射ガラス	PWL	線入透明ガラス	ST	学校用強化ガラス
T	強化ガラス	FWC	網入型板ガラス　（防火設備　）		
HS	倍強度ガラス	FWL	線入型板ガラス		
DSHA	倍強度熱線吸収ガラス	FTP	耐熱強化ガラス　（特定防火設備　）		

仕上の種類と略号

略号	種　類	略号	種　類
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	ALP	アルミニウムペイント塗り
CL	クリヤーラッカー塗り	VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	AC	アクリル樹脂ワニス塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り	PLT-1	エポキシ樹脂系塗材
AE	アクリル樹脂エナメル塗り	AGE	アクリルゴムエマルション（防水型外装薄塗材Ｅ）
2-UE	2液型ポリウレタンエナメル塗り	ESP	エマルション系樹脂プラスター風仕上げ
2-ASE	2液形アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	U-BE	1液形ウレタン樹脂焼付塗り
DP(1 級)	耐候製塗料塗り	F-BE	フッ素樹脂焼付塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	A-BE	アクリル樹脂焼付塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	X-BE	エポキシ系焼付塗料塗
EP-M	多彩模様塗料塗り	ATP	水性抗菌塗料塗り
EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り	HRP	耐熱塗料塗り
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	FRP	耐火塗料塗り
OS	オイルステイン塗り	ZP	溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理
EP-G（水系 ）	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り　（屋内水系 ）	WP	高性能木材保護着色塗料
EP-Si	特殊シリコン樹脂系水性ペイント	PHL	バイブレーション仕上げ

■建具金物

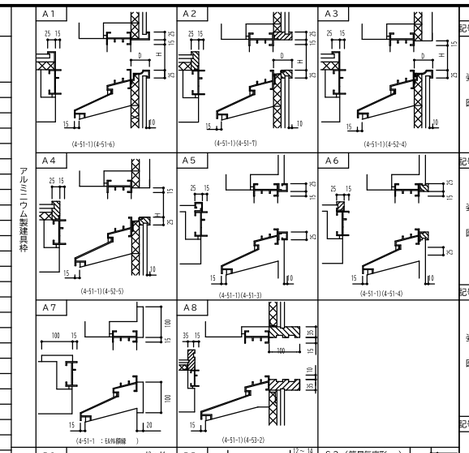
■支持金物	■開閉調整金物	■固定金物　（錠前 ）	■操作金物
BH 丁番 LBH 長丁番 PH ピボットヒンジ PHT 点検口用ピボットヒンジ FH フロアヒンジ AH オートヒンジ （中心吊り ） （持出し 吊り） （丁番型） （折戸用） LH ラバトリーヒンジ GH グラビティヒンジ SPH スプリングヒンジ T 戸車・レール EH 通電 CH 対震丁番 FK 防火折戸用金物 HR ハンガーレール	DC ドアクローザ （ストップ付き・なし） （コンシールドタイプ） （標準取付・パラレル） （引戸用クローザ） 召合せ 調整金物 フランス落し 順位調整器 あり止め （アームストッパー） （開き位置調整器） （突出し 棒） レリーズ マグネット ドアセルファー 戸当り （床付） （壁付） （床埋込 半回転） ドアストッパー	箱錠 本締錠 サムターン 円筒錠(モノロック) 本締付円筒錠 空錠 点検口錠 面付錠 グレモン錠 鎌錠 引違戸錠 非常開装置錠 （コイン錠） 表示錠 自動施錠タイプ 電気錠 （IDカード・テンキー） （遠隔施開錠） （信号表示錠） 非常錠 サムターン プッシュ錠 ローラー締り ローラーキャッチ クレセント 引寄せハンドル サムラッチ錠 水圧解放錠	ノブ（握り 玉） レバーハンドル ケースハンドル 押板 引手 掘込引手 取手 回転取手 カムラッチハンドル 開閉ハンドル 締り ハンドル 三点締り ハンドル 押ボタンケース （シャッタースイッチ） パニックハンドル ワンタッチ空錠 （押・引き ハンドル） 排煙開放装置 （押しボタン式） （ハンドル式） （電動式） （煙感知器連動式） フック棒

枠見込み寸法D（ mm）	建具種類	見 込 寸 法	平面図表示建具金物記号	
	SD	40（ H=2,400 以下かつ、扉一枚の幅 =950 以下）	DC(S)	ドアクローザ（ストップ付き）
		50（ H=2,400 超えるかつ、扉一枚の幅 =1,600 以下）		
		50（ H=2,700 以上かつ、扉一枚の幅 =1,500 以下）		
		60（ H=3,200 以上かつ、扉一枚の幅 =2,000 以下）		
	LD	35～ 40	DC	ドアクローザ（ストップ付き）
	F	21（戸ふすまは 30mm ）		
	S	30		
	WD	36（ H=1,000 未満、扉一枚の幅 =950 以下）		
		33～ 36（ H=2,000 未満、扉一枚の幅 =950 以下）		
		36～ 40（ H=2,400 未満、扉一枚の幅 =950 以下）		

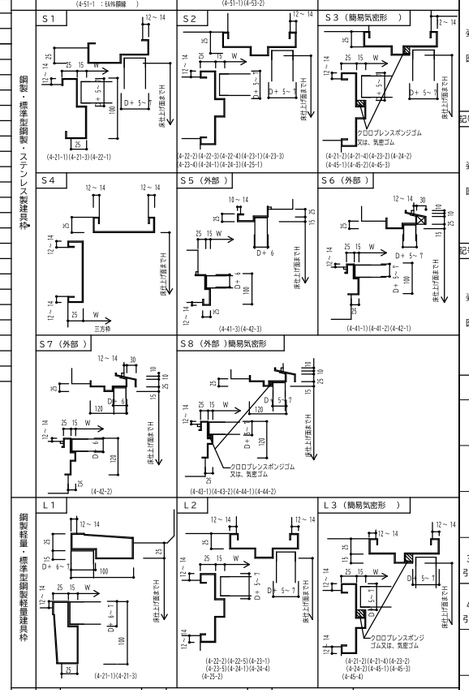
FD	令第 109 条の 2に適合する防火設備（常時閉鎖）		
FDM	令第 112 条第 1項に適合する特定防火設備　（常時閉鎖・常時開放　） ※常時開放の場合は感知器連動式とする	常開	常時開放を示す
不	不燃常時閉鎖扉	常閉	常時閉鎖を示す
形　状	（1 ）扉（ H=1,600 以下）は中桟なしとする。 （2 ）SD のうち、点検口扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。（防火設備の場合は両面フラッシュ戸とする）		

設備工事との区分	項　目	工 事 範 囲	別 途 工 事
	防　火　戸	本体（自動閉鎖装置の切り込み・補強とも）	自動閉鎖装置・連動制御装置・感知器
	上部電動式シャッター	本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置	連動制御装置・感知器
	排　煙　窓	本体・自動開放装置	連動制御装置・感知器
	防　煙　垂　れ　壁	本体・駆動装置	連動制御装置・感知器
	自　動　扉	本体・駆動装置・制御装置・検出装置	手元電源スイッチ
	電　気　錠	本体	扉までの配管配線

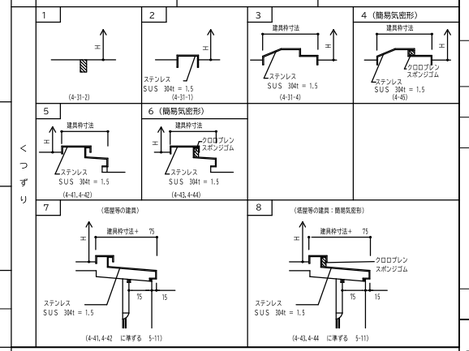
アルミニウム製建具枠



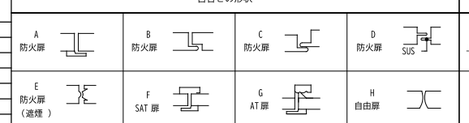
鋼製建具枠・標準型鋼製軽量建具枠・ステンレス製建具枠



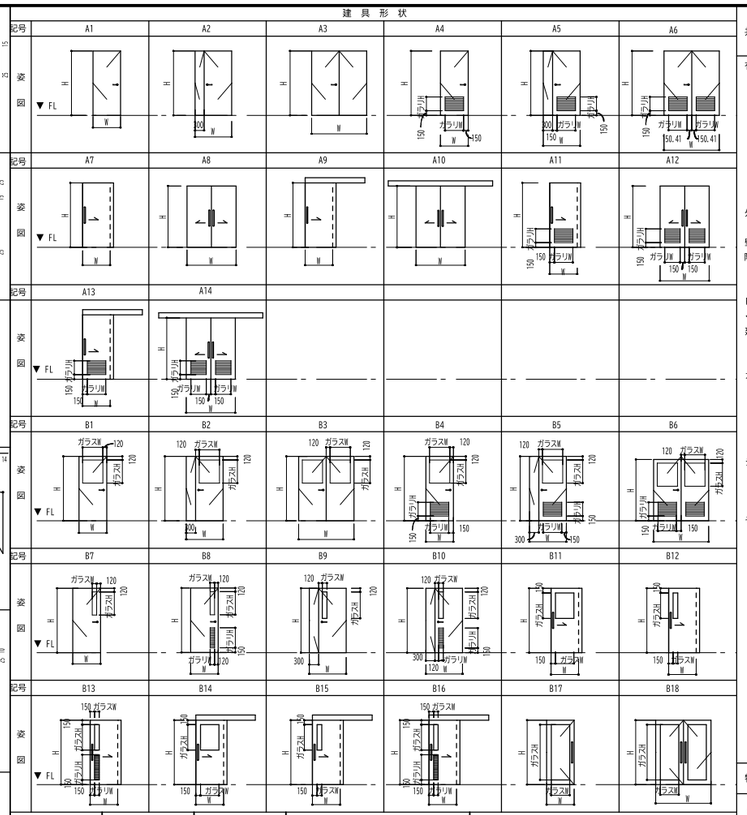
くつずり

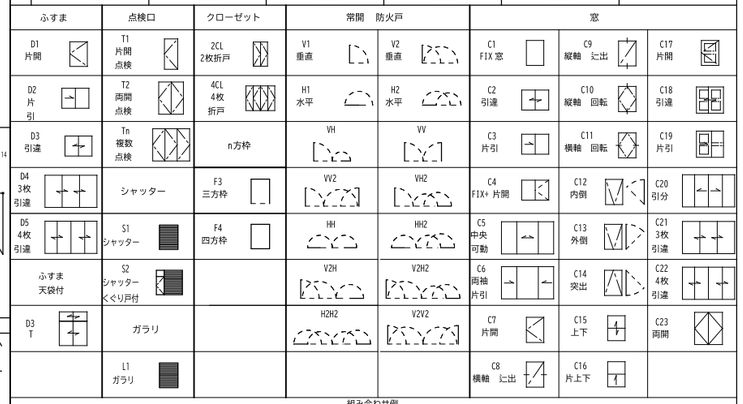


召合せの形状



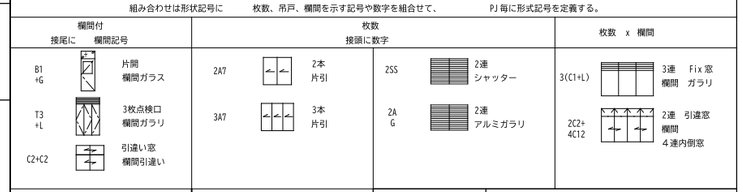
建 具 形 状

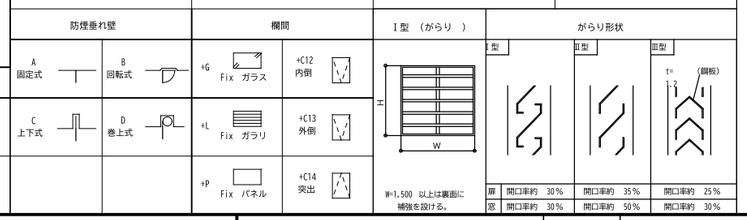




組み合わせ例

組み合わせは形状記号に　　枚数、吊戸、欄間を示す記号や数字を組合せて、　　PJ 毎に形式記号を定義する。





共 通 事 項

特記なき限り下記事項は共通とし、◎印の項目を適用する。
本表は、本工事に用いる建具を一括して表す。トイレブース、戸棚、カウンターその他これに類する建具は別図によるものとし、本表に含まない。

有効開口寸法
◎特記なき限り扉の　W,H は有効開口寸法とする。（引戸は枠寸法より引残しを除いた開口を有効とする。）
◎建具工事およびガラス工事のシーリングについては、シーリング特記による。
◎建具類の補強金物は工作図により決定する。
◎特記なき限り、外部鋼製建具の仕上げは　　DP(1 級)とし、内部鋼製建具及びシャッターの仕上げは　　SOP とする。
◎小窓、額付き鋼製戸、框扉のガラスは上部落し込み（押縁なし）タイプとする。
◎壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を　　100mm 程度とし、ドアクローザの有無に　かかわらず戸当たりを設ける。
（但し便所ブースの戸、親子の子扉、点検口、防火戸、気密戸の類を除く）
◎アルミサッシの表面仕上げは特記仕様書による。
◎網戸は外側取付は開き戸で網はステンレス、室内側取付はロール網戸、網は樹脂製を原則とする。
◎外部建具の雨掛り部の躯体との取り合いはモルタル、ステンレス、アルミ建具共に二重シールとする。

外部鋼製戸
◎外部に面する戸は　　AT 型とする。
◎戸枠は四周ともステンレス製溶接接合とし　　t=1.5 以上、戸と同色塗装（　　DP(1 級)）仕上げとする。

壁埋込み形
◎閉鎖装置はヒンジクローザーとし、調整器は壁側に設ける。

防火戸
◎ソレノイドの保持力は、火災時に手で開けられる強さ、かつ、体が触れても開かない強さとする。
◎子扉が付く場合、子扉の下には下枠のない方式とする。（身障者対応）
◎防火戸付き消火ホースロの大きさ開閉機構、取付位置などは、管轄消防署と協議の上製作する。

PS・ DS戸
◎ PS,DS,EPS　の扉で天井高さまでのものには上部内側枠に防煙垂壁（　　StPL-1.6,H=300　　）を設置すること。

くつずり
◎床仕上げが異なる箇所、仕上げ高さが異なる箇所は　　(1)、外部周りは　(5)、PAT の出入口は　(4) とする。

建具用金物
◎ドアクローザーは室内側取付けを原則とする。
90°ストッパー付を原則とするが、防火戸の場合はストッパーなしとする。（廊下側は　　180°）
両開き戸はドアクローザー　　2個、親子開き戸は　1個取付けとする。

ガラリ
◎外部に面するガラリはＩ型、屋内は亘型とし、材質は室内　　SD の場合はスチール製、外部　　SDはアルミニウム製　　WD の場合は
アルミ製とする。ガラリ戸は同色仕上げとする。
◎給排気ガラリの面積は、計画風量にもとづき開口率　　30％、ガラリ通過風速　　3m/ 秒として算出、チェックする。
◎ダクト接続されるガラリは接続枠付きとし、裏面（室内側）に結露防止材を流す。
◎ダクト接続のガラリには四方枠（　　PL-2.3 加工 ,見込み 180mm,SOP　仕上）を付ける。
◎内部各扉のドアガラリの材質はスチール　　SOP とする。

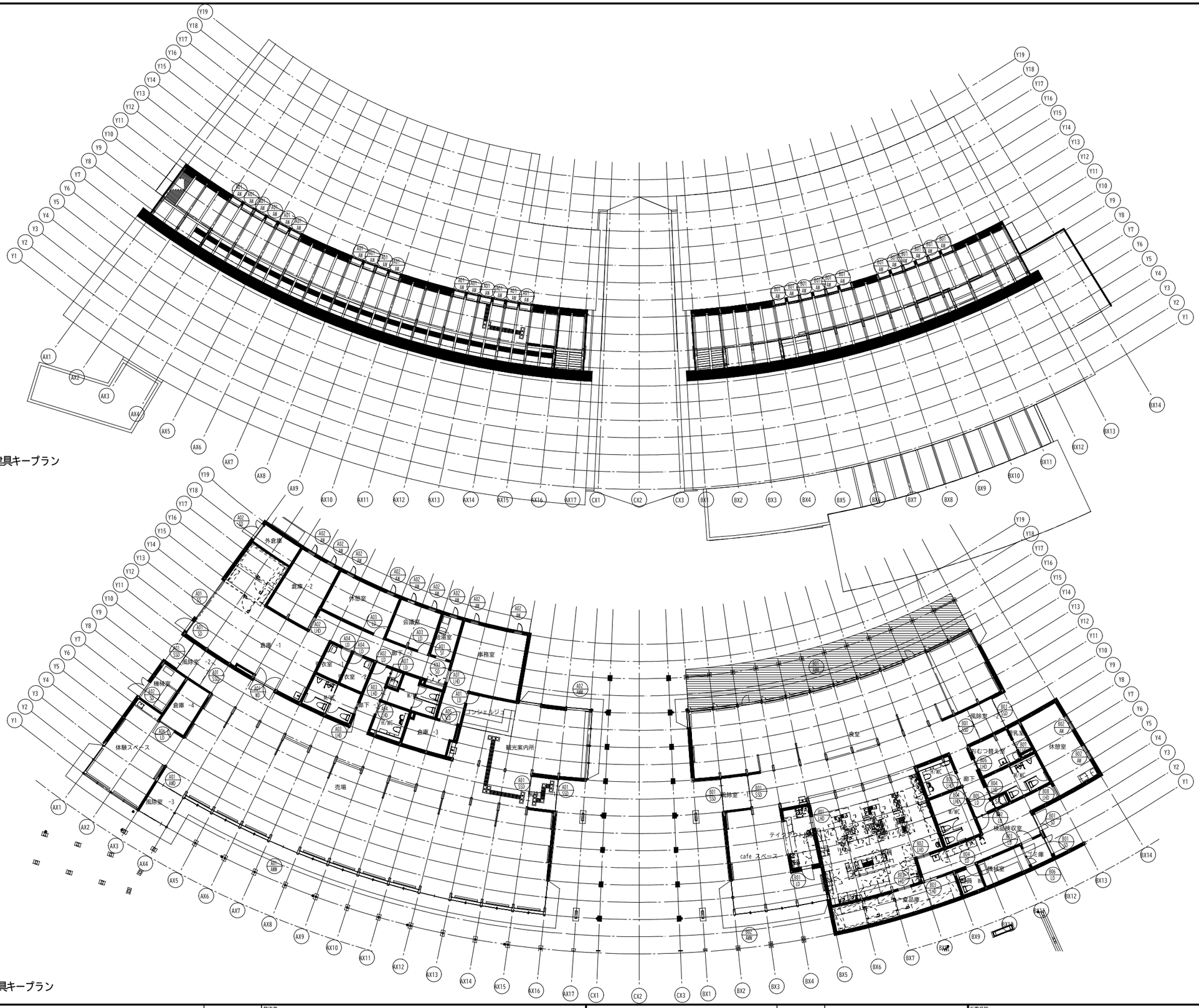
シャッター
◎ガイドレールはステンレス製　　,まぐさ・座板は外部がステンレス製　　,室内は鋼製の天井色焼付け塗装とする。
◎管理用シャッターを除く防火シャッターのスラットは　　SOP とする。
◎外部シャッターは「耐風型　　,外孔止の付」とする。
◎電動シャッターは障害物感知センサー付とする。

その他
◎パニックオープン　　,カードリーダー　　,電気錠対応の建具は煙感知連動とすること。
◎排煙窓は枠見付が一般部と同巾のタイプを用いること。
◎複層ガラスの封着シール　　,金物は黒色とする。
◎材質仕上欄にあるスチール焼付塗装は特注色を示す。

特 記 事 項

◎上表回転サッシの建具金物は、幅　　1500 以内の場合を示す。
◎開閉サッシの締付け開閉機構の部材は、ビス　　,パネおよび高応力部とも、　　SUS304　材とする。
◎戸枠に戸当りゴム　　2方所を取付ける。
◎マスターキーは（　　10）系統とし、グランドマスターキーを組込むこと。
◎シリンダー箱錠は、アンチフリクション機構付きとする。
◎特記なき限り廊下に面して室への出入口は片面シリンダー錠、片面サムターンとする。
◎電気錠は火災時報知設備と連動で開錠する方式とする。
◎建具製作前に有効排煙、採光面積を明記し、建築基準法並びに医療法の基準を満足している確認をすること。不満足な場合は、
係員に報告し協議すること。
◎ガラス製作前にガラス厚計算、係員の承諾を受けること。合わせて熱割れ計算を行い、
（層間区画部のガラスの熱割れを十分に検討すること。　　)監督員の承諾を受けること。
◎ピボットヒンジは枠取付型とする。
◎外部点検扉のロックハンドルは防水型としタキゲン　　A-172-1　程度とする。
◎特記なき限り押板、押棒の場合はシリンダー本締り錠とする。
◎扉のレバーハンドル、把手類は床面から　　1,000mm　とし、押板類は　1,100mm　とする。
◎特記なき限り自動扉下部はレールレスタイプとする。
◎特記なき限り引戸は上吊、自閉式　　,ストッパー付とする。
◎強化ガラス及び耐熱強化ガラスは全て飛散防止フィルム張りとする。
◎網入り及び線入りガラス使用のサッシにはセッティングブロック毎に水抜穴を設ける。（　　5mm 以上）
◎壁仕上がプラスチックシート貼りの室に設ける鋼製建具は仕上を壁に合わせ、枠共プラスチックシート貼りとする。
◎ステンレス製の外部建具にはフッ素樹脂クリア塗装、またはアクリルシリコンクリア塗装を行い、もらい錆防止を行う。（外部面）
◎層間区画部のガラスの熱割れを十分に検討すること。
◎パックパネルに耐火ボード　　（けい酸カルシウム板　　）を使用する場合は、含水率を極力抑えたボードとする。
◎自動ドアの錠はシリンダー本締り錠とする。
◎ NSD 、 NSHD 、 NSW の鉛当量はキープランに特記なき限りは　　2mm とする。
◎特記なき限り、自動ドアの開閉方式は、天井取付型近赤外線反射式センサーとする。
◎自動扉は方立部分等に安全装置組込とする。

変更		発注者			工事名称	図面番号
		新潟県　村上市			道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-047
					図面名称：建具特記仕様書　縮尺：A1:S= 図面表記による　A3:S=	㊞ 電 構 機



屋上建具キープラン

1階建具キープラン

変更			発注者				工事名称		図面番号
			新潟県　村上市				道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		A-048
							図面名称	縮尺	建 電 構 機
							建具キープラン	A1:S= 1:150 A3:S= 1:300	

■販売棟　建具表

符号		取付場所	建具			個数	建具						枠				吝摺		ガラス			ガラリ					建具金物				備考
種類	番号		形式	法	性能		W	H	見込	材質	仕上	召合	見込	形状	材質	仕上	形状	材質	W	H	略号　厚さ	W	H	形状	材質	FA	支持金物	開閉調整金物	固定金物	操作金物	
AW																															
AW	A01	売場	C12			16	820	600		アルミ	AC		315	A2	アルミ	AC					LE6+A6+FL6									オペレーター	網戸、水切
AW	A02	事務室・会議室・休憩室・給湯室・倉庫-2	C9			9	600	1300		アルミ樹脂	AC				アルミ樹脂	AC					LE6+A6+FL6								ハンドル錠		網戸、水切、住宅サッシ
AWD																															
AWD	A01	風除室-3				1	2350	2500		木	WP				アルミ木	WP		SUS			LE6+A6+T8+飛散防止フィルム								サムターン、シリンダー錠		SUS　衝突防止シール、自動ドアエンジン(隠べい型　)、パニックオープン、防護柵
LD																															
LD	A01	コンシェルジュ	A1		SAT	1	750	2000		St t=0.6	ダイノックフィルム		215	L3	St t=1.6	SOP	2	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	オートボトム
LD	A02	廊下-2	A1			1	800	2000		St t=0.6	A-BE		210	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	
LD	A03	会議室・休憩室	B7		SAT	2	800	2000		St t=0.6	A-BE		190	L3	St t=1.6	SOP	2	SUS	120	1700	F4						PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	オートボトム
LD	A04	更衣室-1・更衣室-2	B7			2	750	2000		St t=0.6	A-BE		205	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS	150	150	F4						PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	アンダーカット
LD	A05	倉庫-3	A2			1	1350	2000		St t=0.6	A-BE		205	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	
LD	A06	倉庫-4	A2			1	1350	2000		St t=0.6	A-BE		215	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	
LD	A07	SK	A1			1	600	2000		St t=0.6	A-BE		195	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	アンダーカット
LHD																															
LHD	A01	事務室	B15		SAT	1	800	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	2	SUS	120	1700	F4						HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン、シリンダー錠	SUS　引棒 (L=450)	オートボトム
LHD	A02	倉庫-2	A9			1	900	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS									HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン、シリンダー錠	SUS　引棒 (L=450)	
LHD	A03	M/WC　・ W/WC	B15			2	800	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS	120	1700	F4						HR	DC S　付、ソフトクローズ		SUS引棒(L=1925)(ユニオン)G1 152-26-101-P1925)	アンダーカット
LHD	A04	H/WC	B15			1	900	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS	120	1700	F4						HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン(非常時開錠)、表示錠	SUS引棒(L=1925)(ユニオン/G1) 152-26-101-P1925)	アンダーカット
SD																															
SD	A01	倉庫-1	A1			1	900	2000		St t=1.6	F-BE		280	S8	St t=1.6	DP	4	SUS									BH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	
SD	A02	外倉庫・機械室	A2			2	1350	2000		St t=1.6	F-BE		280	S8	St t=1.6	DP	5	SUS									BH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	
SD	A03	廊下-2				1	1350	2000		St t=1.6	F-BE		280	S1	St t=1.6	SOP	2	SUS									隠し丁番	開放制限SUSワイヤー	点検口錠		
SF																															
SF	A01	給湯室	F3			1	800	2000					190	S4	St t=1.6	SOP															
SS																															
SS	A01	倉庫-1	S1			1	3600	2500		SUS	F-BE																				
SSD																															
SSD	A01	風除室-1・風除室-2				4	2550	2500		SUS	A-BE				SUS	A-BE		SUS			LE6+A6+T8+飛散防止フィルム								サムターン、シリンダー錠		SUS　衝突防止シール、自動ドアエンジン(隠べい型　)、パニックオープン、防護柵
WD																															
WD	A01	倉庫-1	B3			1	1800	2000		木	UC		245	S4	木	UC	1	SUS	600	600	T8+　スモークフィルム						スイングドアヒンジ				SUS　巾木 H=600

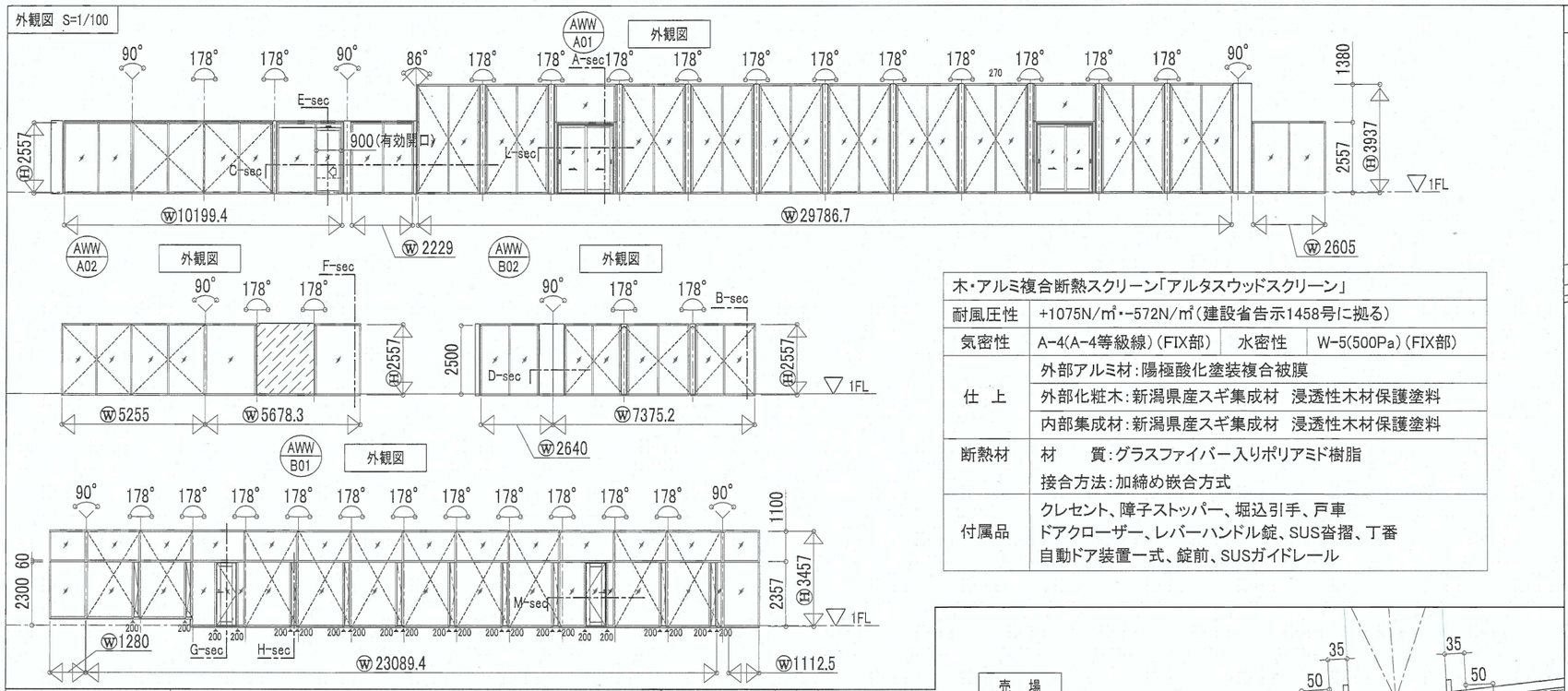
変更		発注者 新潟県　村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-049
			図面名称 建具表　-1	縮尺 A1:S= A3:S=	㊞ 電 構 機

■飲食棟　建具表

符号		取付場所	建具			個数	建具						枠				吝嗇		ガラス			ガラリ					建具金物				備考
種類	番号		形式	法	性能		W	H	見込	材質	仕上	召合	見込	形状	材質	仕上	形状	材質	W	H	略号　厚さ	W	H	形状	材質	FA	支持金物	開閉調整金物	固定金物	操作金物	
AW																															
AW	B01	食堂	C12			12	820	600		アルミ	AC		315	A2	アルミ	AC					LE6+A6+FL6									オペレーター	網戸、水切
AW	B02	休憩室	C2			2	1195	1300		アルミ樹脂	AC				アルミ樹脂	AC					LE6+A6+FL6								クレセント		網戸、水切、住宅サッシ
LD																															
LD	B01	テイクアウト厨房	A1			1	800	2000		St t=0.6	A-BE		335	L3	St t=1.6	SOP	2	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	オートボトム
LD	B02	検品検収室	A1			1	900	2000		St t=0.6	A-BE		225	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	
LD	B03	ゴミ庫	A1			1	900	2000		St t=0.6	A-BE		185	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	アンダーカット
LD	B04	調理員WC	B7			1	750	2000		St t=0.6	A-BE		300	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS	150	150	F4						PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	アンダーカット
LD	B05	SK	A1			1	600	2000		St t=0.6	A-BE		295	L1	St t=1.6	SOP	1	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	アンダーカット
LD	B06	機械室	A2		SAT	1	1350	2000		St t=0.6	A-BE		185	L3	St t=1.6	SOP	2	SUS									PH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	オートボトム
LHD																															
LHD	B01	テイクアウト厨房	A9			1	800	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS									HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン、シリンダー錠	SUS　引棒 (L=450)	
LHD	B02	厨房	A7			1	900	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS									HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン、シリンダー錠	SUS　引棒 (L=450)	アンダーカット
LHD	B03	食品庫	A7			2	900	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS									HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン、シリンダー錠	SUS　引棒 (L=450)	
LHD	B04	M/WC　・ W/WC	B12			2	800	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS	120	1700	F4						HR	DC S　付、ソフトクローズ		SUS引棒(L=1925)(ユニオン/G1) 152-26-101-P1925)	アンダーカット
LHD	B05	H/WC	B12			1	900	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS	120	1700	F4						HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン(非常時開錠)、表示錠	SUS引棒(L=1925)(ユニオン/G1) 152-26-101-P1925)	アンダーカット
LHD	B06	おむつ替え室	B12			1	750	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS	120	1700	F4						HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン、シリンダー錠	SUS引棒(L=1925)(ユニオン/G1) 152-26-101-P1925)	アンダーカット
LHD	B07	授乳室	B12			1	750	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	1	SUS	150	150	F4						HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン、シリンダー錠	SUS引棒(L=1925)(ユニオン/G1) 152-26-101-P1925)	アンダーカット
LHD	B08	休憩室	B15		SAT	1	750	2000		St t=0.6	A-BE				St t=1.6	SOP	2	SUS	120	1700	F4						HR	DC S　付、ソフトクローズ	サムターン、シリンダー錠	SUS　引棒 (L=450)	オートボトム
SD																															
SD	B01	検品検収室・ゴミ庫	A2			2	1350	2000		St t=1.6	F-BE		280	S8	St t=1.6	DP	4	SUS									BH	DC S　付、戸当り	サムターン、シリンダー錠	レバーハンドル	
SSD																															
SSD	B01	風除室-1・風除室-2				4	2550	2500	SUS		A-BE				SUS	A-BE		SUS			LE6+A6+T8+飛散防止フィルム								サムターン、シリンダー錠		SUS　衝突防止シール、自動ドアエンジン(隠べい型　)、パニックオープン、防護柵

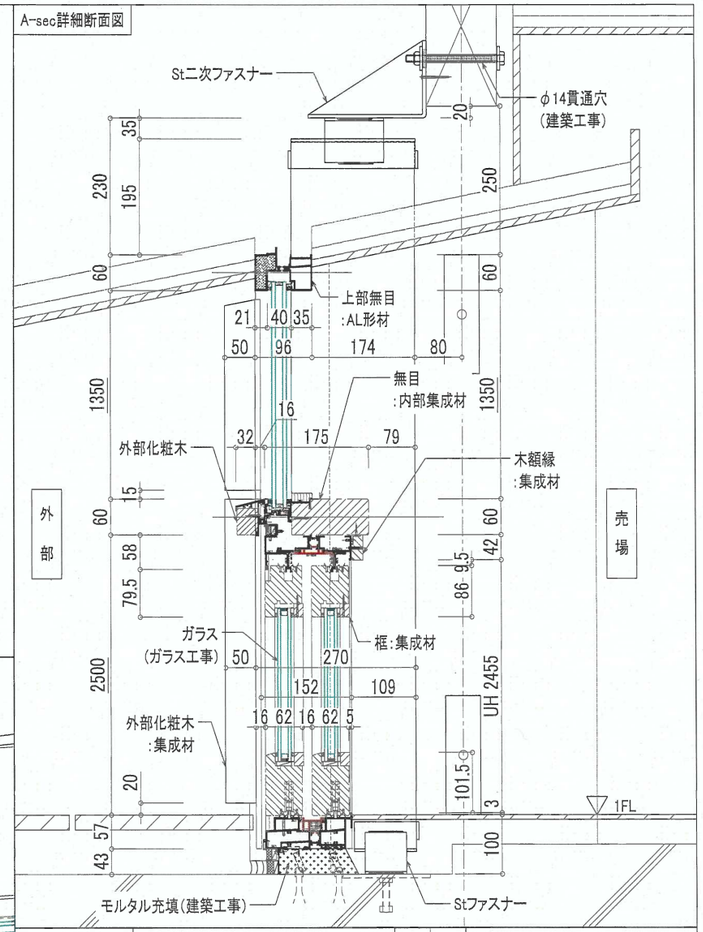
変更			発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-050
					図面名称 建具表　-2	縮尺 A1:S= A3:S=	衛 電 構 機

外観図 S=1/100

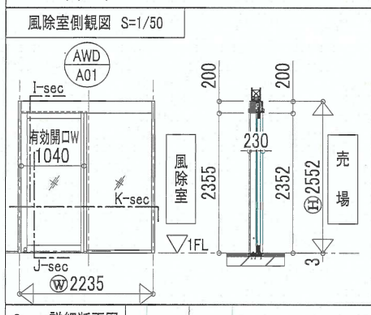


木・アルミ複合断熱スクリーン「アルタスウッドスクリーン」			
耐風圧性	+1075N/m²・-572N/m²(建設省告示1458号に拠る)		
気密性	A-4(A-4等級線)(FIX部)	水密性	W-5(500Pa)(FIX部)
仕上	外部アルミ材:陽極酸化塗装複合被膜		
	外部化粧木:新潟県産スギ集成材 浸透性木材保護塗料		
	内部集成材:新潟県産スギ集成材 浸透性木材保護塗料		
断熱材	材 質:グラスファイバー入りポリアミド樹脂		
	接合方法:加締め嵌合方式		
付属品	クレセント、障子ストッパー、堀込引手、戸車 ドアクローザー、レバーハンドル錠、SUS沓摺、丁番 自動ドア装置一式、錠前、SUSガイドレール		

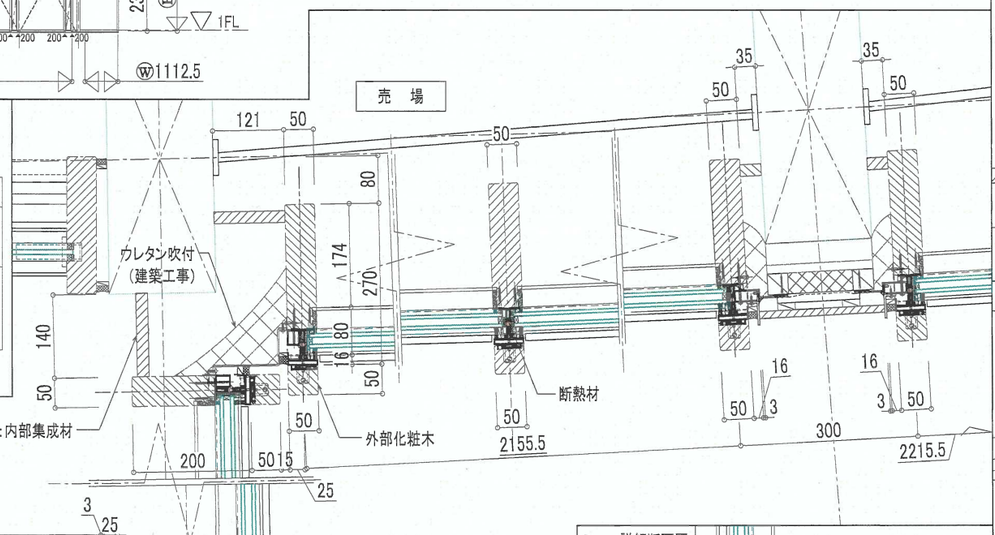
A-sec詳細断面図



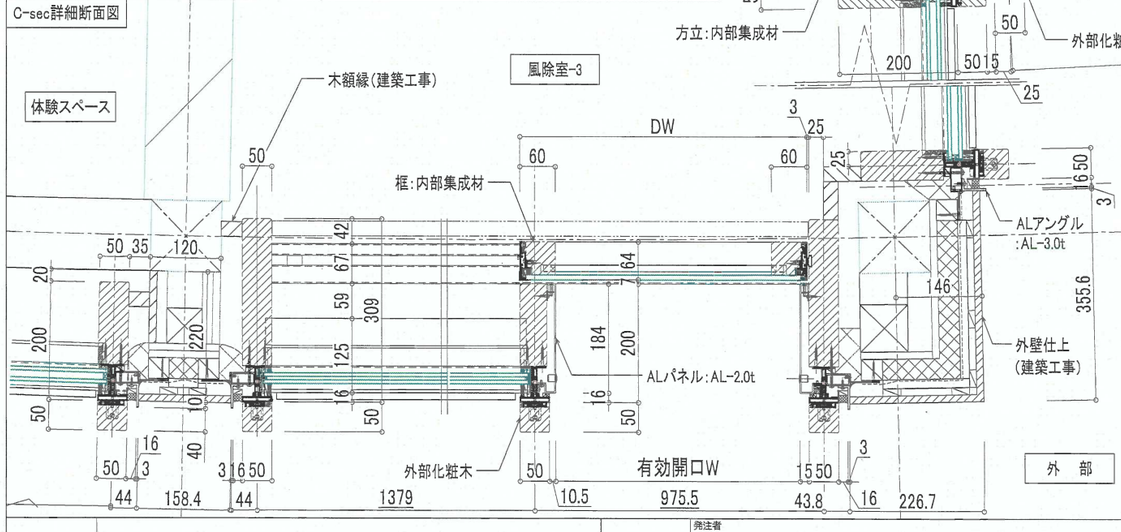
風除室側観図 S=1/50



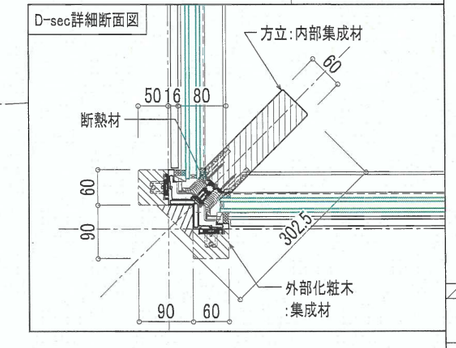
木製自動ドア「アルタスウッドスクリーン」	
仕上	集成材:新潟県産スギ集成材 浸透性木材保護塗料
付属品	SUSガイドレール 自動ドア装置一式 錠前、自動扉ガラス(TP8)



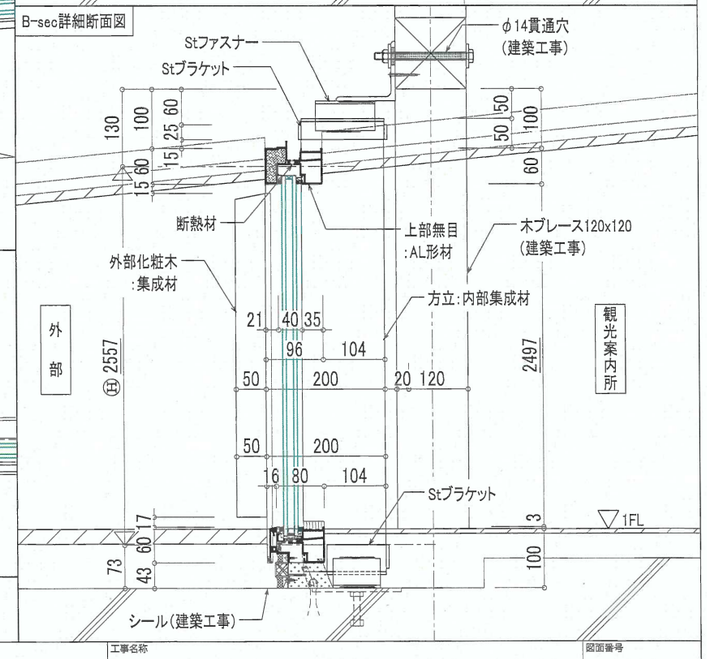
C-sec詳細断面図



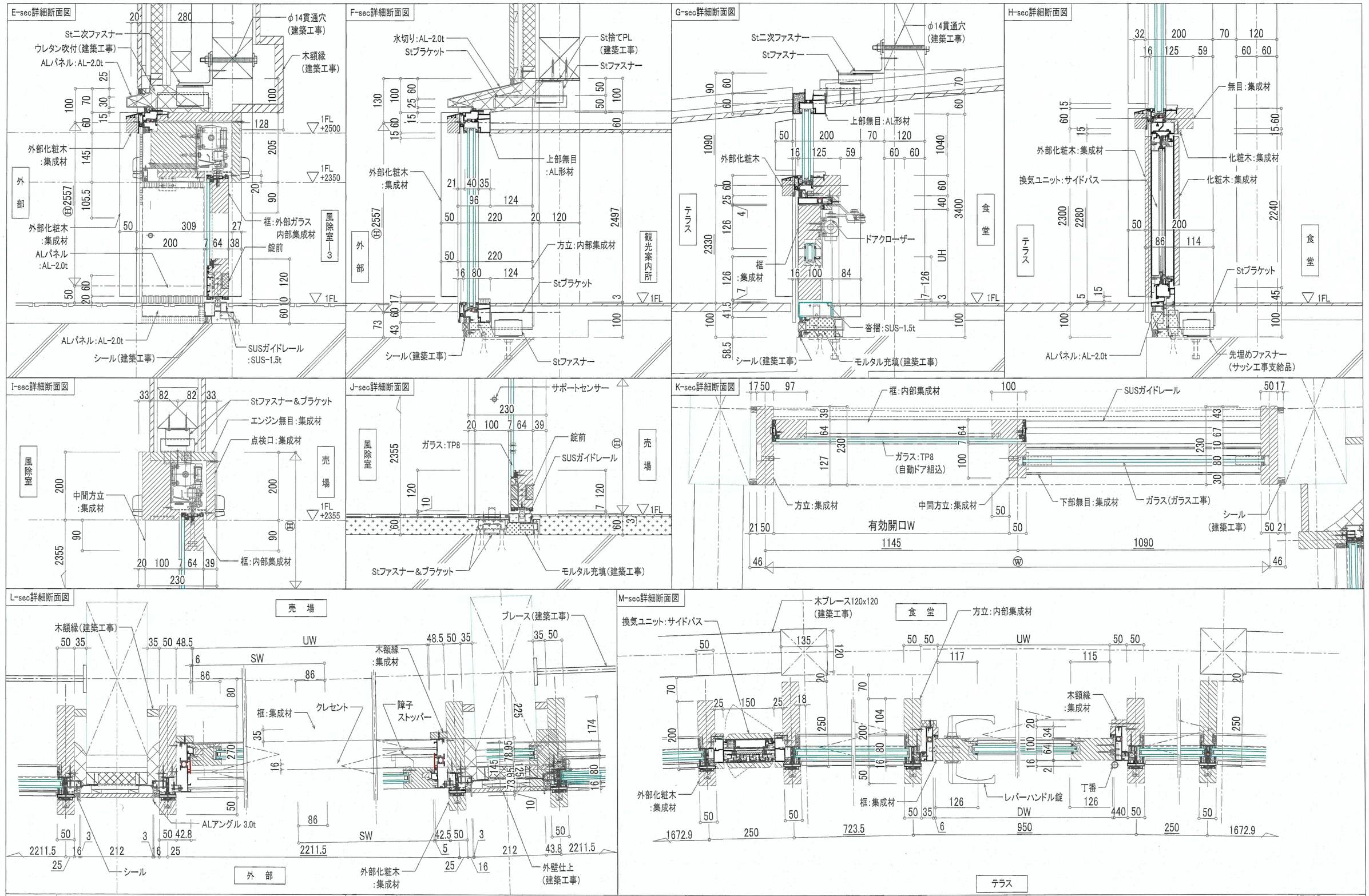
D-sec詳細断面図



B-sec詳細断面図

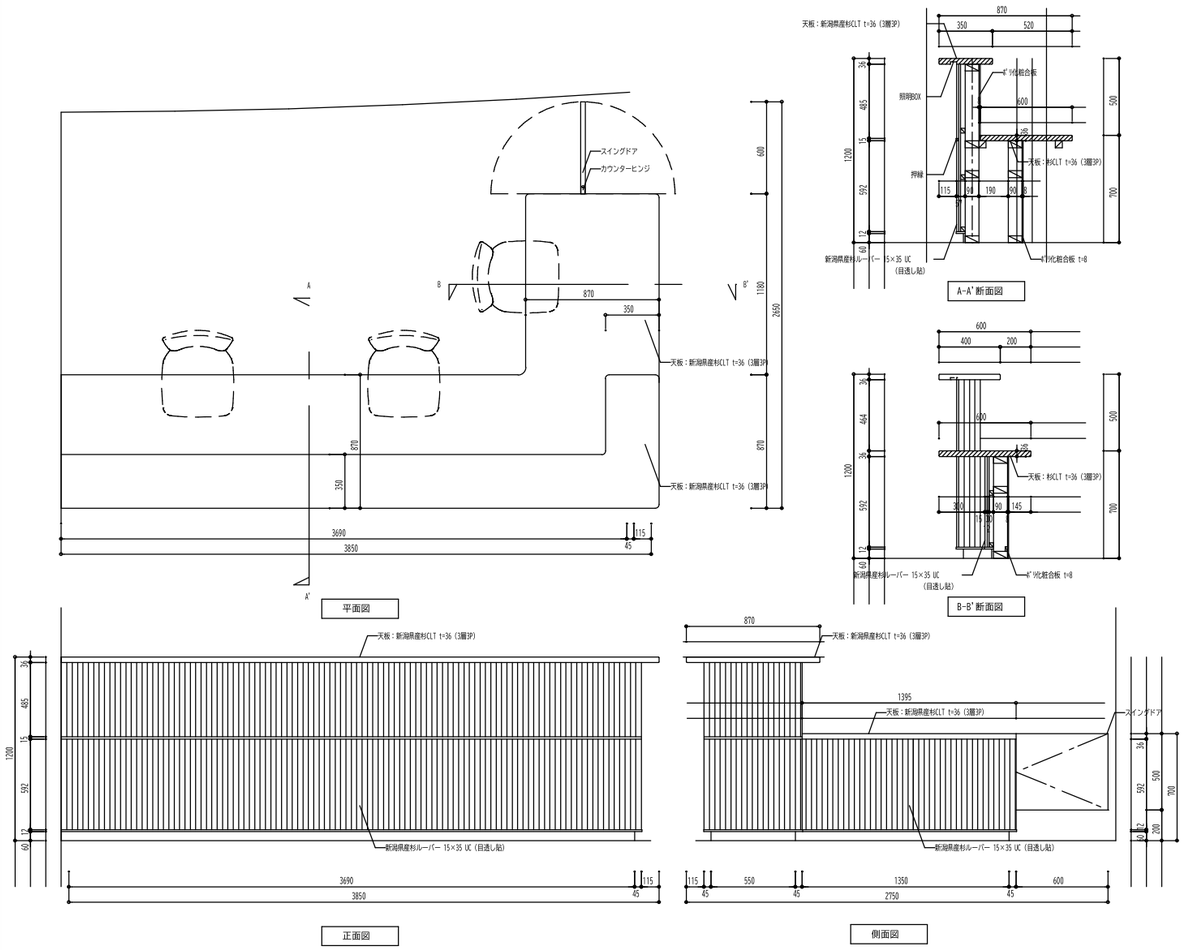


備考	発注者	年月日	工事名称	図面番号
	新潟県 村上市	チーフ事務所 / サブ事務所	道の駅「朝日」(地域振興施設)建築工事	A-051
			図面名称: 建具詳細図-1(参考図)	縮尺: A1:S=1/5 A3:S=1/10
				㊞ 構 / 電 機

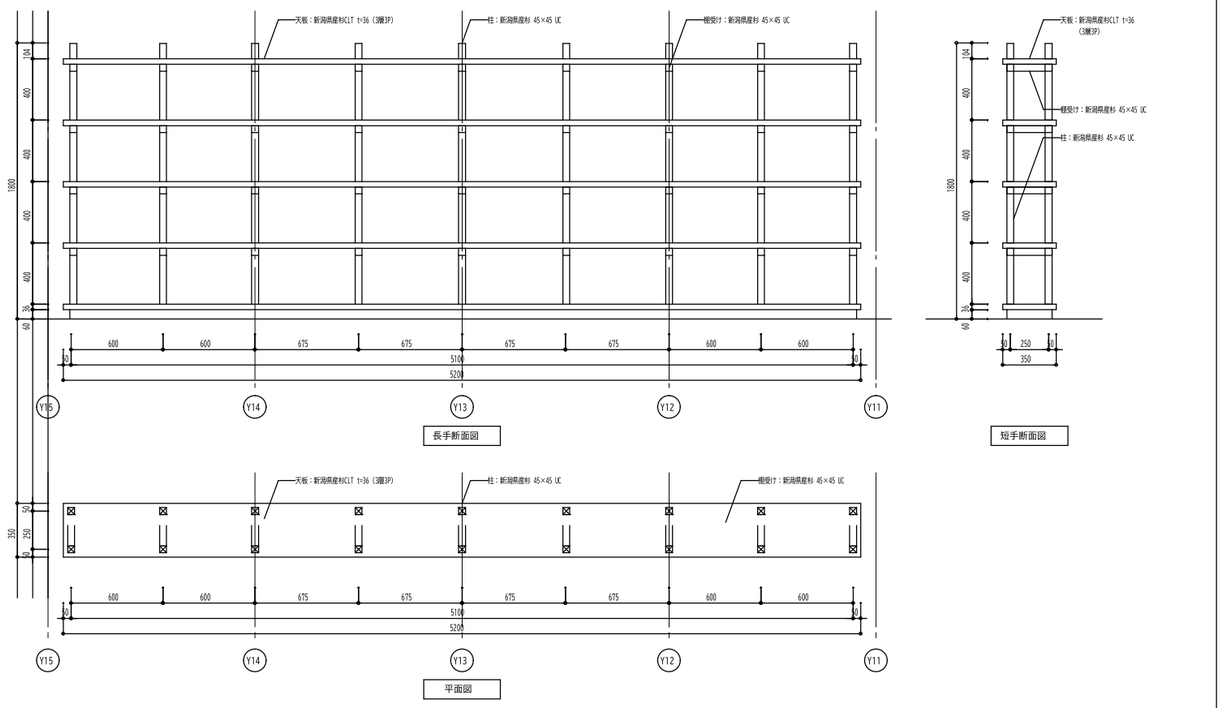


備考	発注者	設計番号	年月日	工事名称	図面番号
	新潟県　村上市		2024.08	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-052
		審査	チーフ事務所 / サブ事務所	図面名称: 建具詳細図-2（参考図）	縮尺: A1: S=1/ 5　A3: S=1/10
					㊞ 電 構 機

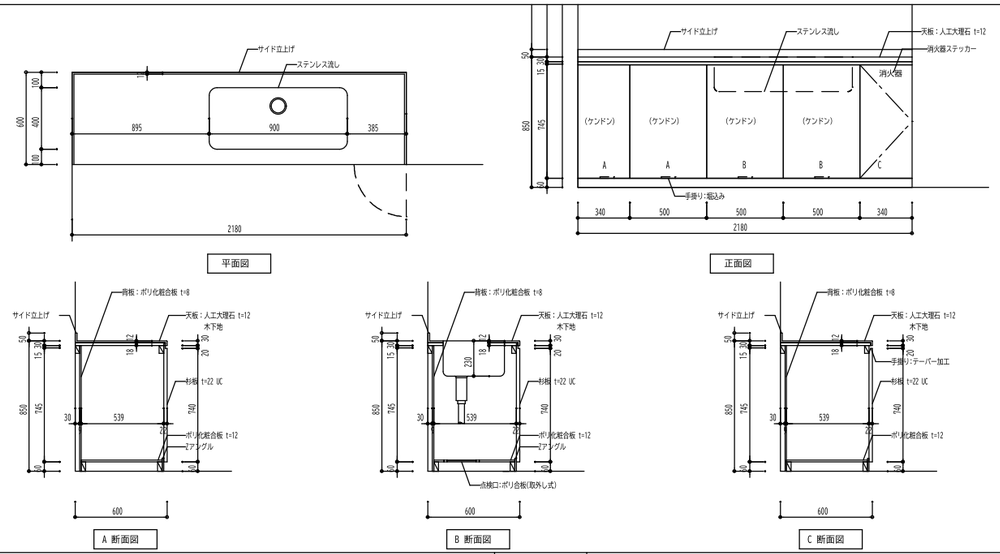
K-1 受付カウンター　1ヶ所
コンシェルジェ



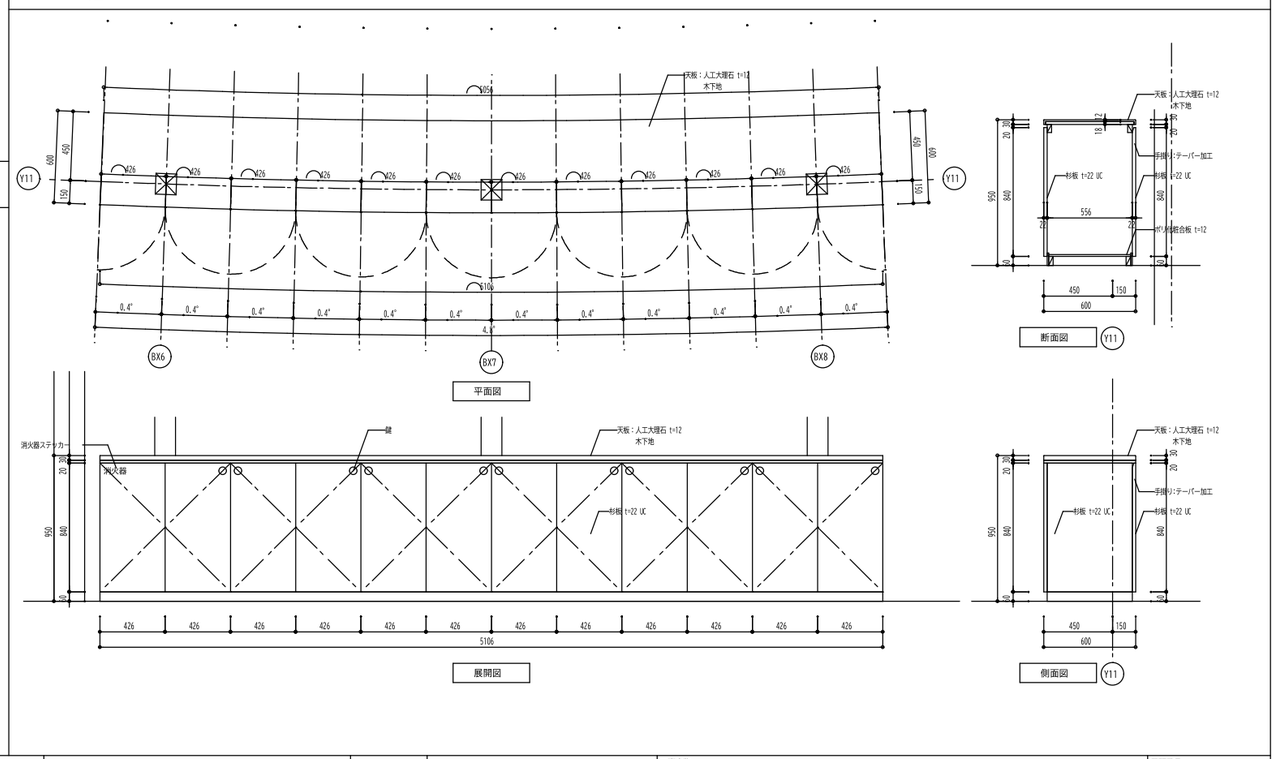
K-2 棚　1ヶ所
観光案内所



K-3 カウンター　1ヶ所
体験スペース

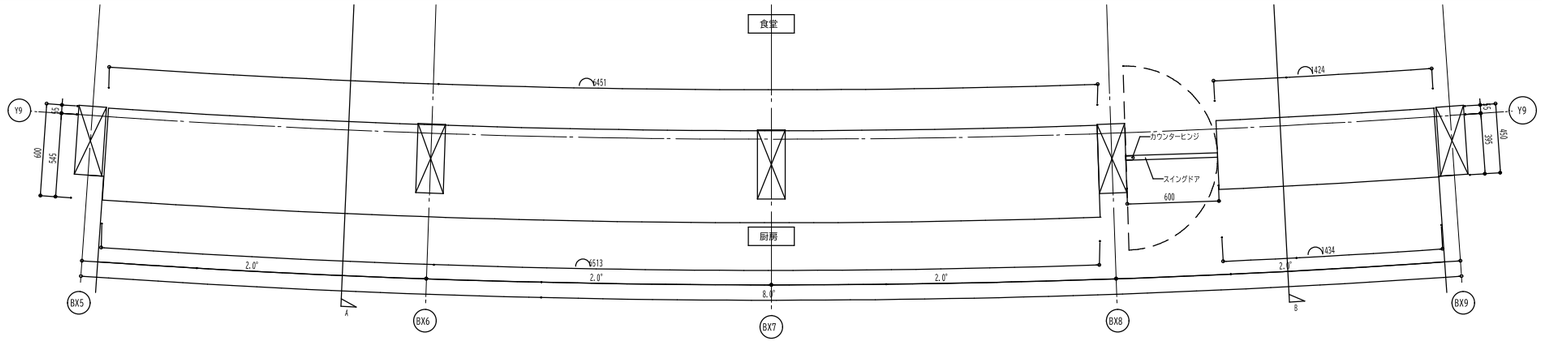


K-4 カウンター　1ヶ所
食堂

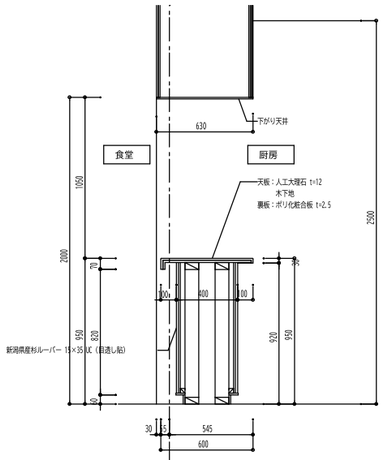


備考	発注者：新潟県　村上市	工事名称：道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号：A-053	
		図面名称：家具詳細図-1	縮尺：A1: S=1/20　A3: S=1/40	㊞ 構	電 機

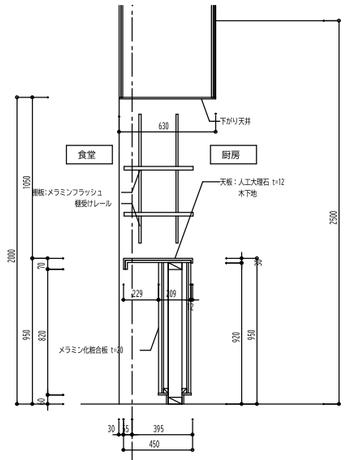
K-5 カウンター 1ヶ所
食堂



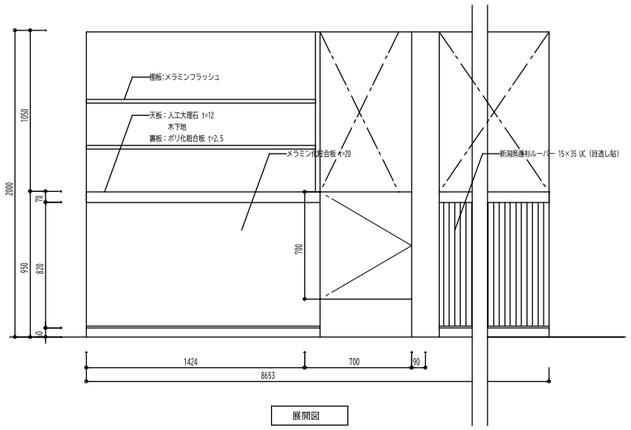
平面図



A 断面図

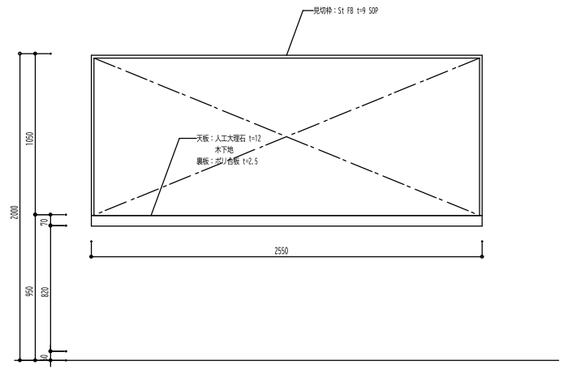


B 断面図

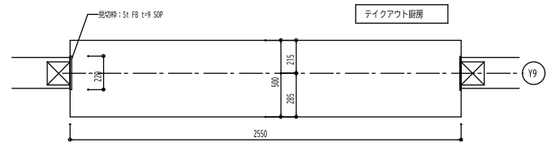


展開図

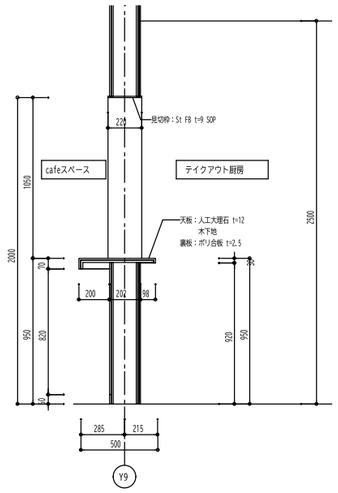
K-6 カウンター 1ヶ所
cafeスペース



正面図

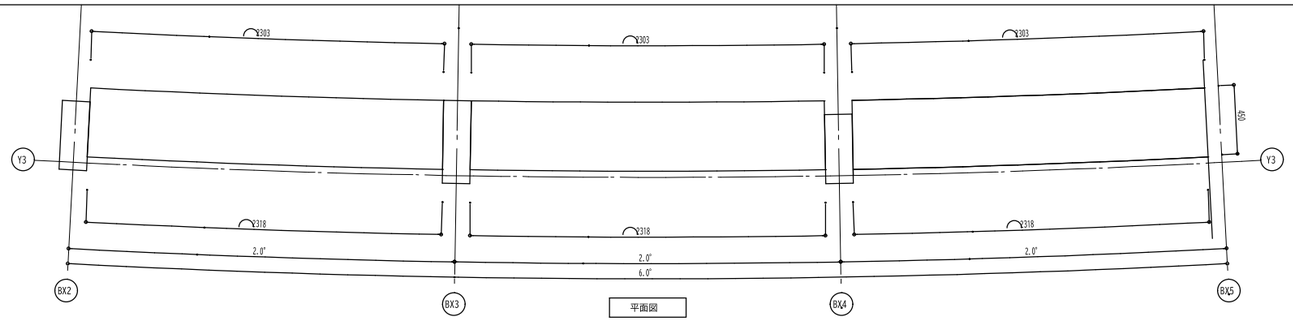


平面図　cafeスペース

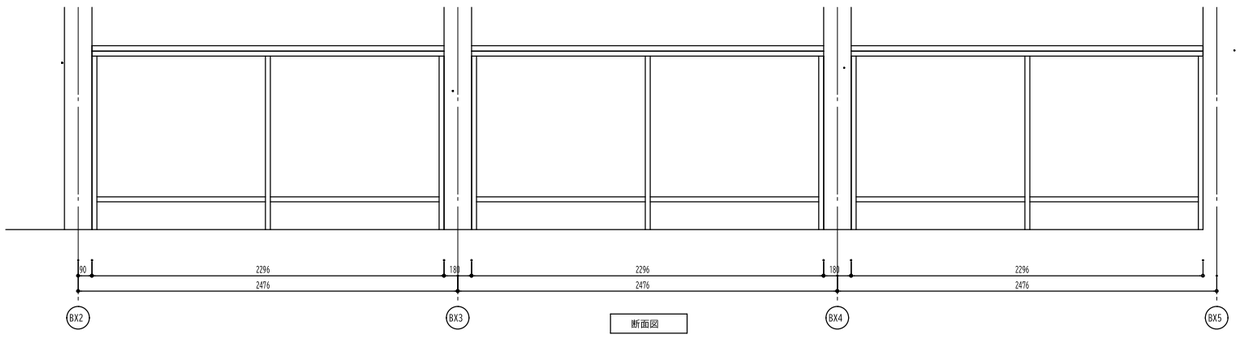


断面図

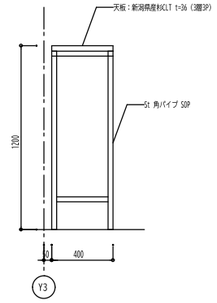
K-7 カウンターテーブル 1ヶ所
cafeスペース



平面図

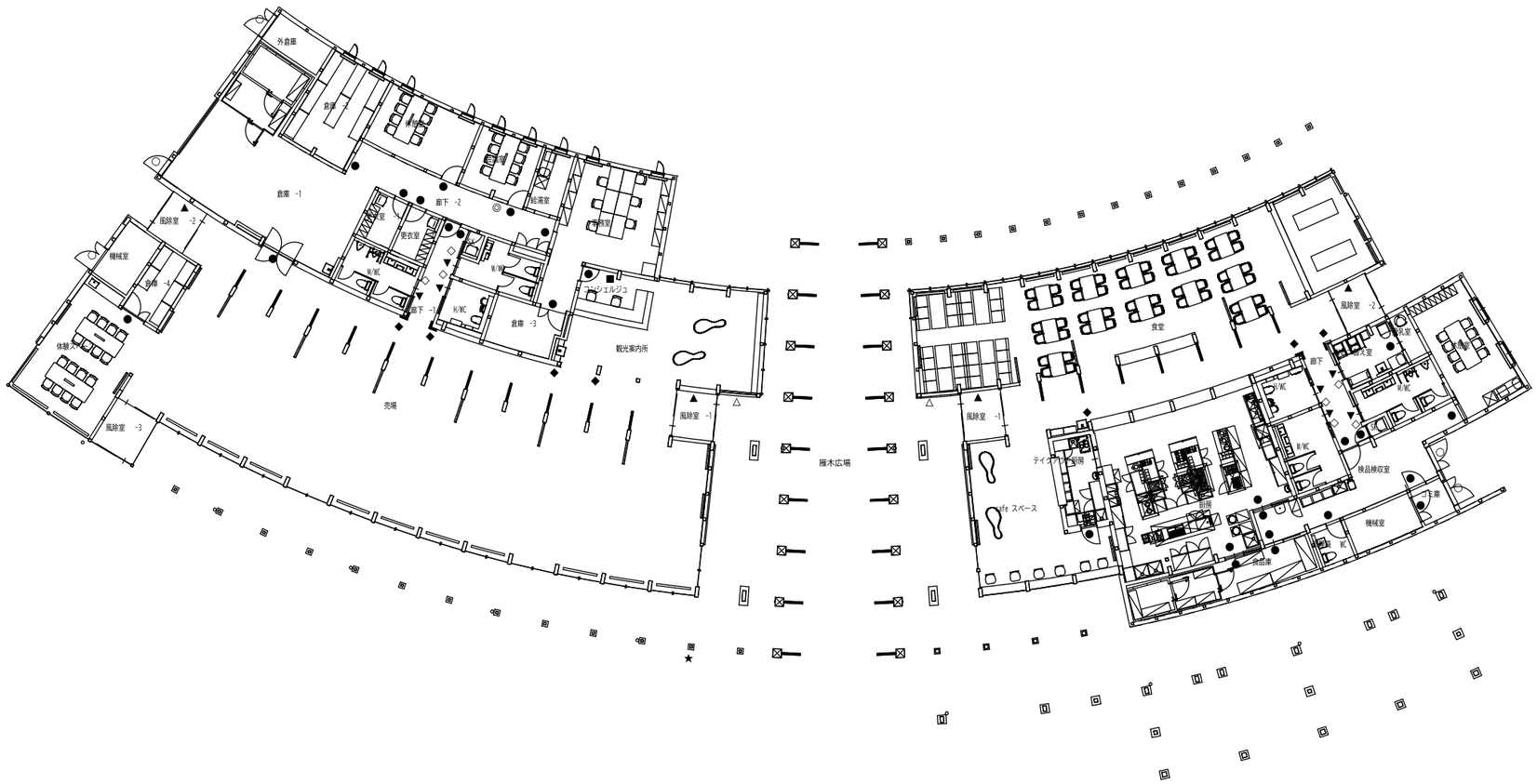


断面図



断面図

備考		発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-054	
				図面名称 家具詳細図-2	縮尺 A1: S=1/20 A3: S=1/40	㊞ 構	電 機

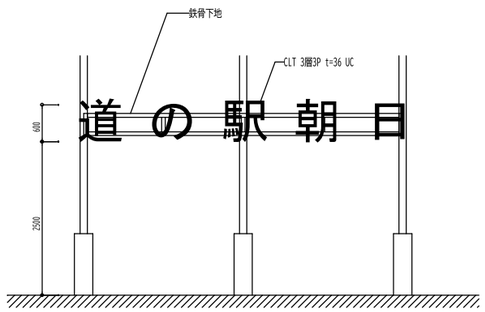


凡例	番号		サイン名	販売棟	飲食棟	雁木広場
★	S-1		館名サイン	1カ所	-	-
▲	S-2		総合案内サイン	2カ所	2カ所	-
△	S-3		棟名サイン	1カ所	1カ所	-
■	S-4		コンシェルジュサイン	1カ所	-	-
□	S-5		体験スペースサイン	1カ所	-	-
●	S-6		シート切り文字サイン	12カ所	14カ所	-
○	S-7		SUS切り文字サイン	3カ所	2カ所	-
◎	S-8		在室表示サイン	1カ所	-	-
━	S-9		タペストリーブラケット	11カ所	9カ所	18カ所
◆	S-10		ピクトサイン	4カ所	3カ所	-
◇	S-11		ピクトサイン(突き出し)	3カ所	4カ所	-
▼	S-12		ピクトサイン(扉)	3カ所	4カ所	-
▙	S-13		トイレ案内板	2カ所	2カ所	-

備考			発注者 新潟県　村上市				工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-055	
							図面名称 内部サインキープラン	縮尺 A1: S=1/150 A3: S=1/300	衛 電 構 機

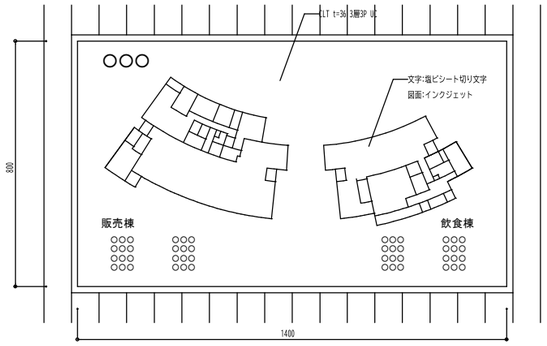
S-01 館名サイン

A1:S=1/50
A3:S=1/100



S-02 総合案内サイン

A1:S=1/10
A3:S=1/20



グラフィックデザイン共

S-03 棟名サイン

A1:S=1/20
A3:S=1/40

180

道の駅朝日販売棟
道の駅朝日飲食棟

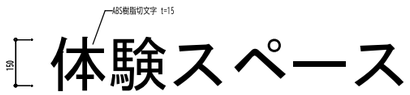
特殊発光樹脂 t=20 DC電源共
正面:ABS樹脂t=2

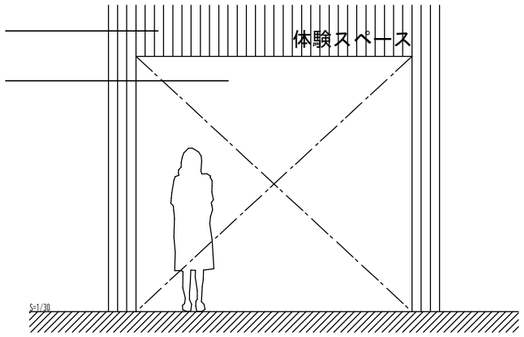
S-04 コンシェルジュサイン

A1:S=1/10
A3:S=1/20

S-05 体験スペースサイン

A1:S=1/20
A3:S=1/40





S-06 シート切り文字サイン

A1:S=1/1
A3:S=1/2

塩ビシート切文字

S=1:5

	販売棟	飲食棟		販売棟	飲食棟
事務室	×1		トイレ		×1
会議室	×1		授乳室		×1
倉庫	×2		ゴミ庫		×1
男性更衣室	×1		機械室		×1
女性更衣室	×1		厨房		×2
休憩室	×1	×1	食品庫		×2
SK	×1	×1	検品検収室		×2
STAFF ONLY	×4	×2			

S-07 SUS切り文字サイン

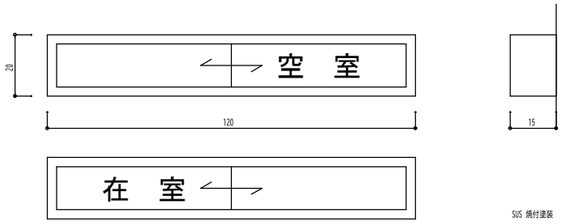
A1:S=1/1
A3:S=1/2

S=1:5

	販売棟	飲食棟
STAFF ONLY	×3	×2

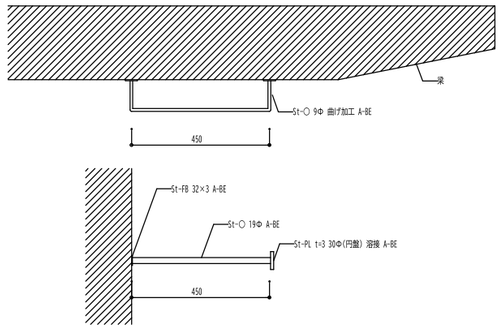
S-08 在室表示サイン

A1:S=1/1
A3:S=1/2



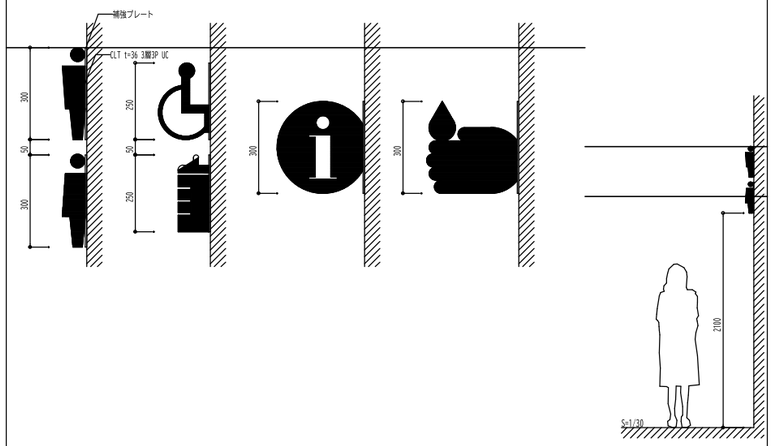
S-9 タペストリーブラケット

A1:S=1/10
A3:S=1/20



S-10 ピクトサイン

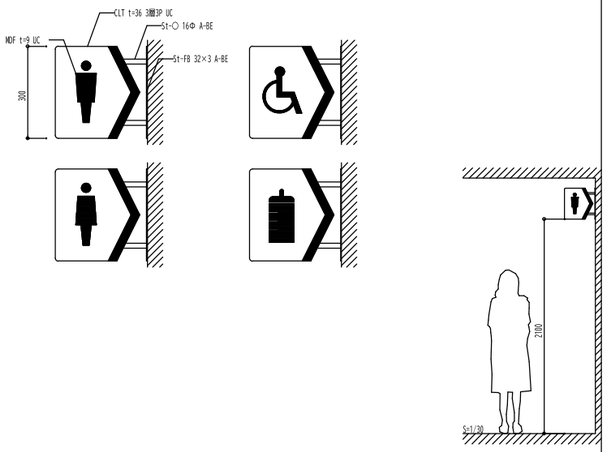
A1:S=1/10
A3:S=1/20



グラフィックデザイン共

S-11 ピクトサイン(突き出し)

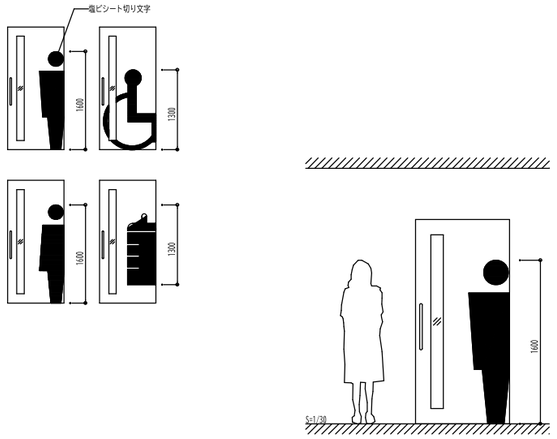
A1:S=1/10
A3:S=1/20



グラフィックデザイン共

S-12 ピクトサイン(扉)

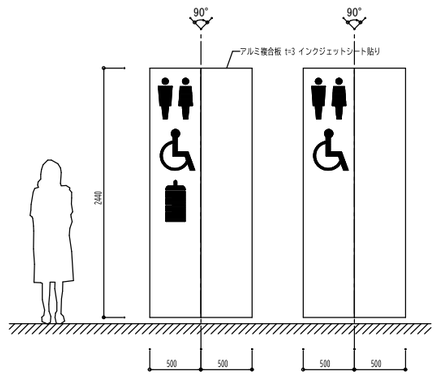
A1:S=1/50
A3:S=1/100



グラフィックデザイン共

S-13 トイレ案内板

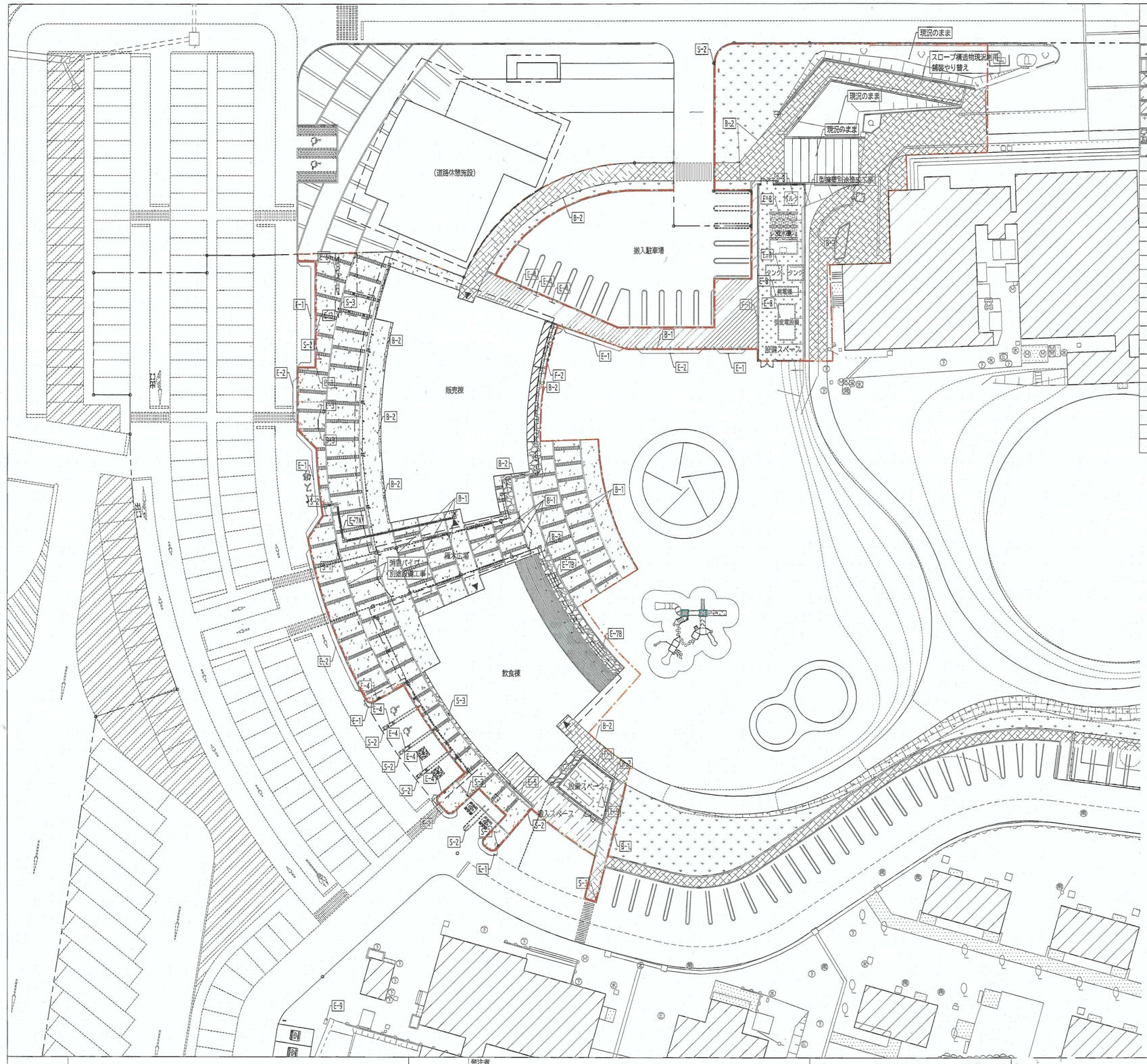
A1:S=1/30
A3:S=1/60



グラフィックデザイン共

備考	発注者	工事名称	図面番号
	新潟県　村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-056
		図面名称: 内部サイン詳細図	縮尺: A1: S=図示 / A3: S=図示/2

㊞ 電 構 機

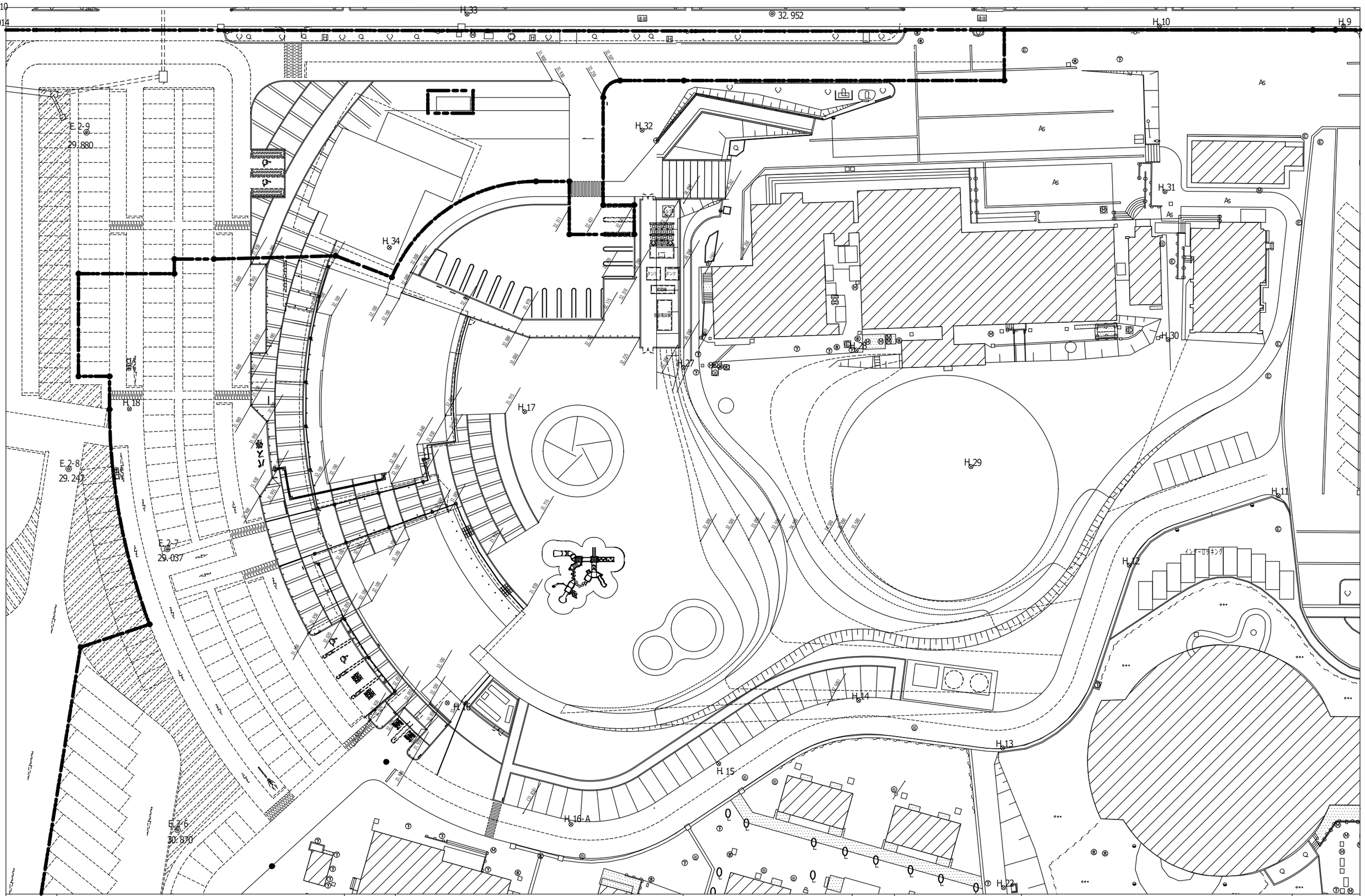


工事範囲を示す

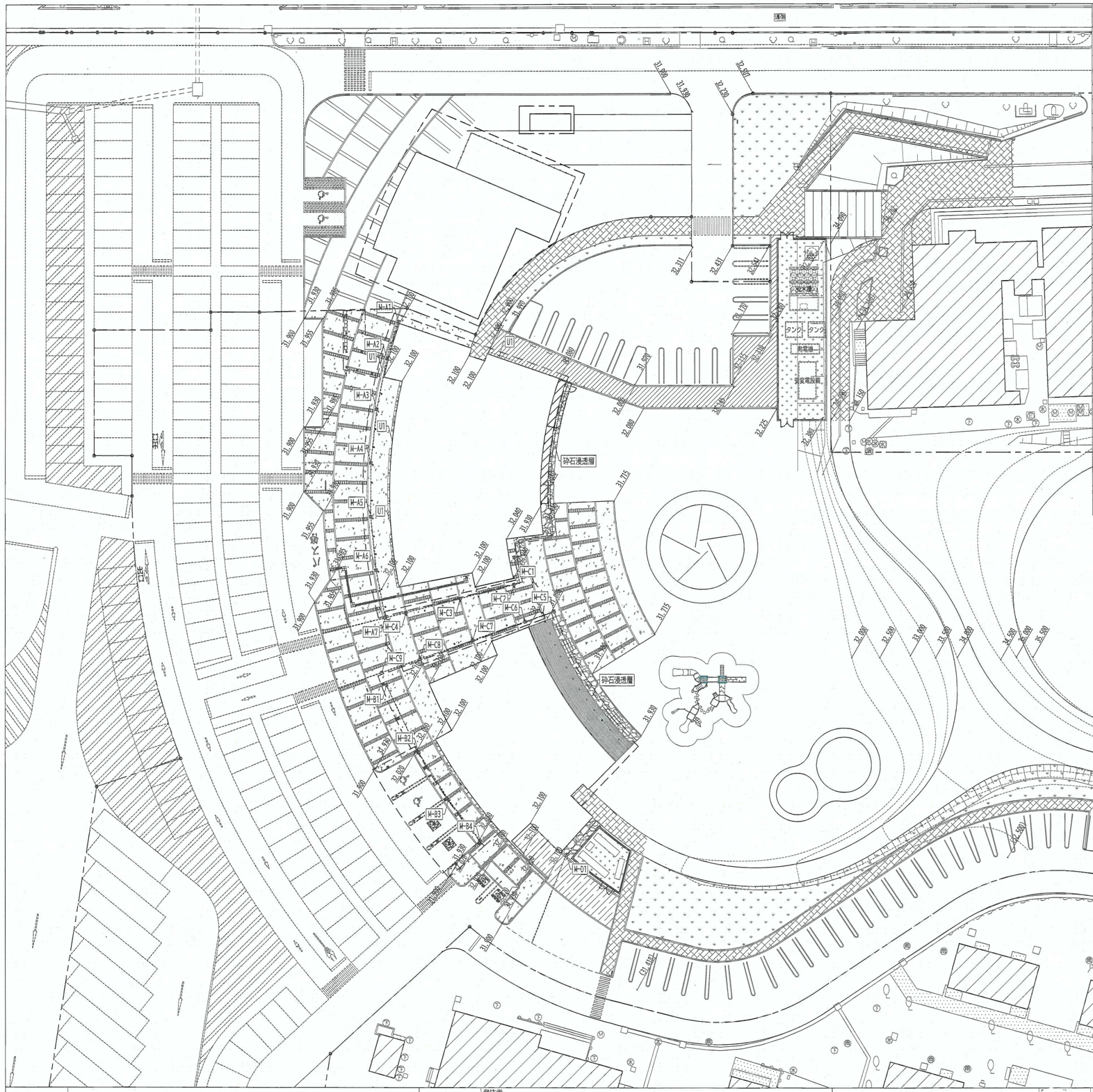
施設リスト

凡例	名称	仕様	参考数量	単位	備考
	洗出しコンクリート舗装	t=100 天然石3色混合	1,160	m2	
	擬石平板舗装（ボーダー）	非透水 t=80 75x300 3色混合	170	m2	
	自然系舗装	真砂土+特殊エポキシ樹脂混合物			
	アスファルト舗装（車道用）	密粒度アスファルト t=50	78	m2	
	アスファルト舗装（軽交通）	密粒度アスファルト t=40	190	m2	
	砕石敷	クラッシャラン C-40 t=150			
	割栗石	50～150mm t=150	100	m2	
	植栽帯	真砂土 t=300 + ノシバ半土付き100%張り目地砂共			
B-01	地先境界ブロック	C型			
B-02	アスファルトエッジ	SUS			
E-01	固定式ボラード	スチール焼付塗装+天然木 Ø1300 基礎共	52	本	
E-02	脱着式ボラード	スチール焼付塗装+天然木 Ø1300 基礎共	32	本	
E-03	コンセント付きボラード	FCD450 基礎共	3	箇所	
E-04	アーチ	スチール焼付塗装+天然木 基礎共	8	箇所	
E-05	自転車アーチ	ステンレス HL 基礎共 L=4800	1	箇所	
E-06	分別ごみ箱	SUS304 焼付塗装	8	台	
E-07A	視覚障碍者誘導ブロック	300x300 注意喚起ブロック共			
E-07B	擬石コンクリート平板	300x600	24	枚	
F-01	目隠し塀	RC弾性吹付塗材+スチールルーバー 総H=3000 一部門扉			
F-02	目隠しフェンス	アルミ押し出し型材縦ルーバー H=2500 基礎共 一部門扉			
S-1	総合案内サイン				
S-2	案内サイン				
S-3	誘導サイン				
S-4					
S-5					

備考	発注者 新潟県 村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-057	
		図面名称 外構計画図	縮尺 A1: S=1/300 A3: S=1/600	営 電 構 機



備考	現況地盤高は仕上高-250mmとする	発注者	新潟県　村上市	工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-058
				図面名称	仕上高計画図	縮尺 A1: S=1/300 A3: S=1/600
				㊞	電	
				構	機	

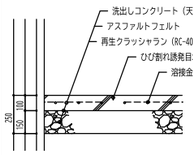


施設リスト

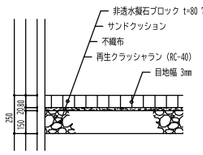
凡例	名称	高さ			仕様	
		桝蓋天端	流入管底	流出管底		
M-A1	集水桝	32.100	-	31.800	呼名：400x400x500・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-A2	集水桝	32.100	31.740	31.710	呼名：400x400x600・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-A3	集水桝	32.100	31.650	31.620	呼名：400x400x800・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-A4	集水桝	32.100	31.560	31.530	呼名：400x400x800・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-A5	集水桝	32.100	31.470	31.440	呼名：400x400x1000・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-A6	集水桝	32.100	31.380	31.350	呼名：400x400x1000・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-A7	集水桝	32.100	31.280(M-A6より) 31.045(M-C4より)	31.015	呼名：400x400x1500・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-B1	集水桝	32.050	-	31.750	呼名：400x400x500・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-B2	集水桝	32.050	31.675	31.645	呼名：400x400x600・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-B3	集水桝	32.050	31.570	31.540	呼名：400x400x800・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-B4	集水桝	32.050	31.465	31.435	呼名：400x400x800・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C1	集水桝	32.040	31.450	31.420	呼名：400x400x800・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C2	集水桝	32.040	31.335	31.305	呼名：400x400x1000・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C3	集水桝	32.100	31.220	31.190	呼名：400x400x1200・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C4	集水桝	32.100	31.105	31.075	呼名：400x400x1200・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C5	集水桝	32.930	31.380	31.350	呼名：400x400x800・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C6	集水桝	32.100	31.305	31.285	呼名：400x400x1000・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C7	集水桝	32.100	31.200	31.170	呼名：400x400x1200・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C8	集水桝	32.100	31.085	31.055	呼名：400x400x1200・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-C9	集水桝	32.050	31.975	31.945	呼名：400x400x1500・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
M-D1	集水桝	32.000	31.530	31.500	呼名：400x400x800・グレーチング蓋：T-2 細目ノンスリップ	
U1	スリット側溝					
━ ━ ━	暗渠間				VP150φ　勾配1%	
━ · ━	暗渠有孔管				暗渠有孔管 150φ　勾配0.1～0.5%	

備考	発注者 新潟県　村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-059
		図面名称 雨水排水計画図	縮尺 A1：S=1/300 A3：S=1/600	営 電 構 機

P-01 洗出しコンクリート舗装 A1:S=1/20 A3:S=1/40

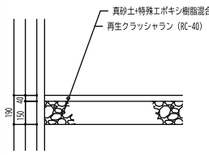


P-02 擬石平板舗装（ボーダー） A1:S=1/20 A3:S=1/40

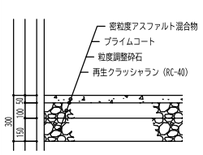


太平洋プレコン：スレンダーブロック同等品

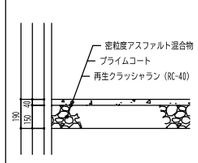
P-03 自然系舗装 A1:S=1/20 A3:S=1/40



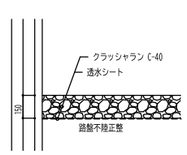
P-03 アスファルト舗装（車道用） A1:S=1/20 A3:S=1/40



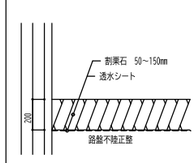
P-04 アスファルト舗装（軽交通） A1:S=1/20 A3:S=1/40



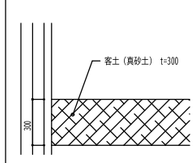
P-05 砕石敷 A1:S=1/20 A3:S=1/40



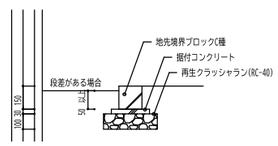
P-06 割栗石 A1:S=1/20 A3:S=1/40



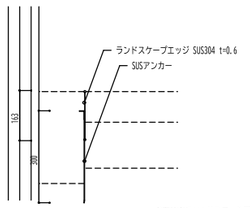
P-07 植栽帯 A1:S=1/20 A3:S=1/40



B-01 地先境界ブロック A1:S=1/20 A3:S=1/40

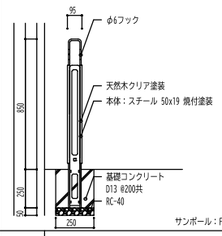


B-02 アスファルトエッジ A1:S=1/10 A3:S=1/20



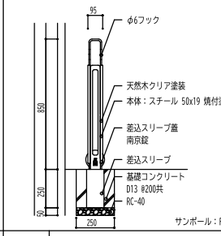
住友林業緑化：サスエッジ同等品

E-01 固定式ボラード A1:S=1/20 A3:S=1/40



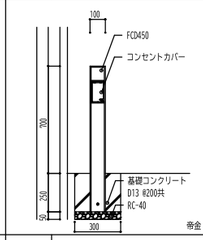
サンポール：FNP-11U-W同等品

E-02 脱着式ボラード A1:S=1/20 A3:S=1/40



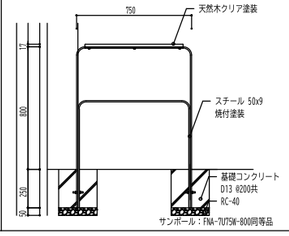
サンポール：FNP-11SK-W同等品

E-03 コンセント付きボラード A1:S=1/20 A3:S=1/40



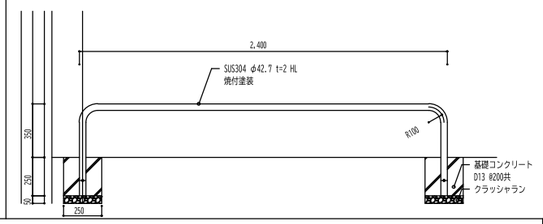
帝金：FC100-095H-CON同等品

E-04 アーチ A1:S=1/20 A3:S=1/40

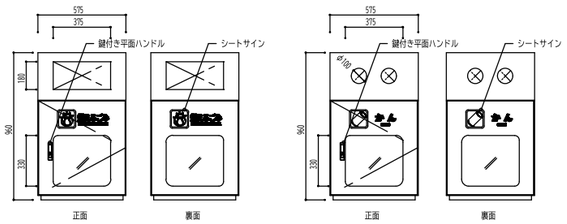


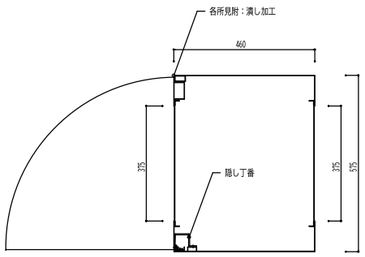
サンポール：FNA-7U75W-800同等品

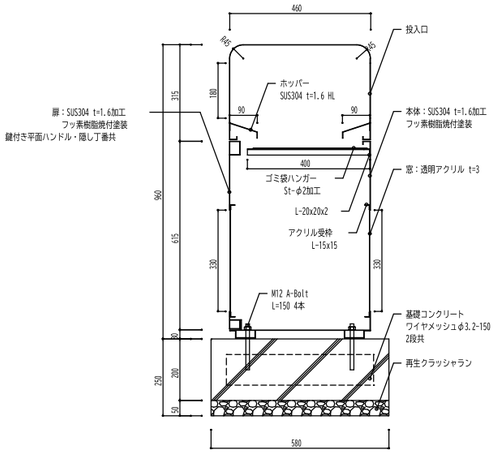
E-05 自転車アーチ A1:S=1/20 A3:S=1/40



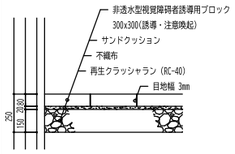
E-06 ゴミ箱 A1:S=1/10 A3:S=1/20





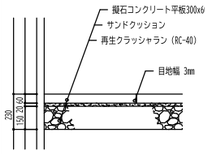


E-07A 視覚障碍者誘導ブロック A1:S=1/20 A3:S=1/40



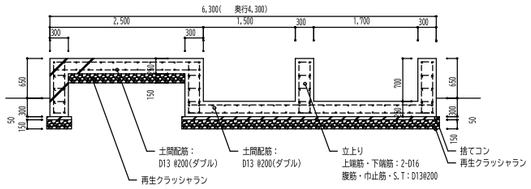
太平洋プレコン：SM-JB(JC)-80同等品

E-07B 擬石コンクリート平板 A1:S=1/20 A3:S=1/40

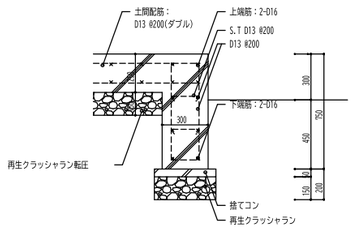


太平洋プレコン：オーシャンスカイロード同等品

E-08a 機械基礎-A A1:S=1/ 50 A3:S=1/100

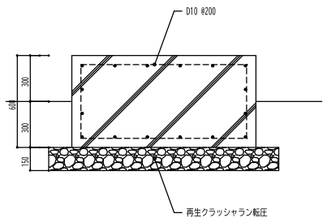


E-08b 機械基礎-B A1:S=1/20 A3:S=1/40



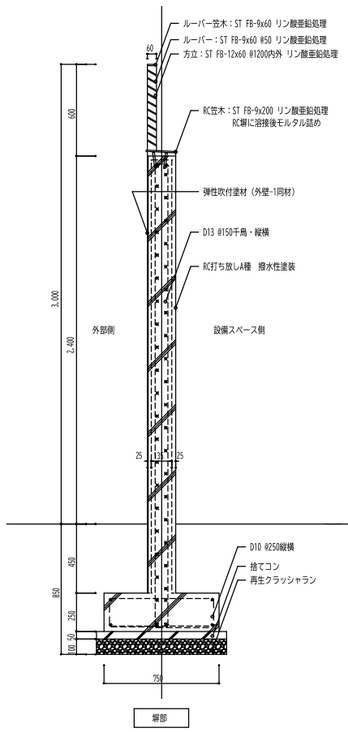
受変電設備用 ：	W=2,600 L=5,400
発電機用 ：	W=1,500 L=4,200
タンク用 ：	W=2,300 L=2,500
×2 箇所	
バルク用	W=2,000
L=2,000	

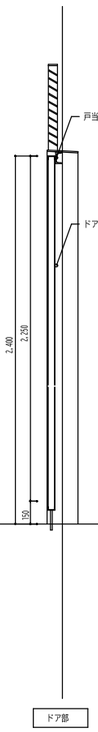
E-09 機械基礎-C A1:S=1/20 A3:S=1/40

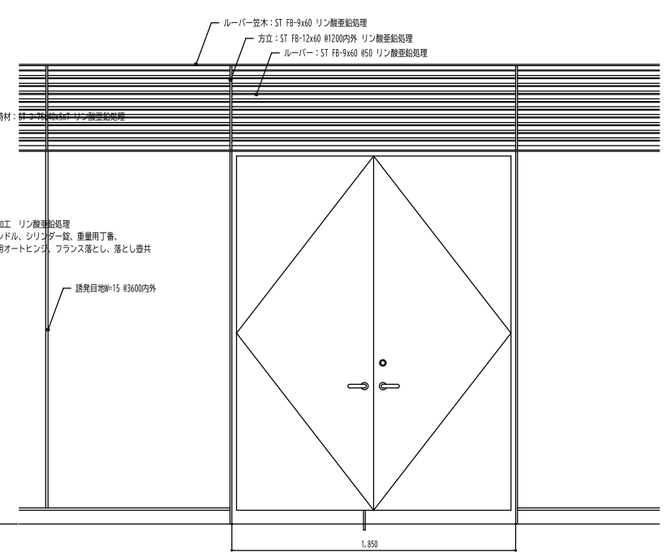


空調屋外機用 ：	W=1,000
L=5,000	
	W=1,000
L=4,200	
	W=800
L=3,000	
	W=800

F-01 目隠し塀 A1:S=1/20 A3:S=1/40



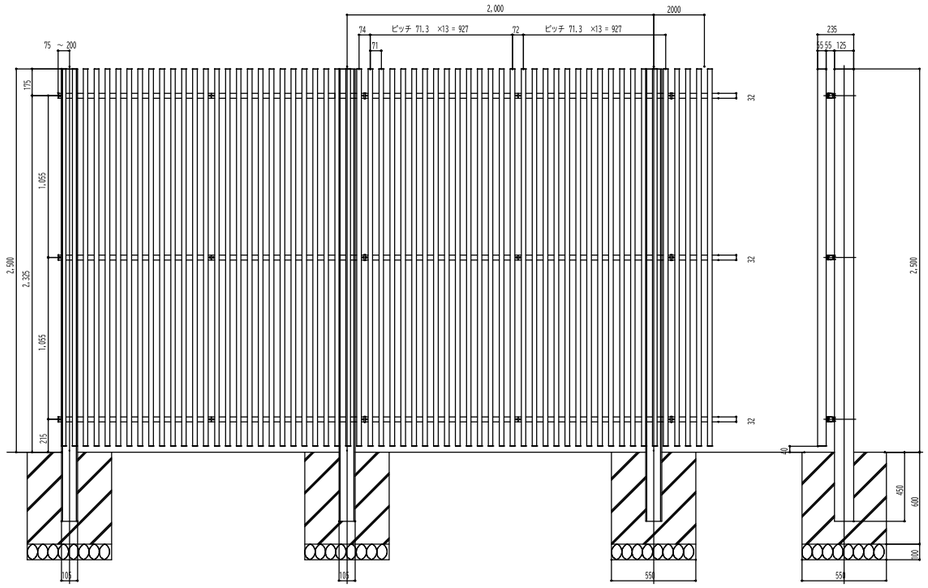


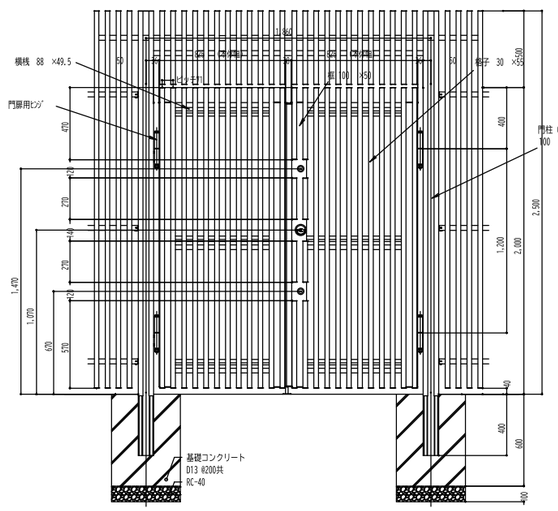


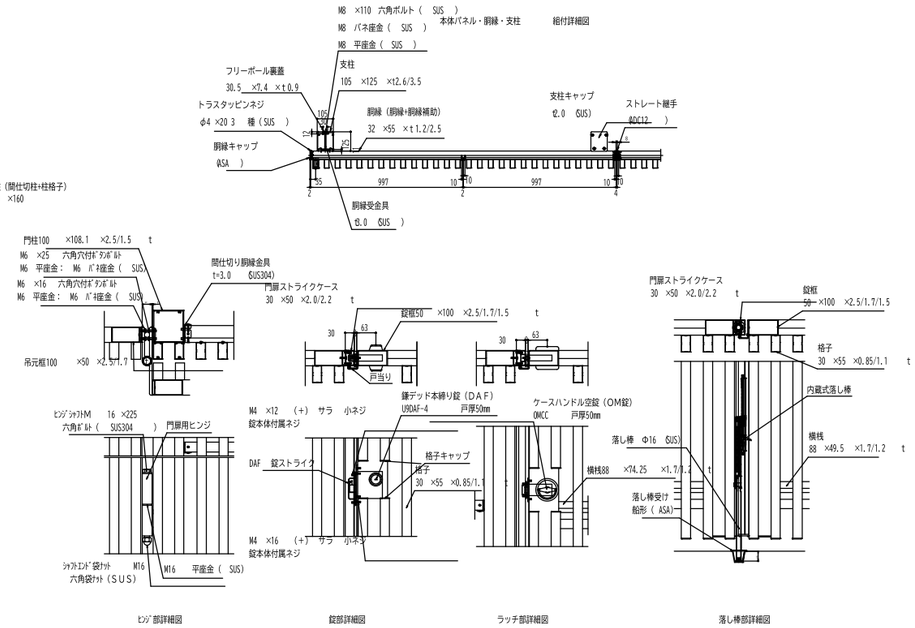
備考	発注者	新潟県 村上市	工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事
	図面名称	外構詳細図-1	縮尺	A1: S=1/20 A3: S=1/40
図面番号	A-060	建	電	構	機

F-02 目隠しフェンス

A1:S=1/20
A3:S=1/40



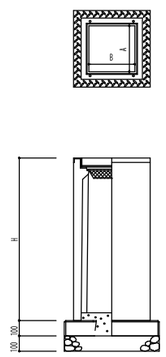




LIXIL アーキラインスクリーンフェンス縦格子フリーポールタイプ同等品

D-01 集水桝

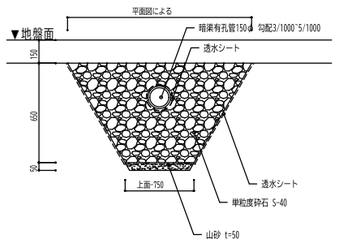
A1:S=1/20
A3:S=1/40



寸法は例リストによる

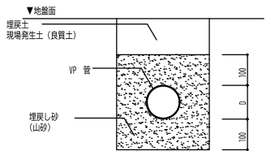
D-02 砕石浸透層

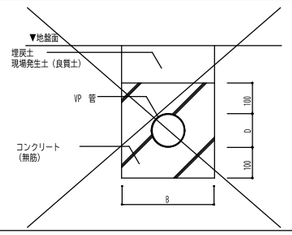
A1:S=1/20
A3:S=1/40



D-03 暗渠管

A1:S=1/10
A3:S=1/20





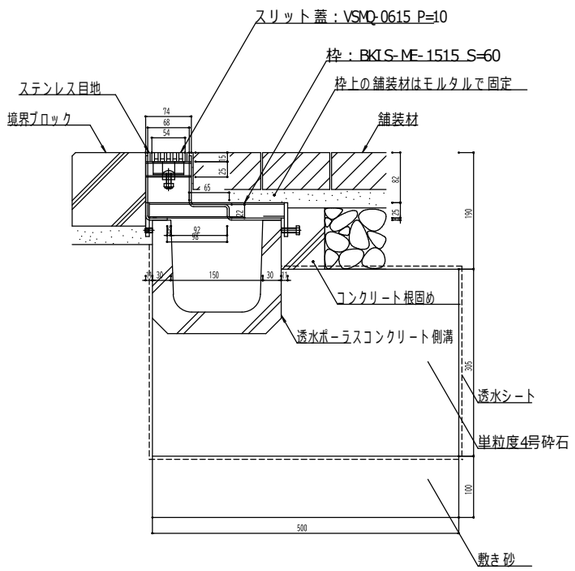
寸法表 (mm)

呼び径	管厚 t	外径 D	掘削幅 B
150	8.9	165	565
200	10.3	216	616
250	12.7	267	467
300	15.1	318	718

・排水管の布設にあたっては、他の構造物および
埋設物との取り合いに十分留意して施工すること。

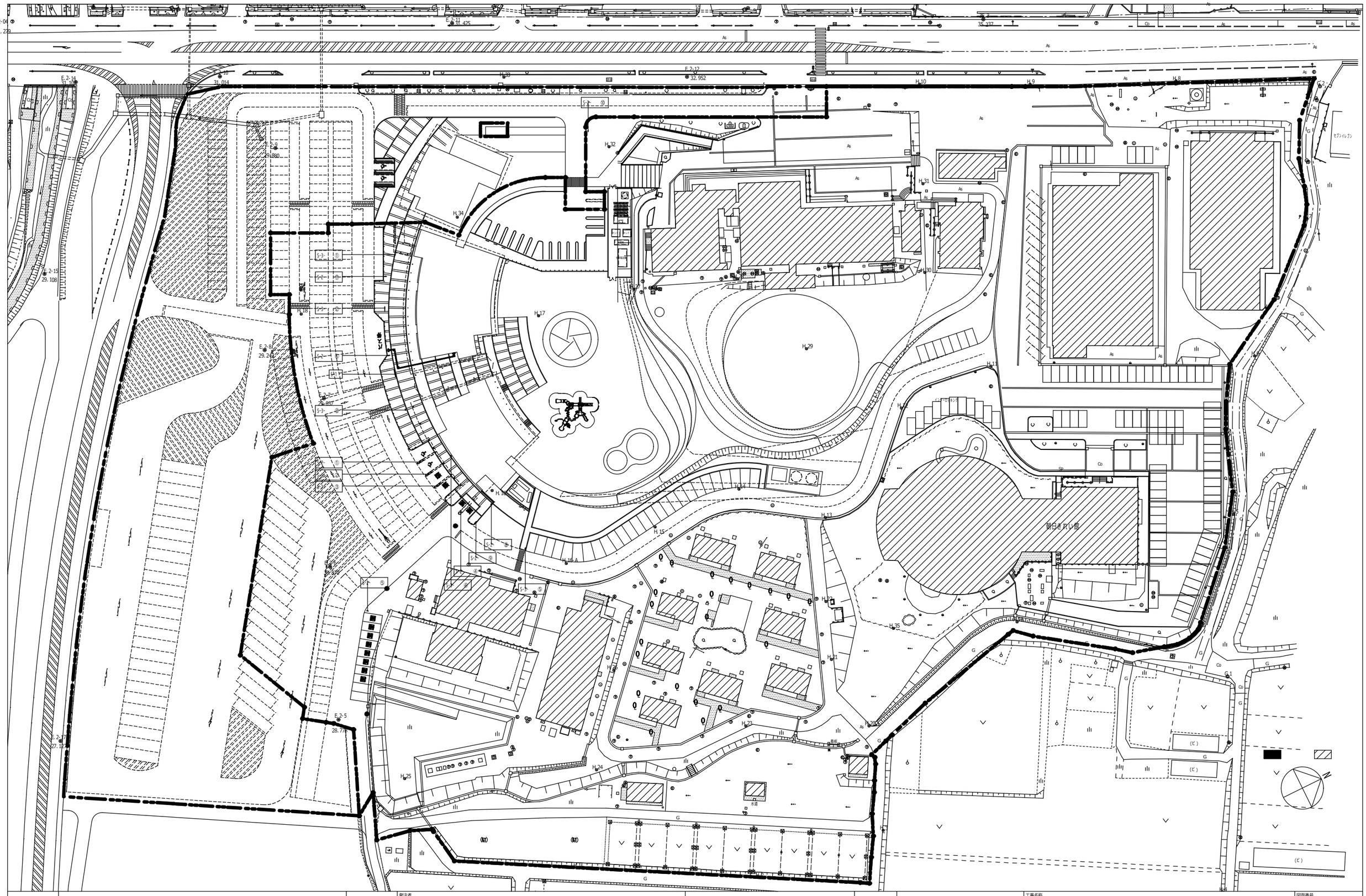
D-04 スリット側溝

A1:S=1/ 5
A3:S=1/10



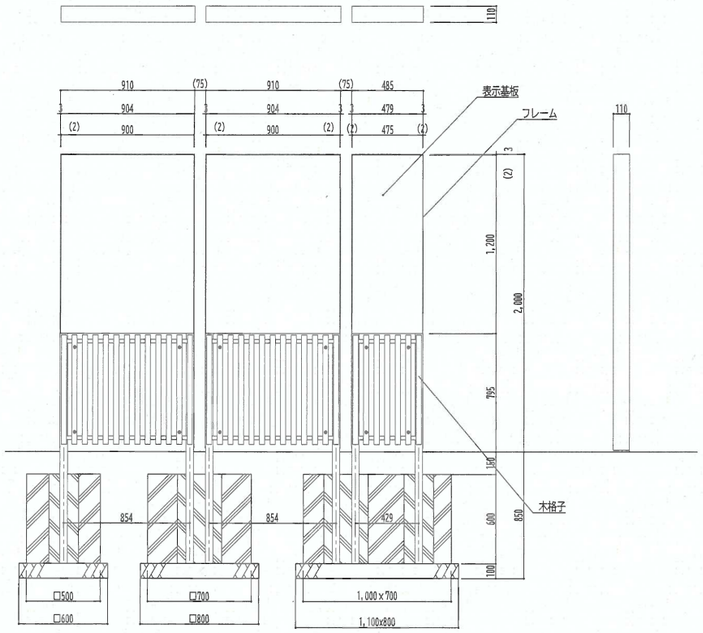
備考		発注者	新潟県 村上市
工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号	A-061
図面名称	外構詳細図-2	縮尺	A1: S=1/20 A3: S=1/40

㊞ 電 構 機

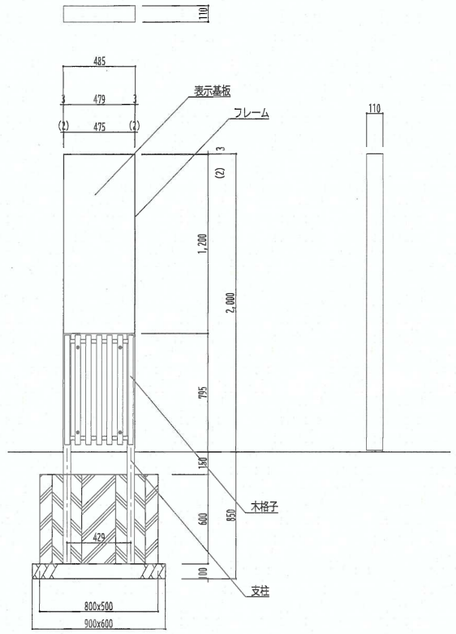


備考		発注者		工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号	A-062
		新潟県　村上市		図面名称	屋外サインキープラン	縮尺 A1: S=1/300 A3: S=1/600	建 構	電 機

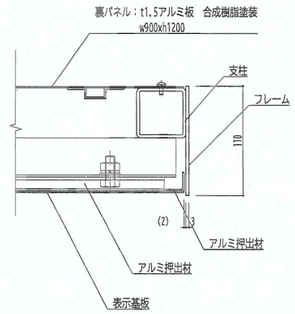
サイン詳細参考図



S-1 . 外観図 S=1/20



S-1・S-2 外観図 S=1/20



共通断面図

支柱　：50x50 ステンレス角鋼管 合成樹脂塗装
表示基板：t1.5アルミ板 合成樹脂塗装
フレーム：t3.0 SUS平鋼　合成樹脂塗装
木格子　：新潟県産杉１等材　55x35xL735 AZNAdo圧注入防腐処理
　　ワーメックスS塗装仕上げ

表示方法：CAPPタフジェット印刷

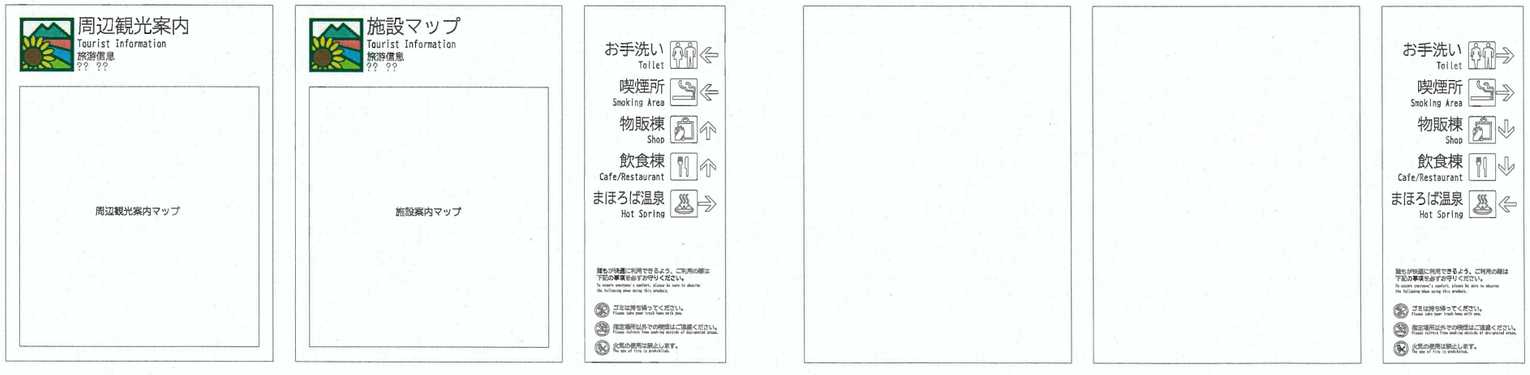
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする

※表示面グラフィックデザインは本工事で見込む

表示面参考図

S=1/10(A1)

■ S-1



表面　　裏面

備考			発注者	設計番号	年月日	工事名称	図面番号
			新潟県　村上市	[illegible]	[illegible]	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-063
				審査	チーフ事務所 / サブ事務所	図面名称：屋外サイン詳細図-1	縮尺：A1: 図示　A3: 図示
							㊞ 電 構 機

表示面参考図

S=1/10(A1)

■ S-2-①

表面　裏面

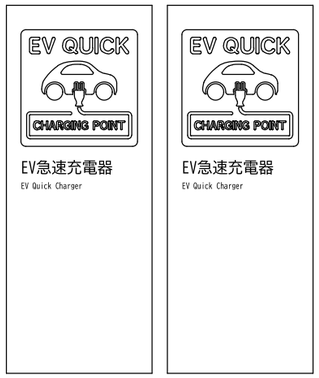
■ S-2-②

表面　裏面

■ S-2-③

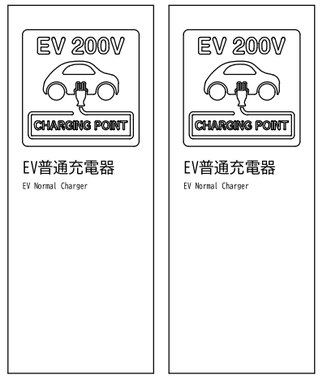
表面　裏面

■ S-2-④



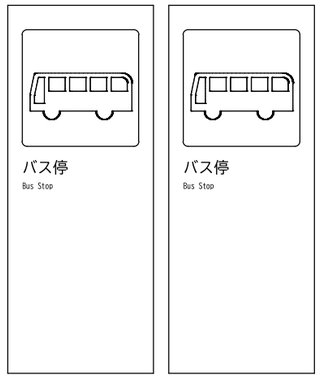
表面　裏面

■ S-2-⑤



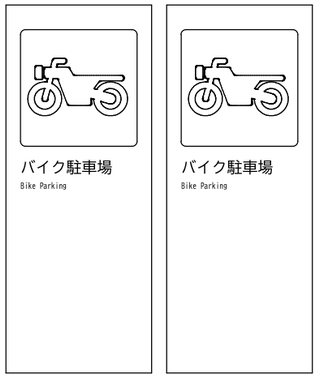
表面　裏面

■ S-2-⑥



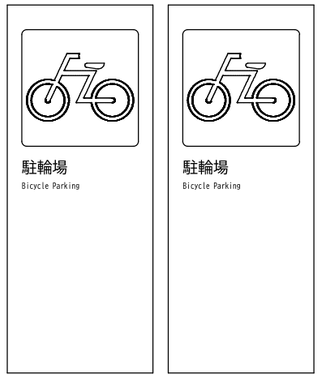
表面　裏面

■ S-2-⑦



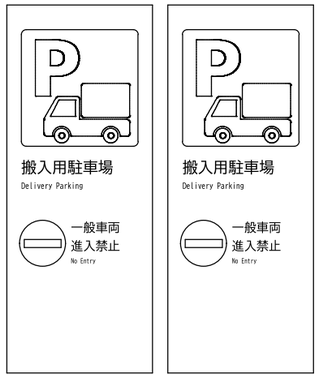
表面　裏面

■ S-2-⑧



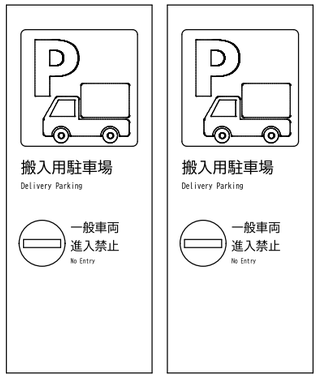
表面　裏面

■ S-2-⑨



表面　裏面

■ S-2-⑩



表面　裏面

■ S-3-①

表面　裏面

■ S-3-②

表面　裏面

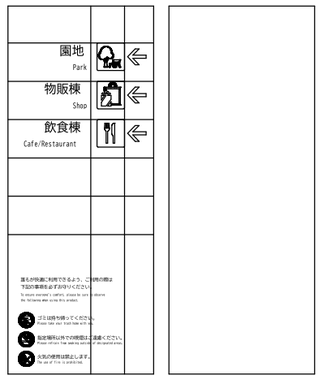
■ S-3-③

表面　裏面

■ S-3-④

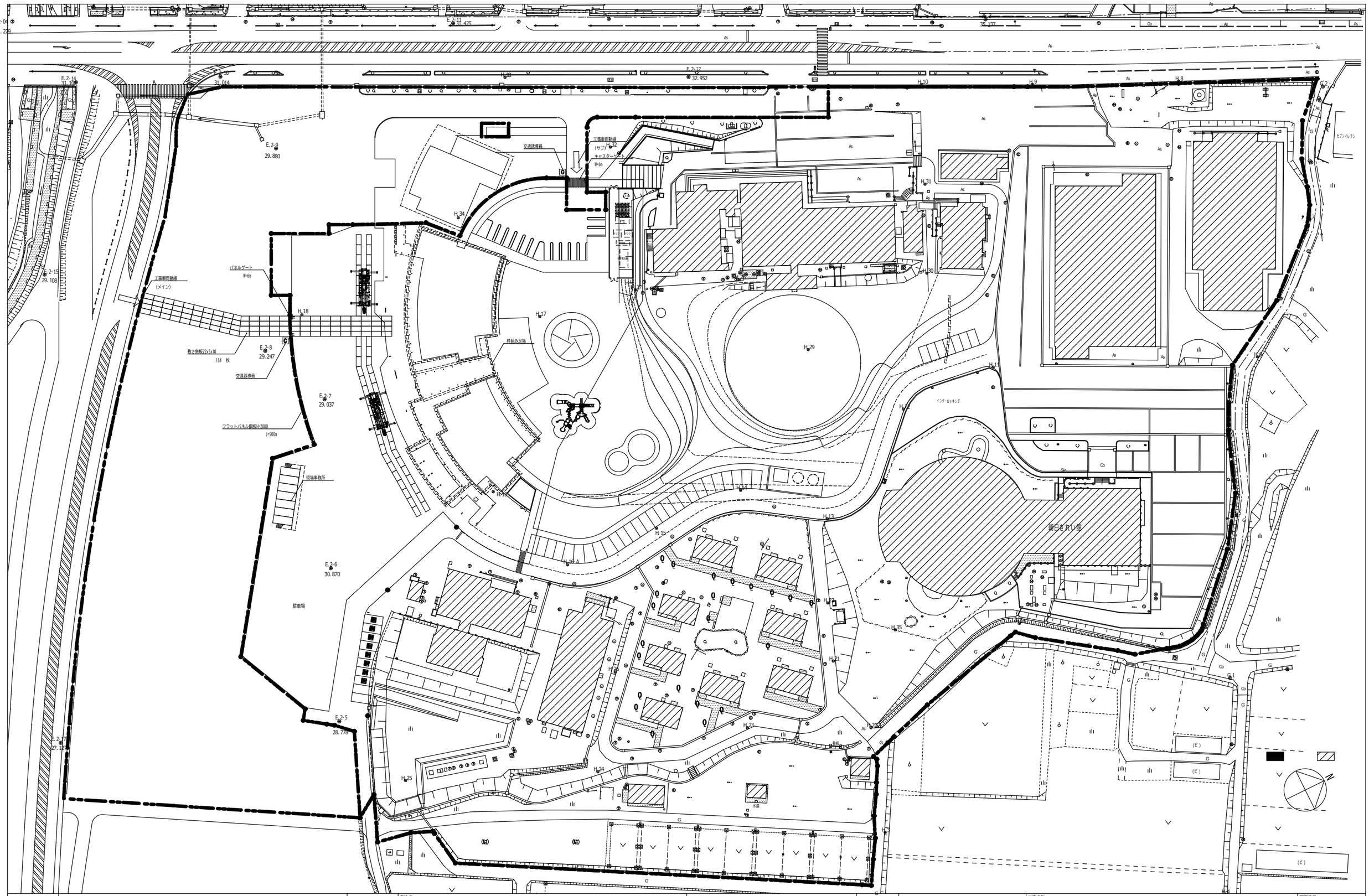
表面　裏面

■ S-3-⑤



表面　裏面

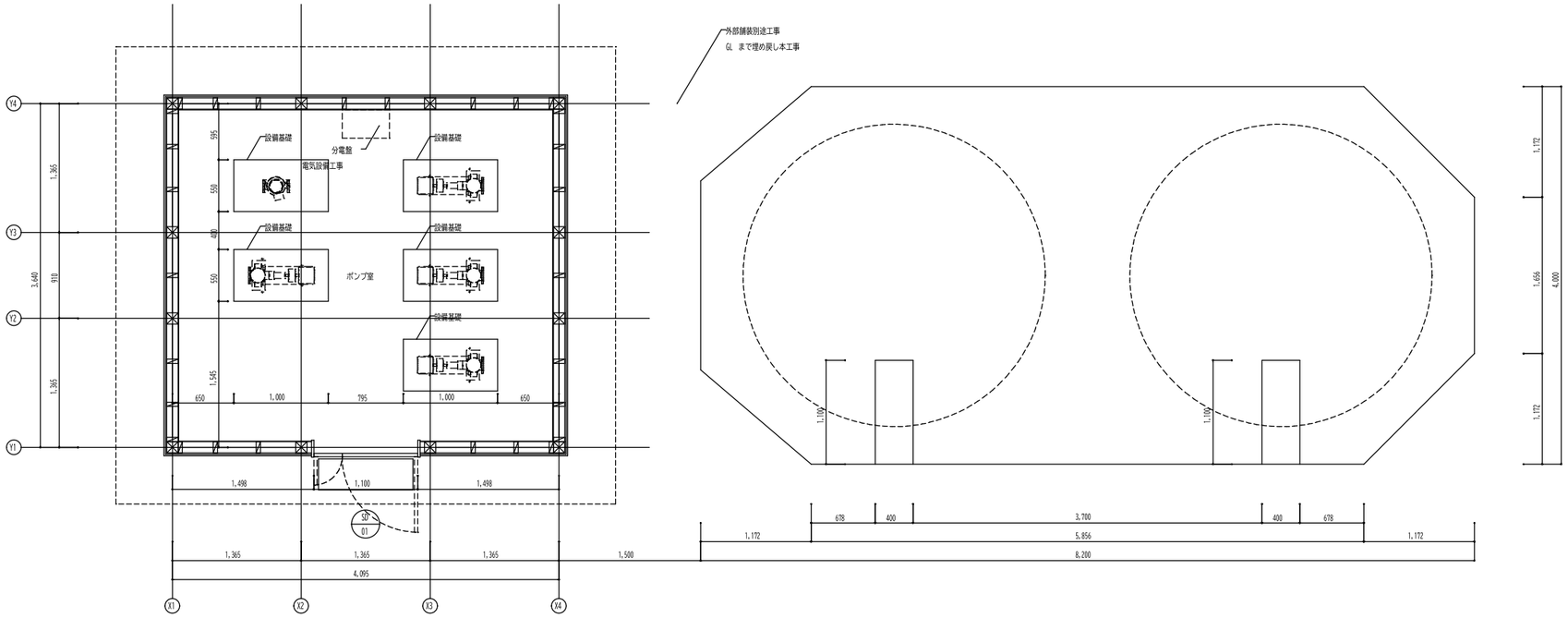
備考		発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-064	
					図面名称 屋外サイン詳細図-2	縮尺 A1: S=1/10 A3: S=1/20	㊞ 電 構 機



備考	発注者	工事名称	図面番号
	新潟県　村上市	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	A-065
		図面名称：仮設計画図（参考）	縮尺：A1: S=1/ 500　A3: S=1/1000
		建 / 電 / 構 / 機	

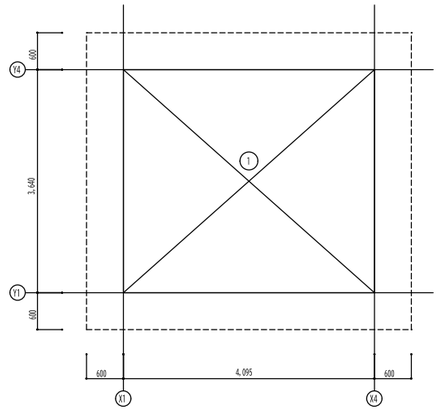
平面図

A1 = 1/30
A3 = 1/60



面積算定図

A1 = 1/ 50
A3 = 1/100

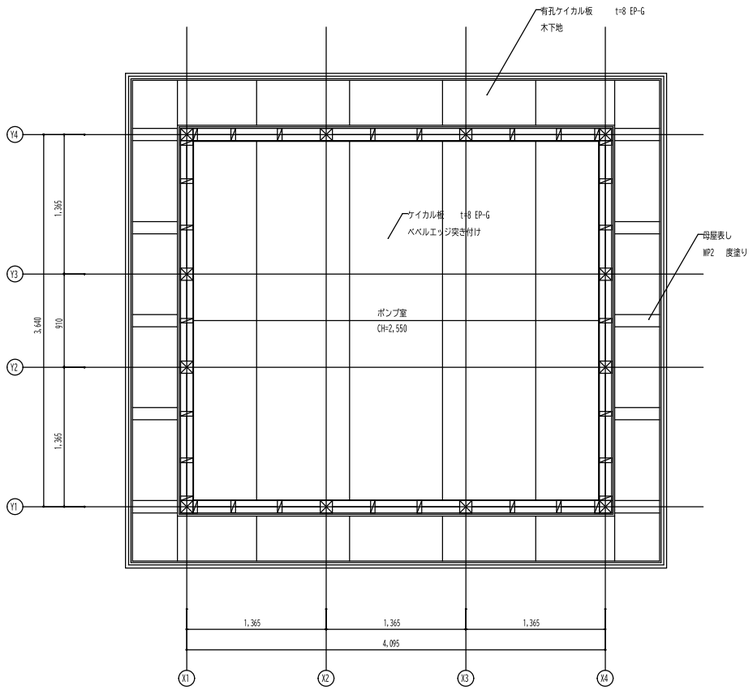


1 4.095 × 3.640 = 14.9058

建築面積 ： 14.90㎡
延床面積 ： 14.90㎡

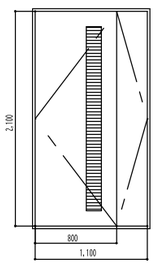
天井伏図

A1 = 1/30
A3 = 1/60



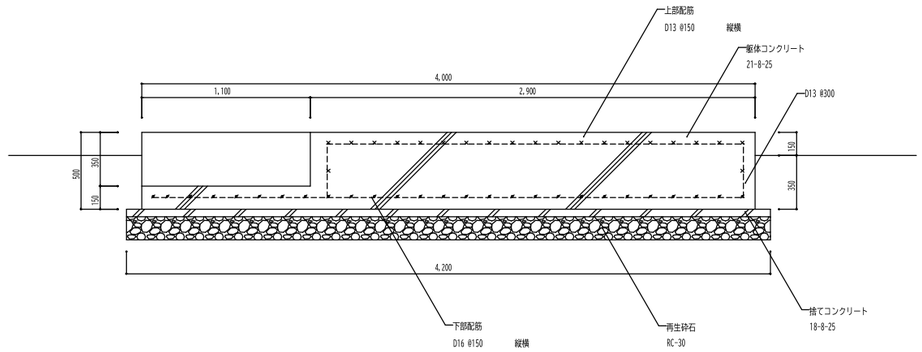
建具表

A1 = 1/30
A3 = 1/60

建具記号		SD 01
使用箇所		ポンプ室
建具形式		親子開き戸
数量		1
姿図		
開口寸法		W=1,100 H=2,100
防火設備		-
気密（遮音）性能		セミエアタイト
建具枠	見込/見附	180/25
	材質/仕上	St t=1.6 DP
額・ガラリ	額・ガラリ有無	ガラリ
	額・ガラリサイズ	W=150 H=1,800
	ガラリ形状	水返し
建具材質		St t=1.6 DP
鍵		シリンダー ・ サムターン
金物		レバーハンドル・重量用旗丁番・ドアクローザー フランス落とし・戸当

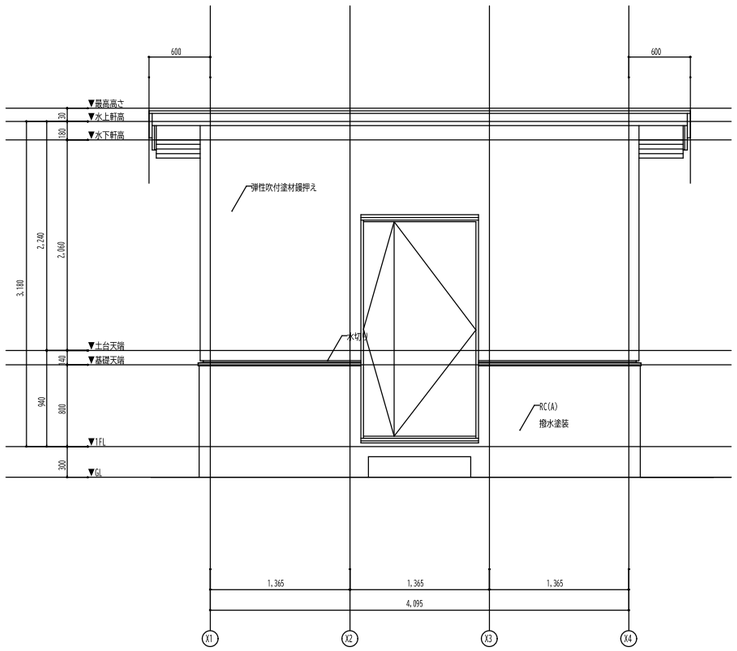
タンク基礎詳細図

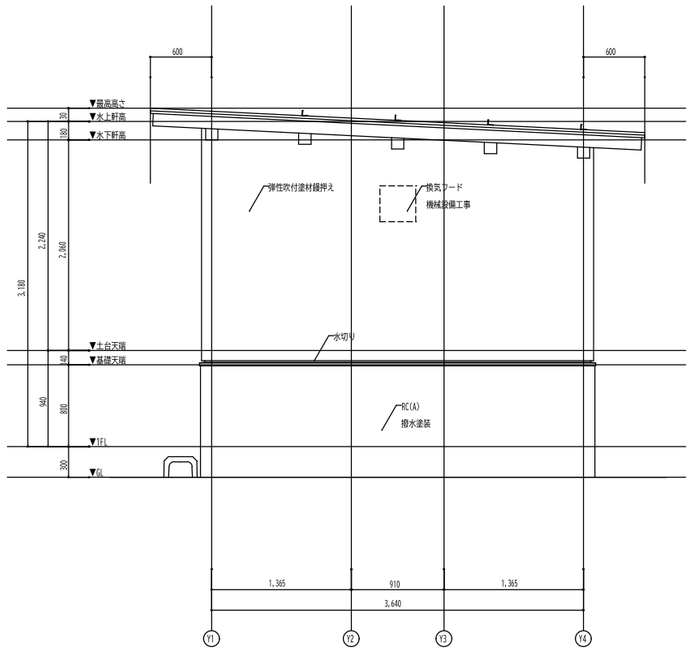
A1 = 1/20
A3 = 1/40

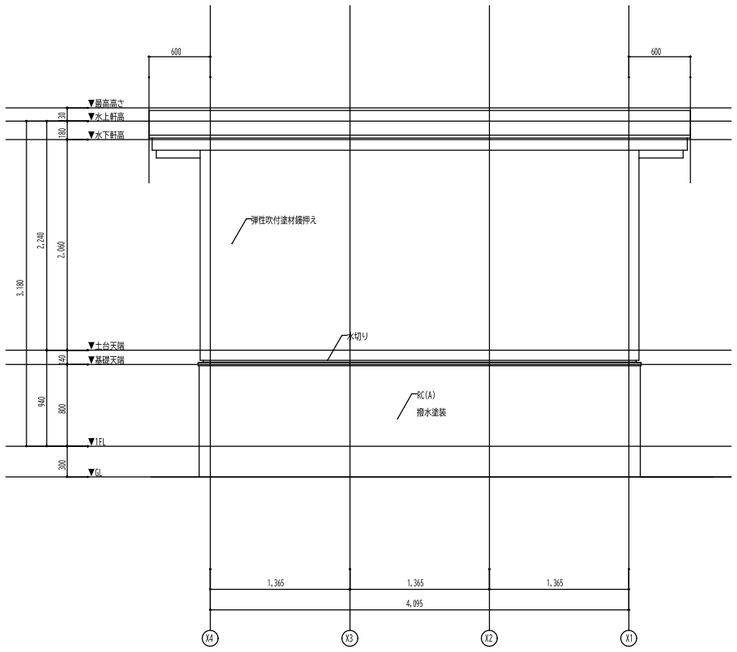


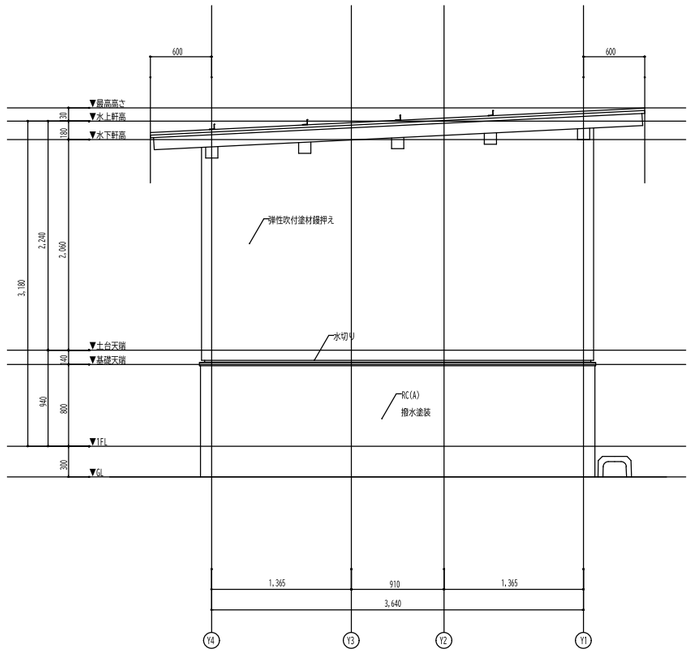
備考		発注者 新潟県 村上市	工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-101
			図面名称 中間貯湯ポンプ室 平面図・天井伏図・面積求積図・建具表	縮尺 A1: 図示 A3: 図示	原 電 構 機

立面図

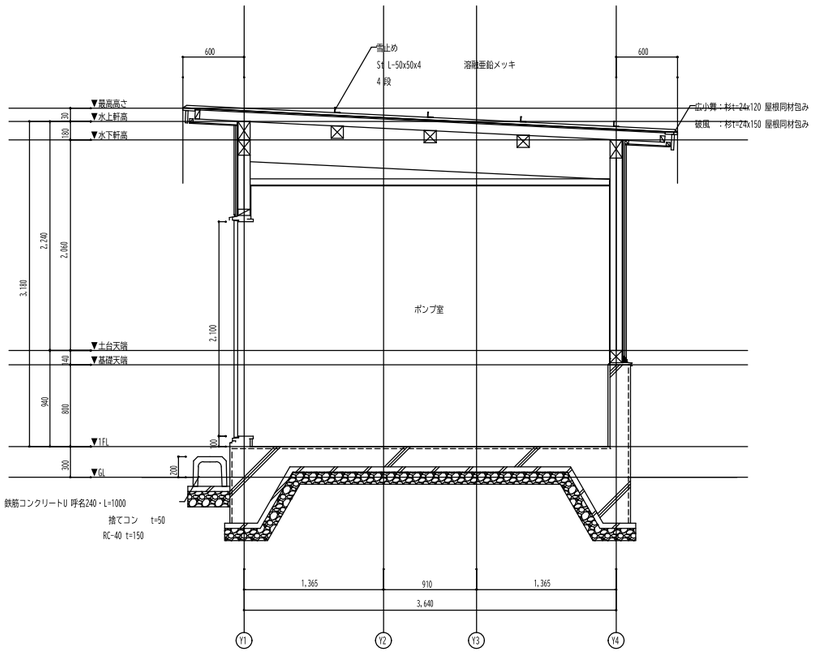


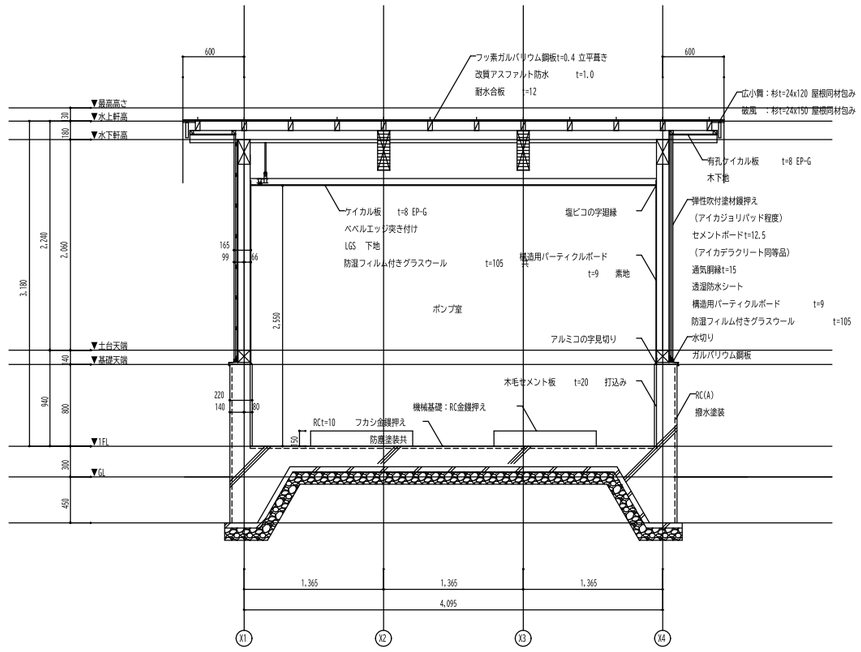






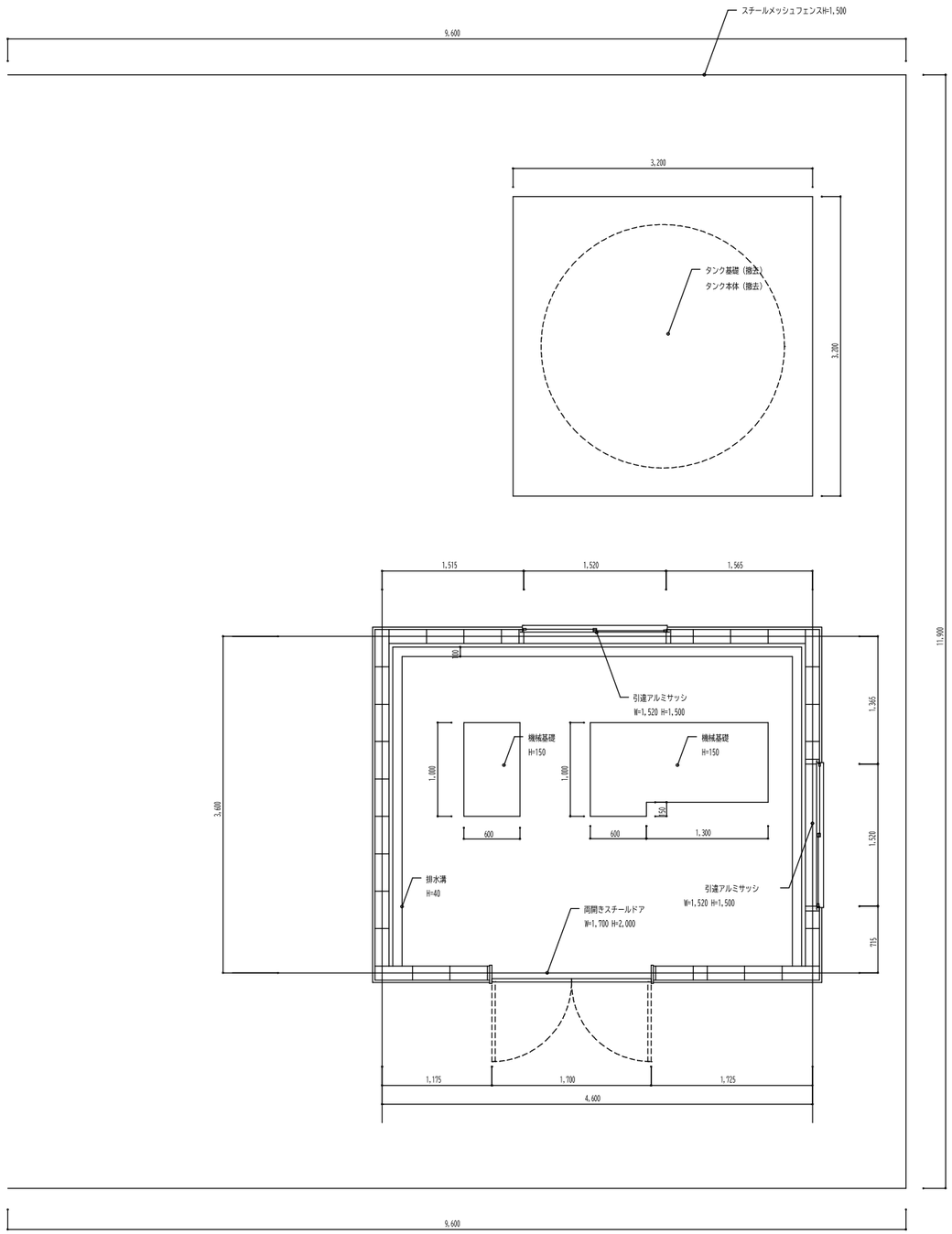
断面図





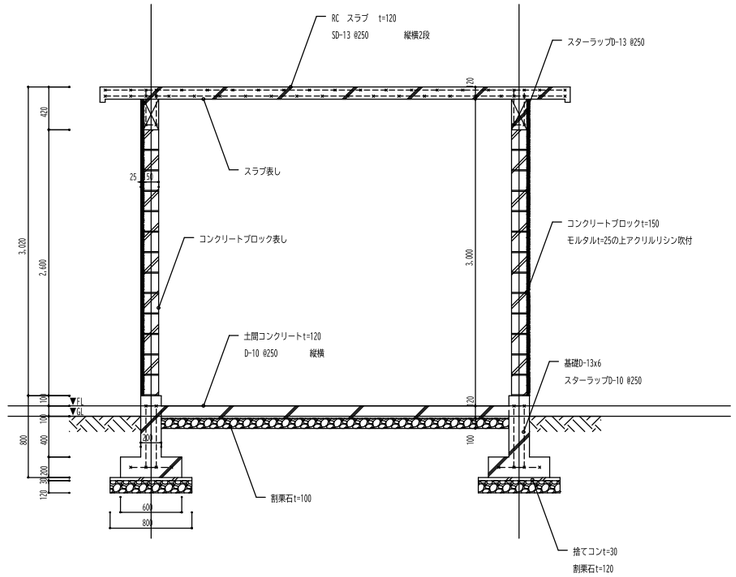
備考		発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-102
					図面名称 中間貯湯ポンプ室　立面図・断面図	縮尺 A1: 1:30 A3: 1:60	建 電 構 機

既存平面図

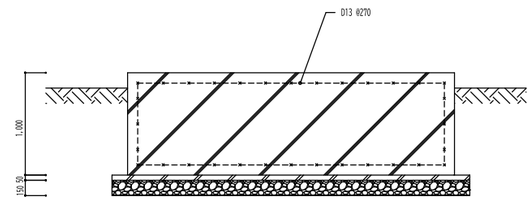


図示範囲全て撤去
現況優先とする

既存断面図



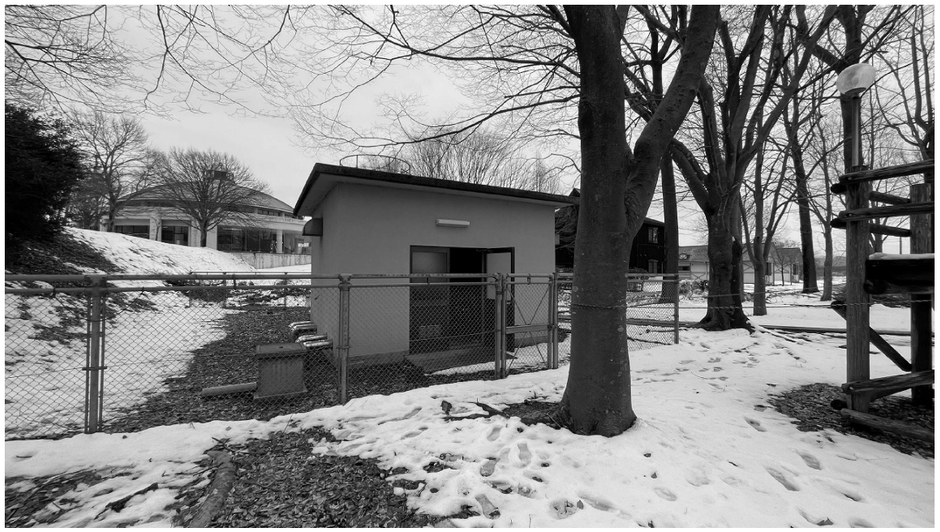
断面図



貯湯タンク基礎断面図

図示範囲全て撤去
現況優先とする

備考			発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-103
						図面名称 中間貯湯ポンプ室　撤去構造物平面図・断面図	縮尺 A1：S=1/30 A3：S=1/60	㊞ 電 構 機



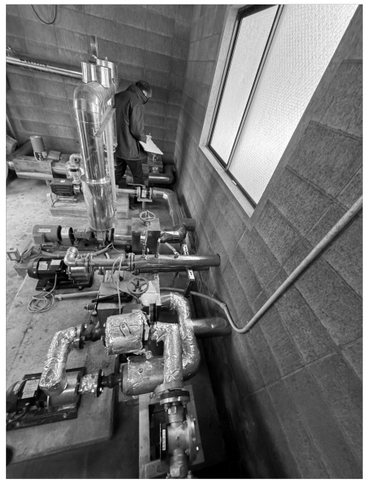
全景-1

全景-2

貯湯タンク

内観（パノラマ）

天井

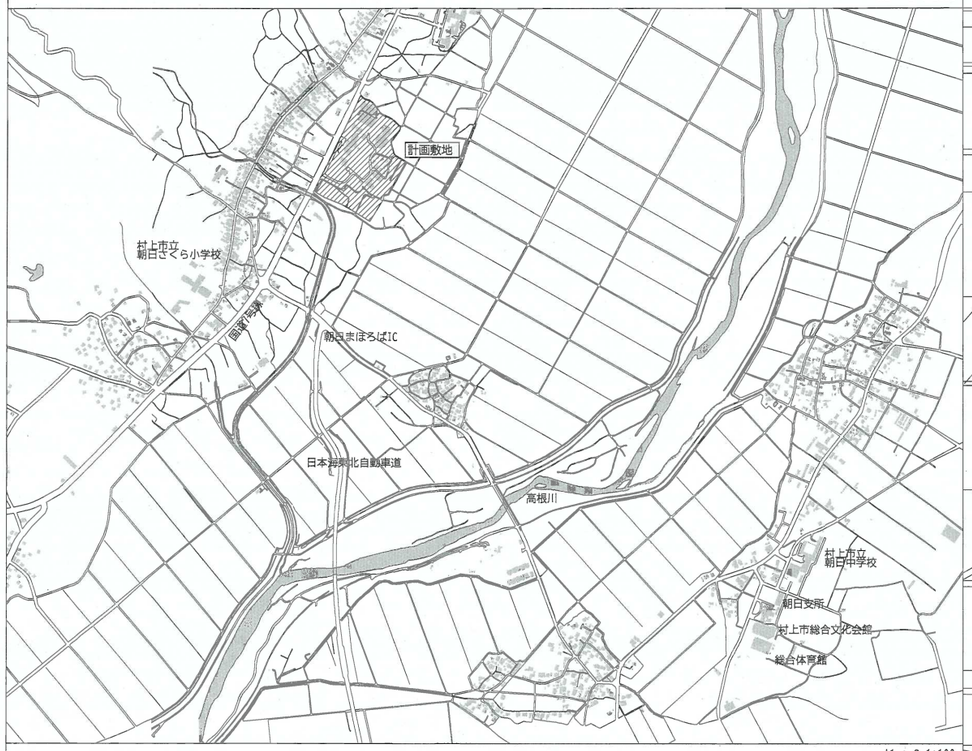


ポンプ

備考			発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-104	
					図面名称 中間貯湯ポンプ室　撤去構造物平面図・断面図	縮尺 A1: S=1/30 A3: S=1/60	㊞ 電 構 機	

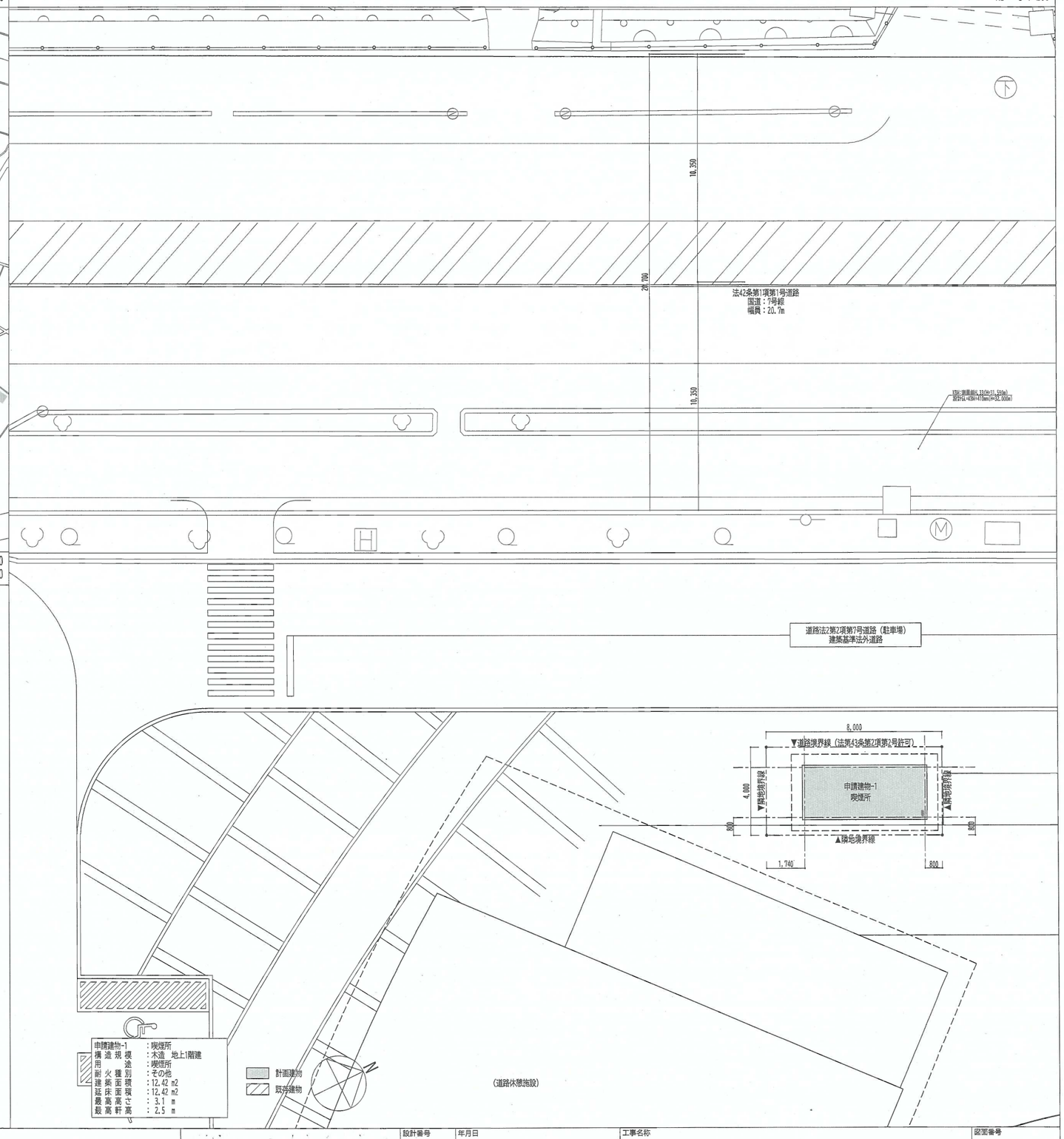
案内図

A1 : S=1:1000
A3 : S=1:2000



配置図

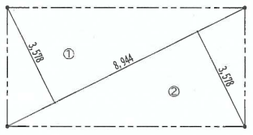
A1 : S=1:100
A3 : S=1:200



求積図

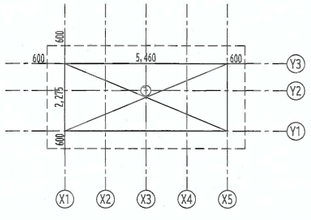
A1 : S=1:100
A3 : S=1:200

■敷地面積求積



記号	式	面積
①	(8.994 × 3.578) ÷ 2	16.090266 m2
②	(8.994 × 3.578) ÷ 2	16.090266 m2
敷地面積	① + ②	32.18 m2

■建築面積・床面積求積



記号	式	面積
①	5.460 × 2.2275	12.4275 m2
建築面積 延床面積		12.42 m2

■建蔽率の検討
建築面積12.42㎡ / 敷地面積32.18㎡ × 100 ≒ 38.60% < 70%

■容積率の検討
建築面積12.42㎡ / 敷地面積32.18㎡ × 100 ≒ 38.60% < 200%

備考		発注者	新潟県　村上市	設計番号	年月日	工事名称	道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-201
				審査	チーフ事務所 / サブ事務所	図面名称 喫煙所　案内図・配置図・敷地面積求積図・求積図	縮尺 A1：図示 A3：図示	営 電 構 機

材料表

製品名に「指定」表記なき場合は同等品、又は同等品以上とする。

名称(符号)	材質・規格・寸法など	認定番号	製造元	製品名
■共通　仕上				
WP(A)	半造膜タイプ木材保護塗料			
WP(B)	フッ素樹脂配合造膜タイプ木材保護塗料			
■外部				
ガラス繊維複合版	ガラス繊維補強セメントボード		吉野石膏	デラクリートセメントボードシステム
弾性吹付塗材鏝押え	高耐候内外装薄塗塗材E吹付+鏝押え		アイカ	ジョリパットインフィニティ(JQ-500)
折板屋根				

外部仕上表

区分・部位	仕様
■屋根	
屋根-1	母屋+タイトフレーム+折板屋根 t=0.8 山高88 働き幅600
■外壁	
外壁-1	構造用面材 t=9+横胴縁 t=15+ガラス繊維複合板 t=12.5+高耐候弾性吹付塗材鏝押え
外壁-2	RC(B) 高耐候弾性吹付塗材鏝押え

共通事項

- 本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。各一覧表・材料表に記載の符号等は、本表以外の設計図に適用する。
- 仕上材は特記なき限り下地・仕上共不燃材とする。
- コンクリート打放しの増打ちは、特記なき限り内外共t=20とする。
- コンクリート打放し面に極度な色ムラ、ジャンカ、コールドジョイント等が発生しないよう施工すること。これらが発生した場合は、施工者の責任で壁面化粧仕上塗材にて補修を行う（キクスイSA工法以上）
- ビニル床シートは全て溶接工法とし、接着剤はエポキシ系とする。（水廻り等のみ）
- 床材（フローリング・ビニル床シート）は竣工引き渡し時に樹脂ワックスを施す。（ノンワックス材の場合は除く）
- コンクリートとコンクリートブロックまたはALCパネル及び軽鉄下地との壁取り合い部には化粧目地を設ける。目地材は※塩ビ製　・　　　　、目地幅は※10mm　・　　　　とする。
- 天井下地は軽量鉄骨下地とする。
- 床仕上がビニルタイル、ビニルシートや塗床等の場合の下地は、セメント系セルフレベリング材とする。
- 外部鉄部は溶融亜鉛メッキを施すこと。特記なき限り塗装については外部DP（1級）
- アスファルト外断熱防水、シート防水（外断熱）の断熱材の厚さはt=60とする。
- 特記なき限り発泡ウレタンはt=50とする。
- 5mを超える軽量鉄骨壁は補強材□-100x100x3.2@2000及び横つなぎ材□-100x100x3.2@5000を設ける。スタッドは100型型とし監督員の承諾を得ること。
- 5mを超える部分はRC下がり壁とする。
- かさ上げコンクリートはt=100以下は溶接金網6φ100×100とし、t=100以上はD10 100x100メッシュ筋とする。
- 特記なき限り巾木高さは60とする。
- 特記なき限り堅木はナラ材とする。木部塗装仕様は染色UCとする。
- 石膏ボード、岩綿吸音板、ケイカル板、化粧ケイカル板天井の下張りはGB-NC t=9.5（不燃）とする。
- ケイ酸カルシウム板はt=6及びt=8とする。
- 床仕上の異なる場所は床見切りSUS FB-6を見込むこと。
- ビニル床シート立上げ巾木の上部はZバー（アルミ既製品）押えとする。
- OAフロア、フリーアクセスフロアパネルは配線取出開口付とする。

内装材料ついて

- 法第28条の2 居室における化学物質の発散に対する衛生上の措置 仕上材、接着剤、塗材、家具、カウンター他全て規制対象外又はF☆☆☆☆の物を使用する。
- 天井裏等に第1種、第2種のホルムアルデヒド発散建築材料を使用しないこと。（F☆☆☆以上とする）
- 内装材については、下表の国土交通大臣認定材料を使用する。
- ビニル壁紙仕様で内装制限にて不燃要求がある場合は、不燃下地（金属を除く）の上、不燃認定のあるビニル壁紙を使用すること。

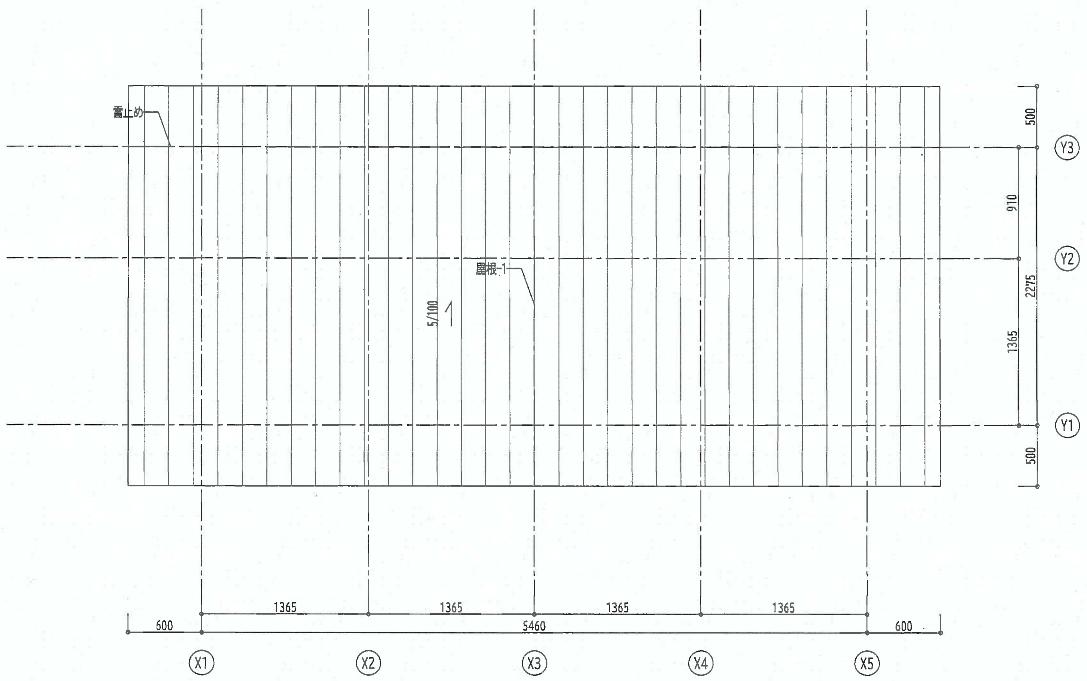
凡例

■塗料 記号	名称	■材料・仕上・他 記号	名称	記号	名称	■塗料 記号	名称
SOP	合成樹脂調合ペイント	S	鋼(スチール)	PL	プレート	A-1種	無着色陽極酸化皮膜
DP-F	耐候性塗料(フッ素樹脂エナメル)	SUS	ステンレス	CHPL	チェッカープレート	A-2種	着色陽極酸化皮膜
DP-AS	耐候性塗料(アクリルシリコン樹脂エナメル)	AL	アルミニウム	DPL	デッキプレート	B-1種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜
DP-U	耐候性塗料(ポリウレタン樹脂エナメル)	BU	黄銅	FB	フラットバー	B-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜
EP-1	合成樹脂エマルションペイント(外部用)	TB	テラゾーブロック	HL	ヘアライン	C-1種	無着色陽極酸化皮膜
EP-2	合成樹脂エマルションペイント(内部用)	GB	せっこうボード	BF	鏡面仕上	C-2種	着色陽極酸化皮膜
EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント	FK	けい酸カルシウム板	J&P	ジェット・ポリッシュ仕上	D種	化成皮膜の上に塗装
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗装	RC	鉄筋コンクリート	PHL	バイブレーション		
CL	クリアラッカー	CB	コンクリートブロック				
OS	オイルステイン	PCa	プレキャストコンクリート				
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料	ALC	軽量気泡コンクリート				
UC	ウレタン樹脂ワニス	ECP	押出成形セメント板				
WP	木材保護塗料	LGS	軽量鉄骨				
LE	ラッカーエナメル	W	木				

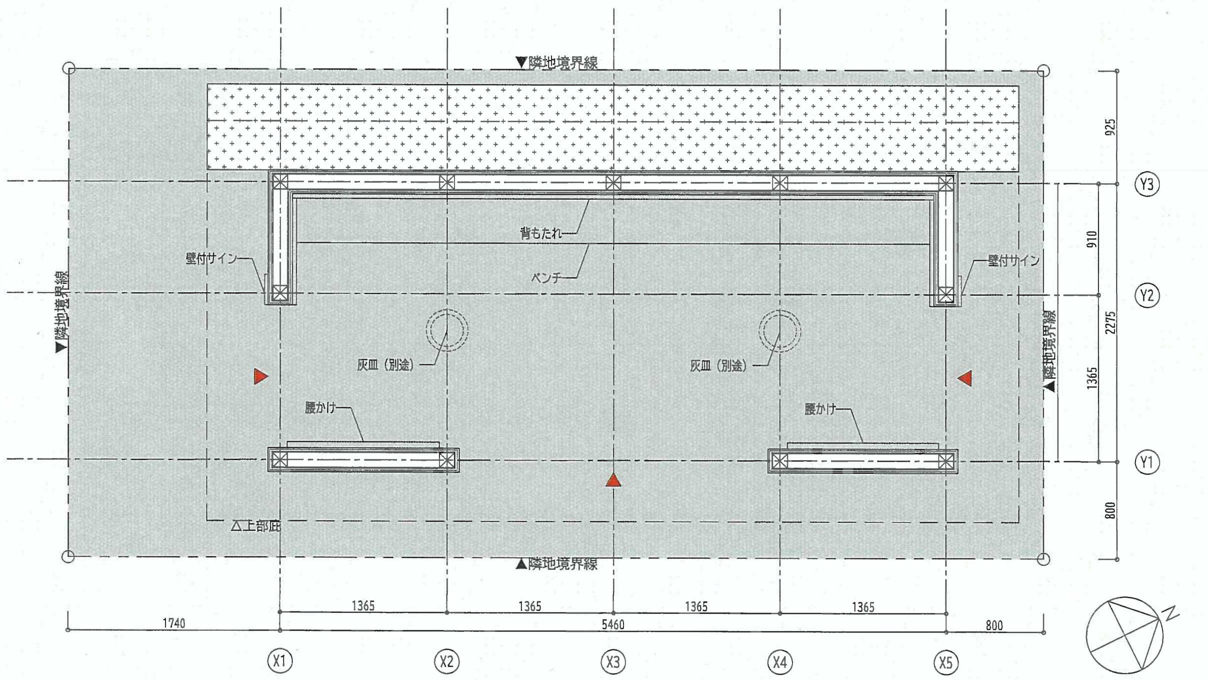
■凡例

記号	説明
▲	出入口
→	水勾配
―・―・―	隣地境界線、道路境界線
(±0)	KBMからの現況レベルを示す
±0	KBMからの計画レベルを示す

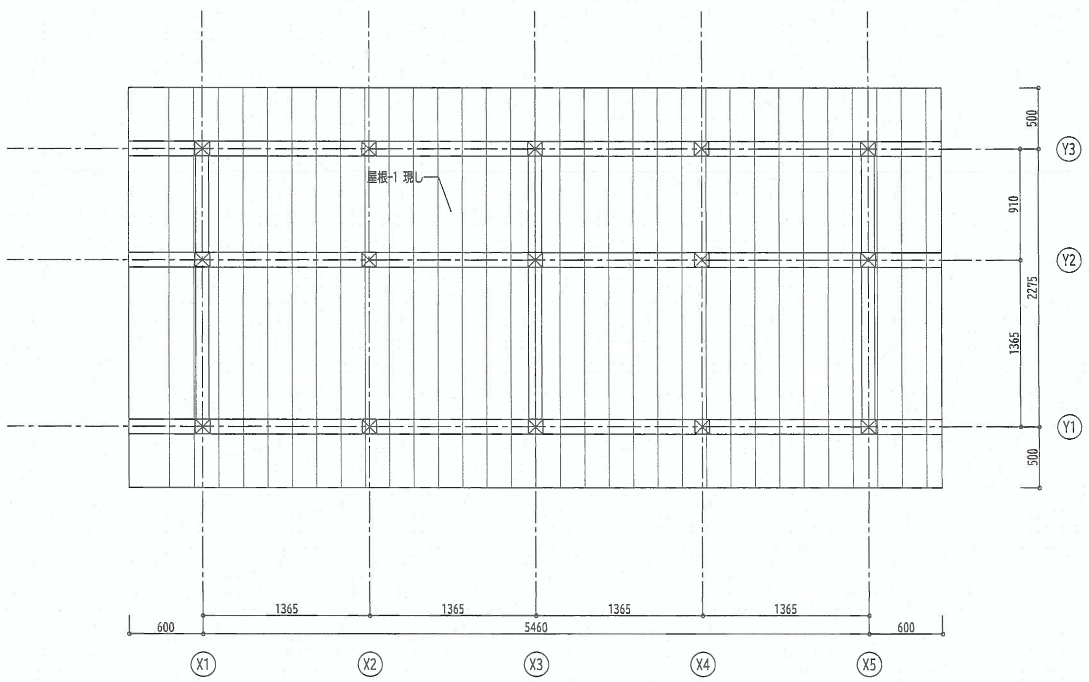
表示	名称	備考	数量
	擬石平板ブロック	300×300	25.25㎡
	砕石敷き	t=450	4.68㎡



屋根伏図

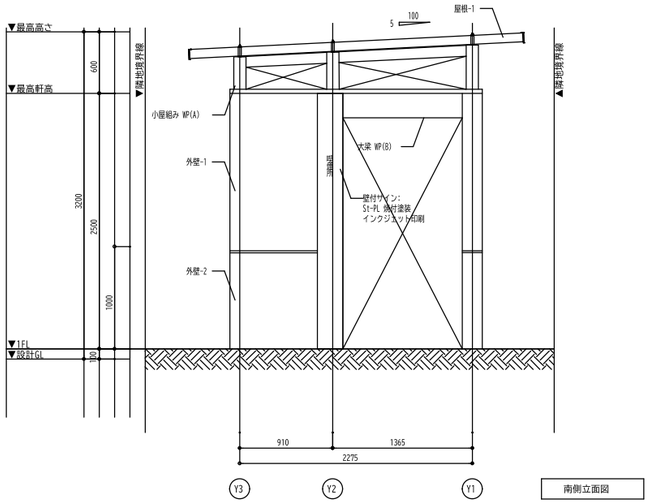


平面図

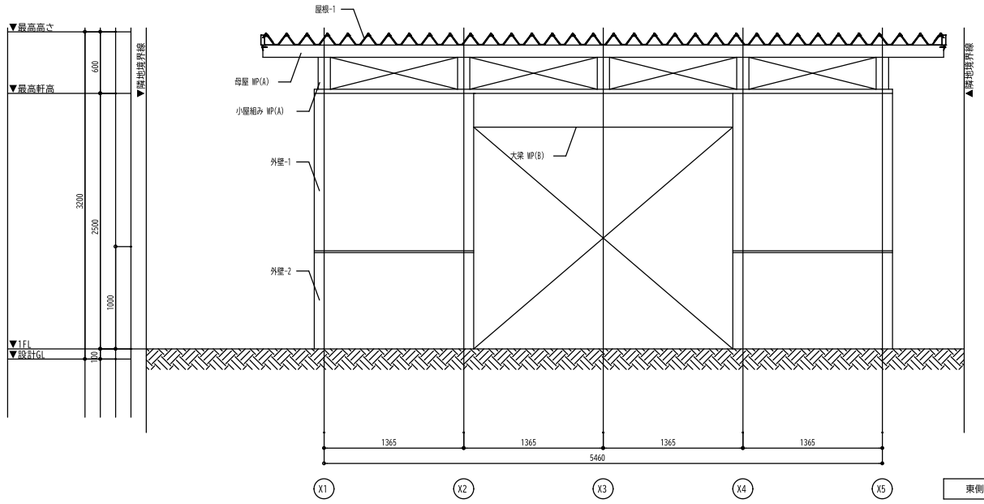


天井伏図

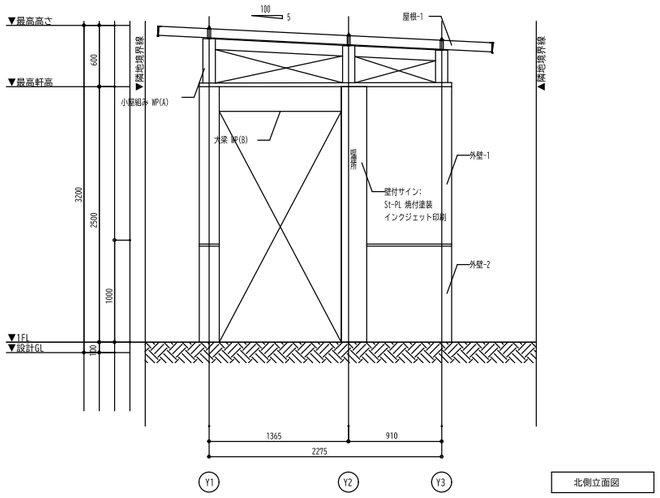
備考		発注者 新潟県　村上市		工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事	図面番号 A-202
			審査	図面名称 喫煙所　仕上表・平面図・屋根伏図・天井伏図 / 縮尺 A1：S=1/30 A3：S=1/60	意 電 構 機



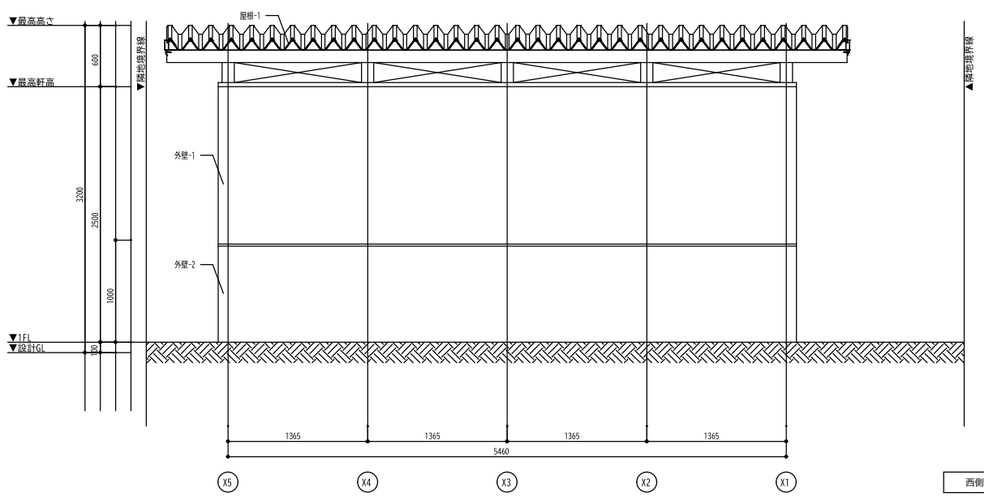
南側立面図



東側立面図

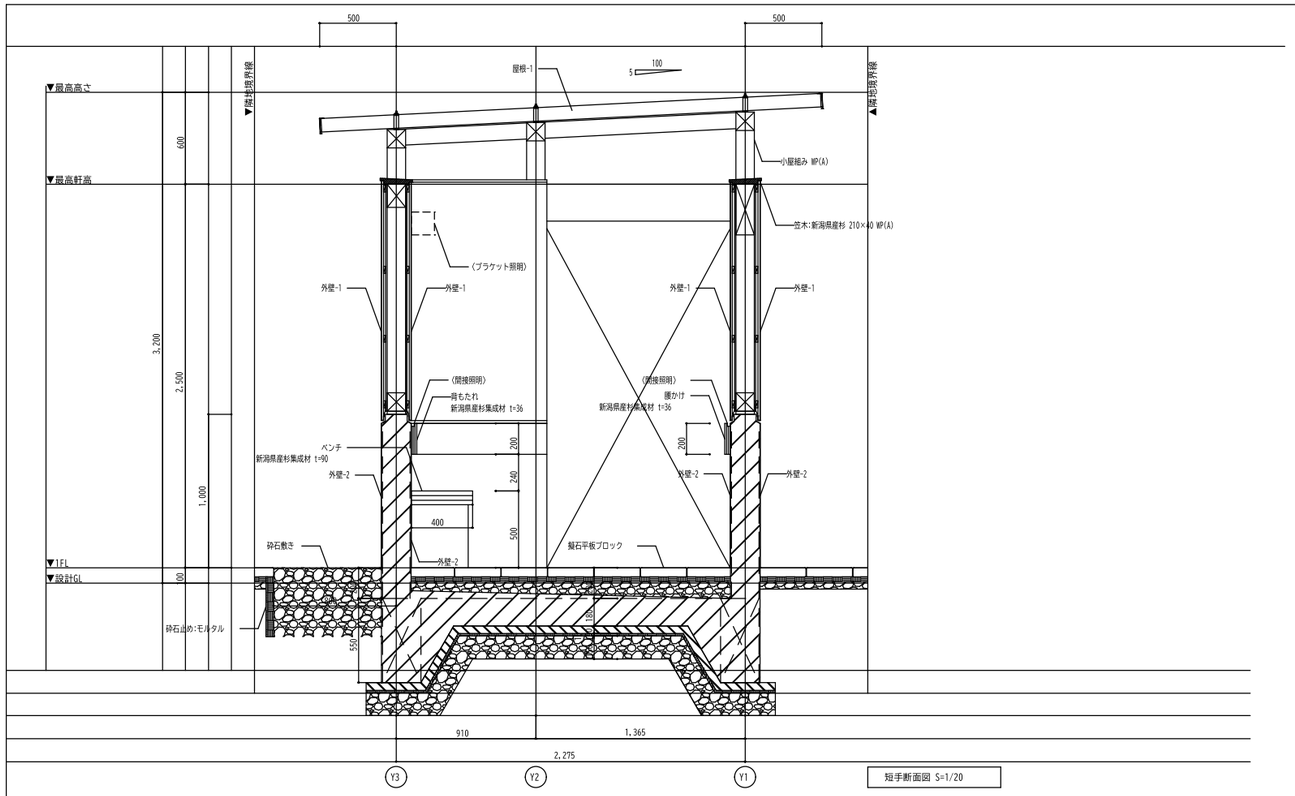


北側立面図

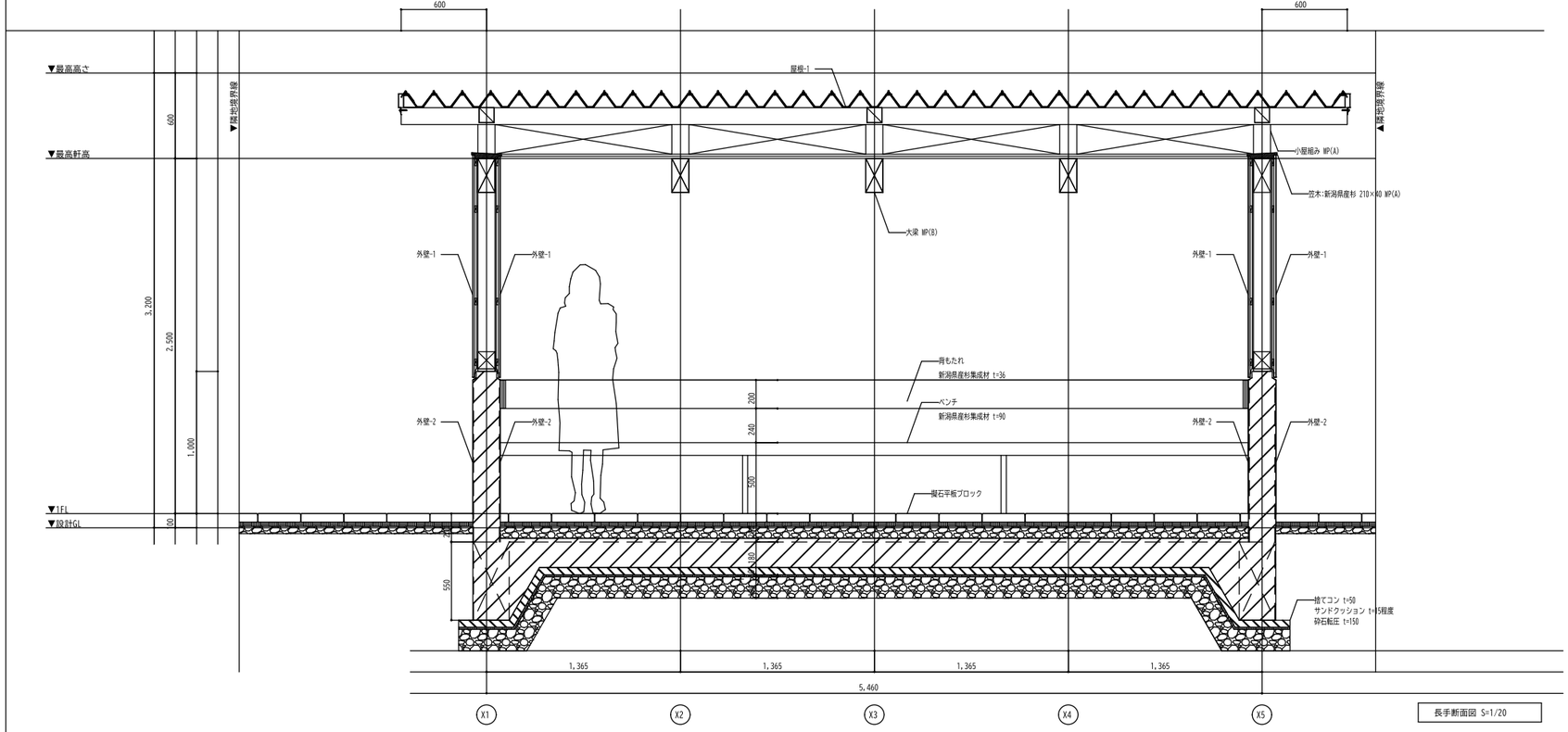


西側立面図

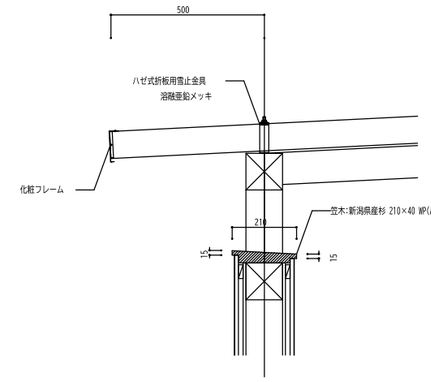
備考			発注者 新潟県　村上市				工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-203	
							図面名称 喫煙所　立面図	縮尺 A1: S=1/30 A3: S=1/60	㊞ 電 構 機	

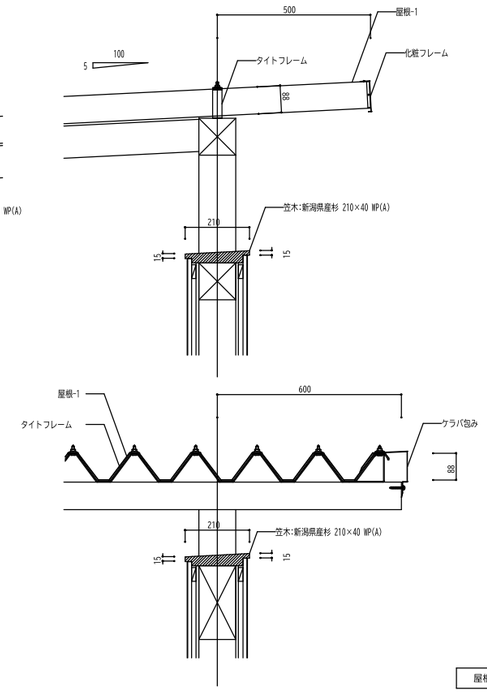


短手断面図 S=1/20

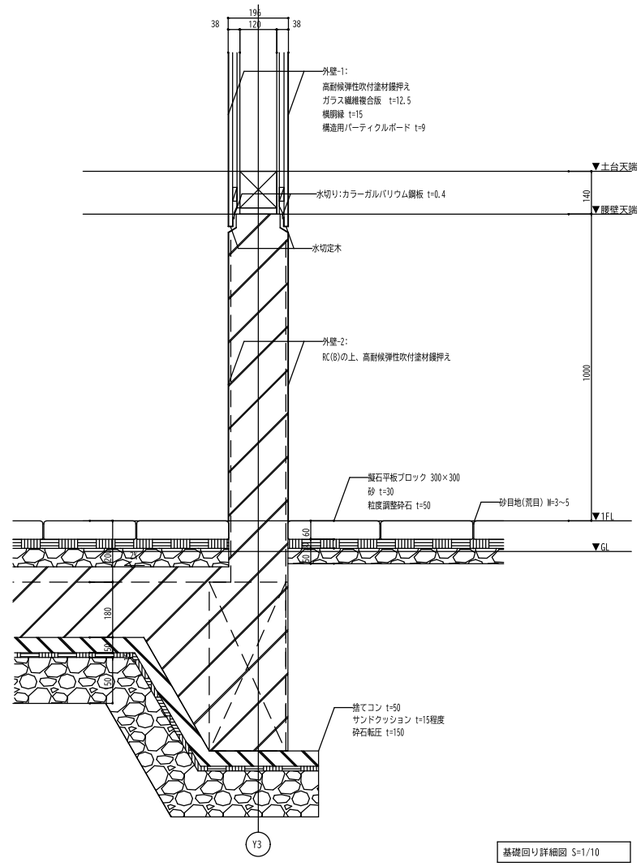


長手断面図 S=1/20





屋根詳細図 S=1/10



基礎回り詳細図 S=1/10

備考		発注者 新潟県　村上市			工事名称 道の駅「朝日」（地域振興施設）建築工事		図面番号 A-204
					図面名称 喫煙所　断面図・部分詳細図	縮尺 A1: S=図示 A3: S=図示/2	㊞ 電 構 機